

施設の解体・撤去に伴う廃棄物発生量積算評価

－ 東海事業所及び人形峠環境技術センター－

(調査報告)

2001年7月

核燃料サイクル開発機構
東 海 事 業 所

本資料の全部または一部を複写・複製・転写する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to :
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)
2001

施設の解体・撤去に伴う廃棄物発生量積算評価

— 東海事業所及び人形峠環境技術センター —

(調査報告)

菖蒲 康夫*、田辺 務*

高橋 邦明*、武田 誠一郎**

要旨

サイクル機構から発生する全ての放射性廃棄物について、発生から処理・処分に至る廃棄物管理の全体計画（「低レベル放射性廃棄物管理プログラム」）の検討、並びに国における低レベル放射性廃棄物処分に関する安全基準等の策定に資するためのデータ整備を目的とし、東海事業所及び人形峠環境技術センターの管理区域を有する施設（以下、『核燃料施設』という）の解体・撤去に伴い発生する廃棄物量の調査・評価を行った。

東海事業所及び人形峠環境技術センターの核燃料施設の解体廃棄物量は、以下の通りである。

(1) 東海事業所

東海事業所の核燃料施設の解体に伴う廃棄物量は、総量 約 1,079,100 tである。その内訳は放射性廃棄物相当が 約 15,400 t、放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）が 約 1,063,700 tである。

(2) 人形峠環境技術センター

人形峠環境技術センターの核燃料施設の解体に伴う廃棄物量は、総量 約 112,500 tである。その内訳は放射性廃棄物相当が 約 7,800 t、放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）が 約 104,700 tである。

* 環境保全・研究開発センター 環境保全部 環境計画課

** 環境保全・研究開発センター 環境保全部

The calculation and estimation of wastes generated by decommissioning
of nuclear facilities

— Tokai Works and Ningyo-toge Environmental Engineering Center —

AYAME.Y* TANABE.T*
TAKAHASHI.K* TAKEDA.S**

Abstract

This investigation was conducted as a part of planning the low-level radioactive waste management program (LLW management program). The aim of this investigation was contributed to compile the radioactive waste database of JNC's LLW management program. All nuclear facilities of the Tokai works and Ningyo-toge Environmental Engineering Center were investigated in this work. The wastes generated by the decommissioning of each nuclear facility were classified into radioactive waste and others (exempt waste and non-radioactive waste), and the amount of the wastes was estimated.

The estimated amounts of radioactive wastes generated by decommissioning of the nuclear facilities are as follows.

(1) Tokai works

The amount of waste generated by decommissioning of nuclear facilities of the Tokai works is about 1,079,100ton. The amount of radioactive waste is about 15,400ton. The amount of exempt waste and non-radioactive waste is about 1,063,700ton.

(2) Ningyo-toge Environmental Engineering Center

The amount of waste generated by decommissioning of nuclear facilities of Ningyo-toge Environmental Engineering Center is about 112,500ton. The amount of radioactive waste is about 7,800ton. The amount of exempt waste and non-radioactive waste is about 104,700ton.

* Waste Management and Fuel Cycle Research Center Waste Management Division Planning Section
** Waste Management and Fuel Cycle Research Center Waste Management

目 次

1. はじめに	1
2. 対象施設概要	1
3. 前提条件	1
3. 1 内装機器等	
3. 2 構造材等	
4. 廃棄物量の積算評価方法	3
4. 1 内装機器等	
4. 2 構造材等	
5. 放射能濃度区分及び材質区分	5
5. 1 放射能濃度区分	
5. 2 材質区分	
6. 物量調査結果	7
6. 1 内装機器等の物量集計	
6. 2 構造材等の物量集計	
7. まとめ	9
8. 今後の課題	10
8. 1 内装機器等	
8. 2 構造材等	
9. おわりに	11
10. 謝辞	11
添付	12
表	14
付録 1 施設の平面図（保安規定からの抜粋）	30
付録 2 構造材等の物量調査に使用した図書一覧	209

表 目 次

表 1	解体廃棄物量の試算対象施設一覧	14
表 2	解体廃棄物量積算の考え方	18
表 3	構造材等の単位重量一覧	19
表 4	廃棄物の区分について	20
表 5	廃棄物区分分類例	21
表 6	構造材等の種類と材質区分の関係	22
表 7	施設グルーピング	23
表 8	内装物量詳細積算結果（施設別）一覧	24
表 9	区別内装機器等の物量	25
表 10	使用資材集計表	26
表 11	区別構造材・内装仕上材の物量	27
表 12	構造材・内装仕上材の物量詳細積算結果（施設別）一覧	28
表 13	解体物量の調査結果	29

1. はじめに

本書は環境保全・研究開発センターにおいて策定を進めている低レベル放射性廃棄物管理プログラムの検討に資するために、東海事業所及び人形崎環境技術センターの管理区域を有する施設（以下、『核燃料施設』という）の解体・撤去に伴い発生する廃棄物の調査・積算・評価結果をまとめたものである。

今回の調査は、解体・撤去の対象となる核燃料施設の内装機器・設備等（以下、『内装機器等』という。）及び建家構造材（以下、『構造材』という。）の物量について行った。各施設の内装機器等の調査範囲は、施設の「設計及び工事の方法の認可」申請時の資料等（以下、『設工認申請書等』と言う。）に記載されている内装機器等とし、製作図や目視による推測などの方法で重量等を調査した。構造材は、各施設の建設当時の工事関係資料から、建設工事に使用したコンクリートや鉄筋等の物量を調査した。

なお、調査にあたっては、すでに原子力安全委員会のクリアランス分科会でクリアランスレベルの検討が行われている、大洗工学センター並びに「ふげん」での解体廃棄物量の試算方法等を参考にした。

2. 対象施設概要

対象施設の概要は表-1に示すとおりである。調査は管理区域を有する80施設を対象に行った。付録に各施設の平面図（保安規定からの抜粋）を示す。

3. 前提条件

調査は大洗工学センター並びに「ふげん」での解体廃棄物量の試算方法等を参考に基本的に以下の前提条件を設定して実施した。

3. 1 内装機器等

○対象は管理区域とする。

○除染については採用する方法により放射能濃度の低減効果が異なることから、放射能濃度の設定に際して考慮しない。

○物量は、「 m^3 」又は「t」の単位でまとめる。ただし、集計の根拠（機器リスト等）となる個々の重量は「kg」の単位で算出する。

3. 2 構造材等

(1)共通の条件

○壁・床・天井の表面がライニング、ドリップトレイ、内装仕上げ材などにより保護されているコンクリートは汚染がないものとして扱う。

○ライニング、ドリップトレイ、内装仕上げ材は全て放射性廃棄物とする。
ただし、物量は内装機器等として扱う。

○窓、扉は調査対象外とし、管理区域の表面積を算出する際には考慮しない。

○汚染の形態は表面への放射性物質の付着のみとし、浸透はないものとする。

(2)鉄筋コンクリート構造の施設

○管理区域内の天井・壁・床の各表面積と設定した表層のはつり相当量から物量を計算する。

○コンクリート内の鉄筋はコンクリートとして計算する。

○管理区域の表面積を算出する際には、管理区域内の梁、柱は考慮するものの機器の基礎部は考慮しない。

○建屋には基礎部分を含める。

(3)鉄骨スレート構造の建屋

○スレート表面及び鉄骨表面は、塗料等の表面を保護しているものをはりせずに全て放射性廃棄物とする。

○床面のコンクリートについては、管理区域区分に応じてはつり相当量を設定し、その物量を放射性廃棄物とする。ただし、機器基礎部は考慮しない。

4. 廃棄物量の積算評価方法

積算の基本的考え方を表-2に示す。

4.1 内装機器等

(1) 内装機器等のリスト化

調査は管理区域内にある下記の内装機器等について、設工認申請書等の図書に記載されているものを対象に機器リストに機器名称、機器番号、寸法、設置場所などをまとめてリスト化する。

プロセス機器設備：塔槽類、遠心機、凝縮機、試験装置、測定装置、分析装置 等

機械設備：クレーン、マニピュレータ、搬送機 等

配管設備：プロセス配管、ユーティリティ配管、計装配管、バルブ類 等

計装設備：制御盤、監視盤、操作盤、中継設備 等

換気設備：排風機、送風機、フィルタユニット、ダンバ、ダクト 等

グローブボックス：グローブボックス、フード

分析設備：サンプリングベンチ

電気設備：受電盤、分電盤、ケーブル、照明器具 等

放射線管理設備：エリアモニタ、ダストモニタ、ハンドフットクローズモニタ 等

遮蔽設備：遮蔽扉、セルライニング、ドリップトレイ

その他の設備：消火設備 等

なお、内装機器等のリスト化は、原則として製作図、エンジニアリング・フロー・ダイヤグラム(EFD)、パイピング・インスツルメント・ダイヤグラム(PID)、換気系統図、電気系統図等に基づき実施する。

(2) 内装機器等の物量の積算

リスト化した内装機器等について、設備の製作図、施工図等から重量、取扱い流体等必要な情報をリストに記入する。なお、合理的な方法により内装機器等の物量の積算が可能であれば、その方法を明示し物量を推

定することでも可とした。

4. 2 構造材等

(1) 施設全体の物量の積算

構造材の全物量は、基本的に建設時の情報からコンクリート使用量（単位： m^3 ）、鉄筋・鉄骨使用量（単位：トン）を調査した。コンクリート重量は調査した使用量に比重を乗じて求めた。ここでコンクリートの比重は、一律 $2.2\text{ t}/m^3$ とした。

また、建設時の情報が無い施設については、建設当時の担当者からの聴き取り調査もしくは建屋竣工図等から建屋各部の体積を計算して全物量を求めた。^{*1}

(2) 施設の解体により発生する放射性廃棄物量の積算

① 鉄筋コンクリート構造の施設

鉄筋コンクリート構造の施設の解体により発生する放射性廃棄物量は、管理区域のコンクリート剥離量及び内装仕上材の重量とした。

管理区域内のコンクリートはライニング、ドリップトレイ施工あるいは内装仕上材により施工された部分を除いて表層を剥離するものとする。コンクリート剥離量は、建屋竣工図等から各部屋・セル毎に天井、壁、床等の表面積を算出し、計算した表面積に各部屋・セル毎に設定したはつり相当量及び比重を乗じて求めた。はつり厚さは、管理区域区分によらず全て 5 mm とした。また、コンクリートの比重は $2.2\text{ t}/m^3$ とした。

内装仕上材の物量は建屋竣工図等の仕上げ表から内装仕上材の種類毎に調査し、内装仕上材種類毎の総面積に単位重量を乗じて求めた。内装仕上げ材の種類毎の標準的な単位重量を表-3に示す。仕上材の単位重量は、荷重指針（建築物荷重指針・同解説、日本建築学会）、カタログ等を参照した。なお、設計図書から仕上げ厚さが読みとれない場合は一般的な厚さ（例えば、石膏ボード： 12 mm 、塩ビ製床材： 2 mm など）を設定した。

*1 : 建家竣工図等からの算出方法は添付に示す。

② 鉄骨スレート構造の建屋

対象施設のうち鉄骨スレート構造の施設については、管理区域外壁スレートおよび鉄骨を放射性廃棄物とする。外壁スレートの物量は建築設計図面より算出する。また、鉄骨の物量は積算内訳書を調査する。

なお、同一構造の施設が複数ある場合には、1つの施設の物量を算出し、その結果に乗数（施設の数、面積比等）を乗じて総量を計算する。

5. 放射能濃度区分及び材質区分

5. 1 放射能濃度区分

内装機器等は同じ管理区域内であっても使用する物質や汚染履歴等により汚染の状況が異なる。よって、内装機器等は使用している物質や管理区域区分を考慮して、表-4に示すように「放射性廃棄物相当」、「クリアランスレベル以下」に区分する。また、放射性物質を扱わない内装機器等で「過去に汚染したことがない場所」もしくは「汚染があったが、汚染を除去した場所」から発生する内装機器等は、原子力安全委員会が放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物として定義している概念に相当するので「放射性廃棄物でない廃棄物」とする。

構造材等の物量は管理区域毎に集計するが、「過去に汚染したことがない場所」もしくは「汚染があったが、汚染を除去した場所」から発生する構造材は、全て「放射性廃棄物でない廃棄物」とする。「汚染の可能性が否定できないの場所」から発生する構造材は、各セル・部屋の汚染状況に関する実測データがないので、管理区域の管理目標値 ($\alpha : 0.4 \text{Bq}/\text{m}^2$ 、 $\beta \gamma : 4 \text{Bq}/\text{m}^2$) から「クリアランスレベル以下の廃棄物」とする。また、構造材全量と管理区域から発生した廃棄物を引いた物量を「非放射性廃棄物」と区分する。

5. 2 材質区分

内装機器等を構成する主要な材質を考慮して、表-5に示す様に分類した。

材質は大きく「金属」と「金属以外」とに分け、さらに金属については炭素

鋼やステンレス鋼などの鉄類と処分時に悪影響を及ぼすといわれている「アルミ」、「鉛」、「銅」等の有害物質を分けた。また、金属以外については、その処理方法を考慮し既存の放射性廃棄物排出要領を参考に「可燃」、「難燃」、「不燃」に区分した。

また、構造材は「コンクリート」、「セメント系」、「塩ビ系」の他に、一般的な建築廃材の区分を考慮して有害物質である「アスベスト系」、有機物と水分の影響で化学反応を起こし有毒なガスを発生させる「石膏ボード系」を分類した。ここで、セメント系は、A L C板やP C板等一体解体の対象となる仕上げ材料を分類し、その他に石系やタイル系もここに含めた。タイル系は種類が図面に明記されていない場合は、磁器質タイルとして集計を行った。

表-6に構造材等の種類と材質区分の関係を示す。

6. 物量調査結果

6. 1 内装機器等の物量

内装機器等の物量調査結果は、施設毎に材質区分に分けて集計し整理した。さらに、各施設の特徴を考慮し、それぞれの施設を表-7に示す様に「プロセス施設・試験施設」、「貯蔵施設」、「排気筒他」に分けて分類し、物量の集計・整理を行った。その結果を表-8及び表-9に示す。

(1) 東海事業所

- ① 内装機器等の総物量は約 31,100 トンで、そのうち再処理施設が約 17,000 トン、プルトニウム取扱施設が約 11,000 トン、ウラン取扱施設が約 1,700 トン、その他の施設等が約 1,400 トンであった。
- ② 内装機器等の総物量 約 31,100 トンのうち、放射性廃棄物相当の内装機器等が約 15,400 トン、クリアランスレベル以下相当の内装機器等が約 12,800 トン、非放射性廃棄物相当の内装機器等が約 2,900 トンであった。
- ③ 放射性廃棄物相当の内装機器等物量 約 15,400 トンのうち、再処理施設が約 9,240 トン、プルトニウム取扱施設が約 4,900 トン、ウラン取扱施設が約 500 トン、その他の施設が約 740 トンであった。
- ④ 放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）の内装機器等物量 約 15,700 トンのうち、再処理施設が約 7,830 トン、プルトニウム取扱施設が約 6,050 トン、ウラン取扱施設が約 1,170 トン、その他の施設が約 640 トンであった。
- ⑤ 内装機器等の総物量 約 31,100 トンのうち、金属類が約 30,000 トンであった。

(2) 人形峠環境技術開発センター

- ① 内装機器等の総物量は約 11,720 トンで、そのうち加工施設が約 5,600 トン、使用施設が約 6,000 トン、貯蔵施設が 120 トンであった。
- ② 内装機器等の総物量 約 11,720 トンのうち、放射性廃棄物相当の内装機器等は約 7,760 トン、放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）の内装機器等が約 3,960 トンであった。

- ③ 放射性廃棄物相当の内装機器等物量 約 7,760 トンのうち、加工施設が約 5,400 トン、使用施設が約 2,330 トン、貯蔵施設が 30 トンであった。
- ④ 放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当の内装機器等物量 約 3,960 トンのうち、加工施設が約 210 トン、使用取扱施設が約 3,750 トンであった。
- ⑤ 内装機器等の総物量 約 11,720 トンのうち、金属類が約 11,660 トンであった。

6. 2 構造材等の物量

施設全体のコンクリート及び鉄筋等の物量調査結果は、「プロセス施設・試験施設」、「貯蔵施設」、「排気筒他」に分けて分類し、物量の集計・整理を行った。施設全体のコンクリート及び鉄筋等の物量結果を表-10に示す。また、構造材・内装仕上材の物量調査結果は、施設毎に材質区分に分けて集計し整理した。さらに、「プロセス施設・試験施設」、「貯蔵施設」、「排気筒他」に分けて分類し物量の集計・整理を行った。その結果を表-11、表-12に示す。

(1) 東海事業所

東海事業所の管理区域を有する全施設の建屋全体物量は、コンクリート等が約 981,500 トン、鉄筋・鉄骨が約 63,100 トンである。コンクリート及び鉄筋・鉄骨の内訳は、再処理施設がコンクリート約 597,000 トン、鉄筋・鉄骨約 39,400 トン、プルトニウム取扱施設がコンクリート約 300,100 トン、鉄筋・鉄骨約 18,200 トン、ウラン取扱施設がコンクリート約 34,100 トン、鉄筋・鉄骨約 2,400 トン、その他の使用施設等が約 50,500 トン、鉄筋・鉄骨約 3,100 トン、であった。

管理区域のコンクリート表面のはつりにより発生するコンクリートの物量（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）は約 11,200 トン、非放射性廃棄物相当のコンクリート（コンクリートに含まれる鉄筋・鉄骨を含む）は約 1,029,600 トンである。管理区域内から発生する解体廃棄物の内装仕上げ材の物量はセメント系約 2,624 トン、アスベスト系約 154 トン、ボード系約 199 トン、塩ビ系約 137 トン、ガラス系約 14 トンである。

(2) 人形峠環境技術開発センター

人形峠環境技術開発センターの管理区域を有する全施設の建屋全体物量

は、コンクリート等が約 89,700 トン、鉄筋・鉄骨が約 8,600 トンである。コンクリート及び鉄筋・鉄骨の内訳は、加工施設（プロセス施設）がコンクリート約 27,100 トン、鉄筋・鉄骨約 2,200 トン、使用施設（プロセス施設・試験施設）がコンクリート約 50,100 トン、鉄筋・鉄骨約 4,700 トン、貯蔵施設（廃棄物貯蔵施設、ウラン貯蔵施設）がコンクリート約 12,600 トン、鉄筋・鉄骨約 1,700 トンであった。

管理区域のコンクリート表面のはく離により発生するコンクリートの物量（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）は約 860 トン、非放射性廃棄物相当のコンクリート（コンクリートに含まれる鉄筋・鉄骨を含む）は約 92,600 トンである。管理区域内から発生する解体廃棄物の内装仕上げ材の物量はセメント系約 1,990 トン、アスベスト系約 21 トン、ボード系約 66 トン、塩ビ系約 8 トン、ガラス系約 1 トンである。

7. まとめ

内装機器等の物量調査結果は、施設毎に材質区分に分けて集計し整理した。さらに、各施設の特徴を考慮し、それぞれの施設を表-7に示す様に「プロセス施設・試験施設」、「貯蔵施設」、「排気筒他」に分けて分類し、物量の集計・整理を行った。その結果を表-8及び表-9に示す。

東海事業所及び人形峠環境技術センターの核燃料施設の解体廃棄物量は、内装機器等の物量と構造材等の物量との合計を材質区分に分けて集計し、さらに、各施設の特徴を考慮して整理した。その結果を表-13に示す。

（1）東海事業所

東海事業所の核燃料施設の解体に伴う廃棄物量は、総量 約 1,079,100 トンとなった。その内訳は放射性廃棄物相当が 約 15,400 トン、放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）が 約 1,063,700 トンである。

（2）人形峠環境技術センター

人形峠環境技術センターの核燃料施設の解体に伴う廃棄物量は、総量 約 112,500 トンとなった。その内訳は放射性廃棄物相当が 約 7,800 トン、放

射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物相当（クリアランスレベル以下相当及び非放射性廃棄物相当）が 約 104,700トンである。

8. 今後の課題

今回、管理区域を有するすべての施設を対象に物量調査したことにより、解体廃棄物に関する情報の精度を高めることができたが、集計結果を使用するに当たっては下記の点に注意する必要がある。

8. 1 内装機器等

- ・機器の重量、寸法等の内装機器に関する情報が記載漏れがあり、それらの内装機器等については、他の施設の類似した機器等や便覧等をもとに推測した。
- ・内装機器等の汚染状態に関する情報が無いために、放射能濃度区分については、放射性物質の使用の有無と管理区域の使用履歴を基におおまかに「放射性廃棄物相当」、「クリアランスレベル以下相当」、「非放射性廃棄物相当」に分類した。
- ・複数の材質で構成されている内装機器等については、すべて構成する主要な材質として区分し集計した。

今後、施設の解体撤去又は内装機器等の撤去に向けて、今回調査したリストを基により詳細に情報を整備する必要がある。そのための手段として、更新時に機器の表面等の汚染状態（表面汚染密度や核種インベントリー）や放射性物質の付着状態等を記録として残すとともに、可能な限り解体して材質毎に分けて保管しておくことを提案する。

また、機器は位置などを含めて施設内部を C A D 化しておくことは、廃止措置計画を立てる上で有効であると思われる。

8. 2 構造材等

- ・構造材等物量を積算する際に用いた工事関係資料は必ずしも現状のものではない。
- ・各セル・部屋の汚染状況に関する実測データがないので、構造材等の処分区画は、管理区域の管理目標値を考慮してクリアランスレベル以下相当又

は非放射性廃棄物相当に区分した。

今後、施設の図面など最新主のを整備しておくとともに、運転終了後に各部屋の汚染レベルを測定評価し汚染マップを作成することが必要がある。

9. おわりに

東海事業所及び人形峠環境技術センターの核燃料施設から発生する解体廃棄物量がまとめられた。今後、この調査結果は、低レベル放射性廃棄物管理プログラムの検討に反映していく予定である。

10. 謝辞

今回の東海事業所及び人形峠環境技術センターの核燃料施設から発生する解体廃棄物量の調査にあたっては、こ多くの方々の協力をいただいたものであり、ここで協力していただいた全ての方々に対して感謝の意を表する。

添付

建設時の情報のない施設の建屋全体物量の積算について

建設時の情報のない施設については物量を以下の要領・手順で建家全体物量の積算を行った。

- ・コンクリート躯体各部の容量（柱容量、床容量、階段容量、梁容量、壁容量、基礎容量）のみを算出する
- ・部材断面は部材断面リストにもとづき、各部の寸法を拾い出す。
- ・コンクリート重量は各部の容量にコンクリートの比重を乗じて算出する。
- ・コンクリート種類によらず、比重は 2.2t/m^3 とする。
- ・鉄筋重量は内訳書から算出した施設のコンクリート容積と鉄筋重量の関係グラフ（付図 参照）の近似式を用いて算出する。
- ・独立基礎と基礎梁との交差部の重なりは原則として無視する。
- ・階段、細かな凹凸繰返し等の躯体部容積は、段差等の寸法を平均化して算定する。
- ・曲面部位は設計図書図面の部位位置による概略寸法とする。
- ・ダクトスペース、パイプスペース等図面から読みとれるものはするが、 $0.5\text{m} \times 0.5\text{m}$ 程度以下の開口部は原則として無視する。

また、算出の順序は以下の通りとした。

① 柱容量の算出

柱は柱断面積×階高とした。

② 床容量の算出

床寸法は外寸法とした。

床面積算定にあたっては、当該床面積から柱の断面積を引いた。その際の、容量として柱断面積×代表床厚さとし、床面の厚さの違いは無視した。

③ 階段容量の算出

階段部は厚さを均し、階段部の長さ寸法は図面からの部位位置とした。

④ 梁容量の算出

梁高は梁成から床厚を差し引いた。

梁長さは内寸とした。

⑤ 壁容量の算出

壁高および壁長さは内寸とした。

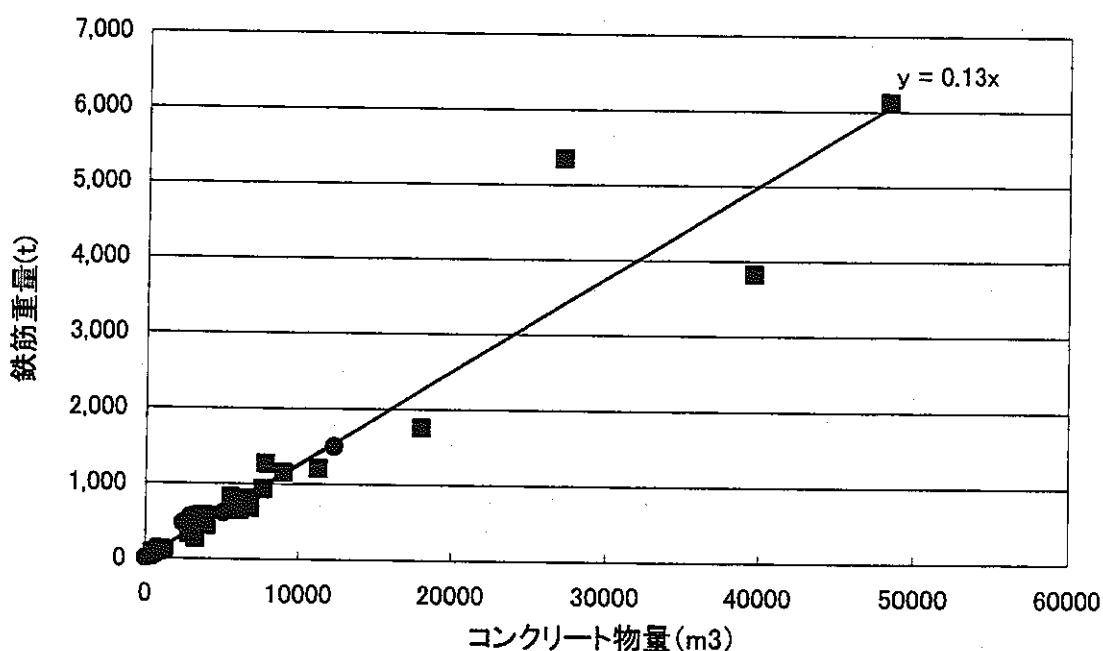
図面から読みとれる範囲の開口は考慮した。なお、寸法詳細不明の場合は、図面から部位位置で算定した。ただし、 $0.5m \times 0.5m$ 程度以下は原則として無視した。

⑥ 基礎容量の算出

耐圧版寸法は外寸法とした。

基礎梁高および長さは内寸とし、床及び耐圧版の厚さを差し引いたものとした。

杭については、計上しないこととした。



付図 鉄筋(鉄骨)コンクリート構造建屋のコンクリート物量と鉄筋重量

付録

各施設の平面図
(保安規定からの抜粋)

表1 解体廃棄物量の試算対象施設一覧

No.	事業所	施設区分	施設概要		施設の構造				備考	
			施設番号	施設名称	建家構造		延床面積 (m ²)	管理区域 延床面積 (m ²)		
					構造	階数				
1	東海	再処理施設	33	ウラン貯蔵所	再)環保部 環境管理課	鉄筋コンクリート造	平屋建	562	506	
2			34	第二ウラン貯蔵所		鉄筋コンクリート造	平屋建	2,634	2,371	
3			35	スラッシュ貯蔵場		鉄筋コンクリート造セル構造	平屋建	598	598	
4			36	廃溶媒貯蔵場		鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階	461	323	
5			37	廃棄物処理場		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下1階	5,709	5,138	
6			38	第二低放射性廃液蒸発処理施設		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下1階	688	688	
7			39	第三低放射性廃液蒸発処理施設		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下2階	2,930	2,637	
8			41	分析所		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下1階	6,454	4,518	
9			42	除染場		鉄筋コンクリート造	地上2階	1,222	733	
10			44	主排気筒		鉄筋コンクリート造	地上90m	819	819	頂部:外径3.2m、内径2.9m 最下部:外径8m
11			45	放出廃液油分除去施設		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下1階	2,851	2,281	
12			46	高放射性固体廃棄物貯蔵庫		鉄骨造		440	352	
13			47	第一低放射性固体廃棄物貯蔵場		鉄筋コンクリート造	地上5階、地下1階	11,000	8,250	
14			48	第二低放射性固体廃棄物貯蔵場		鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階	3,660	3,294	
15			49	第二スラッシュ貯蔵場		鉄筋コンクリート造	地上2階、地下2階	1,062	743	
16			50	アスファルト固化処理施設		鉄筋コンクリート造	地上4階、地下2階	4,031	3,829	
17			51	アスファルト固化体貯蔵施設		鉄筋コンクリート造	地上1階、地下1階	5,708	5,423	
18			52	第1付属排気筒		鉄筋コンクリート造	地上90m	678	678	頂部:外径2.8m、内径2.4m 最下部:外径7.6m
19			53	プルトニウム転換技術開発施設		鉄筋コンクリート造	地上4階、地下1階	5,214	4,171	
20			81	ウラン脱硝施設		鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	地上3階、地下1階	1,794	1,249	

*:調査実施部署は調査当時の課・Gr名称である

表1 解体廃棄物量の試算対象施設一覧

No.	事業所	施設区分	施設概要		施設の構造			備考	
			施設番号	施設名称	調査実施部署*	建家構造		管理区域 延床面積 (m ²)	
						構造	階数		
21	東海	再処理施設	86	廃溶媒処理技術開発施設	再)環保部 環境管理課	鉄筋コンクリート造	地上3階、地下2階	2,378	建築面積:518.804m ²
22			89	高放射性廃液貯蔵場		鉄筋コンクリート造	地上4階、地下1階		4,285
23			90	クリプトン回収技術開発施設		鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階		3,307
24			94	第二アスファルト固化体貯蔵施設		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下1階		14,440
25			95	第二高放射性固体廃棄物貯蔵場		鉄筋コンクリート造	地上3階、地下2階		5,259
26			96	第三ウラン貯蔵所		鉄骨・鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨構造)	地上2階		建築面積:1384.558m ²
27			97	焼却施設		鉄筋コンクリート造	地上5階、地下1階		
28			97	ガラス固化技術開発施設		鉄骨・鉄筋コンクリート造	地上3階、地下2階		9,219
29			98	第2付属排気筒		鋼製	地上90m		678 頂部:外径2.8m最下部:外径6.4m 地下部:RC造
30		使用施設 (Pu,U使用施設)	23	高レベル放射性物質研究施設	環)先進部 先進再処理Gr	鉄筋コンクリート造	地上3階、地下1階	7,310	5,200
31			59	プルトニウム廃棄物貯蔵施設		鉄筋・鉄骨造		1,782	1,578
32			61	プルトニウム燃料第1開発室		鉄筋コンクリート造		2,990	2,051
33			62	プルトニウム燃料第2開発室		鉄筋コンクリート造		6,000	4,990
34			66	屋外固体廃棄物貯蔵庫(17棟)		鉄骨スレート造	平屋建	1,212	1,212
35			82	プルトニウム燃料第3開発室		鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階		29,790
36			83	プルトニウム廃棄物処理開発施設		鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階	7,200	5,200
37			101	第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設				16,679	13,007
38	使用施設 (U使用施設)	8	焼却施設	環)環保部 環境保全課	鉄骨ALC板貼り	地上2階	335	285	
39		A棟	鉄筋コンクリート造		平屋建	2,358	964		
40		20							
			A棟第二機械室						

*:調査実施部署は調査当時の課・Gr名称である

表1 解体廃棄物量の試算対象施設一覧

No	事業所	施設区分	施設概要		施設の構造			備考	
			施設番号	施設名称	調査実施部署*	建家構造		管理区域 延床面積 (m ²)	
						構造	階数		
41	東海	使用施設 (U)使用施設	29	廃棄物屋外貯蔵ピット	(環)環保部 環境保全課			1,300	1,300
42			30	第1廃棄物倉庫		鉄骨スレート造	平屋建	140	140
43			54	第2~6廃棄物倉庫		鉄骨スレート造	平屋建	380	380
44			65	燃料製造機器試験室	Pu)環保部 環境管理課			515	420
45			66	ウラン貯蔵庫	(環)環保部 環境保全課				
46			69	中央廃水処理場		鉄骨造軽量気泡コンクリート板張り	平屋建	50	33
47			71	G棟付属試験室(H棟)	(環)環保部 機器開発Gr			1,270	1,160
48			72	J棟	(環)環保部 環境保全課	鉄筋コンクリート造	地上2階	4,040	2,860
49			73	L棟	(環)環保部 技術開発Gr			4,607	2,432
50			75	東海事業所第2ウラン貯蔵庫	(環)環保部 環境保全課	鉄骨ALC造	平屋建	300	250
51			76	廃水処理室		鉄骨ALC造	地上2階	160	123
52			77	廃油保管庫		コンクリートブロック積	平屋建	96	80
53			78	M棟(第2ウラン廃棄物処理施設)		鉄筋コンクリート造	地上2階	957	620
54			78	ウラン系廃棄物貯蔵施設		鉄骨スレート造	地上2階	3,040	2,770
55			80	洗濯場		鉄筋コンクリート造	地上2階	600	410
56	使用施設等	安全管理棟	12	安全管理棟	安全管理部 放射線監視課			3,073	440
57			18	応用試験棟	(環)先進部 機器開発Gr	鉄筋コンクリート造	地上4階、地下1階	3,293	1,634
58		B棟	21		(環)先進部 先進再処理Gr	鉄筋コンクリート造	地上2階	901	568
59				廃棄物一時保管庫A, B		鉄骨スレート造	平屋建	20	20 Bの管理区域面積は23m ²
60		安全管理別棟(F棟)	22	安全管理別棟(F棟)	安全管理部 放管1課			765	254

*:調査実施部署は調査当時の課・Gr名称である

表1 解体廃棄物量の試算対象施設一覧

No.	事業所	施設区分	施設概要		施設の構造			備考
			施設番号	施設名称	調査実施部署*	建家構造	延床面積(m ²)	
構造	階数							
61	東海	使用施設等	91	計測機器校正室	安全管理部 線量計測課		1,270	400
62			102	地層処分放射化学研究施設	(環)処分部 放射化学研究Gr	鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階	3,553	2,166
63	人形峠	使用施設	4	開発試験棟	環境保全技術開発部 環境保全課	鉄筋コンクリート 地上2階	1,800	1,400
64			9	廃棄物保管庫		鉄筋コンクリート 平屋建	240	240
65			10,11 43~ 52	第1~14廃棄物貯蔵庫				
66			12	廃油貯蔵庫		鉄筋コンクリート 平屋建	40	40
67			15	製鍊施設(解体物管理施設)		鉄筋コンクリート 平屋建	1,300	1,000
68			22	濃縮工学施設(OP-1)	施設管理部 保守課	鉄筋コンクリート	16,913	13,080
69			23	濃縮工学施設(OP-2)				
70			24	濃縮工学試験第1ウラン貯蔵庫			1,023	868
71			25	濃縮工学試験第2ウラン貯蔵庫			1,169	1,048
72			27	製鍊転換施設	施設管理部 転換施設運転課	鉄筋コンクリート 地上3階	11,420	7,320
73			30	廃棄物焼却施設	工務課	鉄筋コンクリート 地上2階	608	375
74				UF6貯蔵庫 (廃棄物ドラム缶検査建屋)	環境保全技術開発部 環境保全課	鉄筋コンクリート 平屋建	90	90
75	加工施設	加工施設	26	濃縮工学施設廃水処理棟	施設管理部 管理課	鉄筋コンクリート	498	359
76			32	ウラン濃縮原型プラント主棟		鉄筋コンクリート	9,029	5,598
77			33	ウラン濃縮原型プラント付属棟		鉄筋コンクリート	2,420	1,767
78			34	ウラン濃縮原型プラント第2貯蔵庫				
79			38	ウラン濃縮原型プラント廃棄物貯蔵庫				
80			39	ウラン濃縮原型プラント第3貯蔵庫		鉄筋コンクリート	1,283	1,283

*:調査実施部署は調査当時の課・Gr名称である

表-2 「解体廃棄物量積算の考え方」

項目		考え方		精度	備考
対象施設		管理区域を有する全ての施設		-	
集計	材質毎	<ul style="list-style-type: none"> ・以下に示す材質毎に分類し集計する 金属：鉄、SUS、鉛、アルミ、銅（合金を含む） 非金属：耐火物、ガラス、ゴム、プラスチック 		100kg 単位とする	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋物量の集計は環境計画課が実施する ・内装機器の集計は各センターが実施する
	処分区区分毎	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の処分区区分に準じて分類し集計する 		100kg 単位とする	
項目		調査対象	調査範囲	積算の考え方	備考
建屋物量	放射性廃棄物	コンクリート物量		[管理区域表面積] × [はつり厚]	<ul style="list-style-type: none"> ・計画課から一括外注により実施する ・各センターは図面類、工事積算書を開示する
		鉄筋・鉄骨物量		工事積算書を調査	
	非放射性廃棄物	コンクリート物量		<ul style="list-style-type: none"> ・工事積算書からコンクリート使用量を調査 ・[コンクリート使用量]-[放射性コンクリート量] 	
内装機器	管理区域内	工程機器設備	設工認申請書レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には製作図面等に基づき重量等を調査する（精度は 10kg 単位） ・合理的な方法による積算が可能であれば製作図面等を調査する必要なし ・合理的な方法の例としては <ul style="list-style-type: none"> 仕様が類似の場合：単機の重量×数量 グレーブ：代表口径×総延長距離×比重 配管、電源・制御ケーブルなど： 部屋をグリーピングし、その中で代表的な部屋についてのみ詳細に調査。 その他の部屋は代表的な部屋との容積比から積算するなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・付属機器、サードパーティ類は本体に含めても可 ・設工認資料に記載されていない大型設備は、現場調査により物量を試算する
		機械設備			
		配管設備			
		計装設備			
		換気設備 (フィルタ設備を含む)			
		分析設備			
		電気設備			
		放射線管理設備			
		遮へい設備			
		ラニング・トイ			
		その他		必要に応じて調査する	・エレベーター、手摺、グレーピング、消防設備 等
	内装仕上げ材	完成図書レベル	内装仕上げ表を調査する		・内装仕上げ材：床材、天井・壁ボードを指す

表～3 構造材等の単位重量一覧

構造材等の種類	構造材名称	単位重量	備考
構造材 コンクリート	—	2.2t/m ³ *1	塗装仕上げ、モルタル金鑄仕上げも含む。
鉄筋・鉄骨	—	-	
内装仕上げ材 金属(鉄)	カーボンスチール	ライニング	- ライニング、ドリップトレイ重量は考慮しない。
		グレーチング	995×300×44mmのサイズで26.8kgfを基準として算出。面積比で約90kgf/m ² 。
		テッキプレート	t=1.2で15kgf/m ² 、t=1.6で20kgf/m ² 。JIS G 3352カタログより。
		キーストンプレート	t=0.8で9kgf/m ² 、t=1.0で11kgf/m ² 。JIS G 3352カタログより。
		チェックカープレート	t=3.2で25kgf/m ² 、t=4.0で31.3kgf/m ² 。鉄比重7.9として算出。
		カラー鉄板	t=0.6で4.7kgf/m ² 。鉄比重7.9として算出。
		スチールパーティション	一面の重量=表面材7kgf/m ² +心材5kgf/m ²
		折版	t=1.2で18kgf/m ² 。荷重指針より。
	SUS	ライニング	-
セメント系	押出成形セメント板	66kg/m ² ~	t=50で66kgf/m ² 。荷重指針より。
	PC板	240kg/m ² ~	t=150で300kgf/m ² 。荷重指針より。
	ALC板	110kg/m ² ~	A種(t=100で110kgf/m ² 、t=150で197kgf/m ²)、B種t=190で307kgf/m ² 。荷重指針より。
	コンクリートブロック	65kg/m ² ~	t=100で65kgf/m ² 。荷重指針より
	タイル	18kg/m ² ~	陶器18kgf/m ² 、せっ器22kgf/m ² 、磁器23kgf/m ² 。目地幅考慮せず。カタログより。
	テラゾーブロック	81kg/m ² ~	人造石。t=30で81kgf/m ² 。
アスペクト系	スレート	12kg/m ²	t=6.3で12kgf/m ² 。波形石綿スレート。
	ケイカル板	5kg/m ² ~	t=10で8kgf/m ² 。主成分はケイ酸カルシウム
	石綿セメント	6.4kg/m ² ~	t=10で16kgf/m ² 。t=4~12まで。ケイ酸塩鉱物
	フレキシブル板	"	普通、軟質、平板があるが、すべて普通とした。
ボード系	石膏ボード		難燃1級。荷重指針より。主成分は硫酸カルシウム
	吸音テックス		難燃1級。荷重指針より。
	グラスウールボード	8kg/m ² ~	石膏ボードでグラスウールを挟んだもの(分離不可)
	木毛セメント板	6kg/m ² ~	難燃木毛セメント。荷重指針より。
塩ビ系	塩ビ	シート	t=2で3kgf/m ² 。荷重指針より。商品名:ロンリウム、リノリウム
		タイル	
		巾木	
	合成樹脂	タイル	3kg/m ² ~ 商品名:Pタイル
	アクリル板		
	アスファルトタイル		
ガラス系	MASTIPAVE		
	岩綿吸音板	4.0kg/m ² ~	t=12で4kgf/m ² 。荷重指針より。
	グラスウール	0.12kg/m ² ~	t=50で0.24kgf/m ² 。荷重指針より。
	断熱材		グラスウールとした(ロックウールを含む)
	ガラスクロス	1kg/m ² ~	

*1: コンクリートのみ単位容積重量

※コンクリートとセメント系の分類は、剥離するか一体で解体するかで区別する。

表-4 廃棄物の区分について

材質	発生区域	廃棄物発生部位等		区分	備考	
コンクリート	セル	セル内	金属ライングなし	表面剥離部位 上記以外の部位	① ③	
			金属ライングあり	金属ライングの裏側部位	③	
	セル以外の管理区域	汚染履歴のある区域 (エリアI)	床材なし	表面剥離部位 上記以外の部位	① ③	
			床材あり	床材の裏側部	③	
		汚染履歴のない区域 (エリアII)	床材なし	表面剥離部位 上記以外の部位	② ③	
			床材あり	床材の裏側部	③	
	非管理区				③	
金属類 (鉛を除く)	セル	プロセス機器類	放射性物質との接触あり	放射能レベルの高い物質 放射能レベルの比較的高い物質 放射能レベルの低い物質	① ① ①	
			放射性物質との接触なし		①	
		プロセス配管設備	放射性物質との接触あり	放射能レベルの高い物質 放射能レベルの比較的高い物質 放射能レベルの低い物質	① ① ①	
			放射性物質との接触なし		①	
		換気設備	ライング		①	
			遮へい扉		②	
			連屋・セル換気系	給気系ダクト 排気系ダクト	② ①	
			槽類換気系	ファン、フィルタ系	②	
				フィルタ系はケーシング部のみ		
				槽類換気系	* 配管等を参考に取扱う物質により①～③に区分	
	セル以外の管理区域	プロセス機器類	放射性物質との接触あり	放射能レベルの比較的高い物質 放射能レベルの低い物質 放射能レベルの極めて低い物質	① ① ①	
			放射性物質との接触なし		②	
		プロセス配管設備	放射性流体取扱い配管類	放射能レベルの比較的高い流体 放射能レベルの低い流体 放射能レベルの極めて低い流体	① ① ①	
			非放射性流体取扱い配管類		②	
		換気設備	ライング		②	
			連屋・セル換気系	給気系ダクト 排気系ダクト	③ ①	
			槽類換気系	ファン、フィルタ系(排気系)	②	
				フィルタ系はケーシング部のみ		
		排水設備 (配管とその関連設備)	放射性流体取扱い配管類	槽類換気系	* 配管等を参考に取扱う物質により②～⑤に区分	
			放射性流体取扱い配管類	放射能レベルの低い流体 放射能レベルの極めて低い流体	① ①	
			非放射性流体取扱い配管類		③	
鉛ガラス	セル	ユーティリティ設備(電気・圧空等の配管とその関連設備) 放管設備 配管サポート・ダクトサポート・架台・クレーティング等	ヨウトイリティ設備(電気・圧空等の配管とその関連設備)		①	
			放管設備		②	
			配管サポート・ダクトサポート・架台・クレーティング等		②	
			ヨウトイリティ設備(電気・圧空等の配管とその関連設備)	エリアI	②	
			放管設備	エリアII	③	
	セル以外の管理区域	制御盤等 分析装置 放管設備 配管サポート・ダクトサポート・架台・クレーティング等	制御盤等	エリアI	②	
			分析装置	エリアII	③	
			放管設備	サンプリングベンチ、 気送管 伝票用	* 配管等を参考に取扱う物質により②～⑤に区分	
			配管サポート・ダクトサポート・架台・クレーティング等	エリアI エリアII	① ②	
			カバーガラス		①	
鉛	セル	内面 上記以外	その他		②	
					③	
プラスチック類	セル以外の管理区域	グローブボックス	アクリル板		①	
			遮蔽体(含鉛アクリルを含む)		②	
			クローフ等		①	
		配管、塔槽類	放射性流体取扱い配管類			
			非放射性流体取扱い配管類		* 金属製プロセス配管と同じ区分	
	セル	不燃物 (金属類、鉛を除く)	保温材等	エリアI エリアII	② ③	
			放射性物質と接触あり	汚染部位	①	
				上記以外の部位	② 汚染部位と分離したものを含む	
			放射性物質との接觸なし		②	
			放射性物質と接觸あり	汚染部位	①	
	セル以外の管理区域			上記以外の部位	② 汚染部位と分離したものを含む	
			放射性物質との接觸なし		②	

区分凡例 ①: 放射性廃棄物相当、

②: クリーンルーム以下の中の廃棄物相当(放射性廃棄物として扱う必要のない廃棄物)、

③: 放射性廃棄物でない廃棄物

表一 5 廃棄物区分分類例

主な内容物	区分分類				備考		
	小分類	中分類	大分類	区分			
紙	紙類						
布類(ウエス)	布類						
木材	木材類						
難燃ペニア							
皮革	皮革製品	可燃物	可燃物		非金属類		
酢ビシート	酢ビ製品						
ポリエチレン容器							
ボリシート	ボリ製品						
ボリバイアル							
プラスチック製品	プラスチック製品						
グローブ ポックス用グローブ							
Oリング							
ゴムシート							
ゴムホース	ゴム製品	ゴム類					
耐圧ホース							
ミニフレーターツ							
その他ゴム製品							
アクリル材(含鉛アクリルを含む)	アクリル製品	アクリル					
PVCパック							
ビニルパック							
ビニルチューブ							
その他のビニル製品	ビニル製品	塩ビ類	難燃物	金属類	金属類		
塩ビシート							
塩ビ管							
リノリウム、ロンリウム							
ウレタン類							
発泡スチロール	断熱材・保温材	ウレタン等					
保温材							
断熱材							
テフロン							
シリコンチューブ	樹脂	樹脂					
FRP							
タンク・配管・ダクト・継手	塔槽・配管						
炭素鋼	炭素鋼	炭素鋼等	鐵類				
アングル							
廃棄造心機							
SUS鋼	SUS	SUS					
銅(真鍮等銅合金を含む)	銅	銅類	非鉄類				
電線(被覆無)							
鉛(鉛合金を含む)	鉛	鉛類					
アルミ材(アルミ合金を含む)	アルミ	アルミ類					
金属性廃棄機器及び部品				非金属類	非金属類		
天秤							
ミキサセトラ関連機器	機器・装置	装置類	装置類				
電気製品							
ミニフレーターハンド							
ポンプ							
冷却水ポンプ	ポンプ						
真空ポンプ							
電源盤、分電盤、操作盤 等	盤類	盤類	盤類				
コンクリート	コンクリート						
土砂	土砂	土砂・コンクリート					
耐火物・レンガ	耐火物	耐火物		不燃物	不燃物		
ガラス(鉛ガラスを含む)							
ガラス容器	ガラス製品	ガラス					
光ファイバー							
ガラスパイアル							
ガスケット	ガスケット						
グランツ・ハッキン							
電線(被覆有)	ケーブル類	ケーブル類					
セラミック	セラミック製品						
陶器							
木枠フィルタ				その他	その他		
HEPAフィルタ	フィルタ						
金枠フィルタ							
枠無フィルタ							
フレフィルタ							

表-6 構造材等の種類と材質区分の関係

構造材等の種類	構造材名称		材質区分	備考
構 造 材	コンクリート	—	コンクリート類	
	鉄筋・鉄骨	—	炭素鋼	
内 装 仕 上 げ 材	金 屬 (鉄)	カーボンスチール	ライニング	
			グレーチング	
			デッキプレート	
			キーストンプレート	
			チエッカープレート	
			カラー鉄板	
			スチールパーテイション	
		折版		
	SUS	ライニング	SUS	
	セ メ ント 系	押出成形セメント板		
		PC板		
		ALC板		
		コンクリートブロック		
		タイル		陶磁器製
		テラゾーブロック		人造石
	ア ス ベ ス ト 系	スレート		
		ケイカル板		主成分はケイ酸カルシウム
		石綿セメント		ケイ酸塩鉱物
		フレキシブル板		成分は石綿セメント板と同じ
	ボ ー ド 系	石膏ボード		
		吸音テックス		主成分は硫酸カルシウム
		グラスウールボード		
		木毛セメント板		石膏ボードでグラスウールを挟んだもの(分離不可)
	塩 ビ 系	塩ビ	シート	商品名:ロンリウム、リノリウム
			タイル	
			巾木	
		合成樹脂	タイル	商品名:Pタイル
		アクリル板		
		アスファルトタイル		
		MASTIPAVE		
	ガ ラ ス 系	岩綿吸音板		
		グラスウール		
		断熱材		
		ガラスクロス		ロックウールを含む

表-7 施設一覧表

事業所	施設区分		施設名称			
東海事業所	再処理施設	プロセス施設	スラッジ貯蔵所	第二スラッジ貯蔵場		
			廃溶媒貯蔵場			
			廃棄物処理場			
			第二低放射性廃液蒸発処理施設	第三低放射性廃液蒸発処理施設		
			分析所			
			除染場			
			分離精製工場			
			放出廃液油分除去施設			
			アスファルト固化処理施設			
			Pu転換技術開発施設			
			ウラン脱硝施設			
			廃溶媒処理技術開発施設			
			高放射性廃液貯蔵場			
			クリプトン回収技術開発施設			
		貯蔵施設	焼却施設			
			ガラス固化技術開発施設			
	貯蔵施設	ウラン貯蔵所	ウラン貯蔵所	第二ウラン貯蔵所	第三ウラン貯蔵所	
			高放射性固体廃棄物貯蔵庫	第二高放射性固体廃棄物貯蔵場		
			第一低放射性固体廃棄物貯蔵施設	第二低放射性固体廃棄物貯蔵施設		
		アスファルト固化体貯蔵施設	アスファルト固化体貯蔵施設	第二アスファルト固化体貯蔵施設		
	排気筒他		主排気筒	第1付属排気筒	第二付属排気筒	
			海洋放出管			
	使用施設 (プルトニウム取扱施設)	第一開発室	第二開発室	第三開発室		
		PWTF				
	貯蔵施設	PWSF 17棟	PWSF	第二PWSF		
人形峠環境技術センター	使用施設 (ウラン取扱施設)	プロセス施設 試験施設	A棟			
			中央排水処理場			
			焼却施設			
			モックアップ室			
			G棟	G棟付属試験室		
			J棟			
			L棟			
			廃水処理室			
			M棟(第二ウラン廃棄物処理施設;UWTF)			
		貯蔵施設	廃棄物屋外貯蔵ピット			
			第一廃棄物倉庫	第二～第六廃棄物倉庫		
			ウラン系廃棄物貯蔵施設(UWSF)			
			ウラン貯蔵庫			
			東海事業所第二ウラン貯蔵庫			
	使用施設 (その他の施設)	試験施設	廃油保管庫			
			安全管理棟			
			応用試験棟			
			B棟			
			安全管理別棟(F棟)			
			洗濯場			
			高レベル放射性物質研究施設(CPF)			
	加工施設	プロセス施設	計測機器校正施設			
			地層処分放射化学研究施設			
	使用施設	プロセス施設 試験施設	廃水処理棟			
			ウラン濃縮原型プラント主棟、付属等			
			開発試験棟			
			濃縮工学施設			
	加工施設 使用施設	貯蔵施設	製鍊転換施設			
			廃棄物焼却施設			
			廃棄物保管庫			
			第1～第14廃棄物貯蔵庫			
			DP廃棄物貯蔵庫			
			廃油貯蔵庫			
			解体物管理施設(旧転換施設)			
			第1ウラン貯蔵庫	第2ウラン貯蔵庫		
			濃縮ウラン原型プラント第2、第3貯蔵庫			
			UF6貯蔵庫(廃棄物ドラム缶検査建家)			

表-8 区別内装機器等の物量

事業所	施設区分	物量(ト)																		備考	
		金属類			不燃物						可燃物			難燃物						計	
		貯蔵庫等、S13, 711, 炉、鋼、電炉、鋳、鋳鋼等			コンクリート			その他(耐火物 他)			紙、布類、紡ビ、アクリル等			塗ビ			その他(ゴム類 他)				
東海事業所	再処理施設	プロセス施設	8,160	5,996	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,156	
		貯蔵施設	812	1,835	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,647	
		その他の施設	267	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	268	
	再処理 小計		9,239	7,832	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17,071	
	Pu取扱施設	プロセス施設	4,347	3,835	1,416	0	146	0	23	17	21	454	38	2	69	14	5	5	0	-	10,391
		貯蔵施設	-	-	557	-	-	0	-	-	1	2	-	1	-	-	0	-	-	561	
	Pu取扱施設 小計		4,347	3,835	1,973	0	146	0	23	17	22	455	38	3	69	14	6	5	0	-	10,952
	U取扱施設	プロセス施設・試験施設	470	217	216	-	64	8	6	9	1	8	8	1	10	2	0	0	4	0	1,022
		貯蔵施設	5	106	524	-	3	-	-	-	3	0	-	-	0	-	-	0	-	-	642
	U取扱施設 小計		475	323	740	-	68	8	6	9	4	8	8	1	10	2	0	0	4	0	1,663
	その他	試験施設	595	447	140	115	9	-	13	25	0	2	9	2	10	2	0	1	1	-	1,371
東海 合計			14,656	12,437	2,853	115	223	8	41	50	26	465	55	6	89	18	6	6	4	0	31,058
人形環境技術	加工施設	プロセス施設	5,403	-	210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	5,614
	使用施設	プロセス施設・試験施設	2,291	34	3,607	-	-	-	-	-	-	0	-	-	1	0	4	34	0	20	5,991
	加工施設・使用施設	貯蔵施設	33	5	80	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	118	
	人形環境計		7,728	39	3,897	-	-	-	0	-	-	0	-	-	1	0	4	34	0	20	11,723
合計			22,384	12,476	6,750	115	223	8	41	50	26	465	55	6	90	18	10	40	5	20	42,782

表-9 内装物量詳細積算結果(施設別) 一覧

表-10 使用資材集計表

事業所	施設区分	延床面積		資材使用量				備考
		全体 (m ²)	管理区域 (m ²)	コンクリート		鉄筋	鉄骨	
				m ³	トン	トン	トン	
東海事業所	再処理施設	プロセス施設	59,325	43,484	144,949	318,889	18,057	1,594
		貯蔵施設	48,910	37,843	118,514	260,731	16,611	1,935
		その他の施設	-	-	7,854	17,279	1,045	156
	再処理 小計		108,235	81,327	271,317	596,898	35,714	3,685
	使用施設	Pu取扱施設	プロセス施設	59,568	47,660	107,305	236,071	10,226
			貯蔵施設	19,775	15,786	29,110	64,043	3,374
		Pu取扱施設 小計		79,342	63,445	136,415	300,114	13,599
	U取扱施設	プロセス施設・試験施設	14,508	8,688	10,645	23,749	861	511
			貯蔵施設	7,550	6,801	4,570	10,308	378
		U取扱施設 小計		22,058	15,489	15,215	34,057	1,239
	その他	試験施設		17,335	10,247	21,863	50,460	2,651
	東海 合計			226,970	170,508	444,811	981,529	53,203
人形 セシ 環境 技術	加工施設	プロセス施設	11,957	8,559	12,302	27,064	817	1,376
	使用施設	プロセス施設・試験施設	30,695	17,404	22,761	50,074	2,301	2,416
	加工施設・使用施設	貯蔵施設	11,057	9,832	5,703	12,546	613	1,034
	人形計			53,709	35,795	40,766	89,685	3,731
合計			280,680	206,303	485,576	1,071,214	56,934	14,719

表-11 区別構造材・内装仕上材の物量

事業所	施設区分	物量(ト)																計	備考		
		金属類			不燃物						可燃物			難燃物							
		鉄骨、ゲーリング、 ガーメンテーション等		放射性	クリアランス相当	非放射性	コンクリート類 (コンクリートモルタル、ALC板、成形セメント板、 コンクリートパネル、PC板、避器・陶器・陶器類等)		その他 (石綿含有の仕上材・石膏主体の仕上材及びガラス、断熱材、ガラス繊維等)		放射性	クリアランス相当	非放射性	放射性	クリアランス相当	非放射性	放射性	クリアランス相当	非放射性		
東海事業所	再処理施設	プロセス施設	-	275	18	-	3,098	335,544	-	10	17	-	-	-	53	11	-	-	-	339,025	
		貯蔵施設	-	139	354	-	1,075	278,098	-	2	5	-	-	-	19	5	-	-	-	279,697	
		その他の施設	-	156	-	-	30	18,294	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18,480	
		再処理 小計	-	570	372	-	4,202	631,936	-	12	23	-	-	-	72	16	-	-	-	637,203	
	Pu取扱施設	プロセス施設	-	33	8	-	1,799	246,880	-	27	31	-	-	-	13	10	-	-	-	248,801	
		貯蔵施設	-	-	443	-	-	70,194	-	-	142	-	-	-	-	1	-	-	-	-	70,780
		Pu取扱施設 小計	-	33	451	-	1,799	317,074	-	27	173	-	-	-	13	11	-	-	-	319,582	
	U取扱施設	プロセス施設・試験施設	-	457	79	-	802	24,387	-	35	2	-	-	-	14	1	-	-	-	25,778	
		貯蔵施設	-	76	604	-	103	10,625	-	26	28	-	-	-	0	-	-	-	-	11,461	
		U取扱施設 小計	-	534	683	-	904	35,012	-	61	30	-	-	-	14	1	-	-	-	37,239	
		その他 試験施設	-	379	78	-	708	52,793	-	37	4	-	-	-	7	3	-	-	-	54,009	
	東海 合計		-	1,515	1,584	-	7,614	1,036,816	-	137	230	-	-	-	107	31	-	-	-	1,048,032	
人形 センタ 環境 技術	加工施設	プロセス施設	-	1,032	500	-	1,021	28,548	-	3	-	-	-	-	0	-	-	-	-	31,104	
	使用施設	プロセス施設・試験施設	-	2,453	59	-	626	51,808	-	66	-	-	-	-	8	-	-	-	-	55,020	
	加工施設・使用施設 貯蔵施設	貯蔵施設	-	540	613	-	414	12,990	-	18	-	-	-	-	0	-	-	-	-	14,575	
	人形 総計		-	4,026	1,172	-	2,061	93,346	-	87	-	-	-	-	8	-	-	-	-	100,699	
合計		-	5,541	2,756	-	9,674	1,130,161	-	223	230	-	-	-	-	115	31	-	-	-	1,148,731	

表-12 構造材・内装仕上材の物量詳細積算結果(施設別)一覧

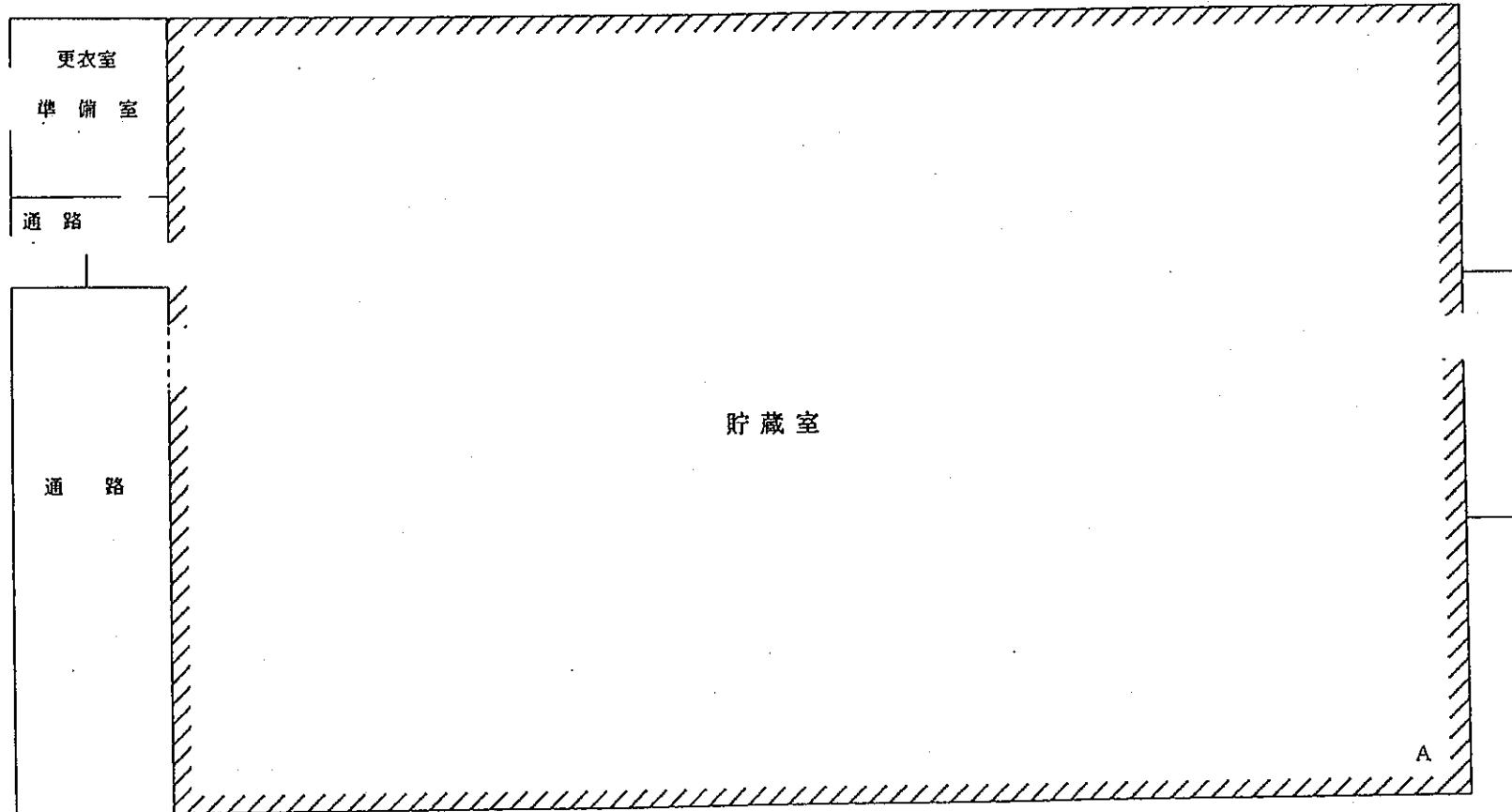
施設区分	施設概要	施設名	構造材												内装仕上材												備考
			コンクリート			金属(鉄筋・鉄骨等)			鉄系 (グレーティング、スチールバー・ティン等)			セメント系 (ALC板、成形セメント板、エクソブロック、PC板、珪藻・陶芸質タイル等)			アスペクト系 (石膏合板の仕上材)			ボード系 (石膏を主とした仕上材)			塗装系 (セラミック、断熱材、ガラスセラミック等)						
			クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	一般	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	一般	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	計	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)	クリアランスレベル (エリアI)	非放射性 (エリアII)				
第一種	33.フラン貯蔵所	-	16.7	1,053	-	31.4	39.8	39.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
34.第二フラン貯蔵所	-	50.9	8,711.7	-	-	436.0	436.0	-	-	31.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
35.スラッシュ貯蔵所	-	28.6	3,121.0	-	-	1,426	1,426	-	-	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-		
36.混合保管貯蔵場	18.8	1.2	2,433.7	-	-	116.0	116.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.1	0.0	-	-	-	-		
37.廃棄物処理場	204.6	28.2	16,788.1	-	-	925.0	825.0	-	-	-	-	0.3	-	0.7	-	-	-	-	1.7	0.4	-	-	-	-	-		
38.第一低放射性廃液系発電施設	29.5	10.6	1,783.3	-	-	95.0	95.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
39.第二低放射性廃液系発電施設	88.2	12.4	6,573.5	-	-	522.2	552.2	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	0.8	0.5	0.5	-	-	-		
41.分析所	182.7	0.7	14,913.8	-	-	675.9	675.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.4	0.6	-	-	-	-	-		
42.検査場	49.6	3.1	2,718.3	-	-	1,075	1,075	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-	-	-		
43.分離精製工場	857.9	77.6	67,209.9	-	-	3,589.0	3,589.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	H1年度実績		
44.主排水口	15.5	-	3,566.3	-	-	182.0	182.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
45.放送装置油分離施設	82.5	12.0	12,116.7	-	-	819.0	819.0	-	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	0.3	0.6	0.4	-	-	-		
46.高放射性固体廃棄物貯蔵庫	10.0	0.6	3,555.3	94.9	-	2,141	2,141	-	0.2	0.6	114.7	143	-	0.3	-	-	-	-	1.2	0.6	-	-	-	-	-		
47.第一低放射性固体廃棄物貯蔵庫	-	426.5	25,306.3	-	-	1,756.4	1,756.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-		
48.第二低放射性固体廃棄物貯蔵庫	-	94.5	14,055.8	-	-	66.0	72.0	72.0	-	-	20.6	-	144.0	-	0.4	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	-	-	
49.第三スラッシュ貯蔵庫	28.0	-	6,950.9	-	-	456.9	456.9	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	0.1	-	0.7	-	-	-	-	-	-		
50.アスファルト固化処理施設	212.3	-	17,065.1	-	-	1,267.0	1,267.0	-	0.8	-	7.4	-	-	-	-	-	-	-	8.4	-	-	-	-	-	-		
51.アスファルト固化体貯蔵庫	262.8	20.9	49,757.3	-	-	2,248.0	2,248.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	1.7	-	-	-	-	-	-		
52.第一付属換気筒	14.0	-	10,761.6	-	-	730.6	730.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
53.Pu技術開発施設	192.3	26.2	16,565.3	37.0	-	1,106.1	1,106.1	-	22	-	-	-	-	-	1.4	2.1	0.4	-	0.5	0.9	0.5	0.7	-	-	-		
61.第一開発室	117.3	41.5	6,573.2	-	-	422.0	422.0	-	-	1.9	1.7	6.0	-	-	-	-	-	0.1	1.0	0.9	0.1	-	-	-	-		
62.第二開発室	139.0	56.6	10,584.4	22.0	-	730.0	730.0	-	-	-	-	241.9	15	182	102	0.8	-	11.3	5.7	-	-	-	-	-	-		
66.17棟	-	13.5	396.3	-	-	51.0	-	-	-	-	-	-	-	-	131.0	-	3.7	-	8.1	-	-	-	-	-	-	-	
82.第三開発室(PER+共通機+管理部)	506.4	38.1	105,457.9	-	-	6,122.6	6,122.6	-	92	23	12.2	49.7	0.4	55	0.9	8.1	-	-	2.8	-	1.1	-	-	-	-		
83.開発室(GATR)	550.0	25.4	96,664.4	-	-	3,820.0	3,820.0	-	14	-	-	-	-	-	2.0	-	3.7	-	0.9	0.3	1.8	-	0.4	-	-		
101.第二P4SF	-	520.4	59,257.0	-	-	5,338.7	5,338.7	-	-	43	-	48.2	-	-	0.6	-	3.9	0.8	25	0.4	-	-	-	-	-		
20.A棟	29.4	3.7	3,042.7	27.2	-	1,143.3	1,104.4	9.8	-	-	-	28.1	1.4	-	0.1	3.9	0.8	2.5	0.4	-	-	-	-	-	-		
25.中央排水処理場	0.4	-	54.6	1.0	-	0.5	-	0.5	-	-	-	8.2	-	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	-	-		
28.被却室	7.6	0.8	2,402	-	-	200	121	9.8	23	16	-	26.5	0.7	0.0	0.0	-	0.4	-	0.1	-	-	-	-	-	-		
29.廃棄物屋外貯蔵ビット	-	11.7	351.3	28.0	-	144	9.4	5.0	-	-	12.8	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	-	-	-	-	-		
30.第一廃棄物倉庫	1.5	-	88.5	-	-	5.0	-	-	-	-	1.8	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	-	-	-	-	-		
31.第二～第五廃棄物倉庫	21.1	-	1,185.8	-	-	63.0	-	-	-	-	24.4	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-		
65.モグラード室	7.2	0.5	330.4	20.0	-	154	11.5	3.8	-	-	15.8	0.3	1.4	0.0	19	-	0.9	0.0	-	0.1	-	-	-	-	-		
57.ラッシュ貯蔵庫	29.3	-</																									

表-13 解体物量調査結果

			物量(トス)																			
金属 金属類			不燃物						非金属						難燃物							
鉄骨、グレーチング、 スチールバー・ティショニ等			コンクリート類 (コンクリート板、ALC板、 成形セメント板、コンクリートブロック、 PC板、磁器・陶器タイル等)			その他 (石綿含有の仕上材、石膏主 体の仕上材及びグラスウール、 断熱材、ガラスロス等)			紙、布類、酢ビ アクリル等			塩ビ (塩ビ製のシート・タイル等)			その他 (ゴム類他)			計	備考			
放射性	147ラジ相	非放射性	放射性	147ラジ相	非放射性	放射性	147ラジ相	非放射性	放射性	147ラジ相	非放射性	放射性	147ラジ相	非放射性	放射性	147ラジ相	非放射性					
再処理施設	プロセス施設		8,160	6,271	18	-	3,098	335,544	-	10	17	-	-	-	-	53	11	-	-	353,181		
	貯蔵施設		812	1,974	354	-	1,075	278,098	-	2	5	-	-	-	-	19	5	-	-	282,344		
	その他の施設		287	157	-	-	30	18,294	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18,748		
	再処理 小計		9,239	8,402	372	-	4,202	631,936	-	12	23	-	-	-	-	72	16	-	-	654,274		
東海	Pu取扱施設	プロセス施設		4,347	3,868	1,423	0	1,945	246,880	23	43	52	454	38	2	69	28	16	5	0	259,193	
		貯蔵施設		-	-	1,001	-	-	70,195	-	-	143	2	-	1	-	-	1	-	-	71,341	
	Pu取扱施設 小計		4,347	3,868	2,424	0	1,945	317,074	23	43	195	455	38	3	69	28	17	5	0	330,534		
	U取扱施設	プロセス施設・試験施設		470	675	295	-	866	24,395	6	44	3	8	8	1	10	16	1	0	4	0	26,800
		貯蔵施設		5	182	1,128	-	108	10,625	-	28	31	0	-	-	0	0	-	0	-	-	12,103
人形岬	U取扱施設 小計		475	856	1,423	-	972	35,020	6	70	34	8	8	1	10	16	1	0	4	0	38,903	
	その他	試験施設		595	826	218	115	717	52,793	13	62	4	2	9	2	10	9	3	1	1	-	55,380
	東海 合計		14,658	13,952	4,436	115	7,838	1,036,824	41	187	256	465	55	6	89	125	37	6	4	0	1,079,090	
	加工施設	プロセス施設		5,403	1,032	710	-	1,021	28,548	-	3	-	-	-	-	-	0	-	0	-	36,717	
	使用施設	プロセス施設・試験施設		2,291	2,488	3,666	-	626	51,808	-	66	-	0	-	-	1	8	4	34	0	20	61,012
	加工施設・使用施設 貯蔵施設		33	545	893	-	414	12,990	0	18	-	-	-	-	-	0	-	0	-	0	14,693	
	人形岬 館		7,728	4,065	5,089	-	2,081	93,348	0	87	-	0	-	-	1	8	4	34	0	20	112,422	
	合計		22,384	18,017	9,505	115	9,897	1,130,169	41	273	256	465	55	6	90	133	41	40	5	20	1,191,513	

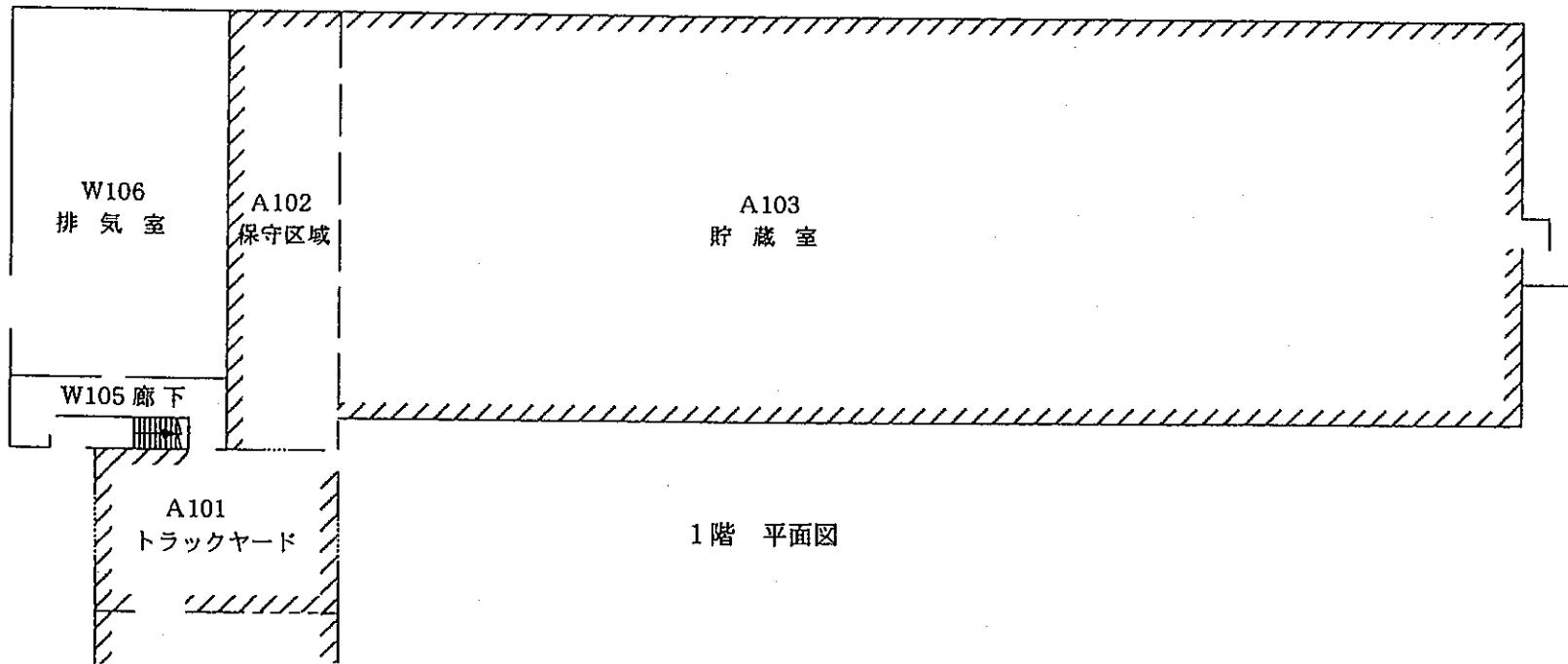
付 錄 一 1

施設の平面図
(保安規定からの抜粋)



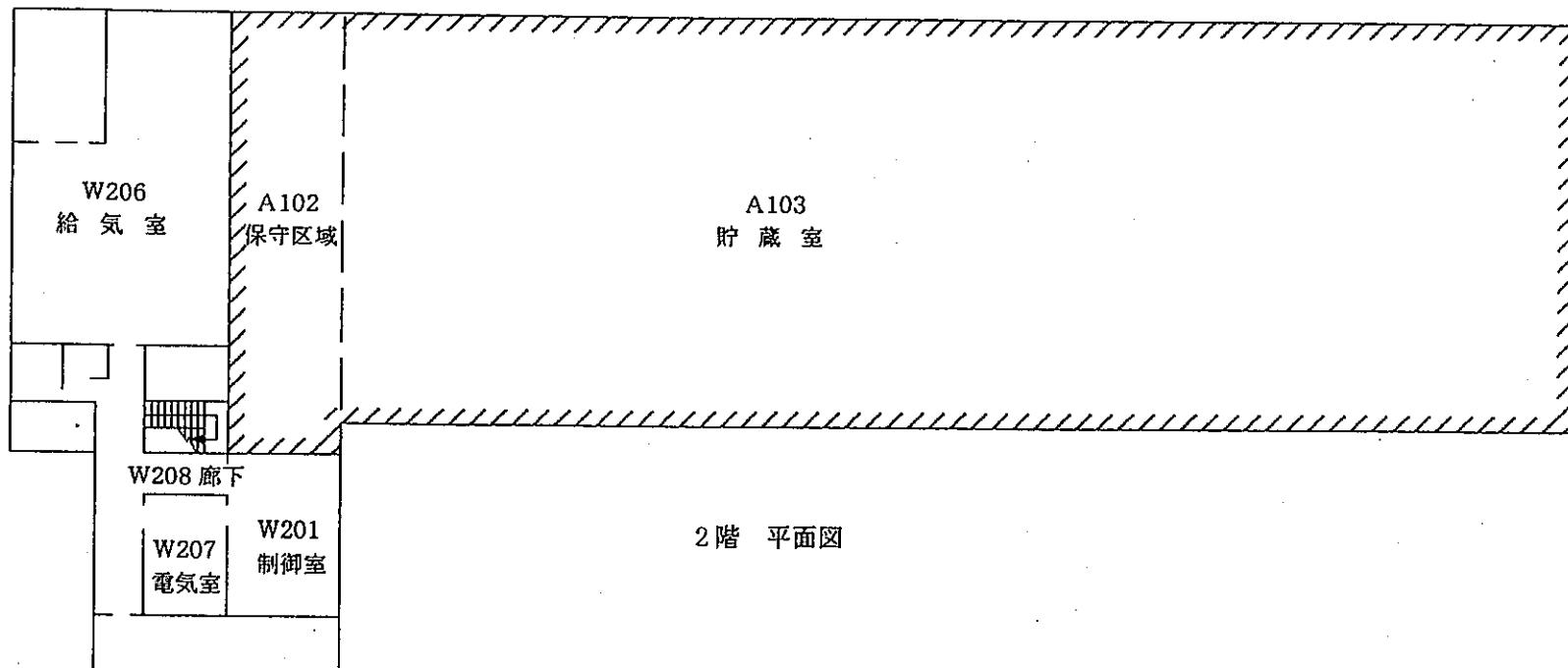
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（ウラン貯蔵所）

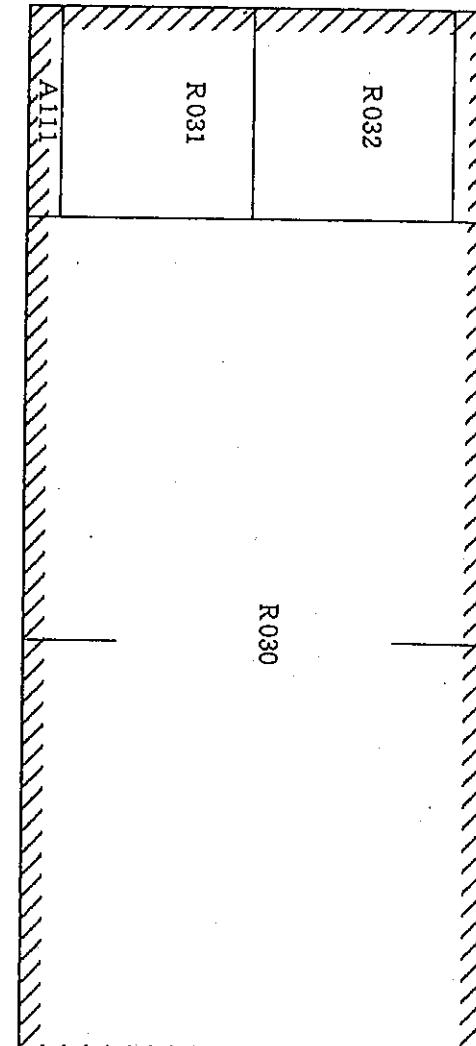


1階 平面図

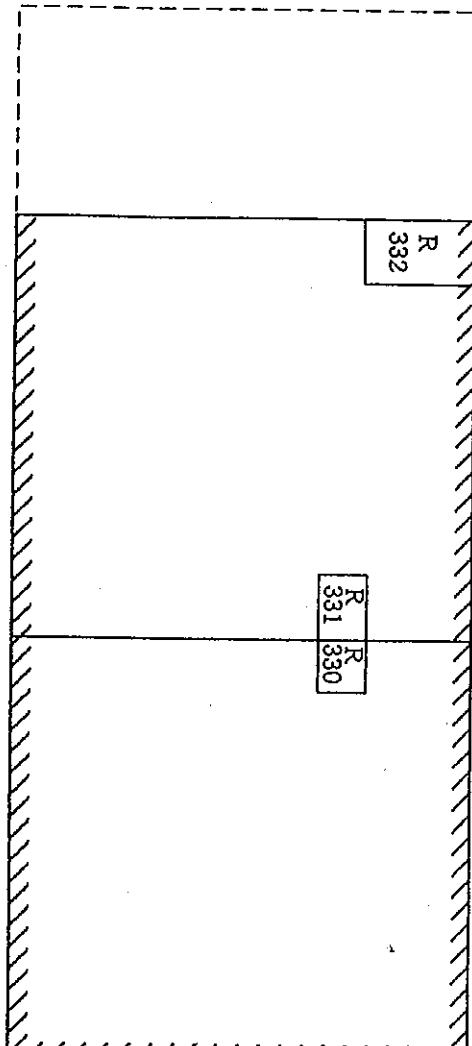
管理区域及びホワイト区域（第二ウラン貯蔵所：その1）



管理区域及びホワイト区域（第二ウラン貯蔵所：その2）

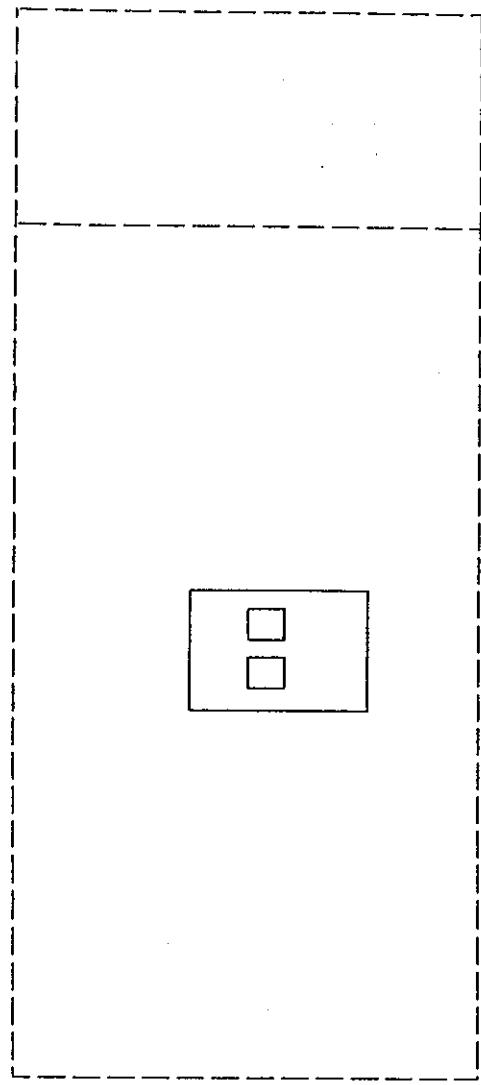


1階平面図

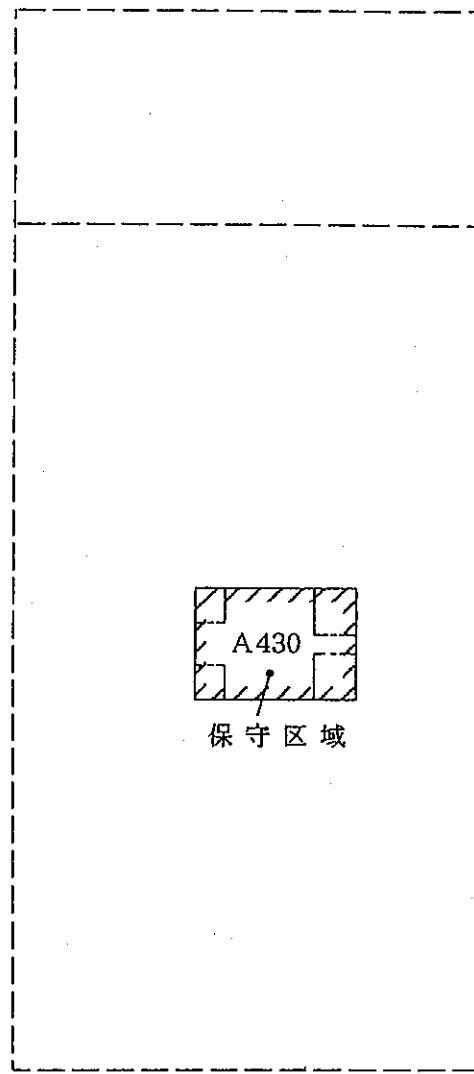


2階平面図

管理区域及びホワイト区域（スラッジ貯蔵場：その1）

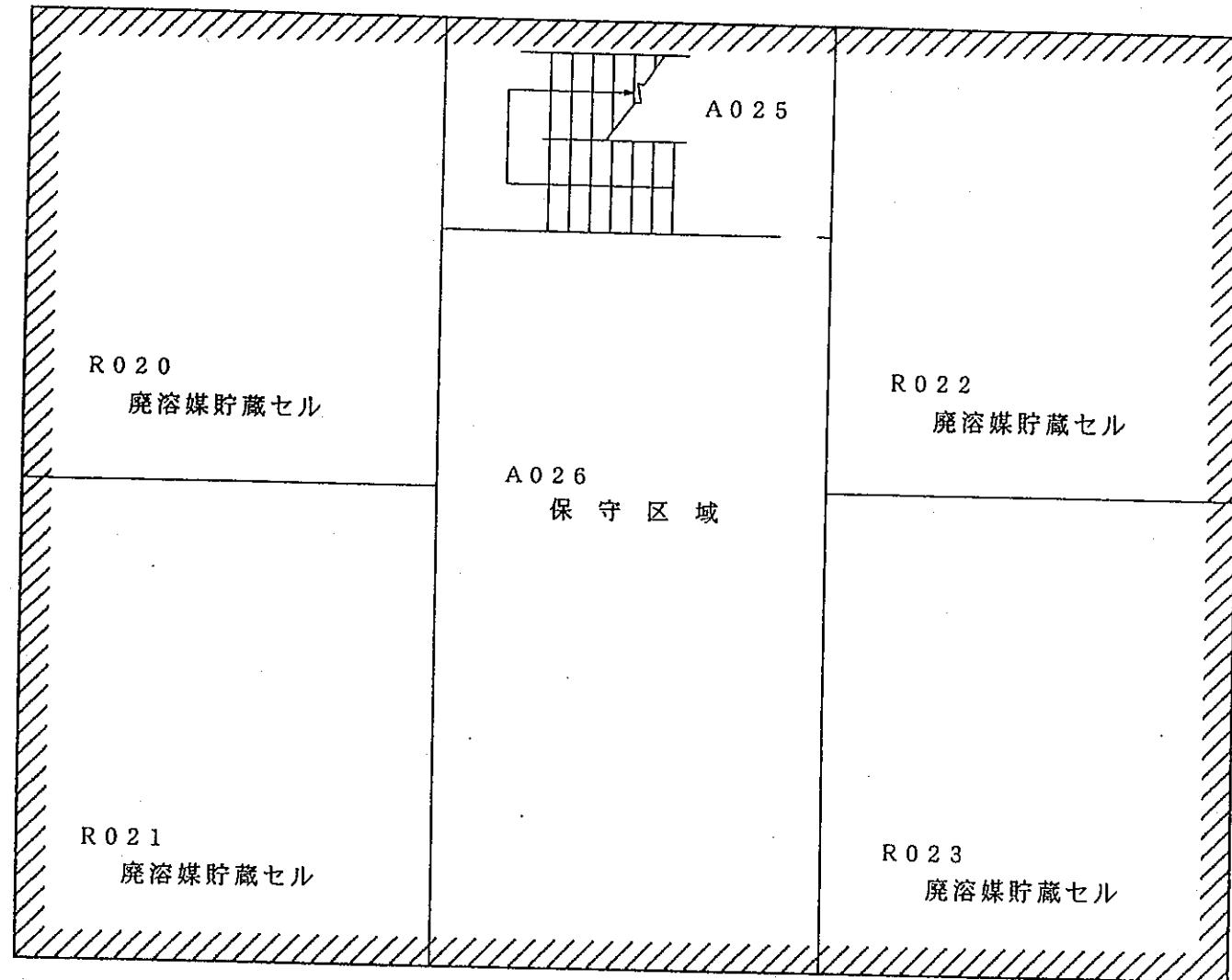


屋上平面図 (+ 13.400mm)



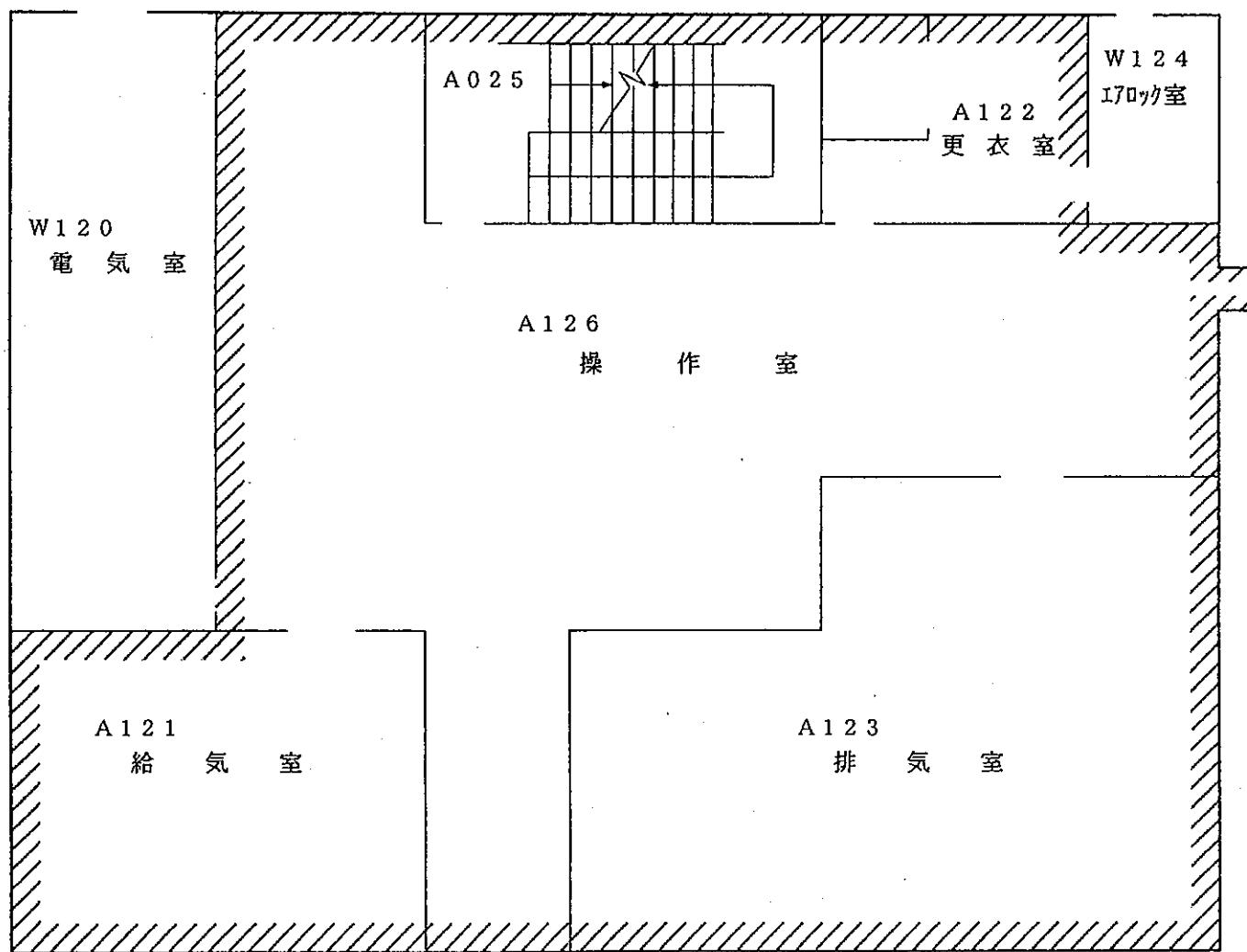
屋上平面図 (+ 10.400mm)

管理区域及びホワイト区域（スラッジ貯蔵場：その2）



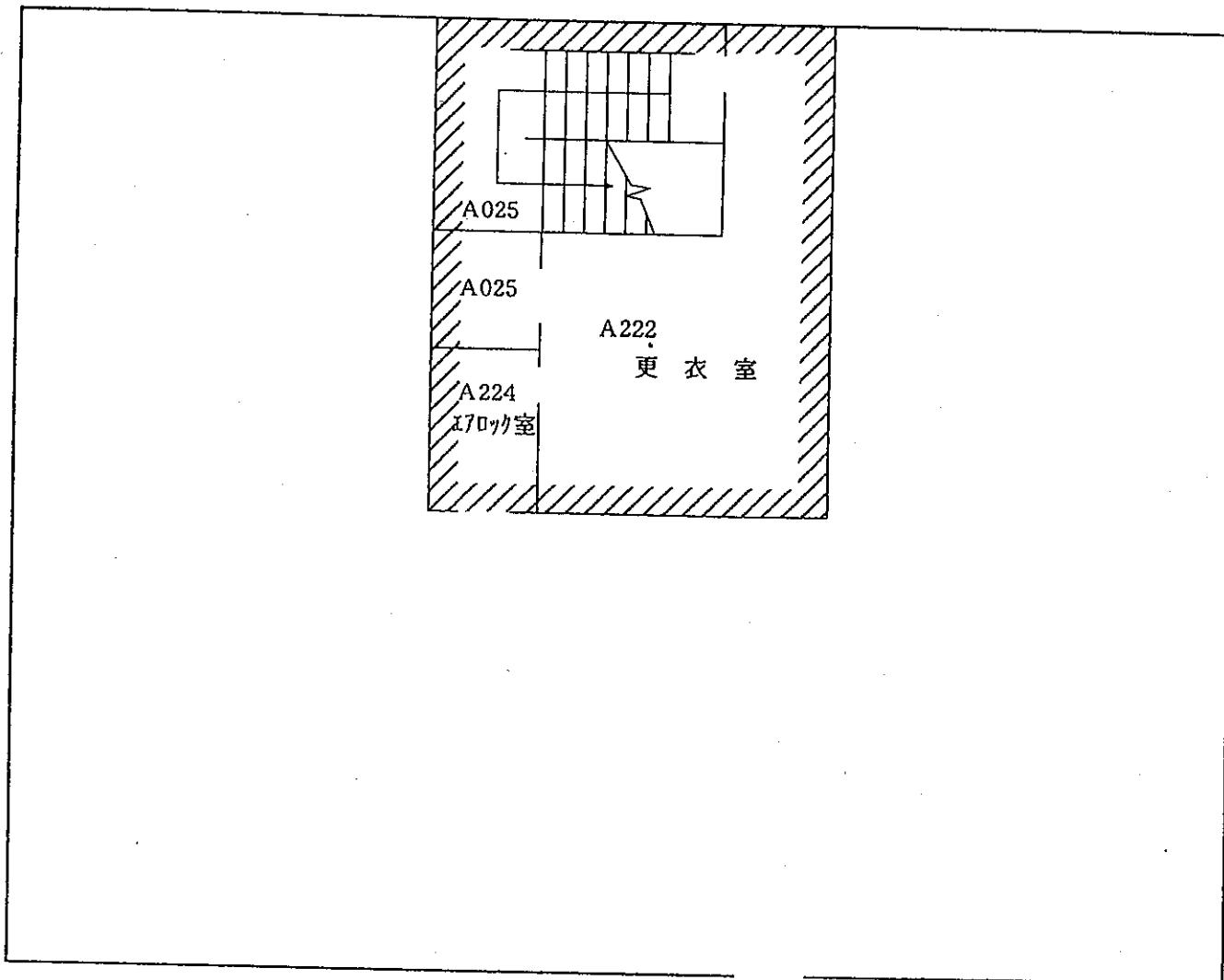
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒貯蔵場：その1）



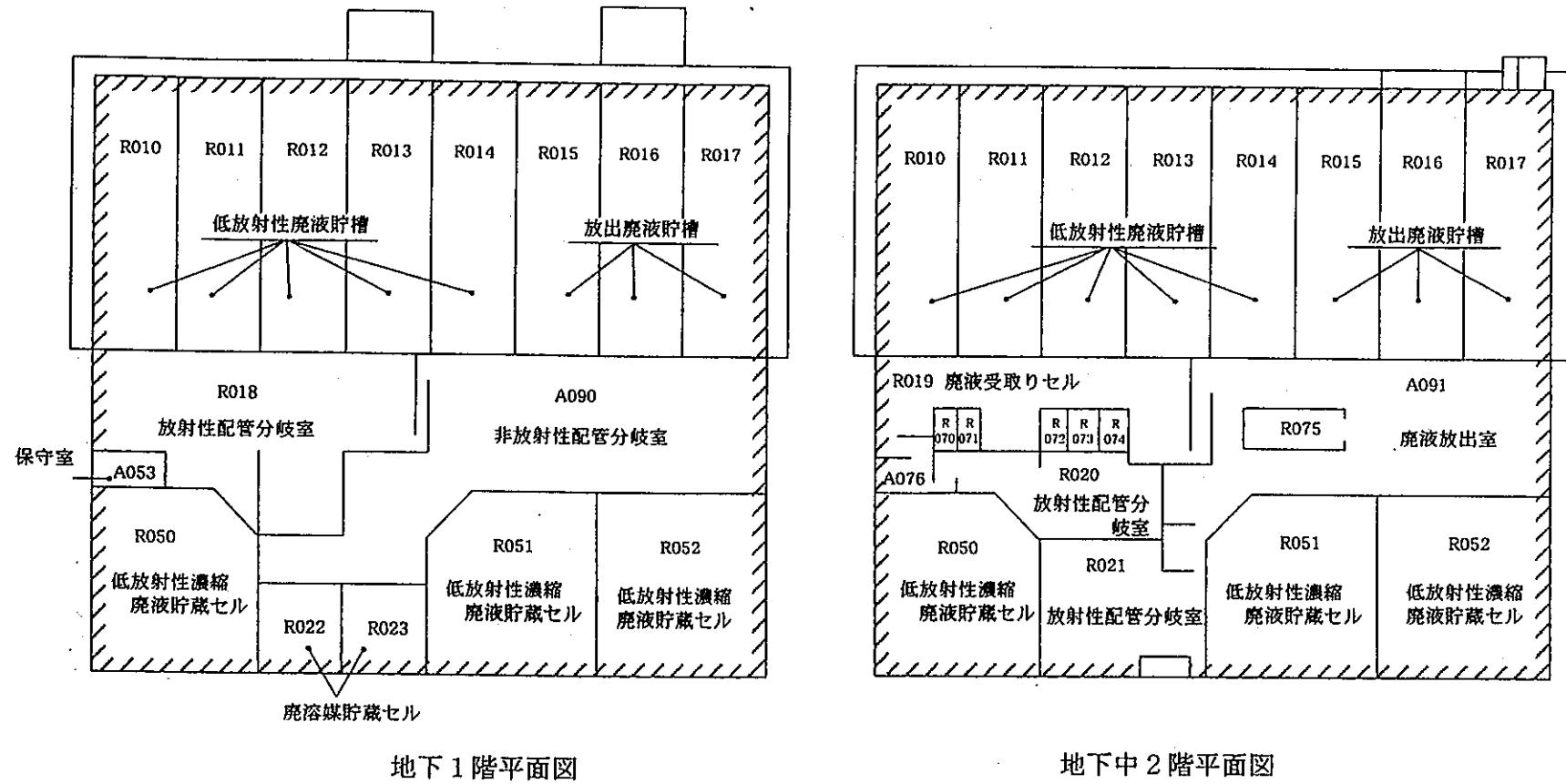
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒貯蔵場：その2）

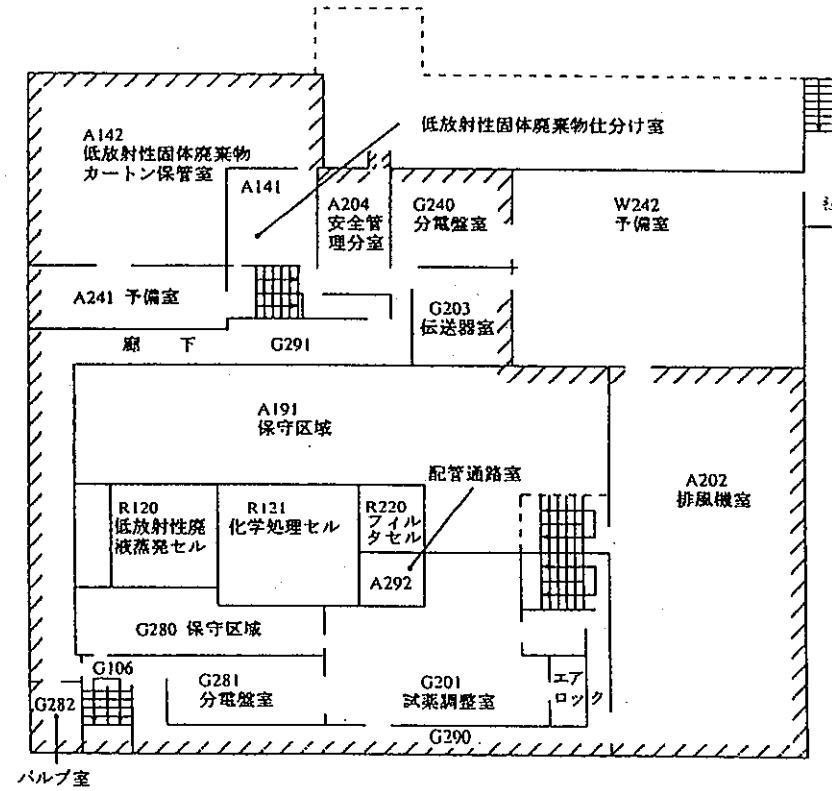
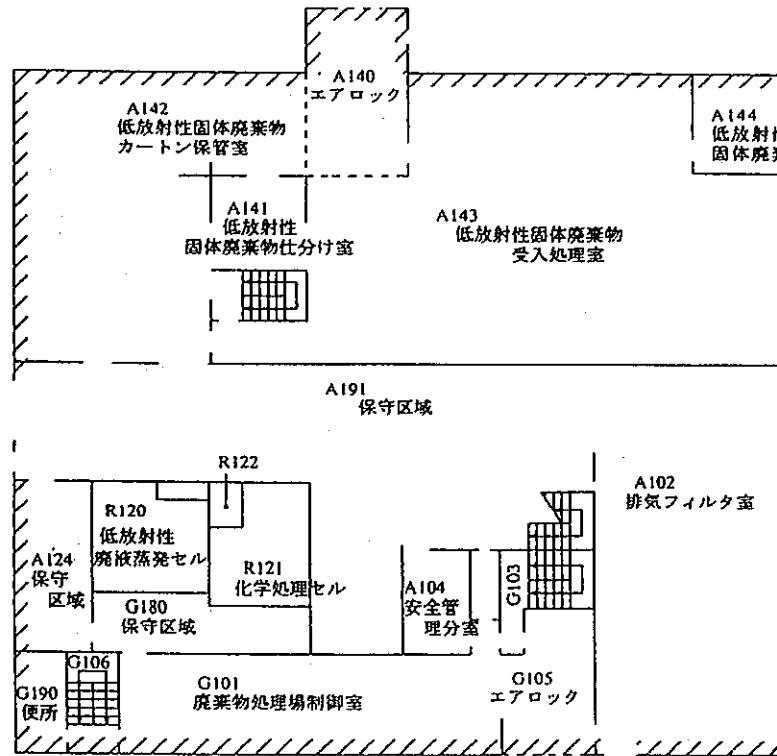


2階平面図

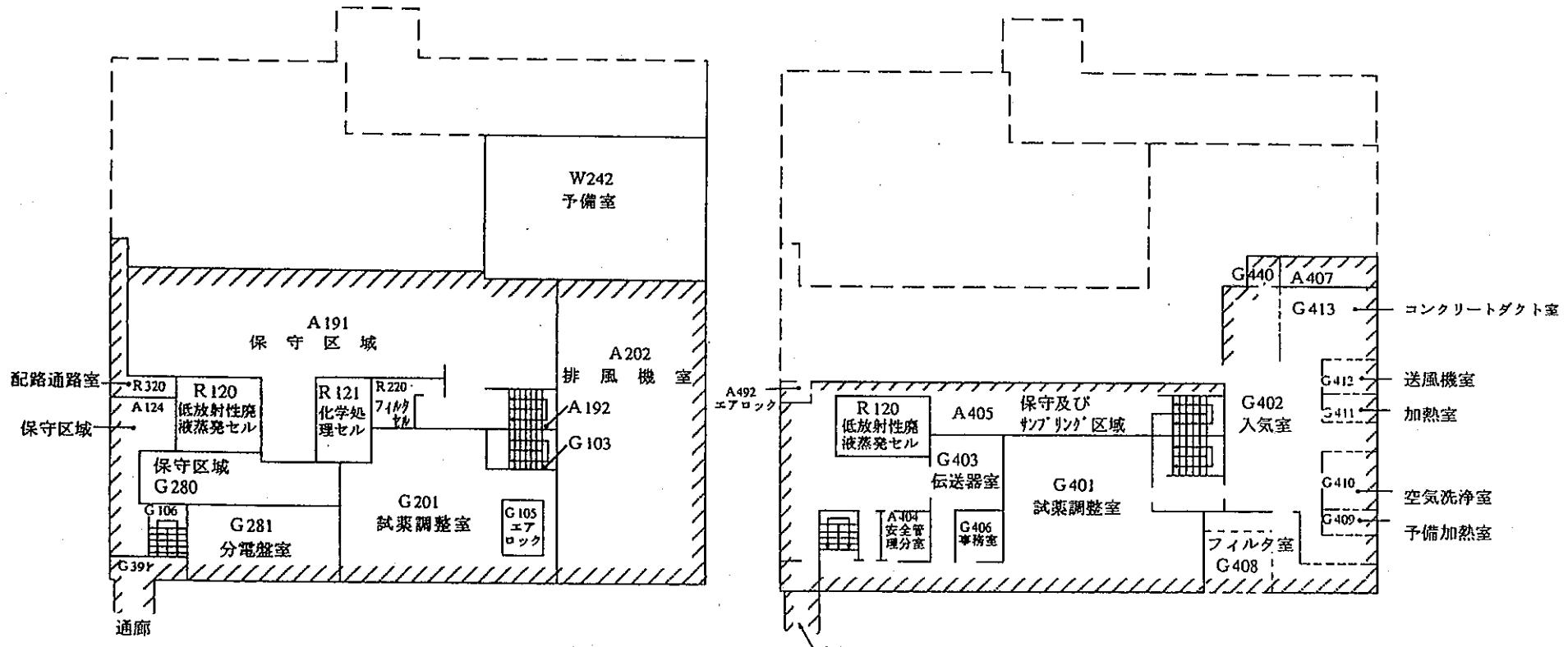
管理区域及びホワイト区域（廃溶媒貯蔵場：その3）



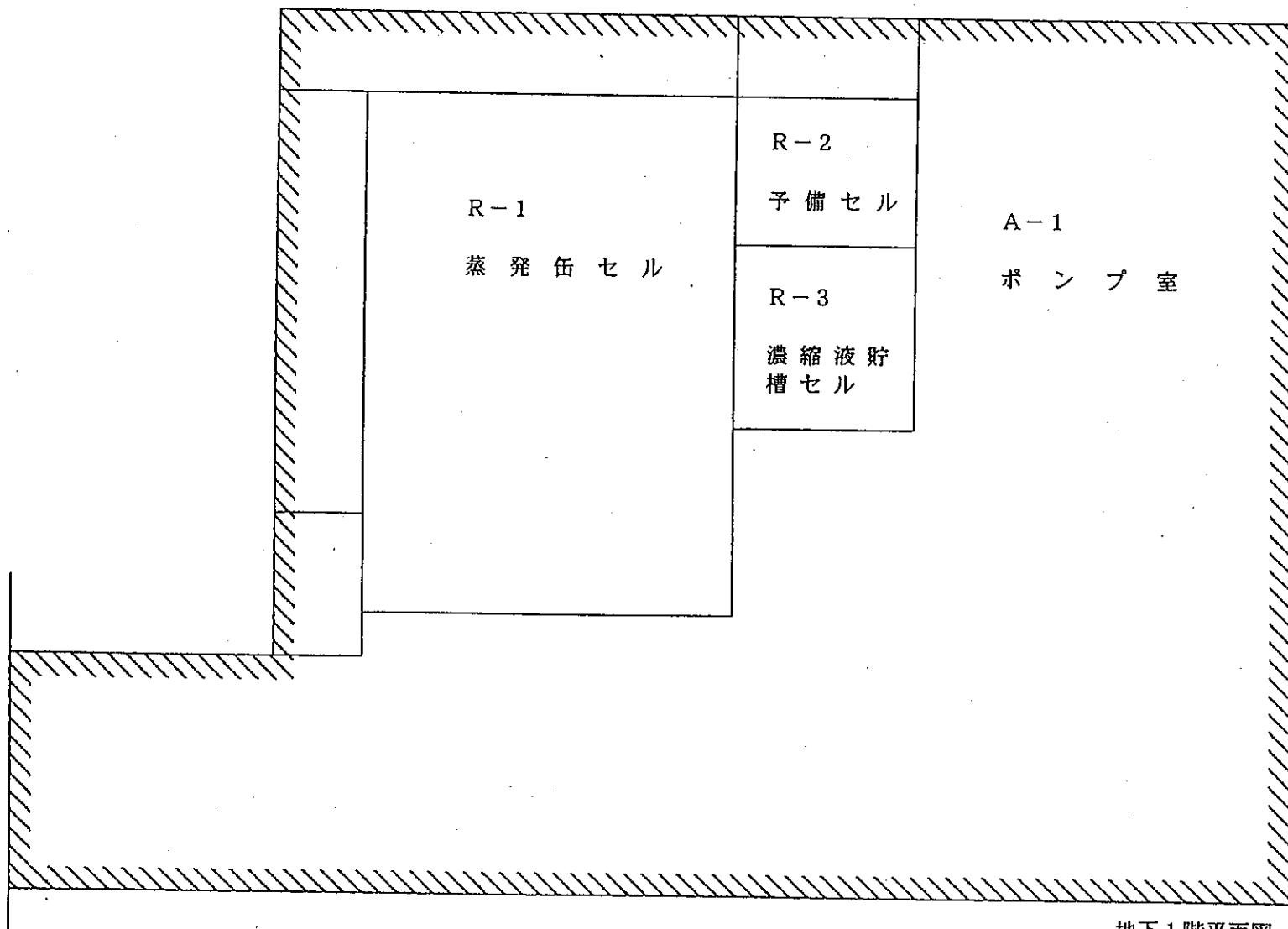
管理区域及びホワイト区域（廃棄物処理場：その1）



管理区域及びホワイト区域（廃棄物処理場：その2）

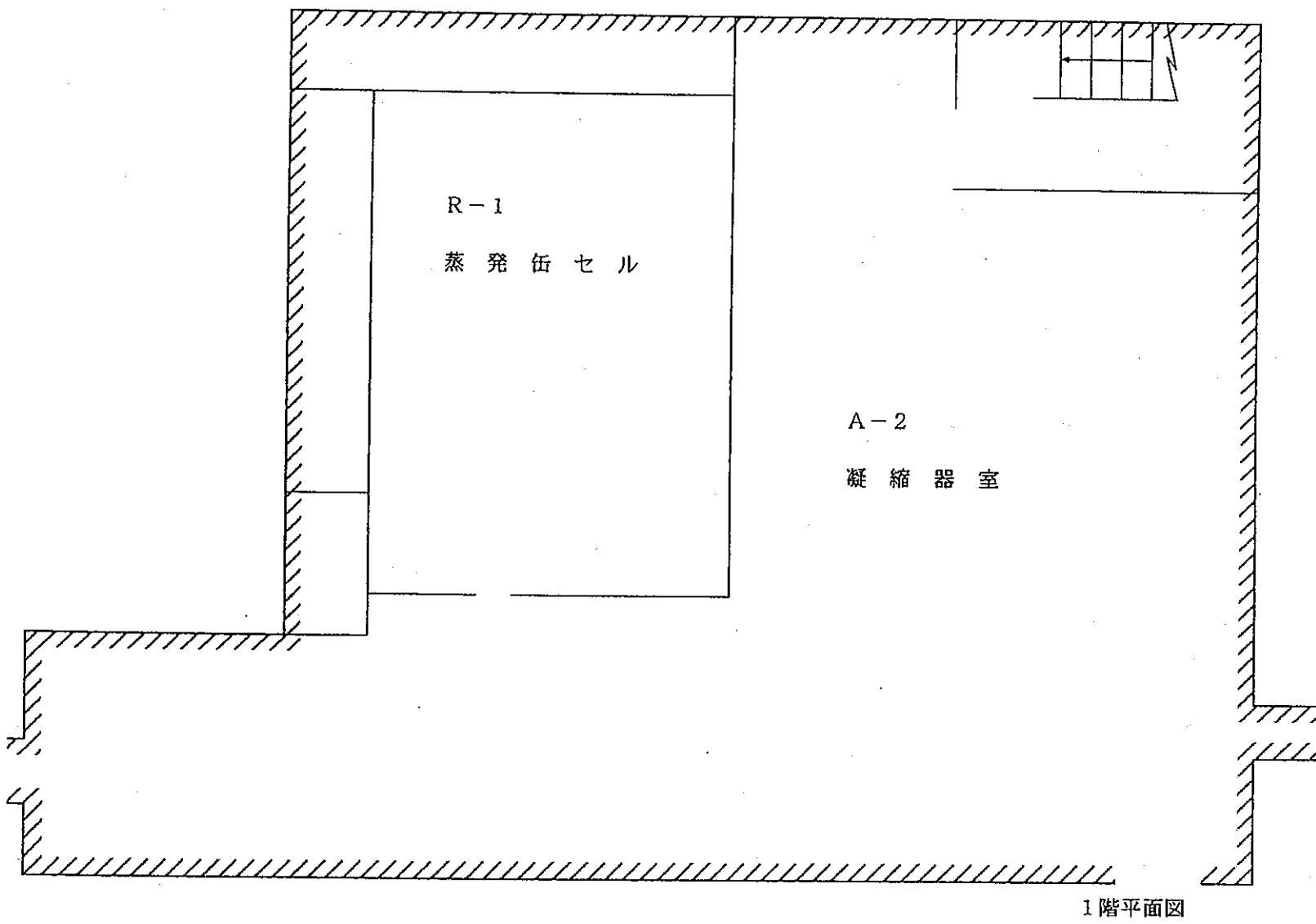


管理区域及びホワイト区域（廃棄物処理場：その 3）



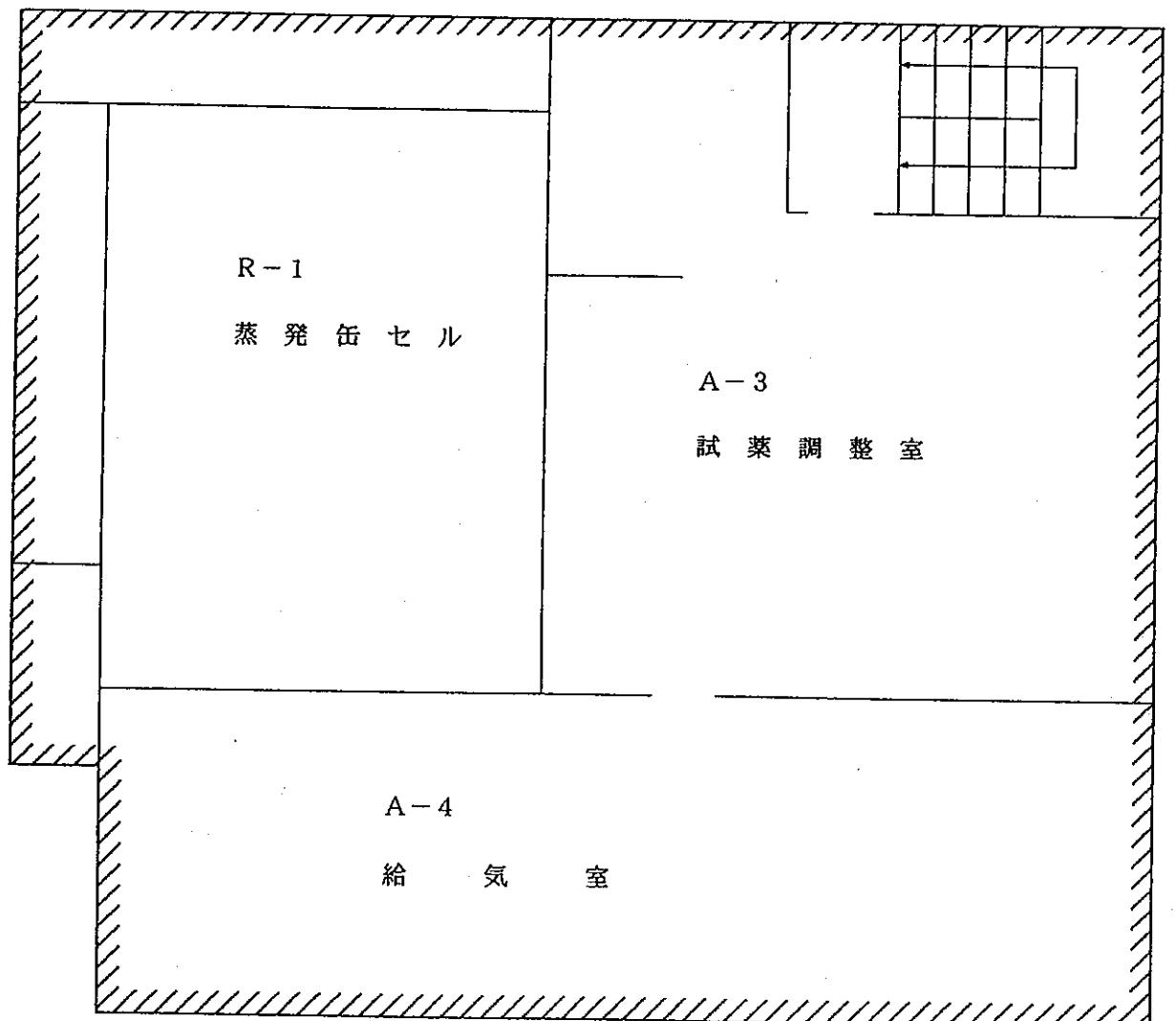
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二低放射性廃液蒸発処理施設：その1）



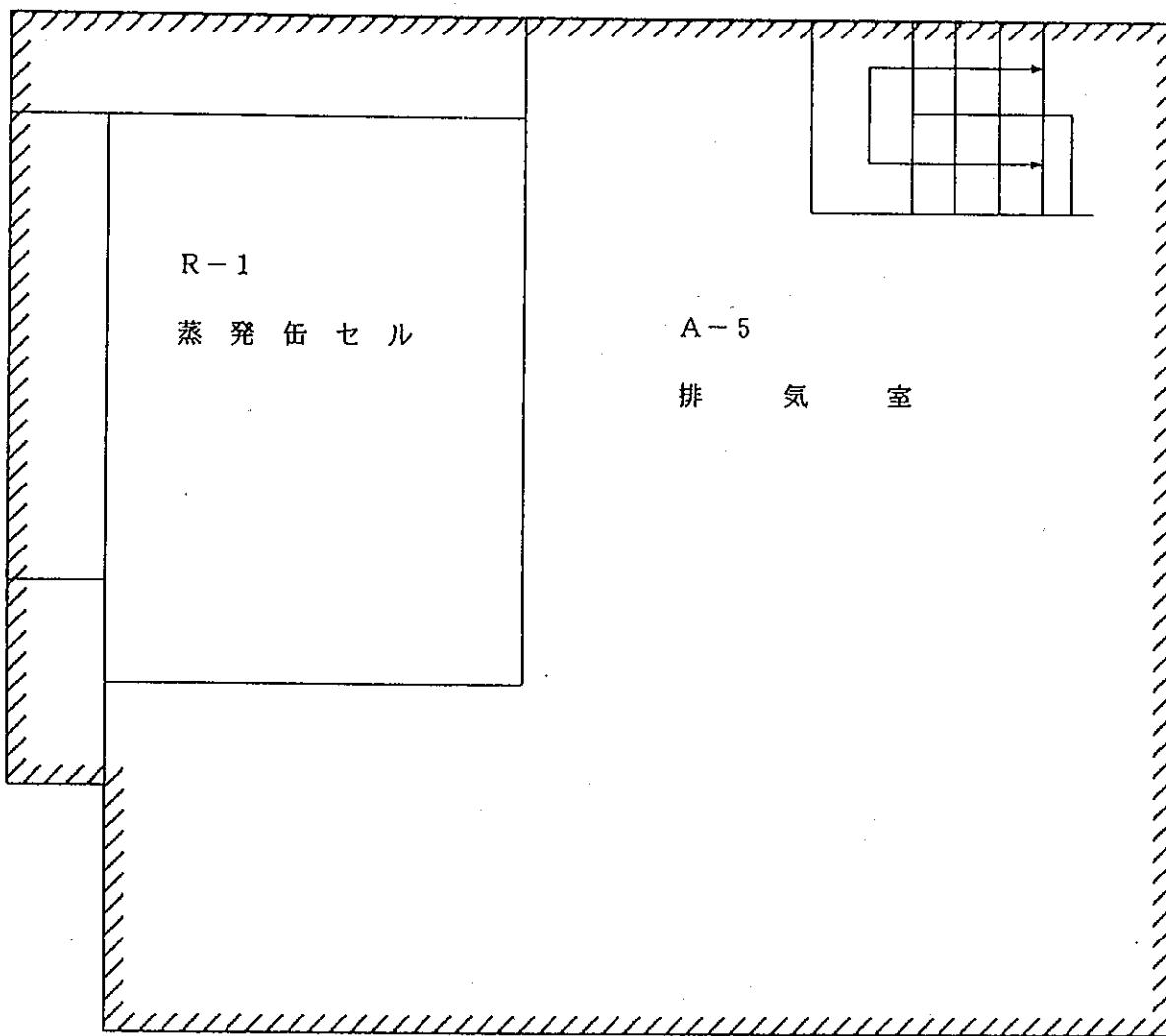
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二低放射性廃液蒸発処理施設：その2）



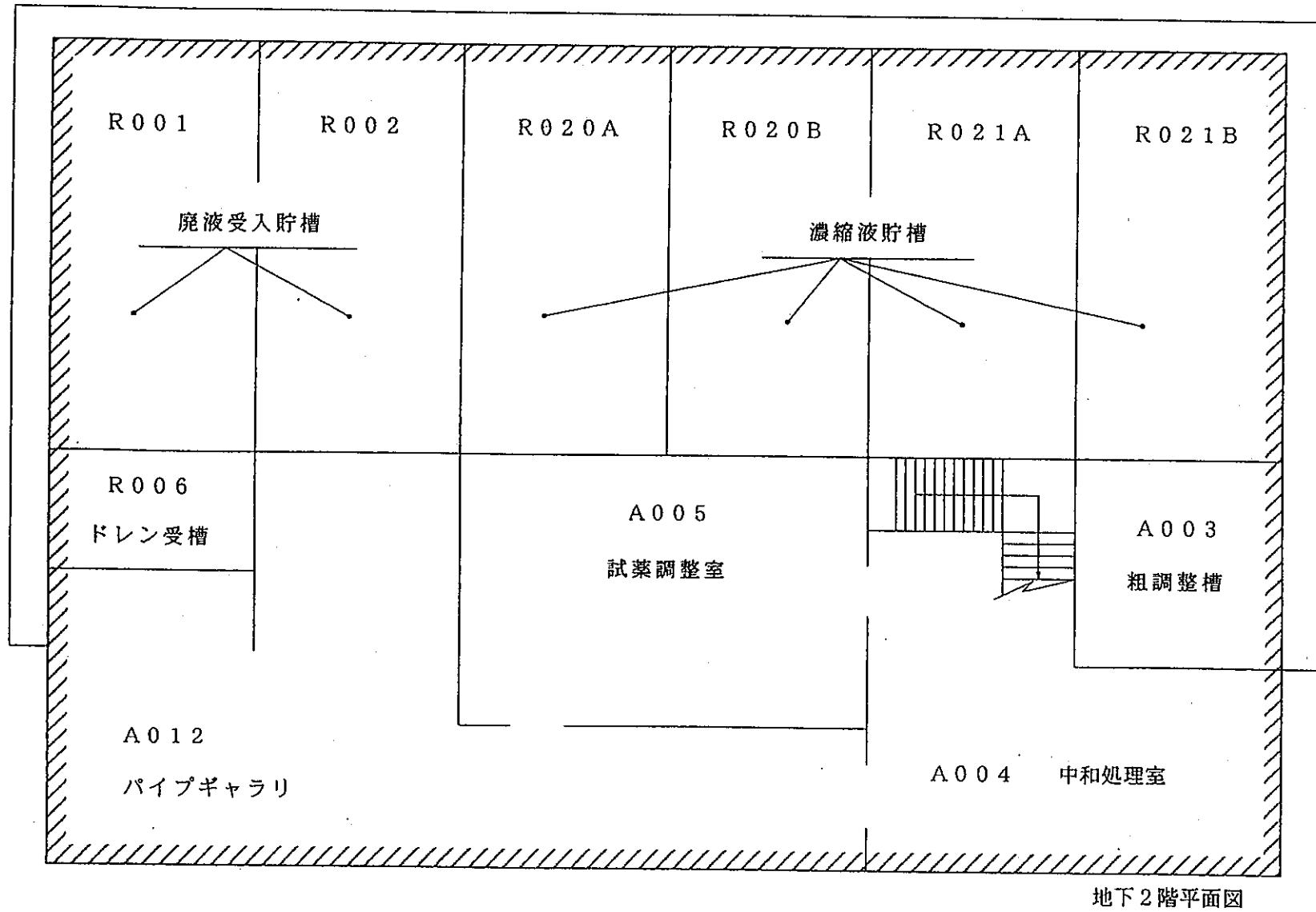
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二低放射性廃液蒸発処理施設：その3）



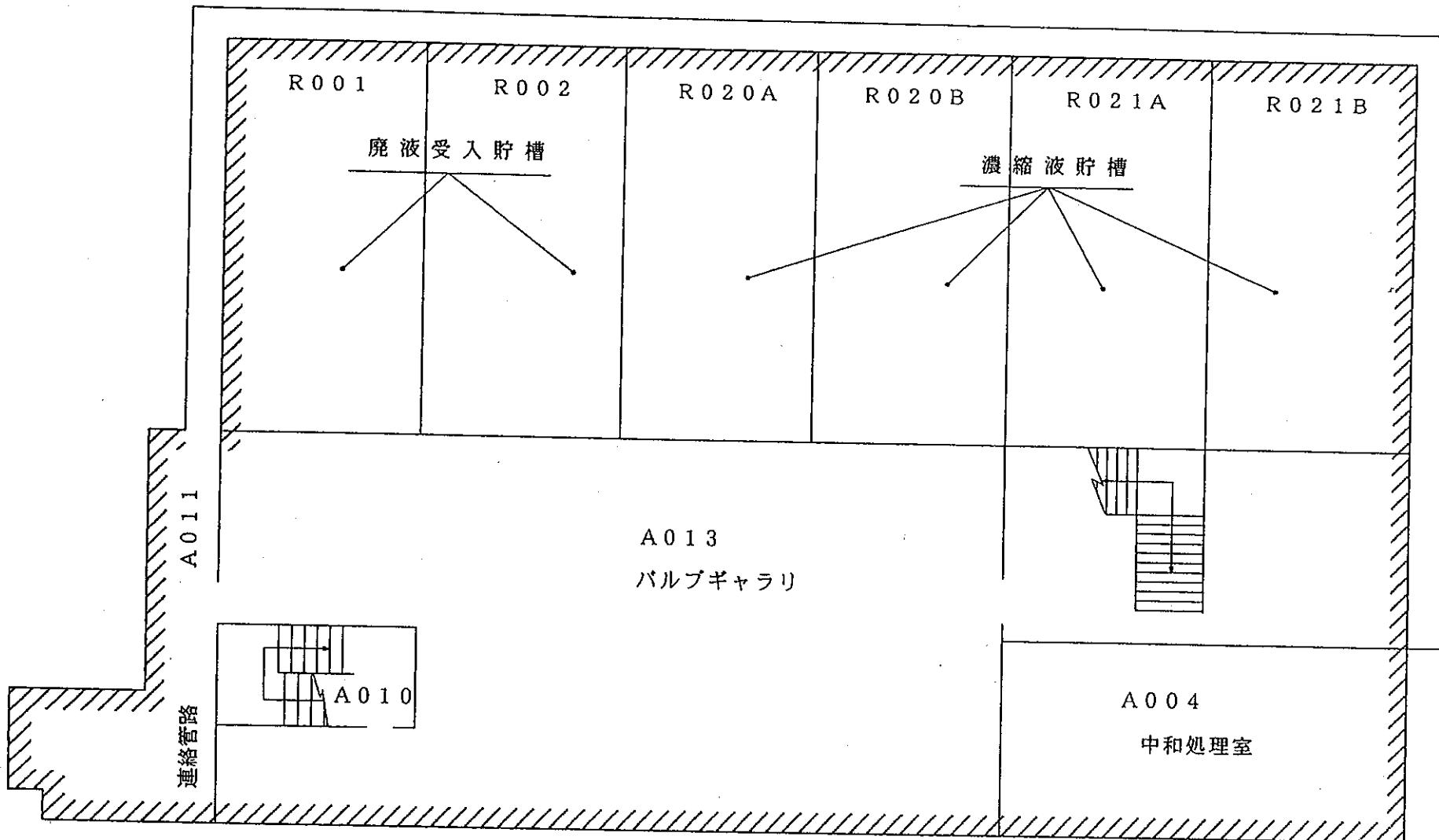
3階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二低放射性廃液蒸発処理施設：その4）



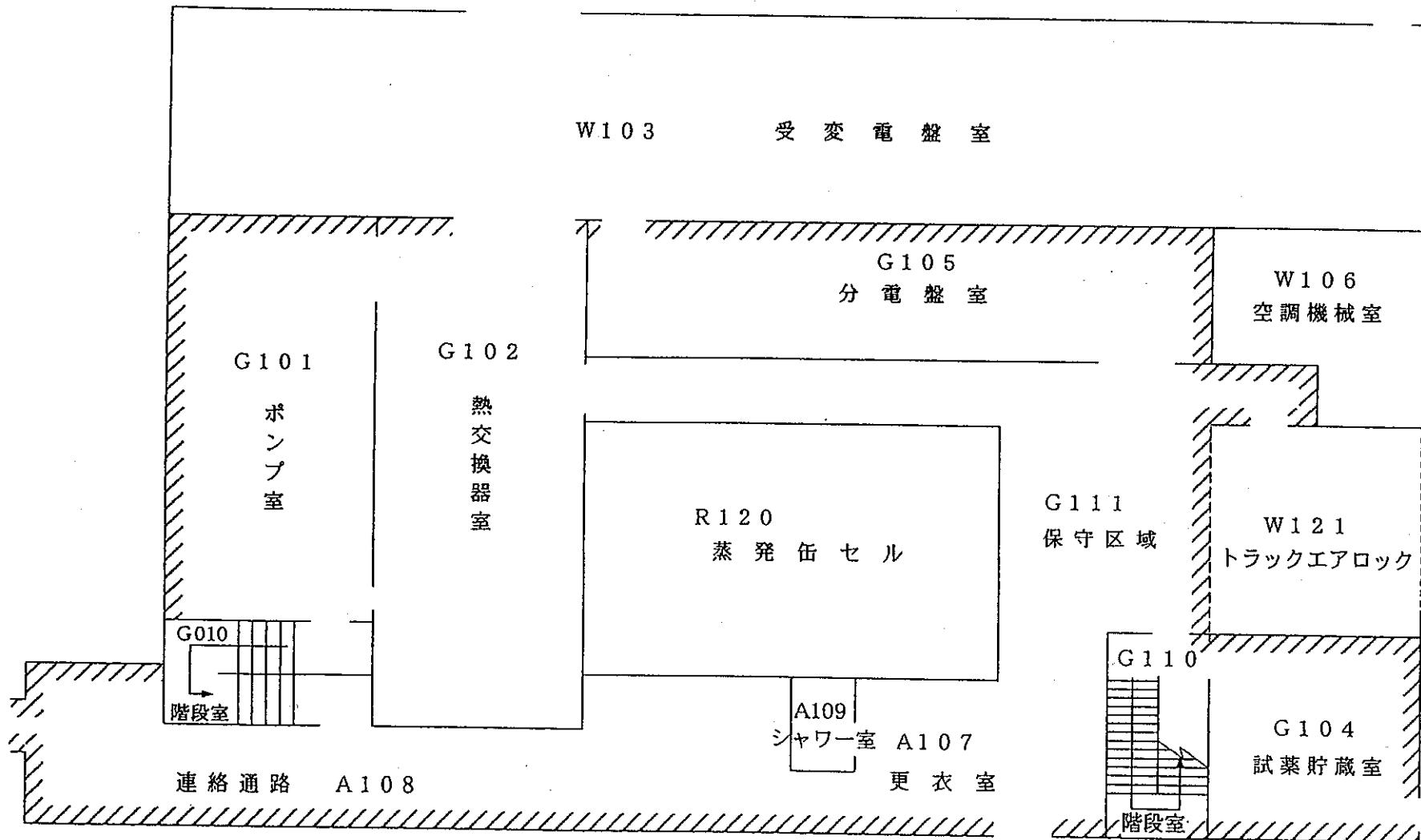
地下2階平面図

管理区域及びホワイト区域（第三低放射性廃液蒸発処理施設：その1）



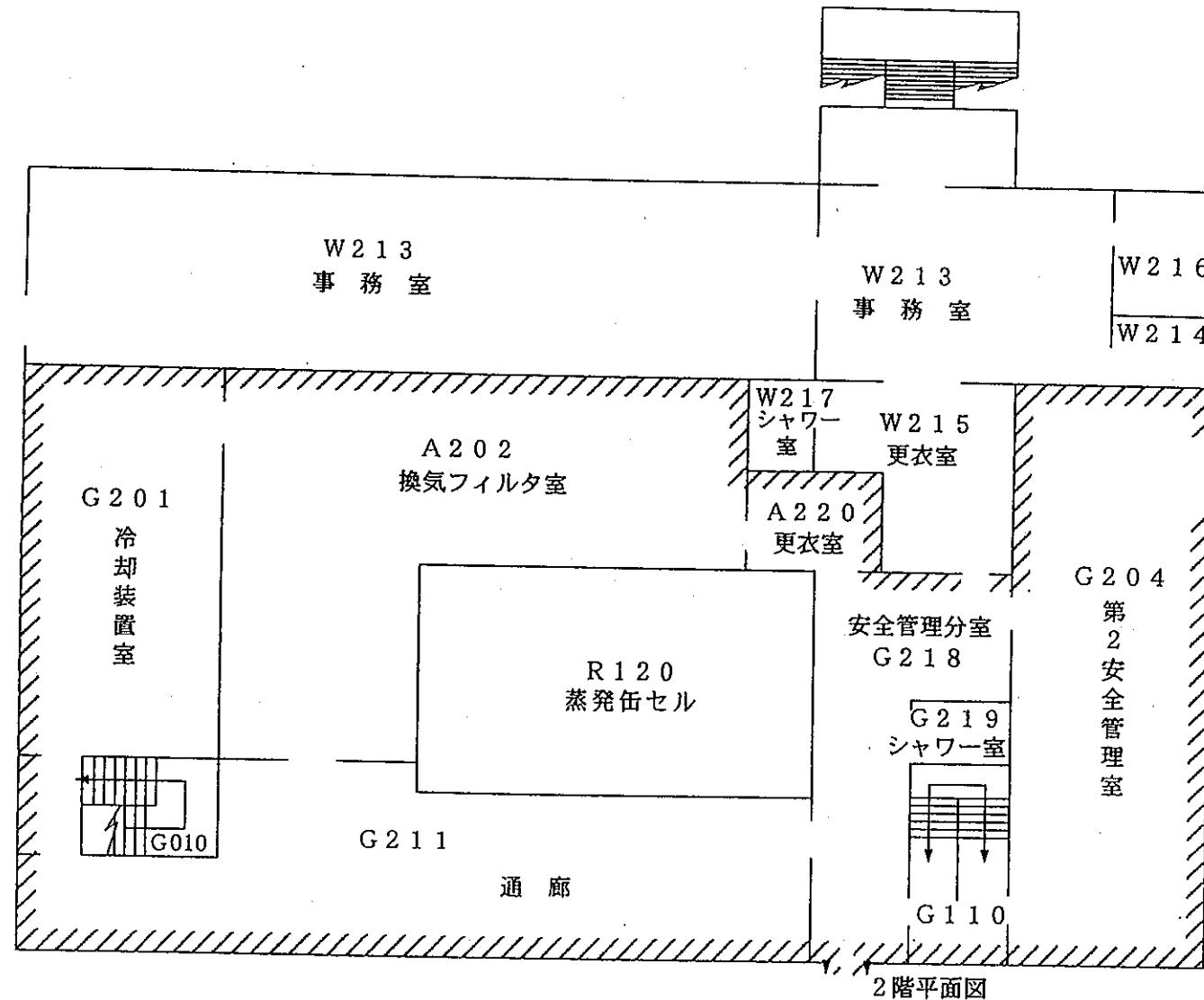
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第三低放射性廃液蒸発処理施設：その2）

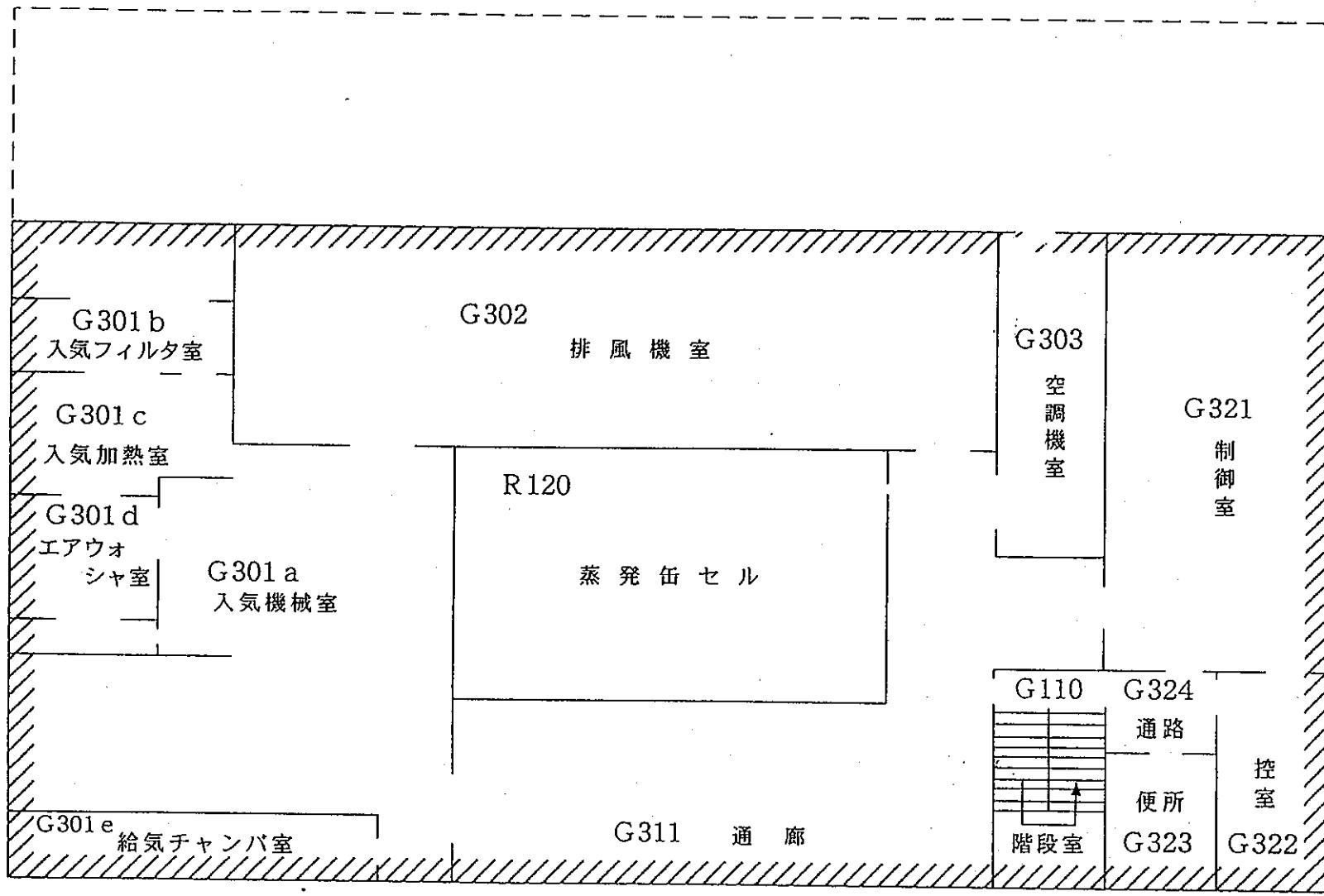


1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第三低放射性廃液蒸発処理施設：その3）



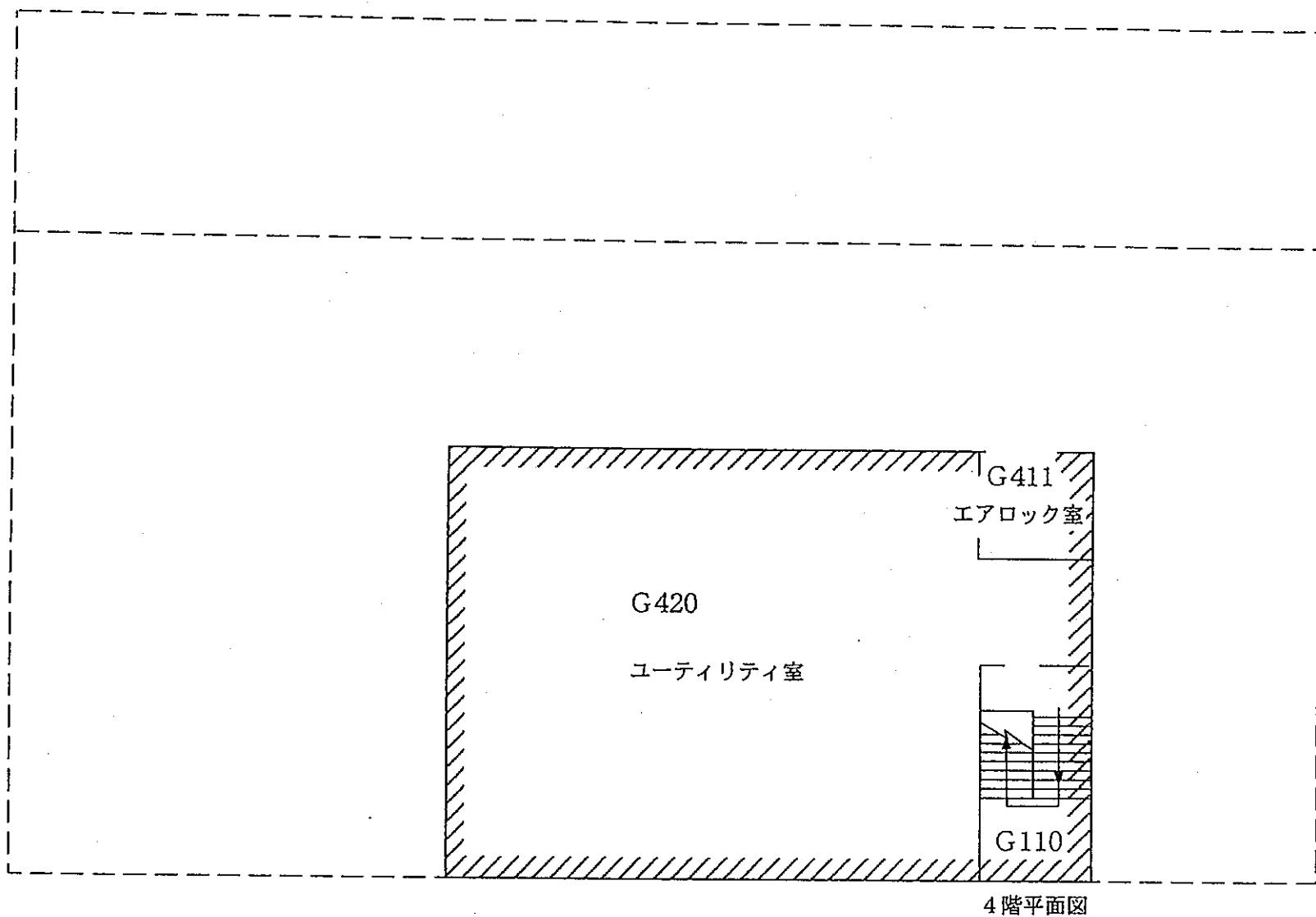
管理区域及びホワイト区域（第三低放射性廃液蒸発処理施設：その4）



3階平面図

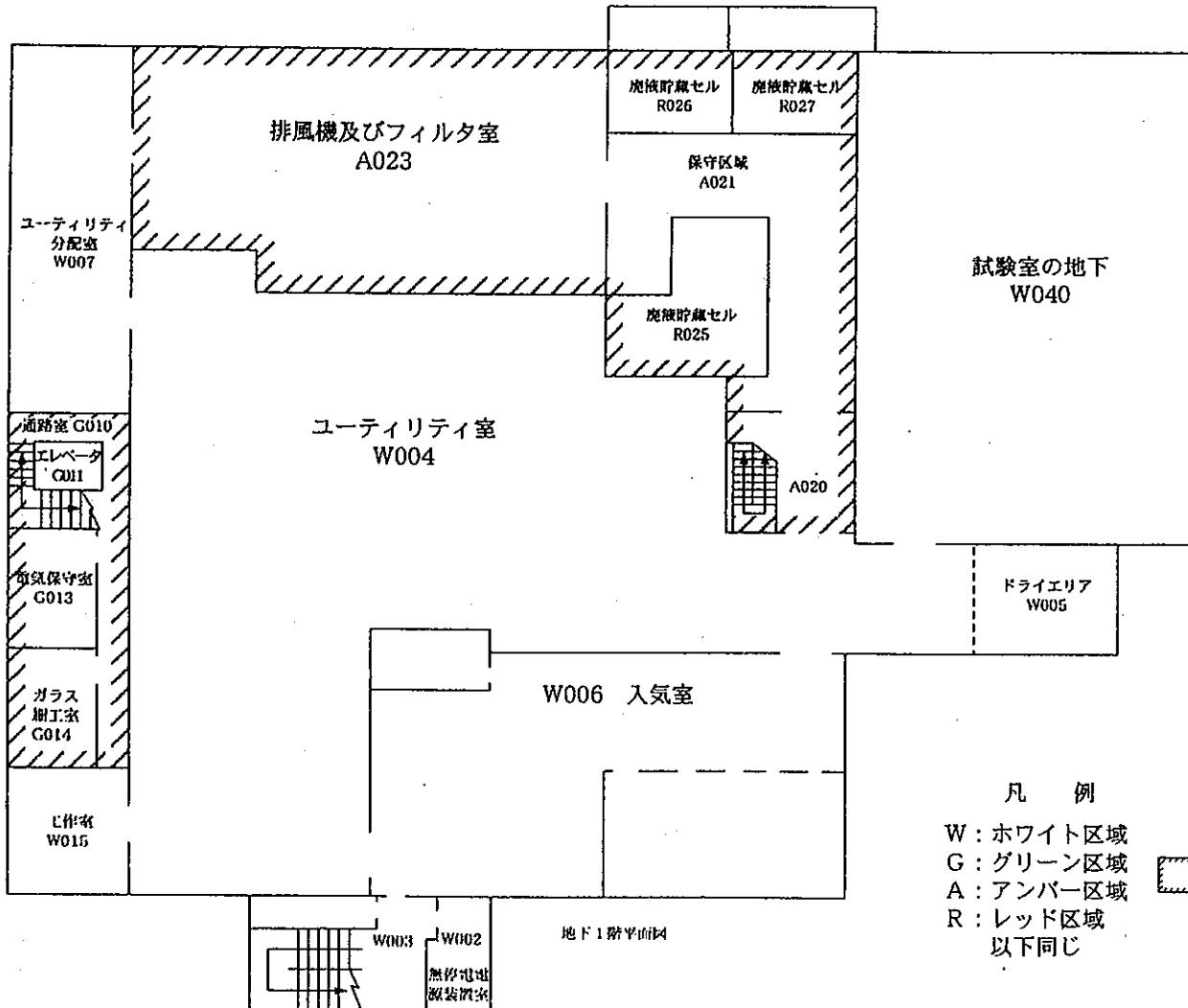
管理区域及びホワイト区域（第三低放射性廃液蒸発処理施設：その5）

(別紙1-6)

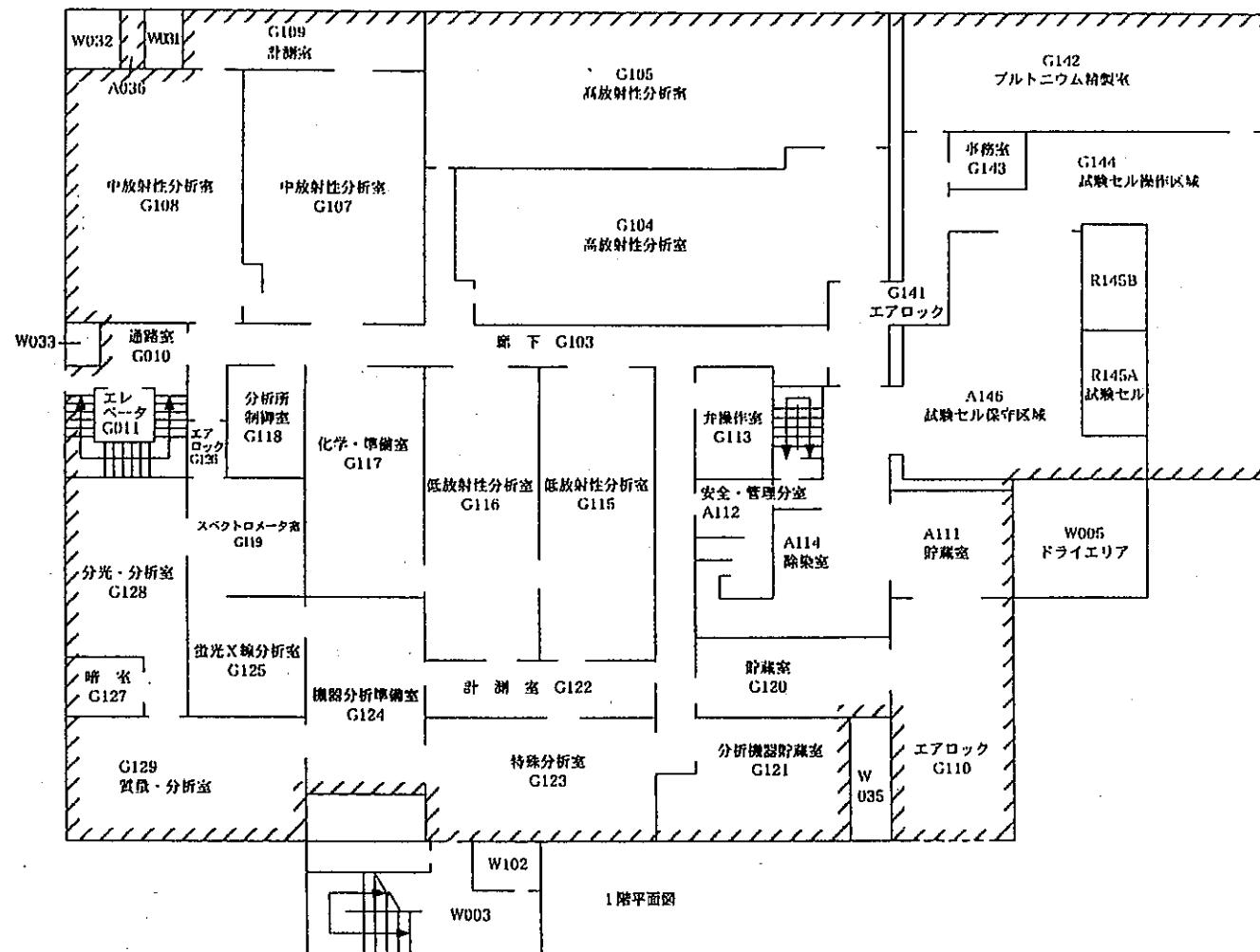


4階平面図

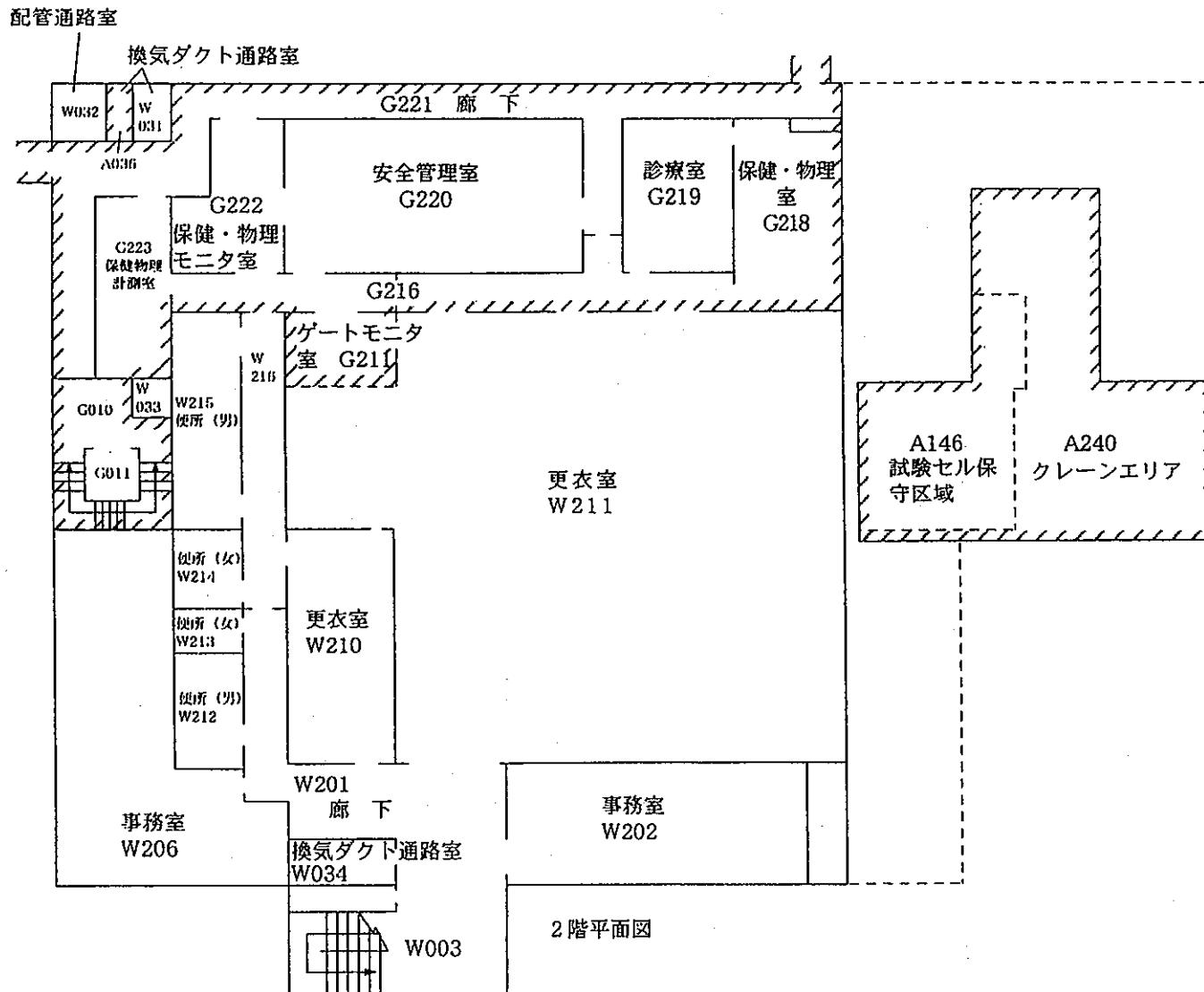
管理区域及びホワイト区域（第三低放射性廃液蒸発処理施設：その6）



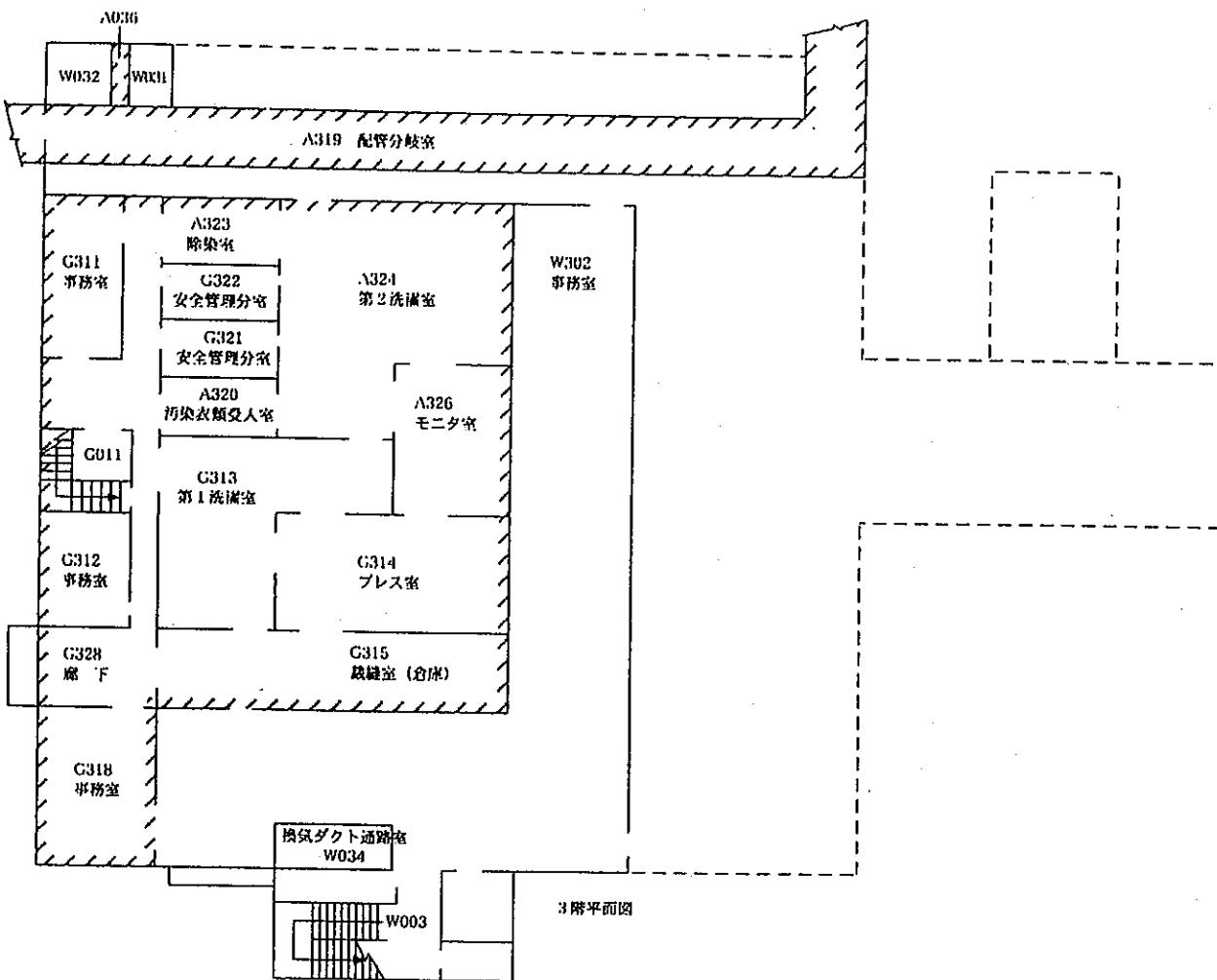
管理区域及びホワイト区域 (分析所: その1)



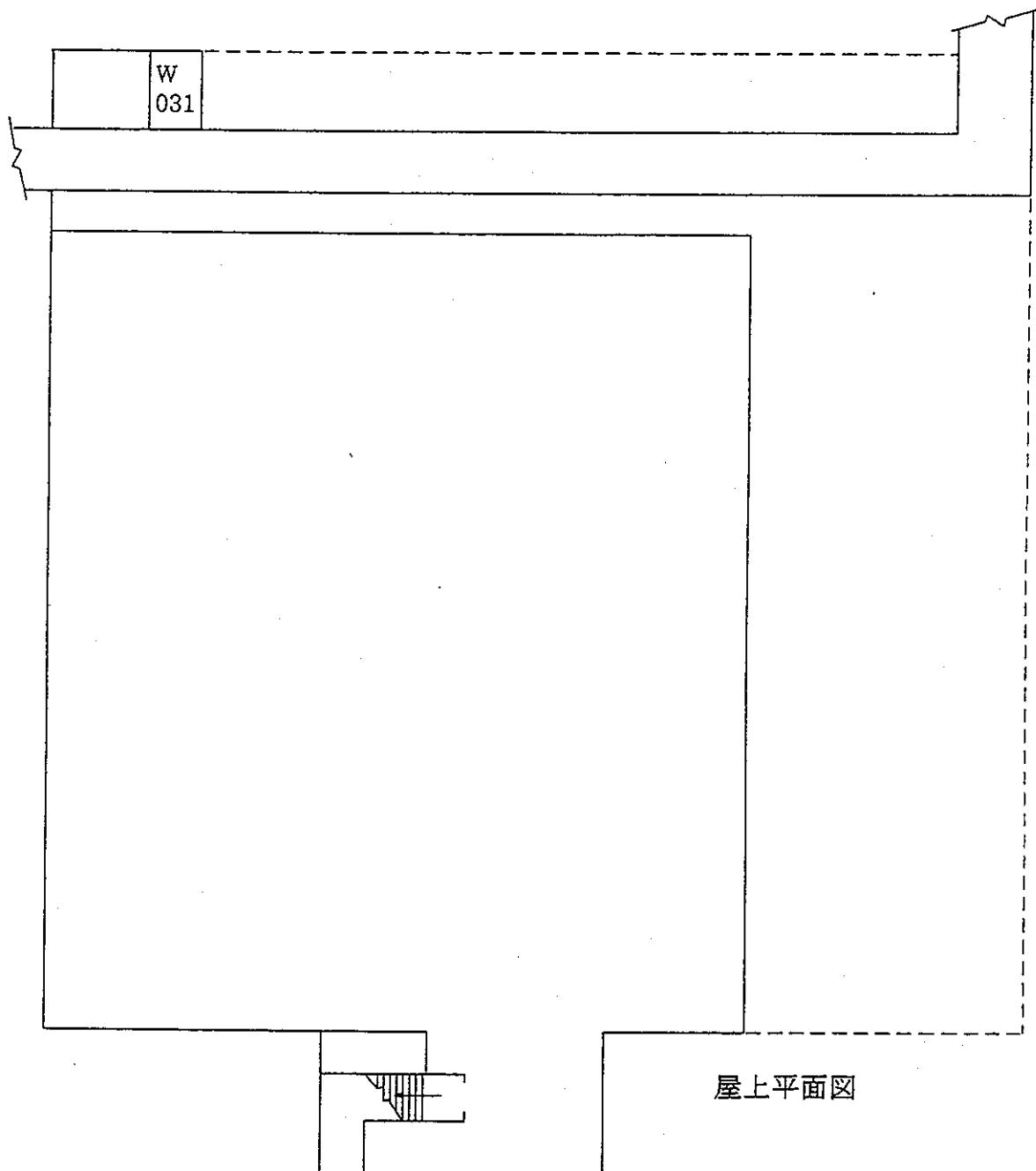
管理区域及びホワイト区域（分析所：その2）



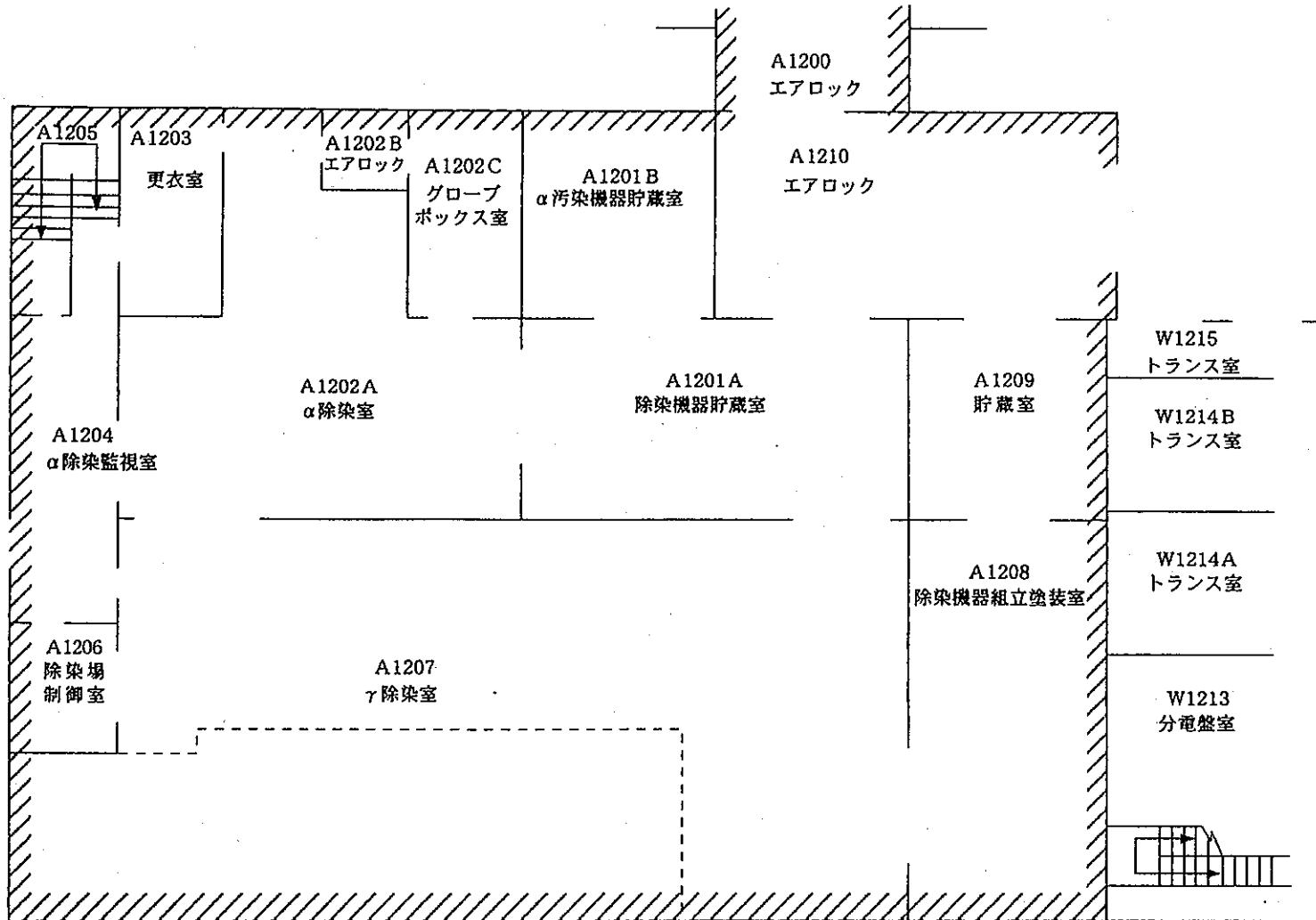
管理区域及びホワイト区域（分析所：その3）



管理区域及びホワイト区域（分析所：その4）

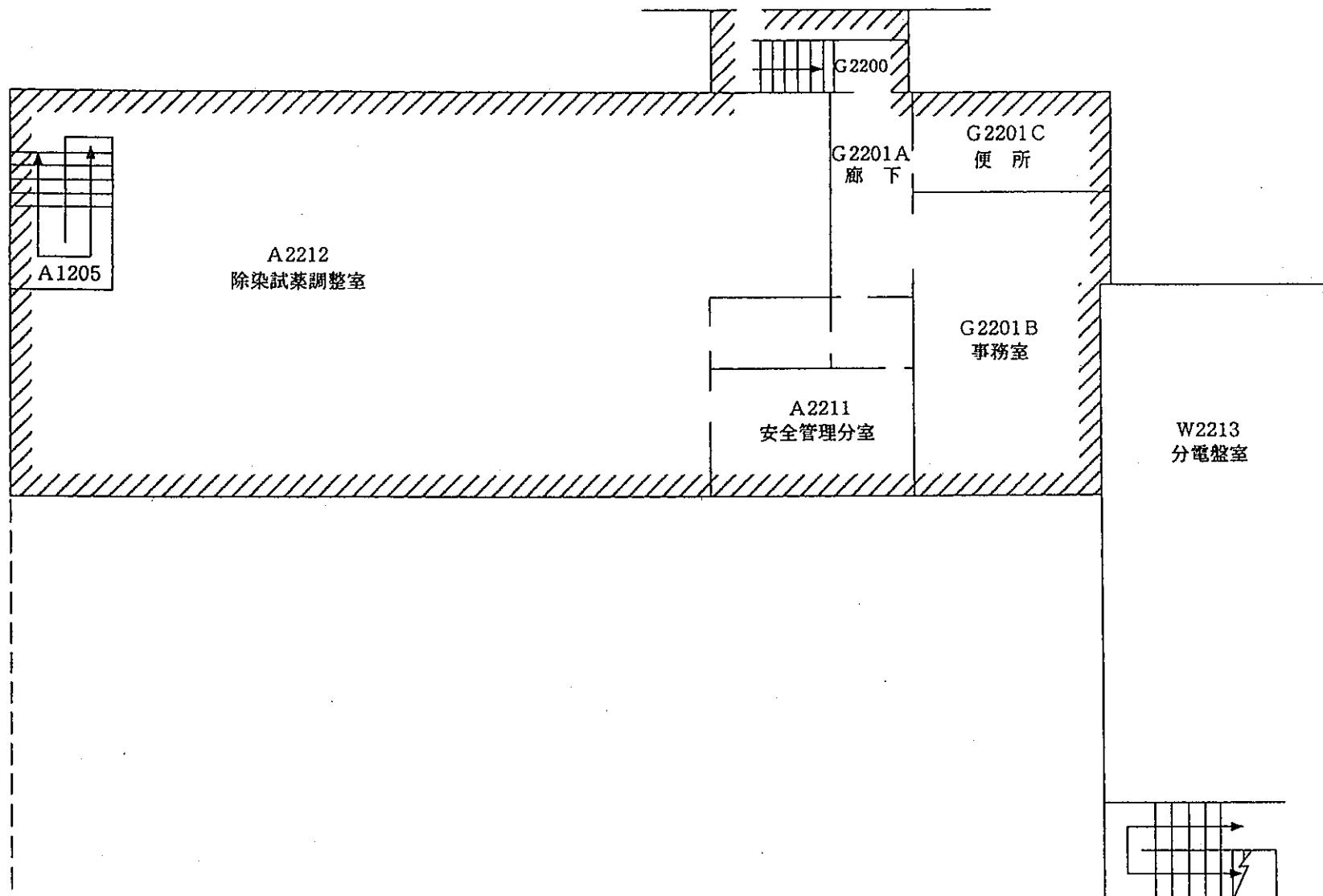


管理区域及びホワイト区域（分析所：その 5）



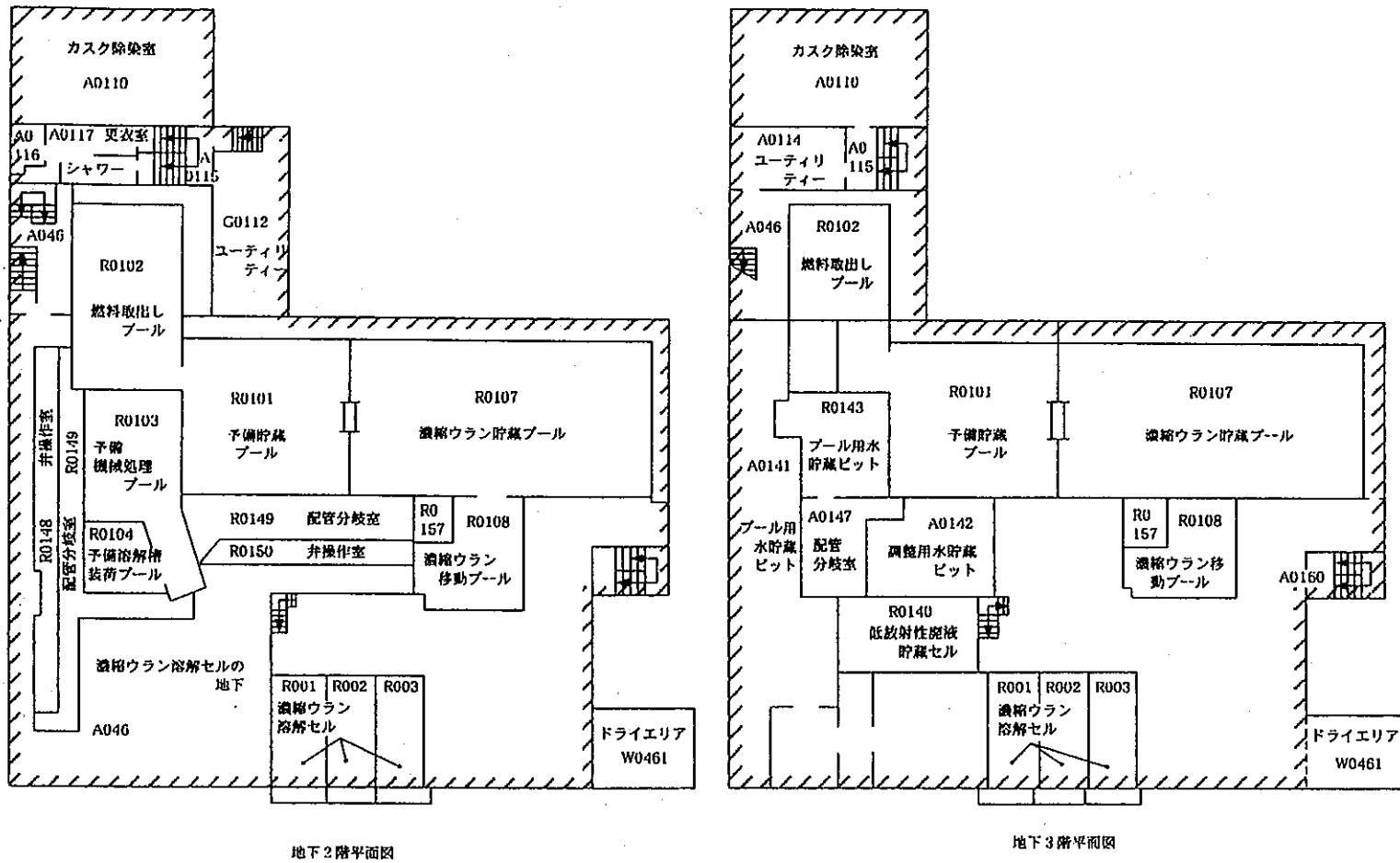
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（除染場：その1）

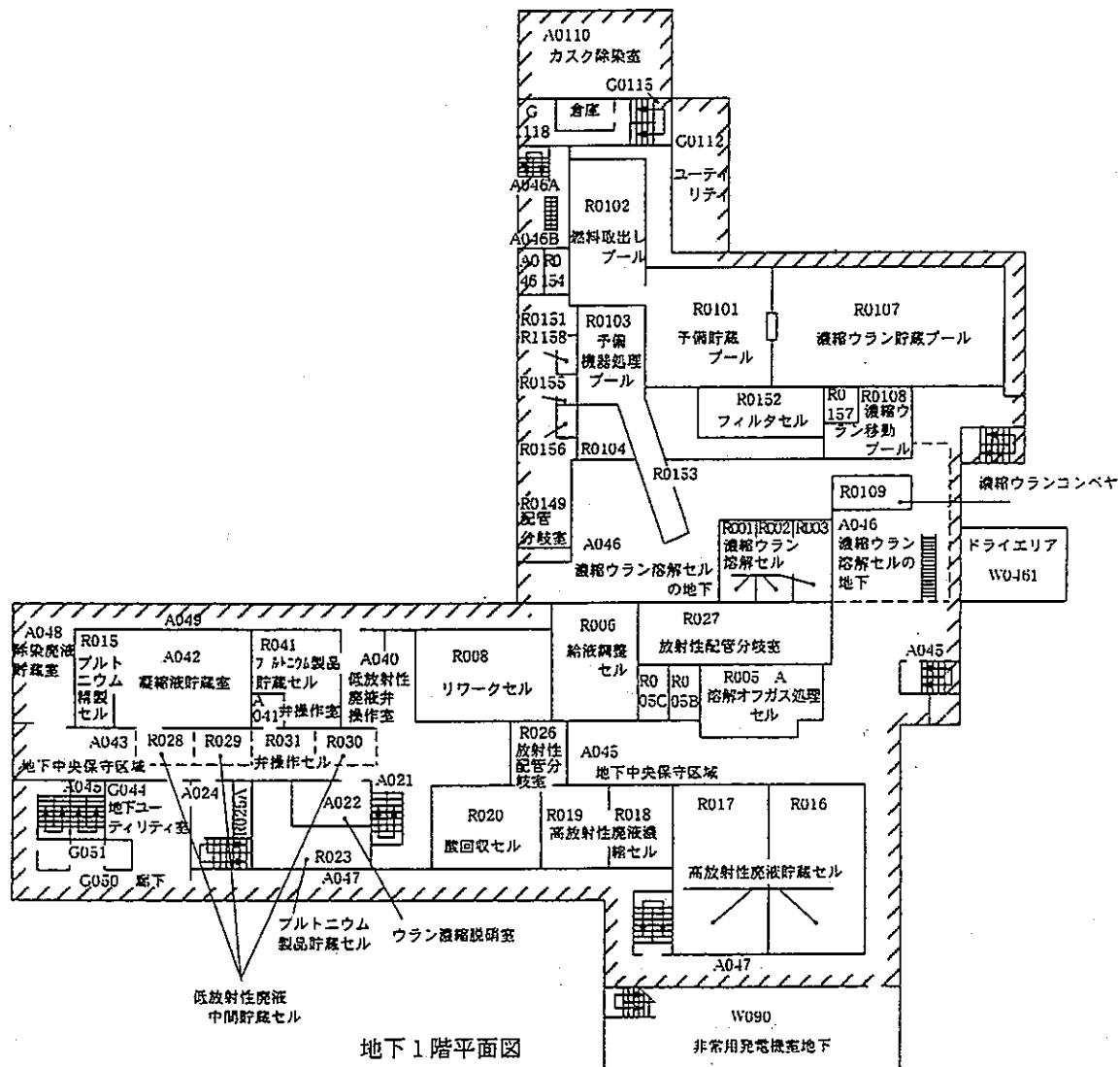


2階平面図

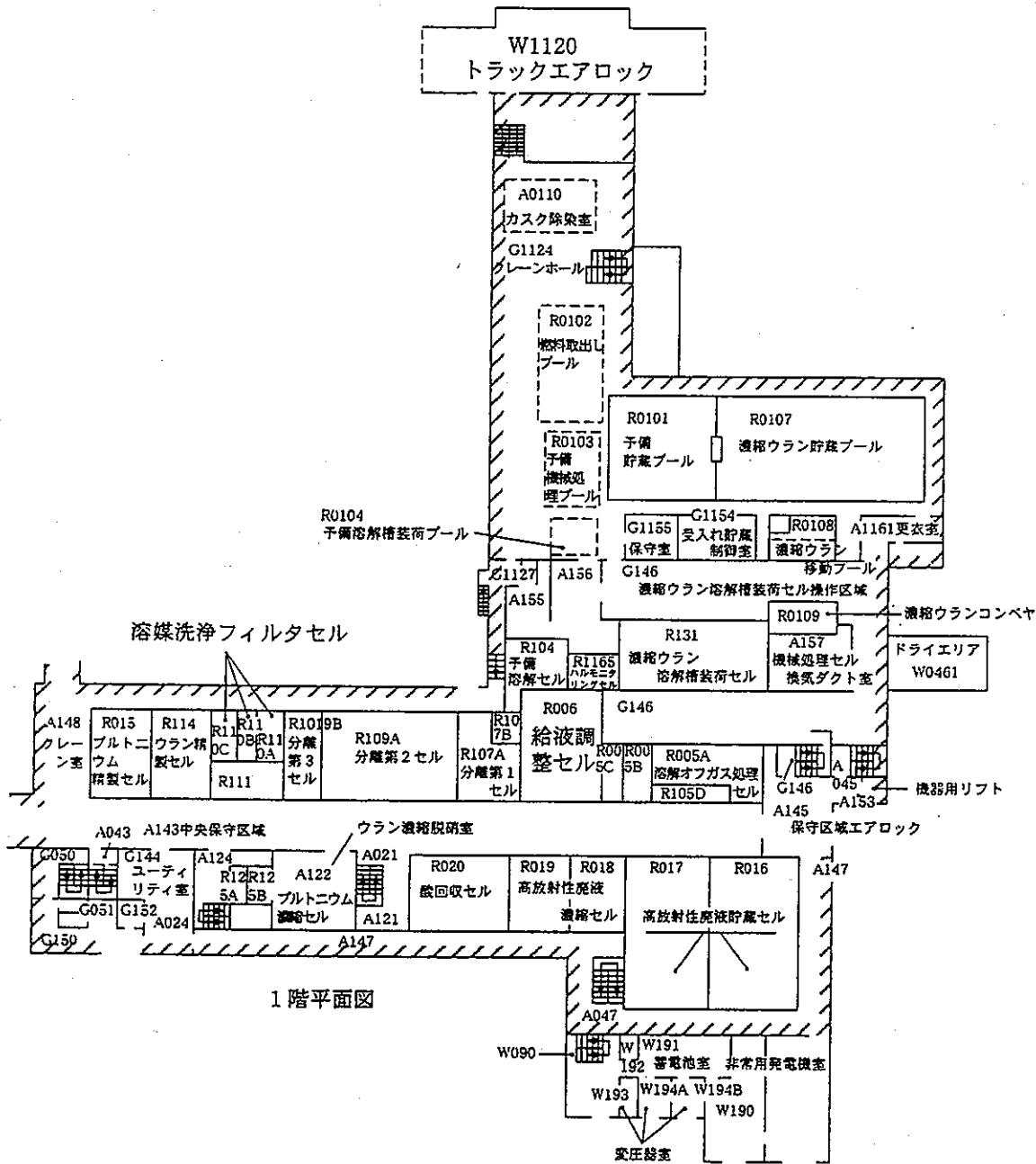
管理区域及びホワイト区域（除染場：その2）



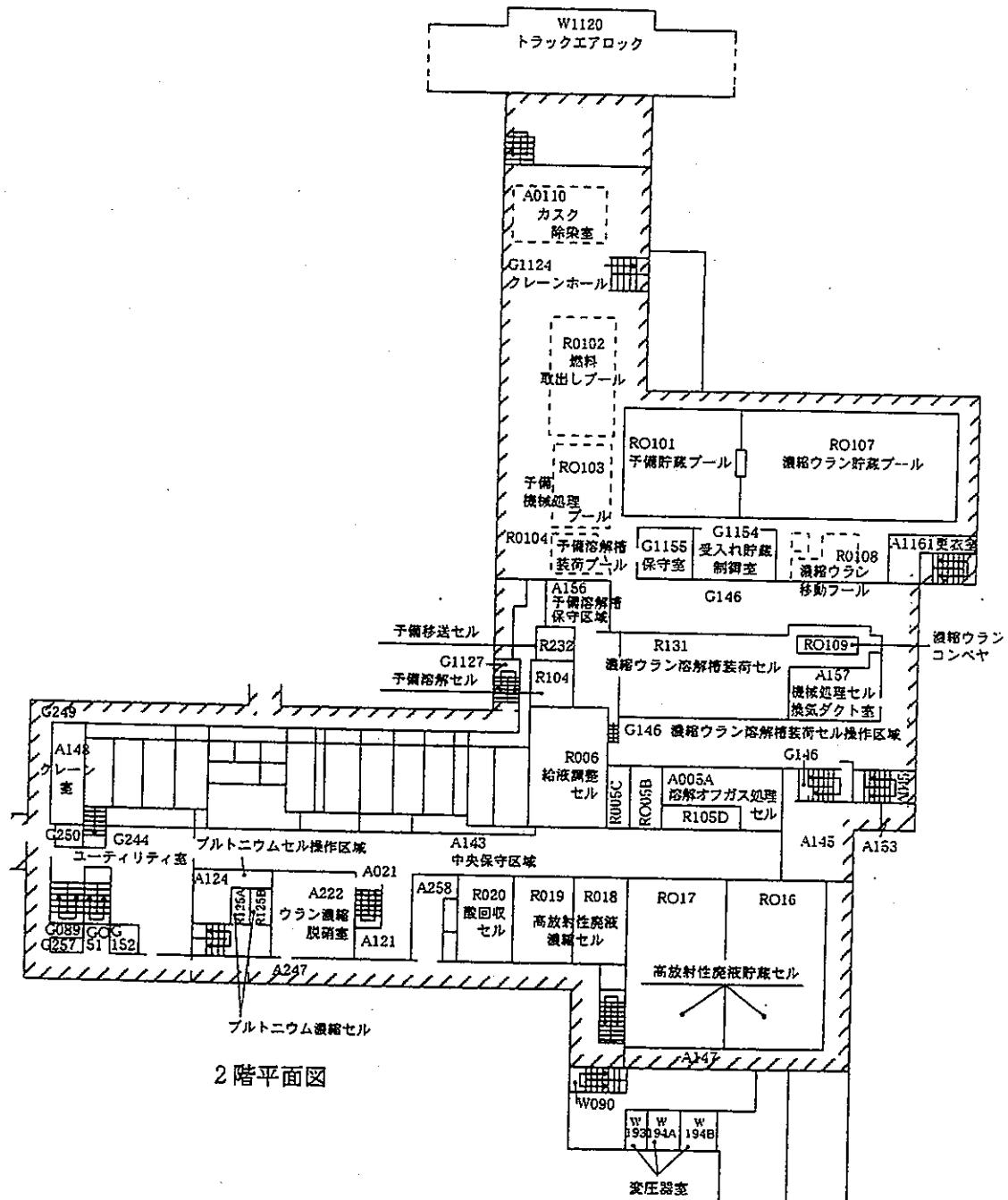
管理区域及びホワイト区域（分離精製工場：その1）

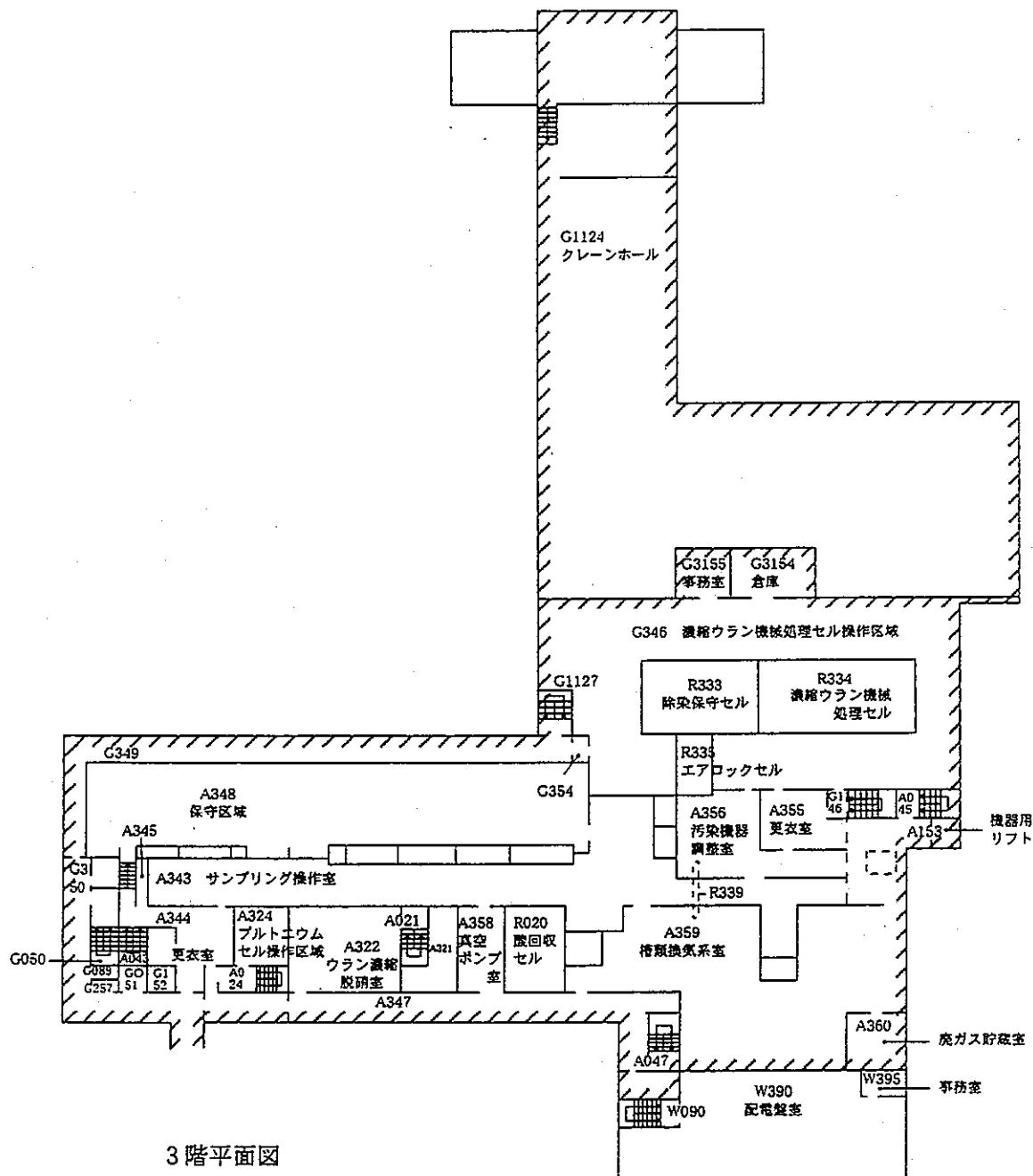


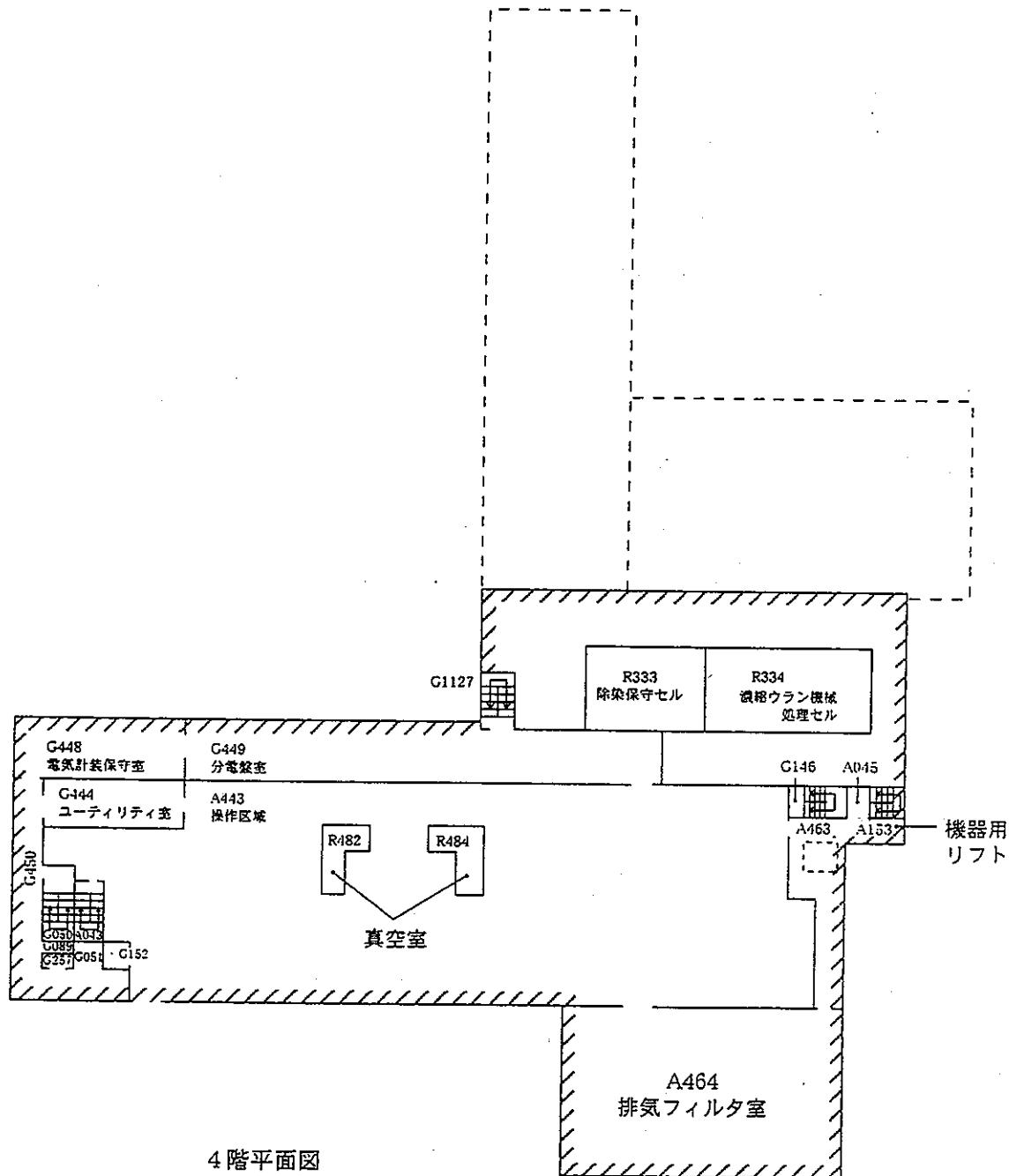
管理区域及びホワイト区域（分離精製工場：その2）



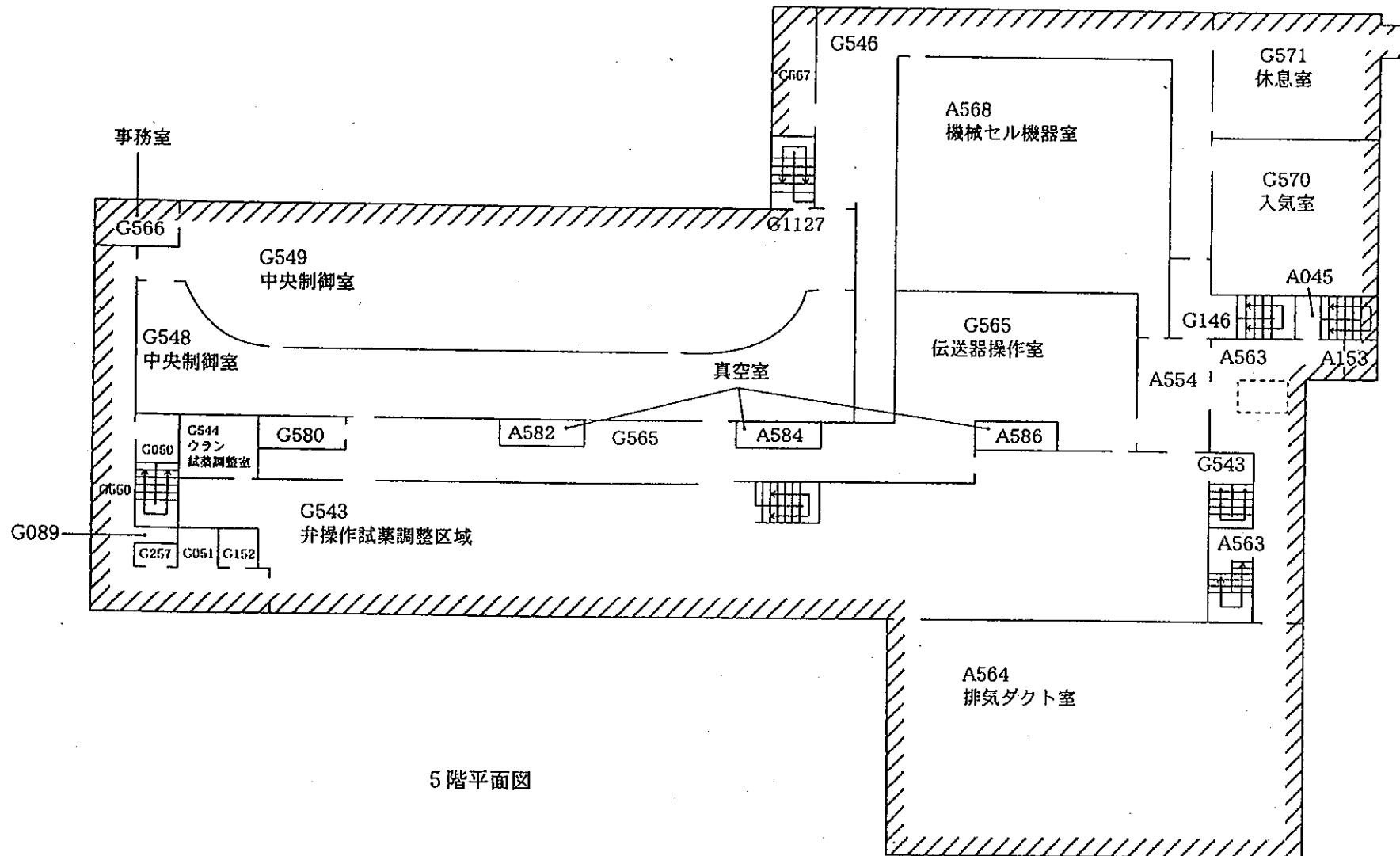
管理区域及びホワイト区域（分離精製工場：その3）



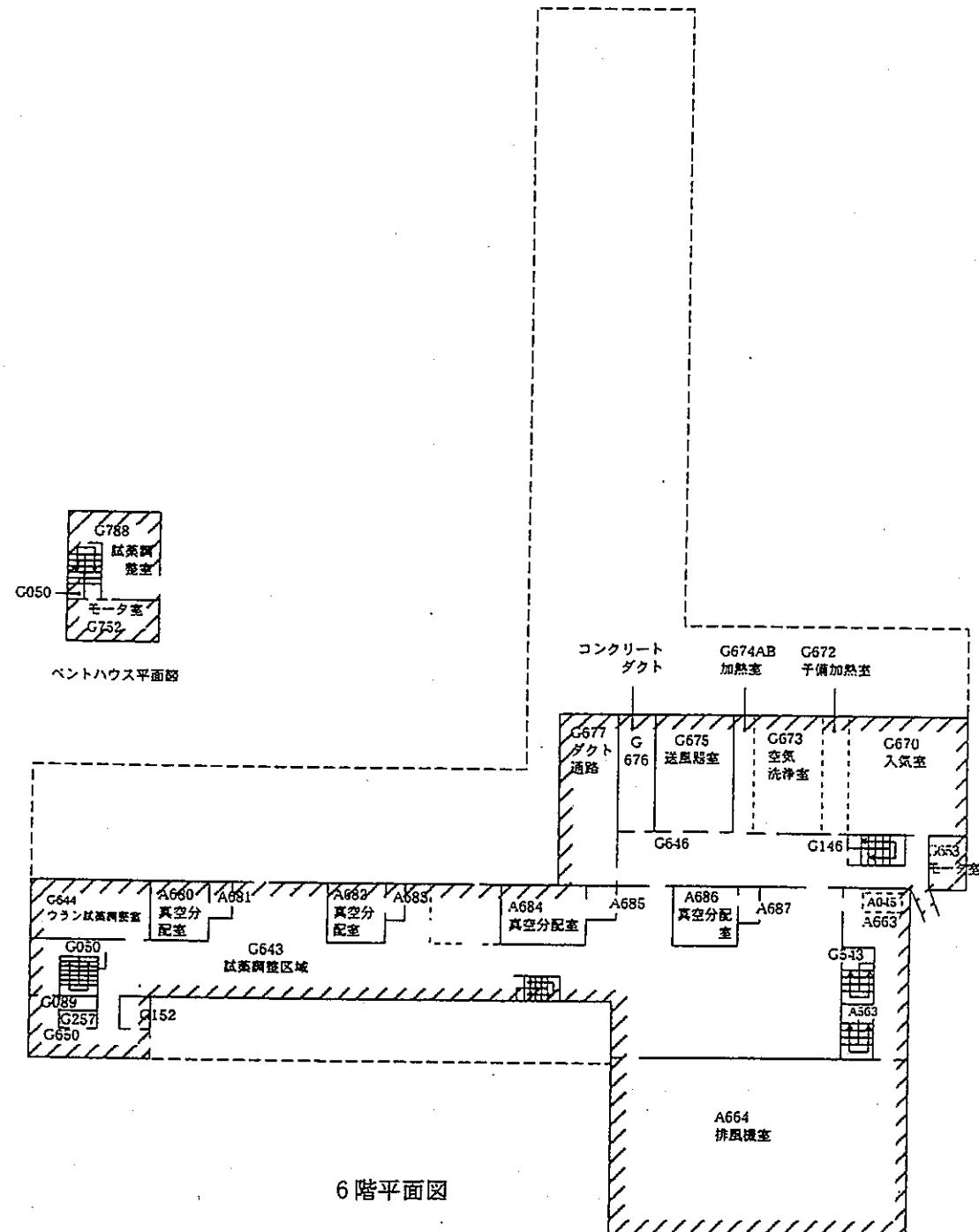


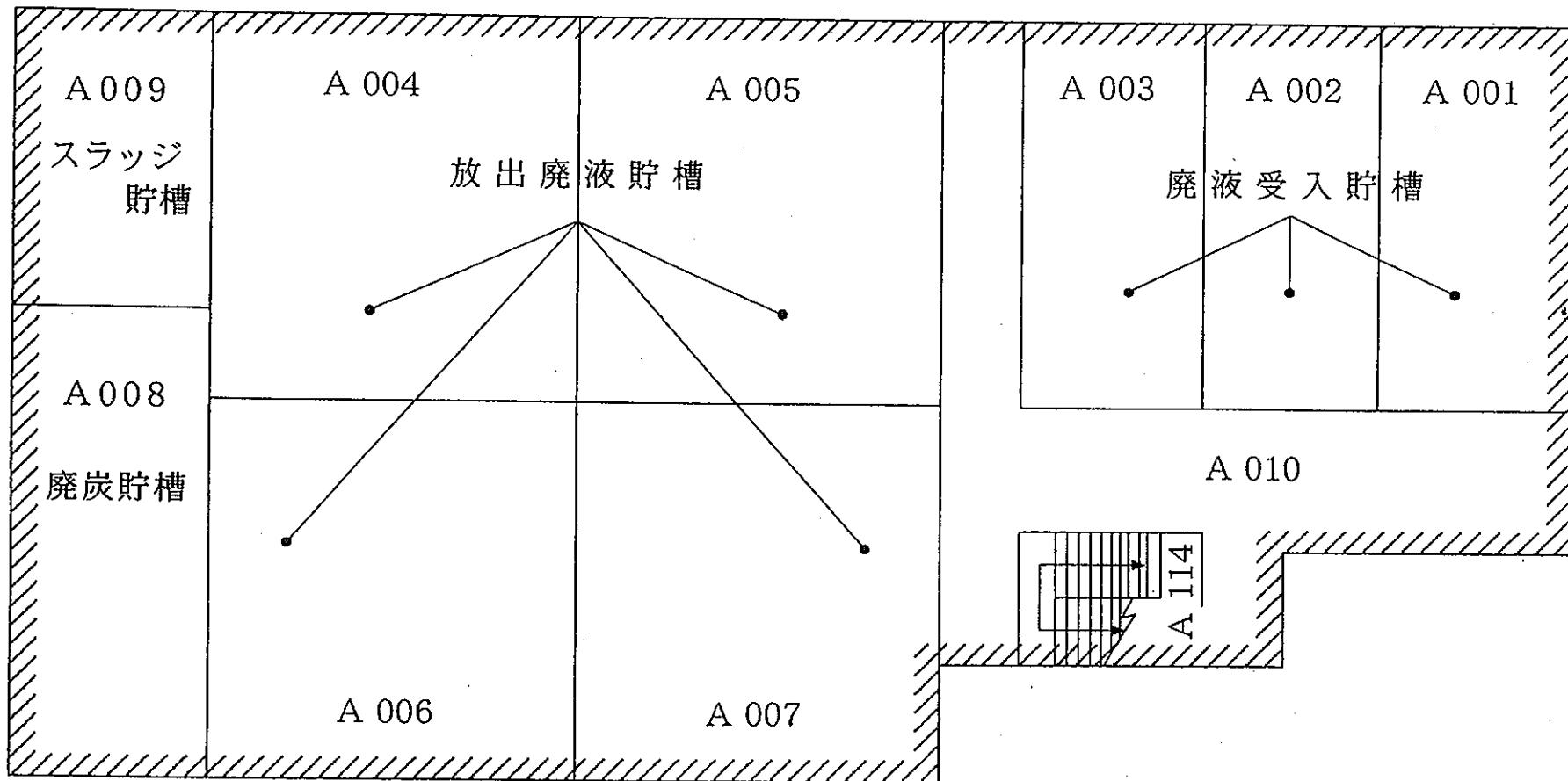


管理区域及びホワイト区域（分離精製工場：その6）



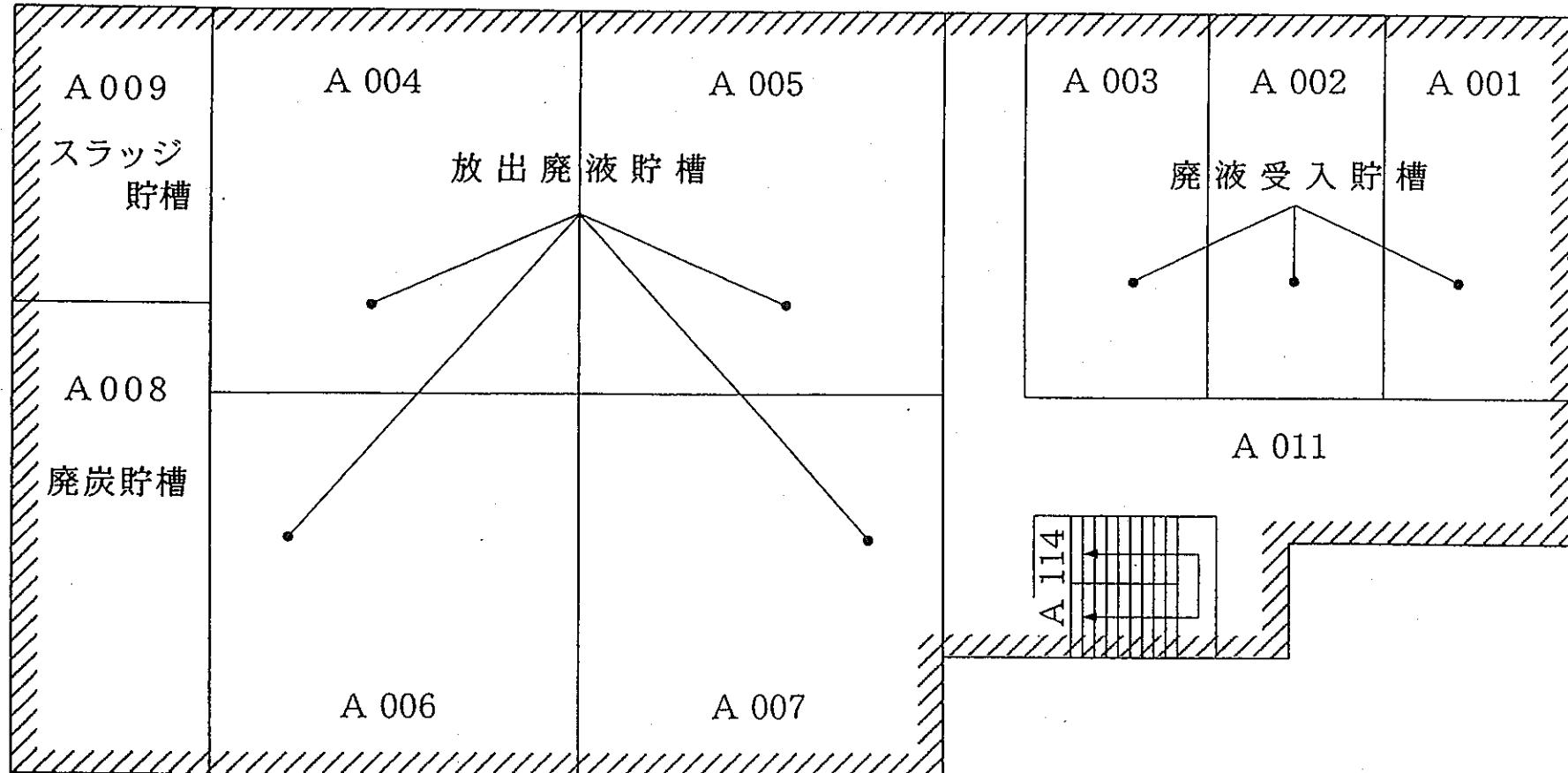
管理区域及びホワイト区域（分離精製工場：その7）





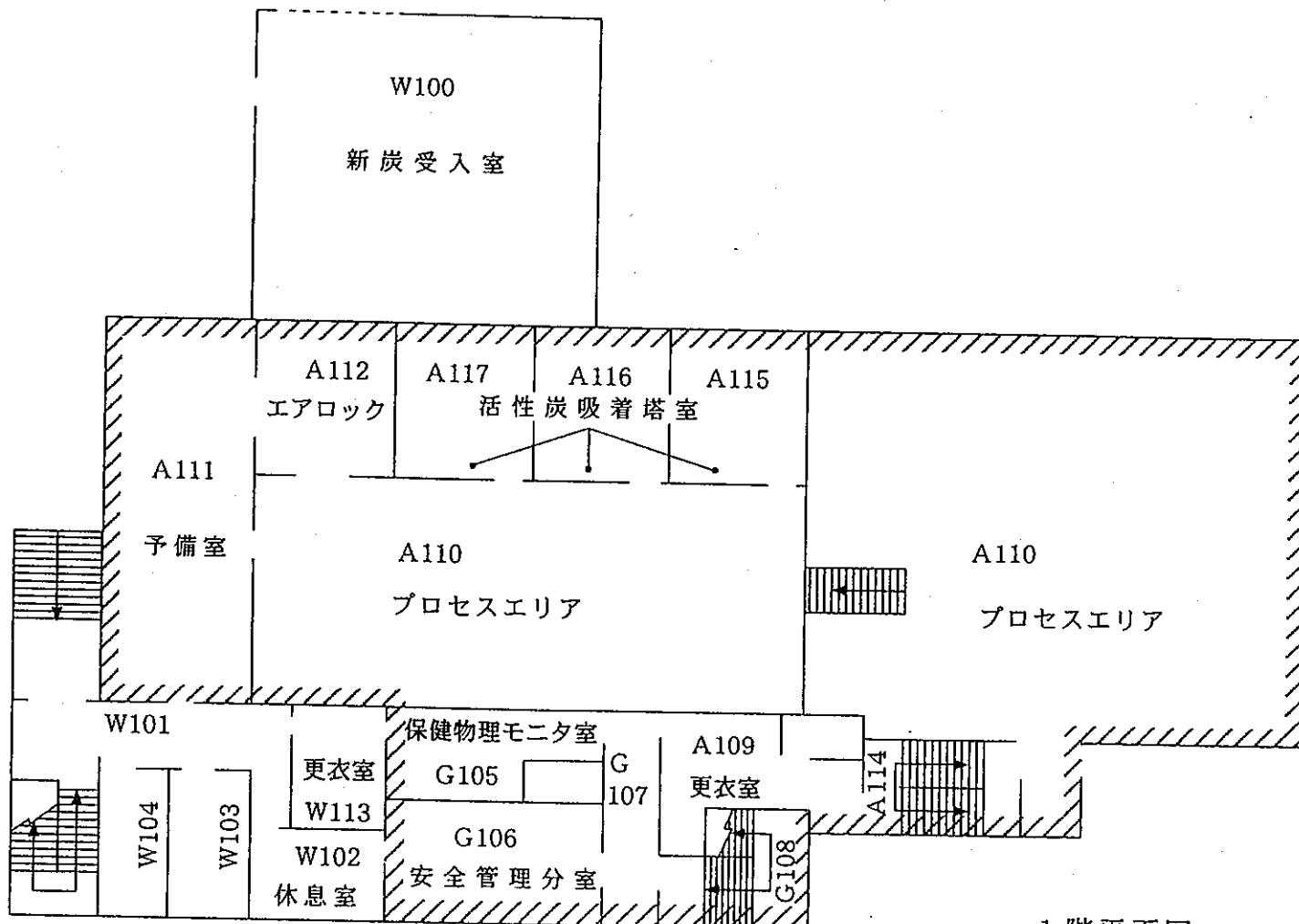
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（放出廃液油分除去施設：その1）



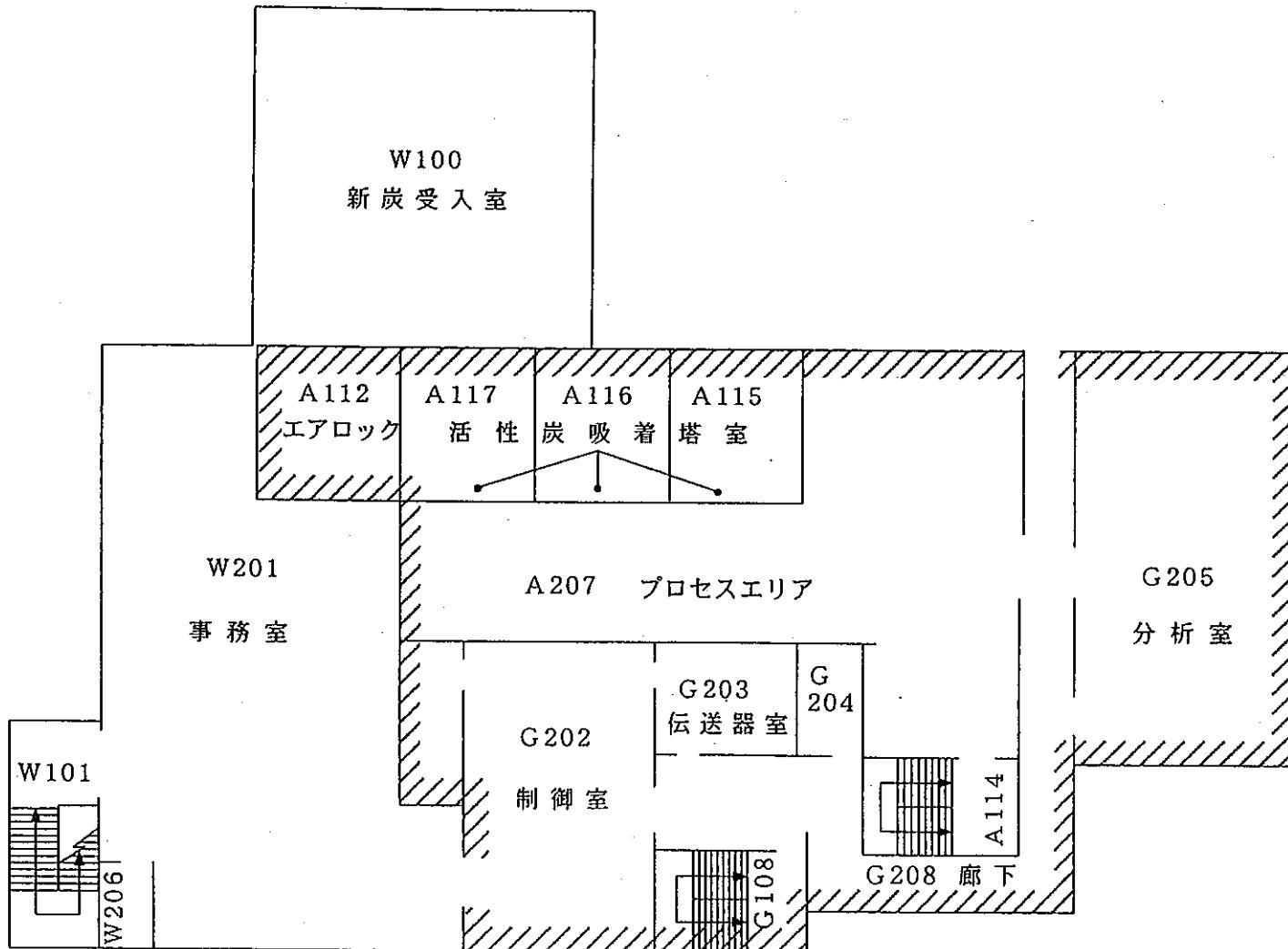
地下中1階平面図

管理区域及びホワイト区域（放出廃液油分除去施設：その2）



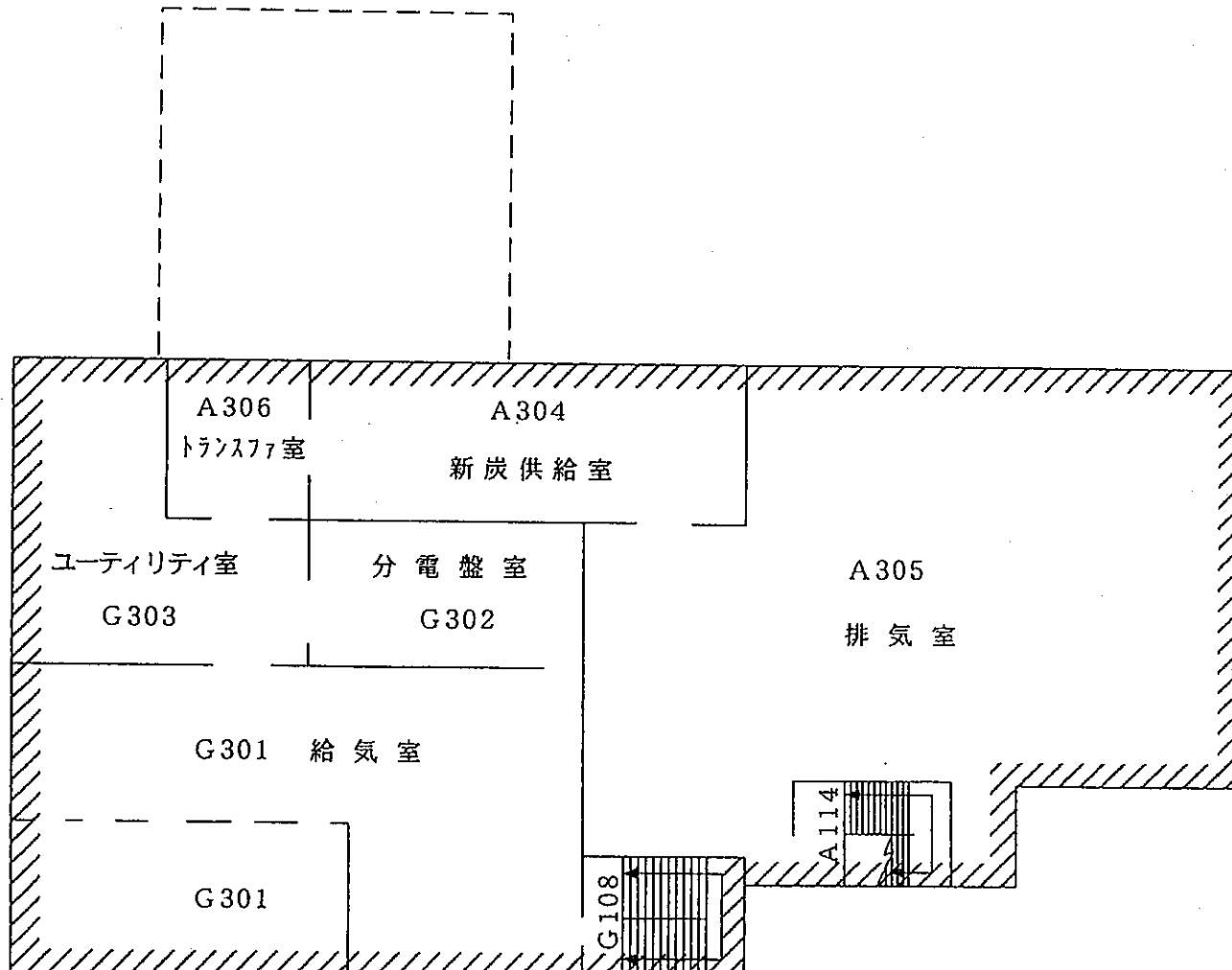
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（放出廃液油分除去施設：その3）



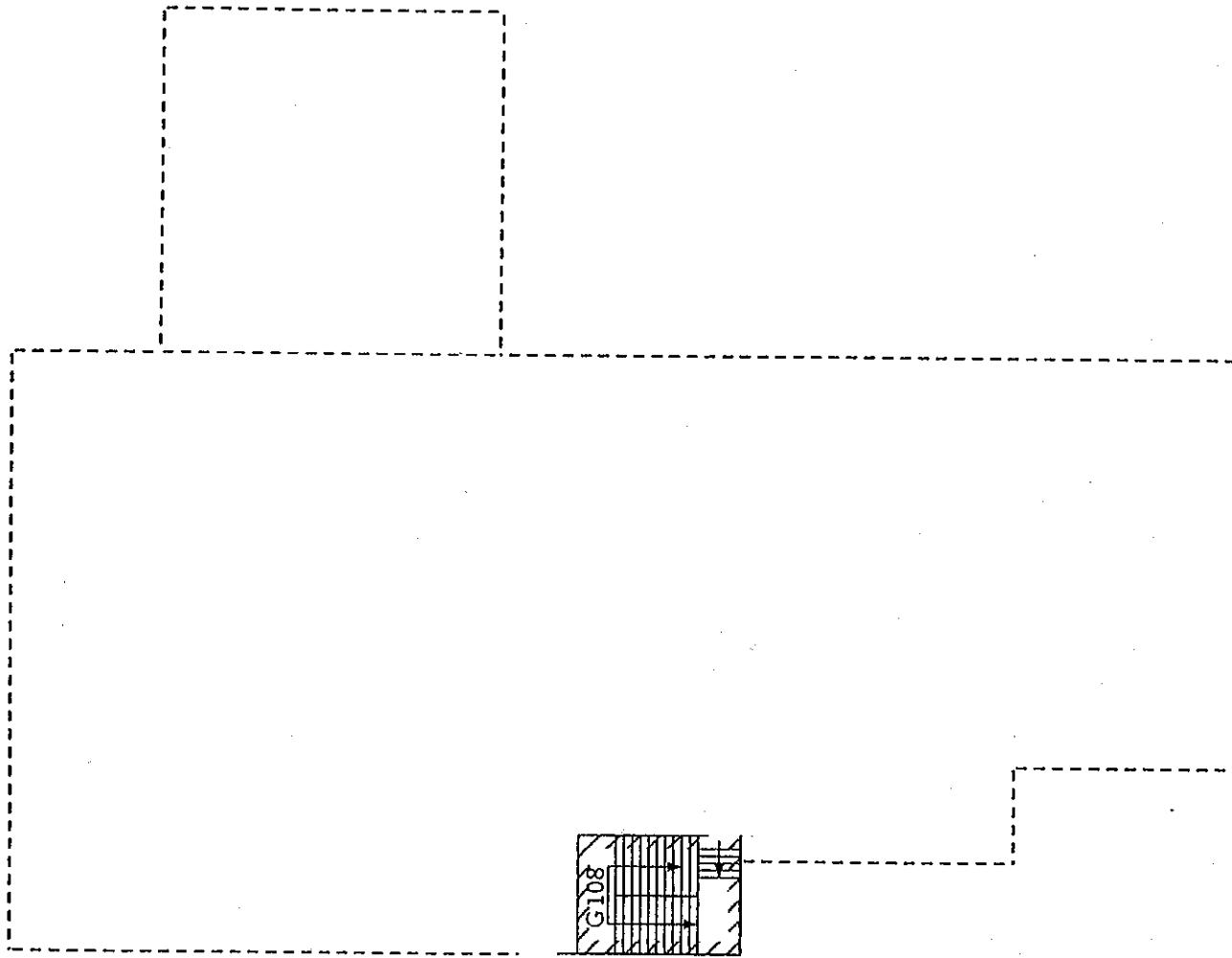
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（放出廃液油分除去施設：その4）



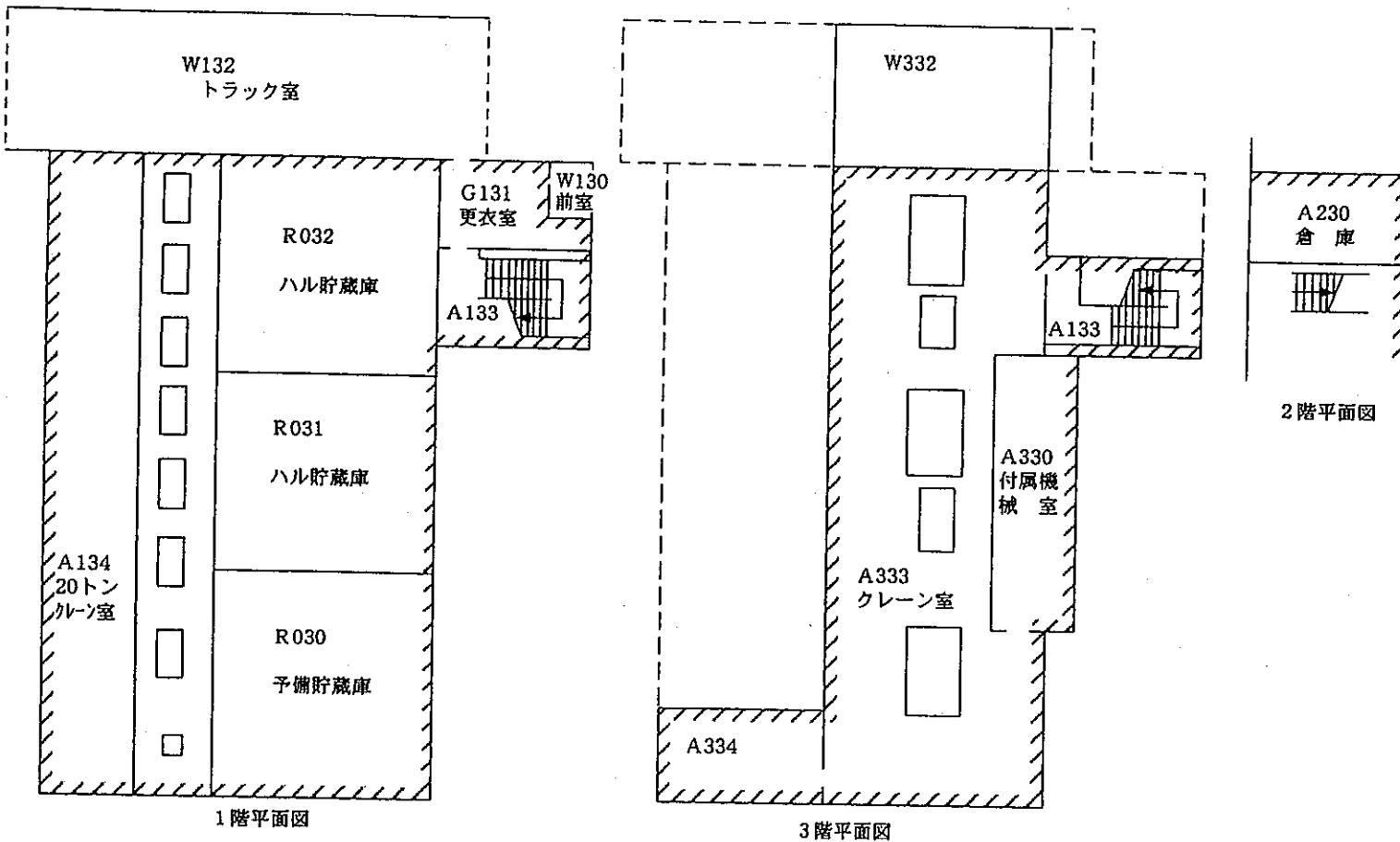
3階平面図

管理区域及びホワイト区域（放出廃液油分除去施設：その5）

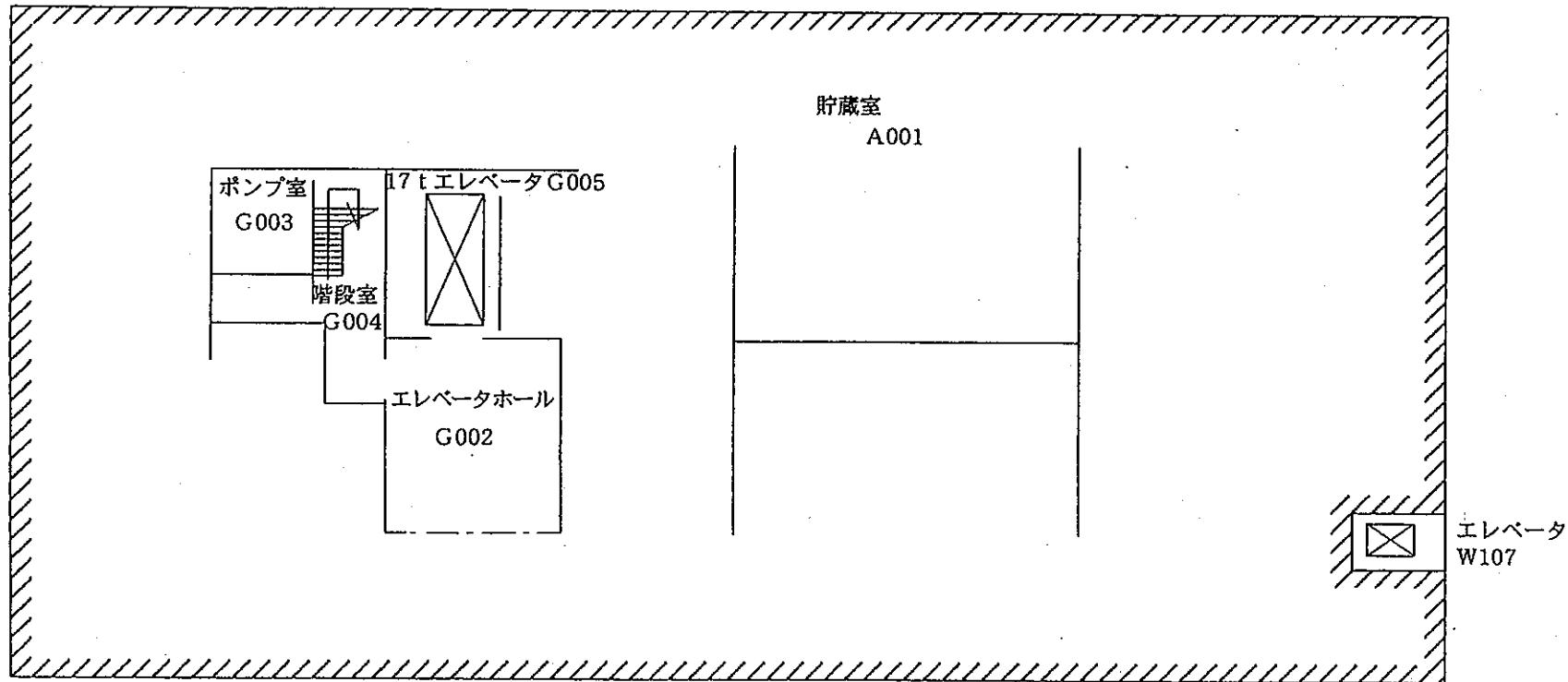


4階平面図

管理区域及びホワイト区域（放出廃液油分除去施設：その6）

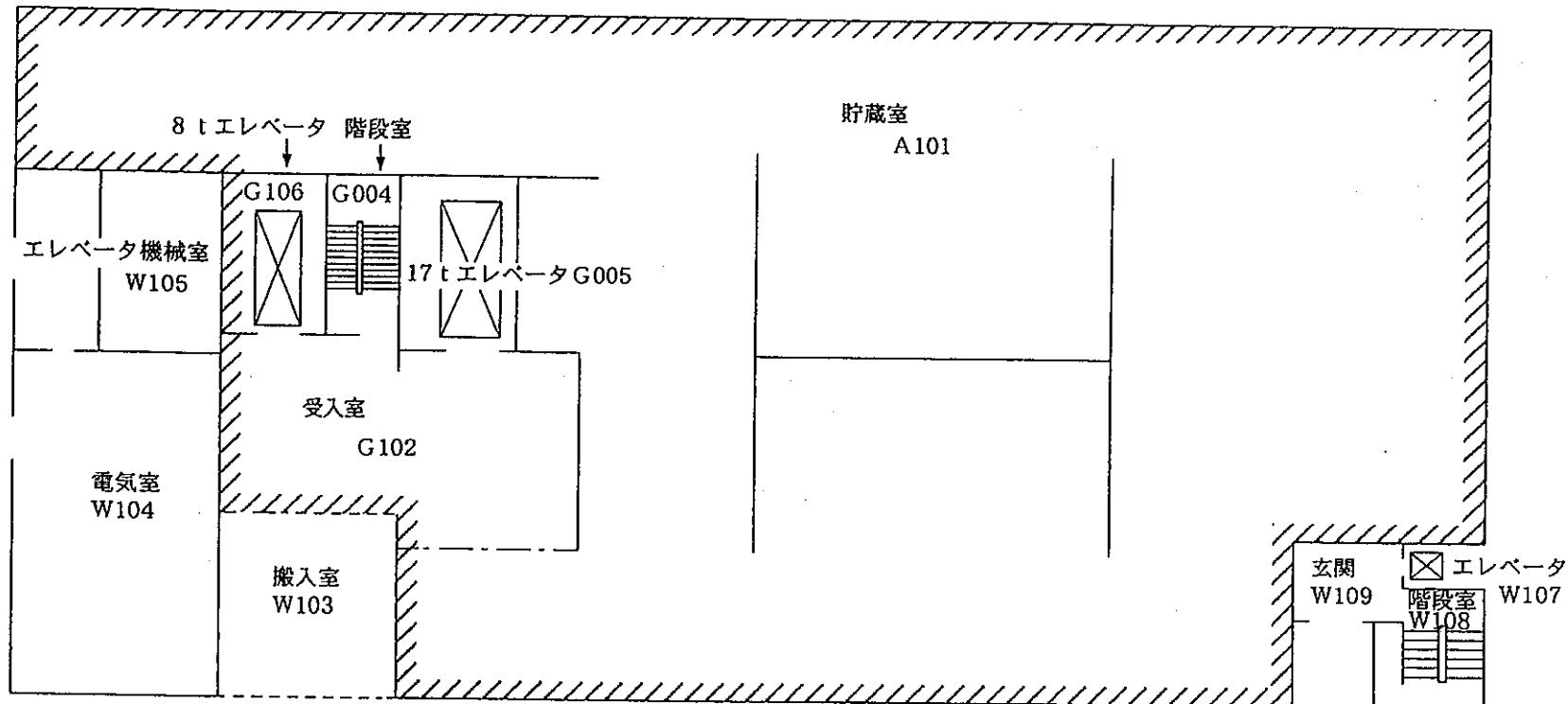


管理区域及びホワイト区域（高放射性固体廃棄物貯蔵庫）



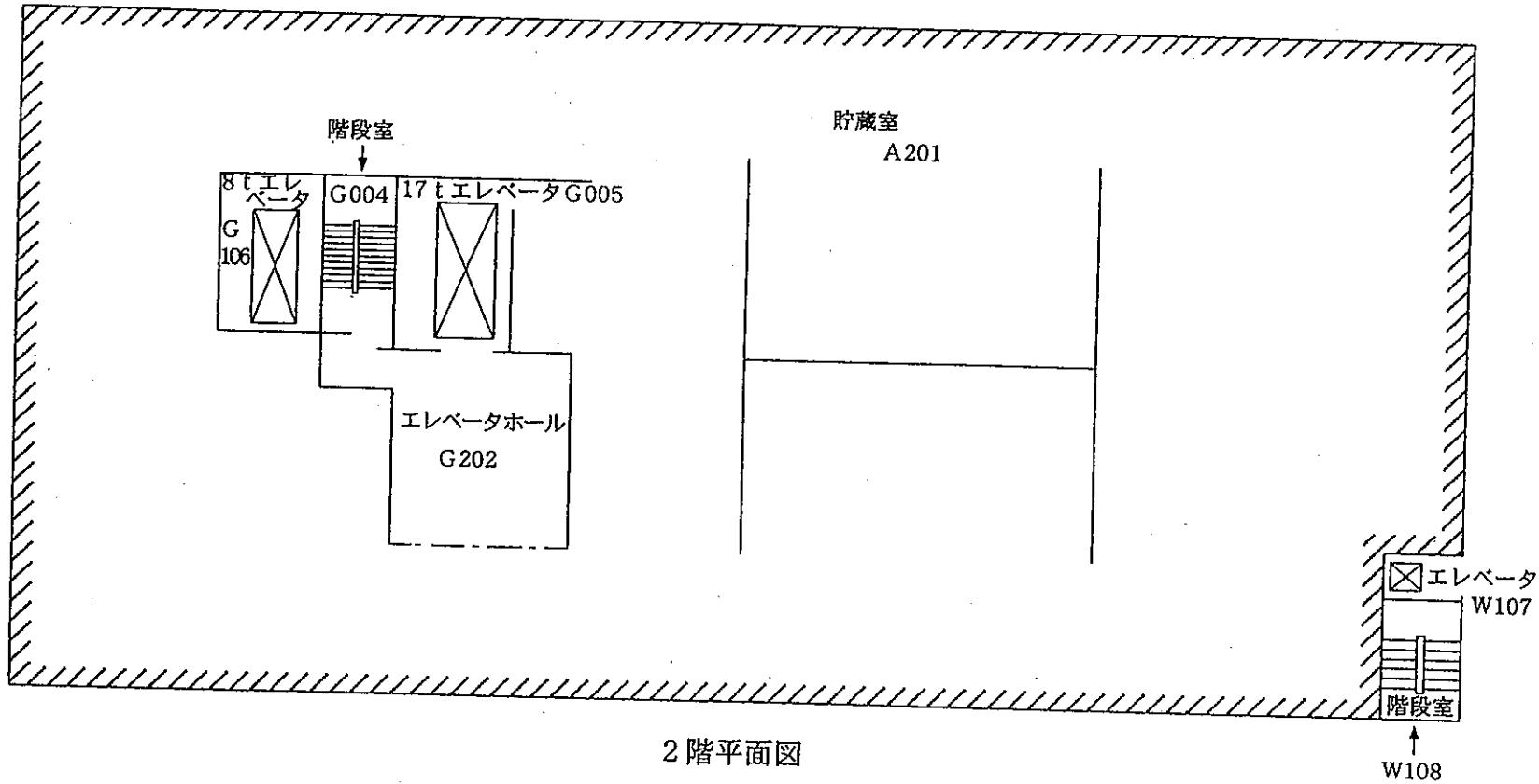
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その1）

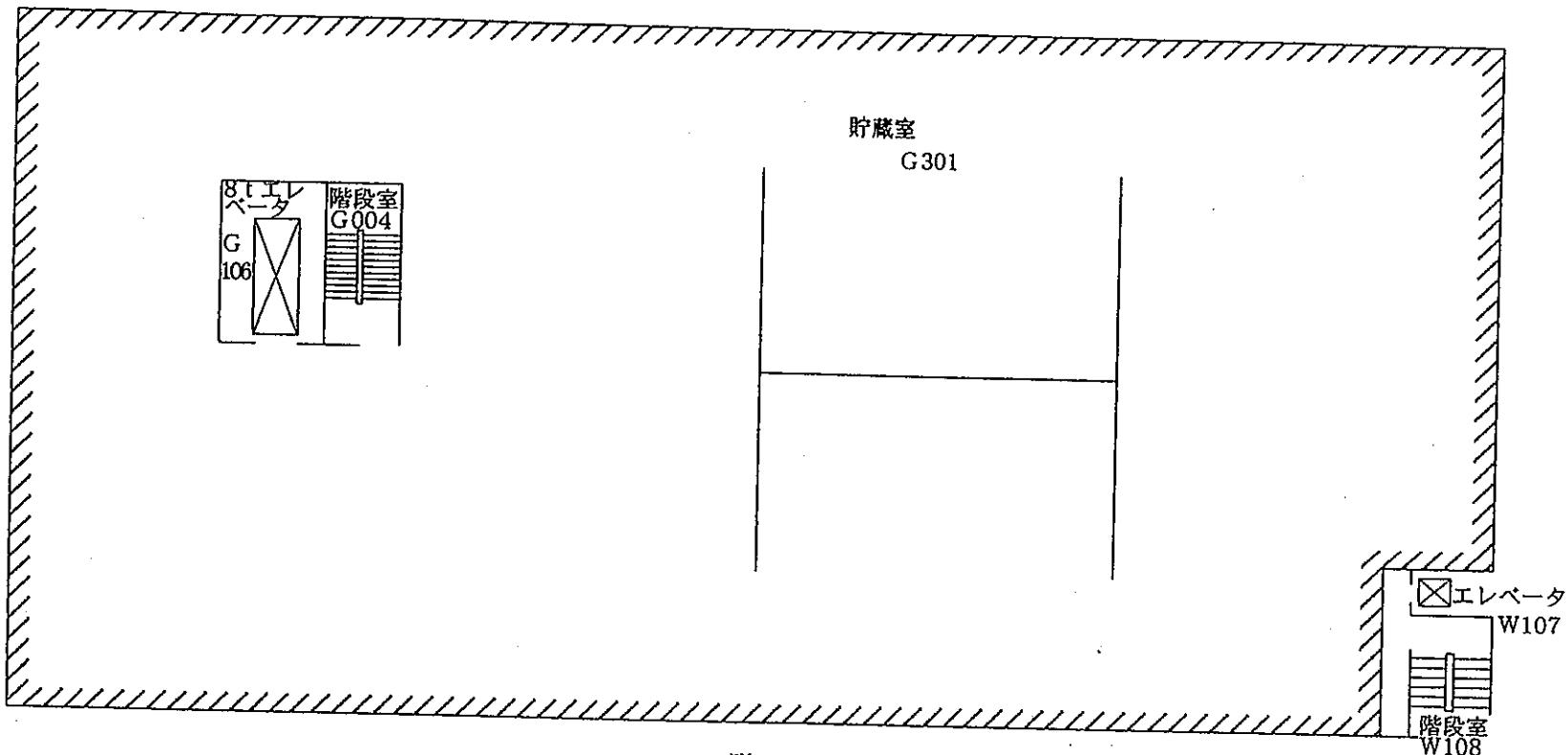


1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その2）

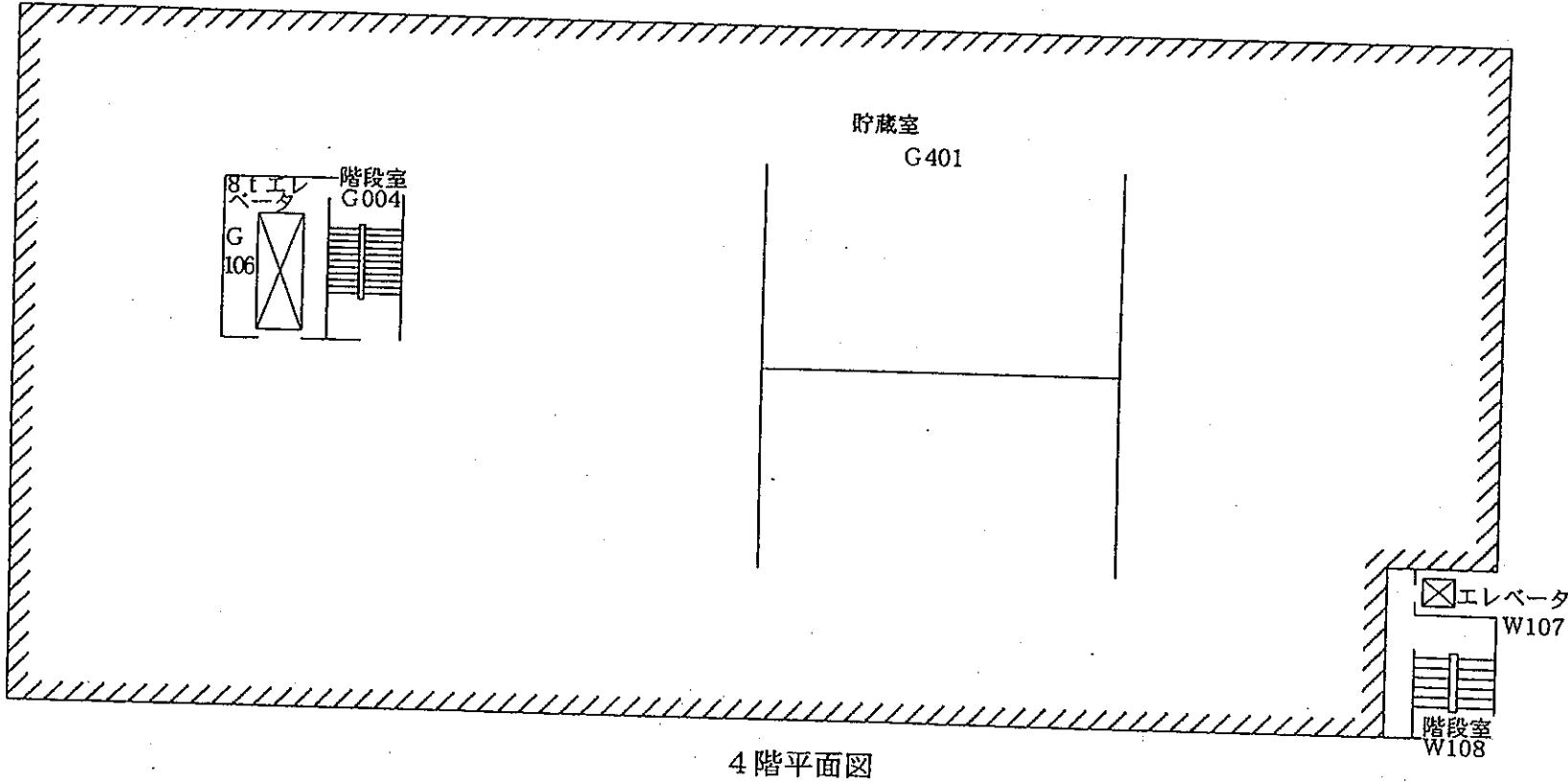


管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その3）

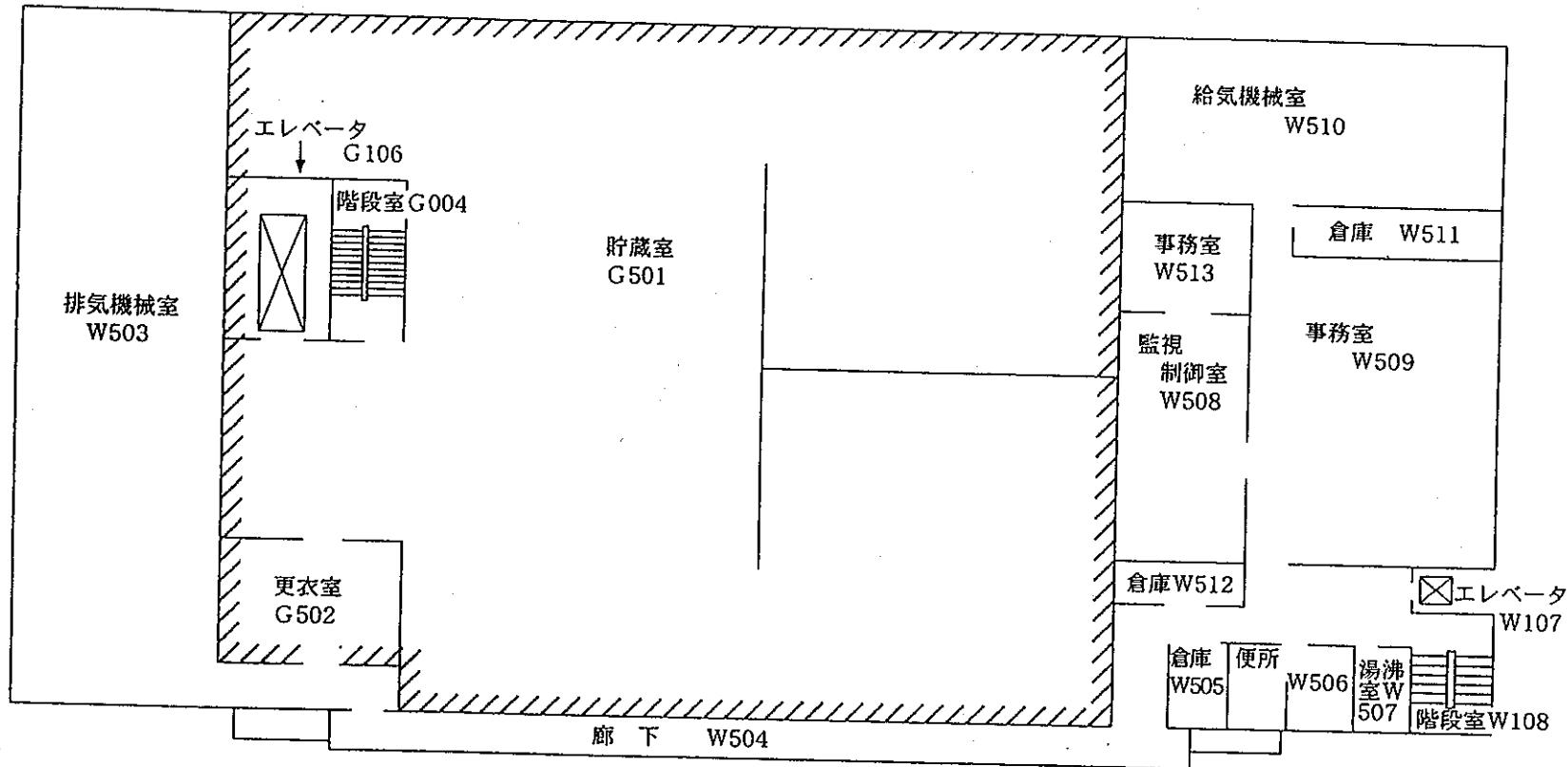


3階平面図

管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その4）

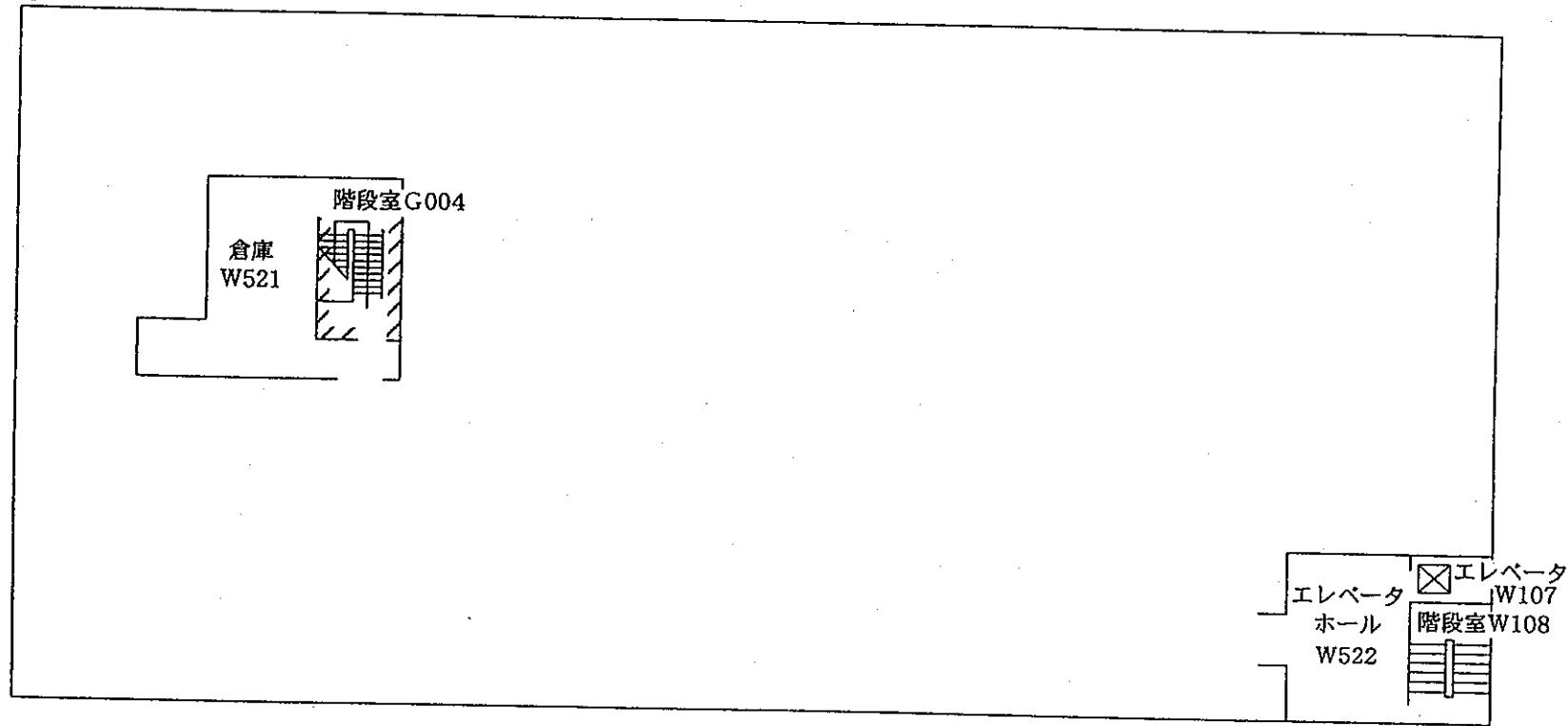


管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その 5）



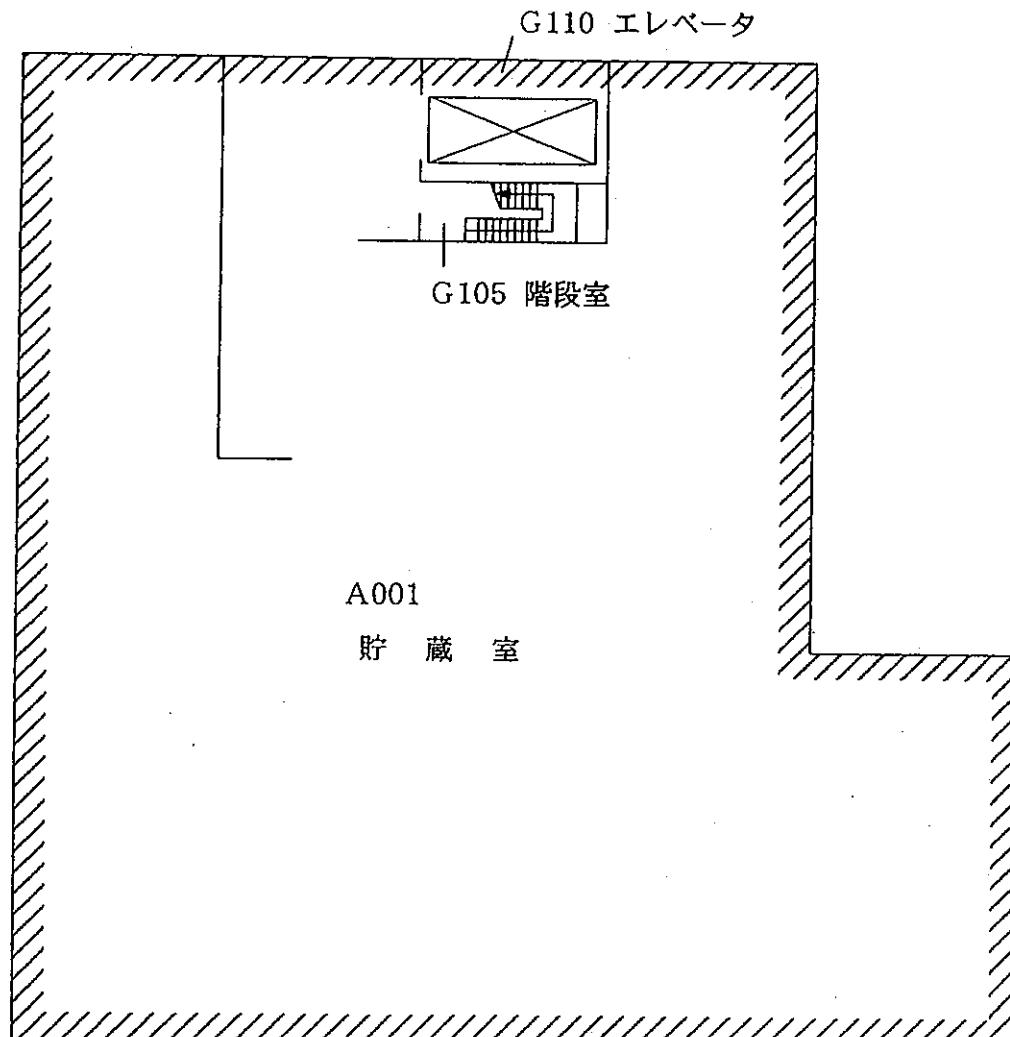
5階平面図

管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その6）



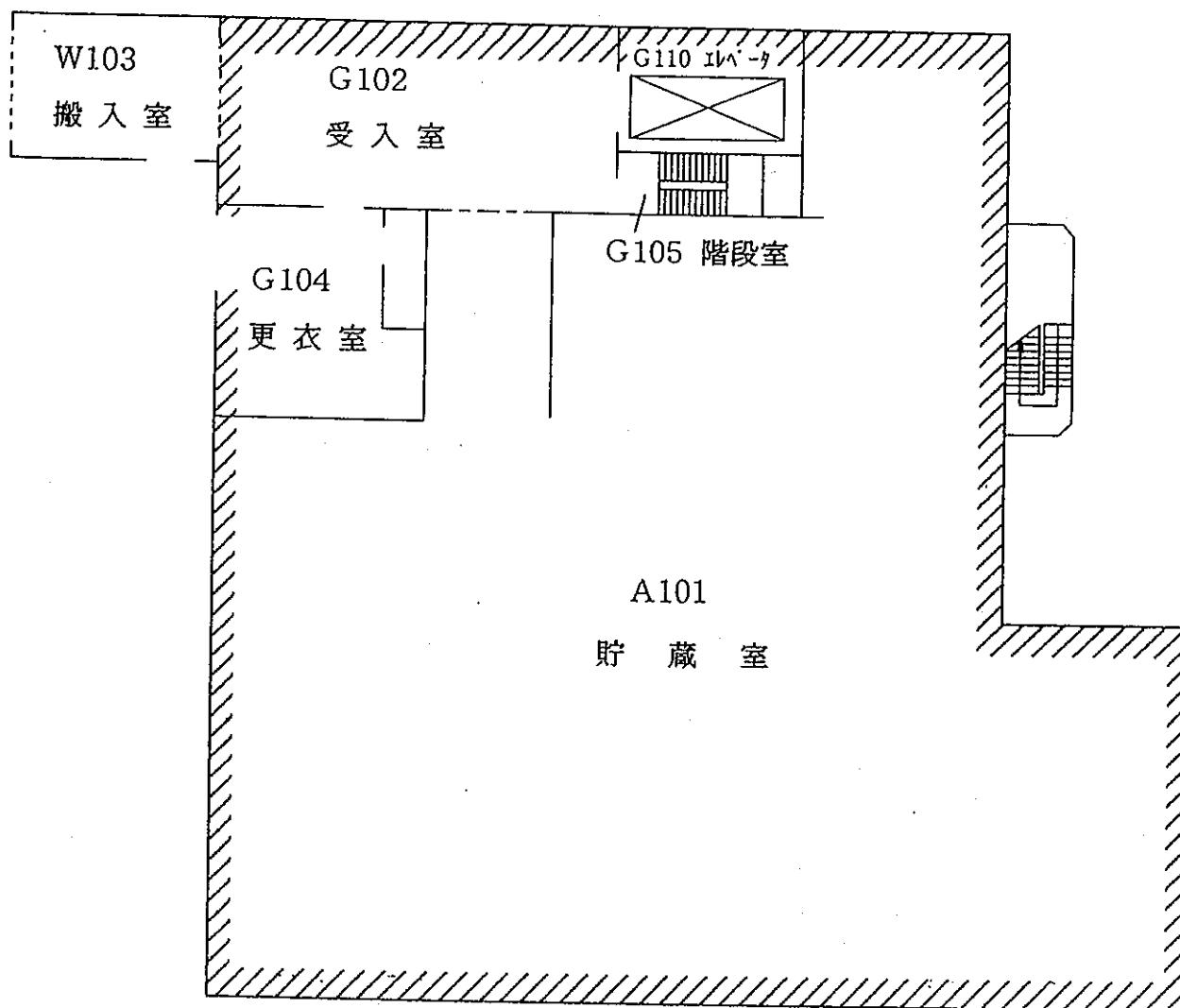
屋上平面図

管理区域及びホワイト区域（第一低放射性固体廃棄物貯蔵場：その7）



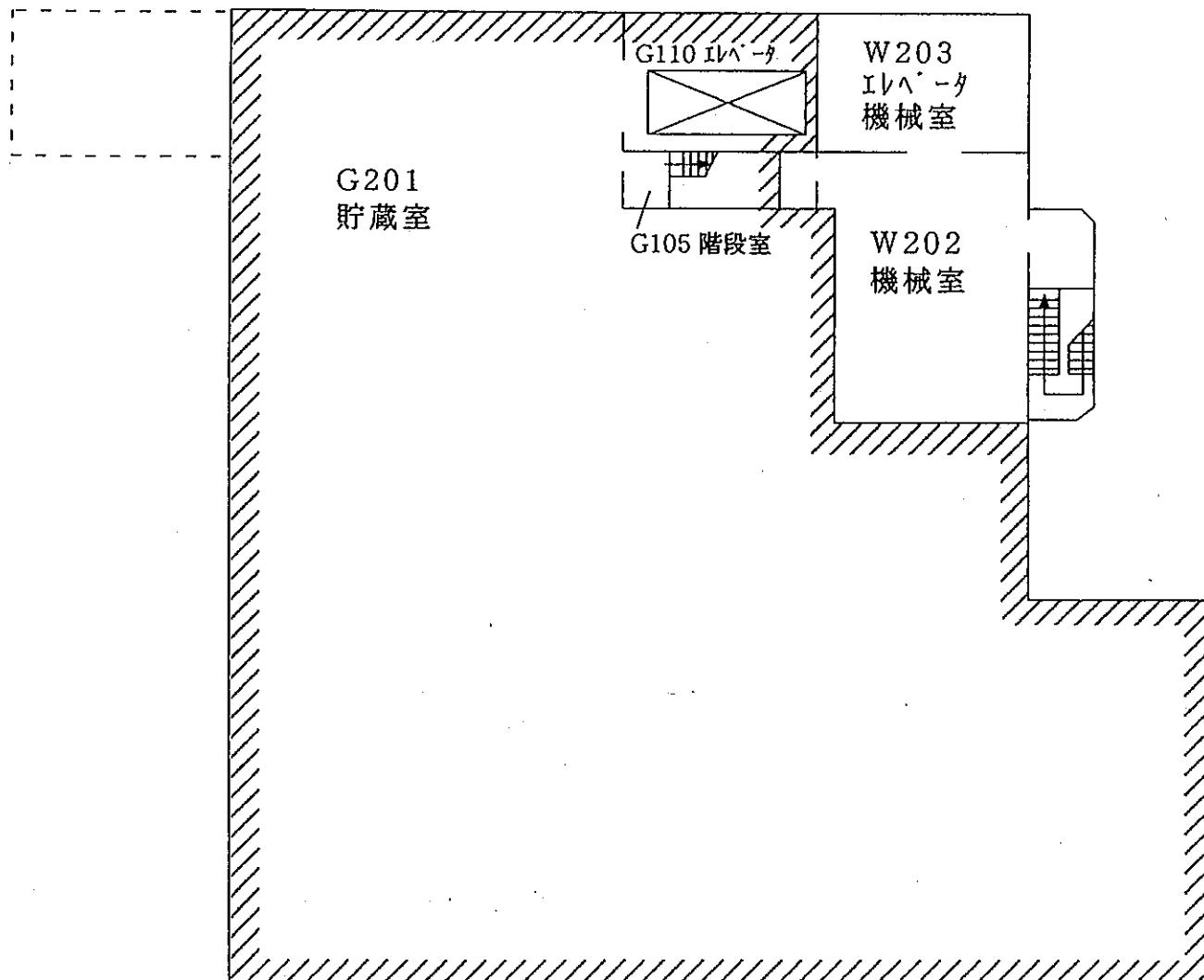
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二低放射性固体廃棄物貯蔵場：その1）



1階平面図

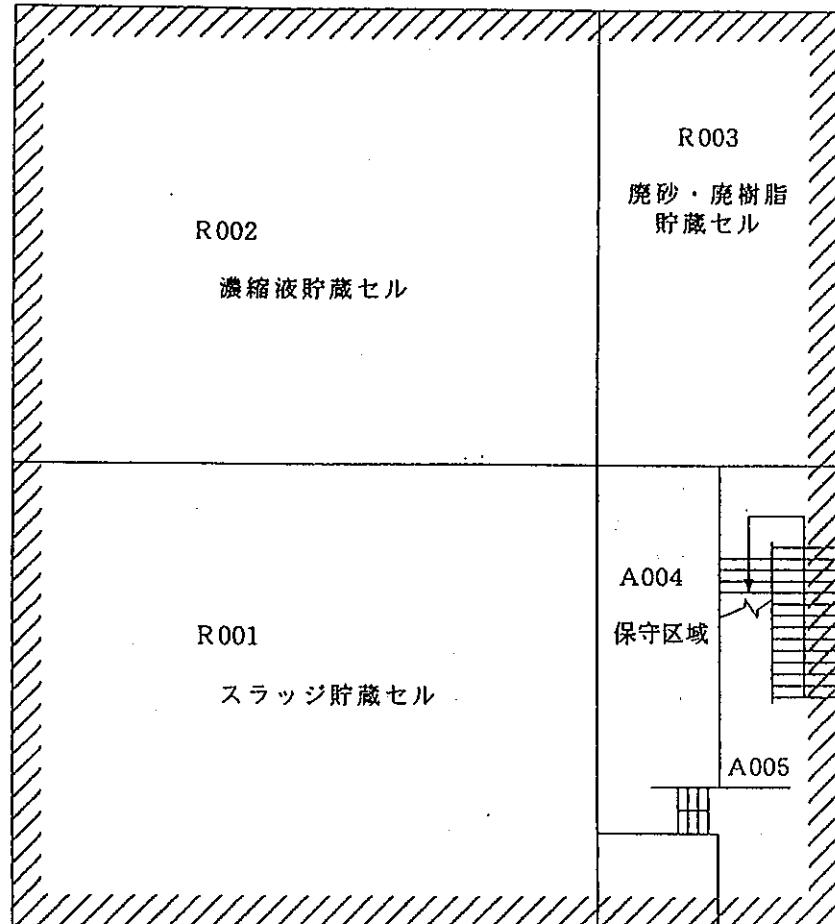
管理区域及びホワイト区域（第二低放射性固体廃棄物貯蔵場：その2）



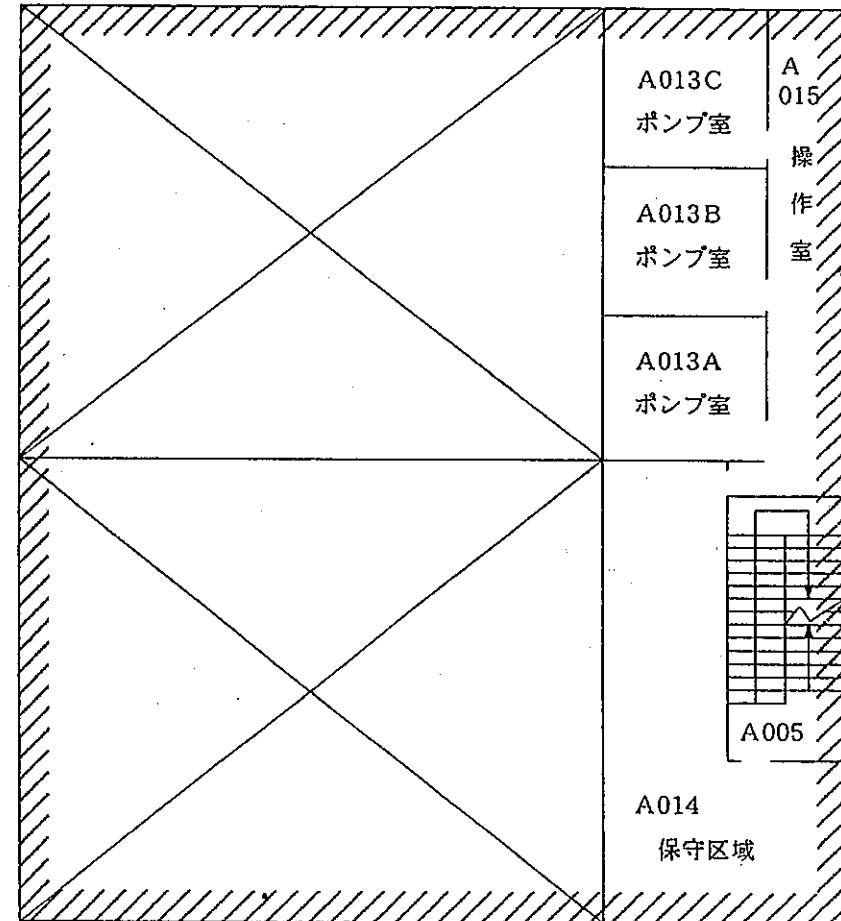
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二低放射性固体廃棄物貯蔵場：その3）

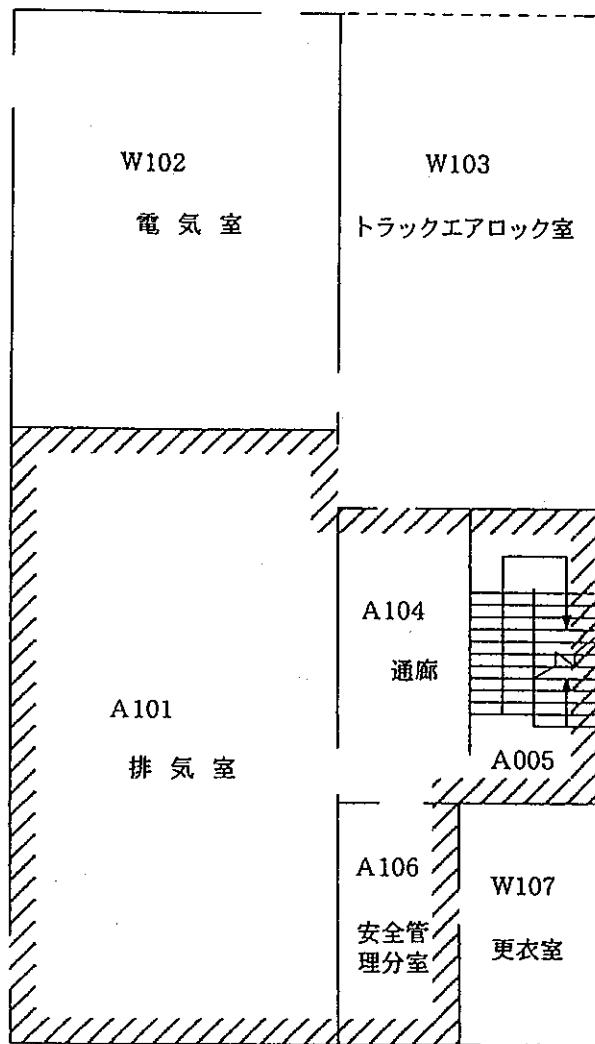
地下 2 階 平面図



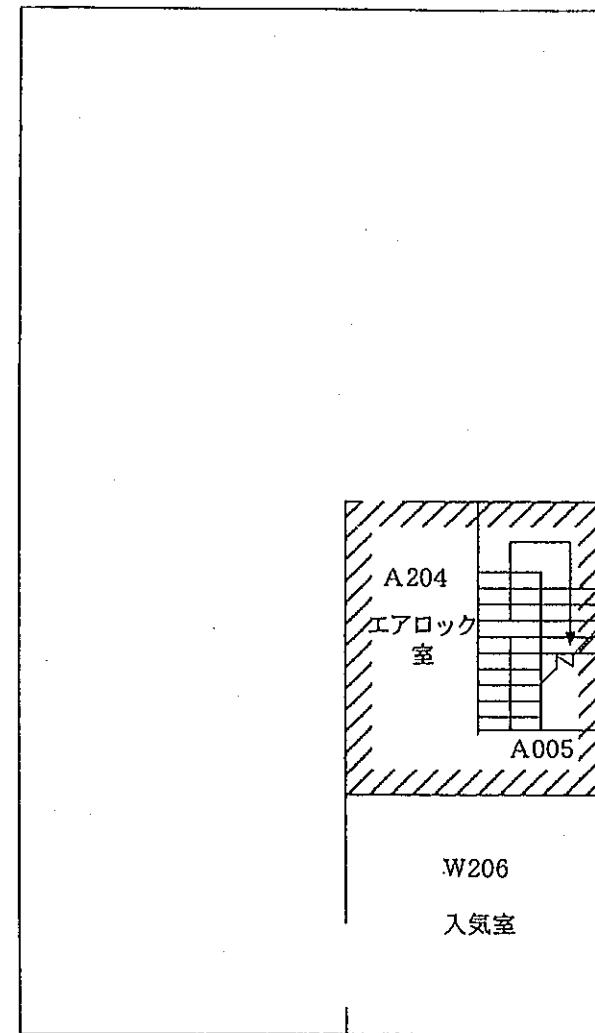
地下 1 階 平面図



管理区域及びホワイト区域（第二スラッジ貯蔵場：その1）

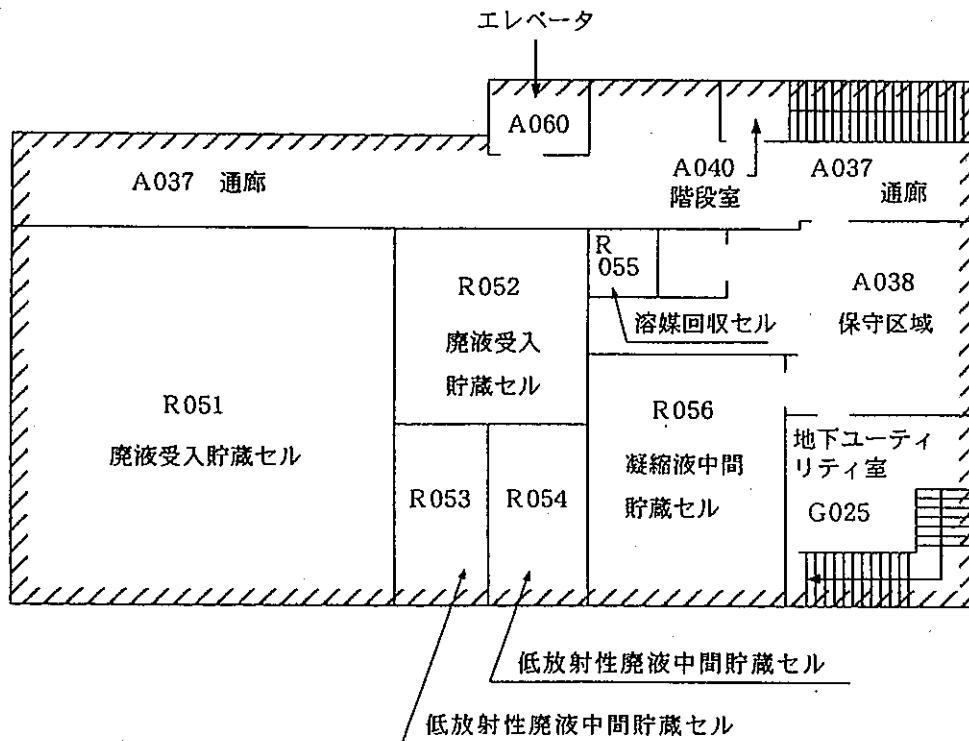


1階平面図



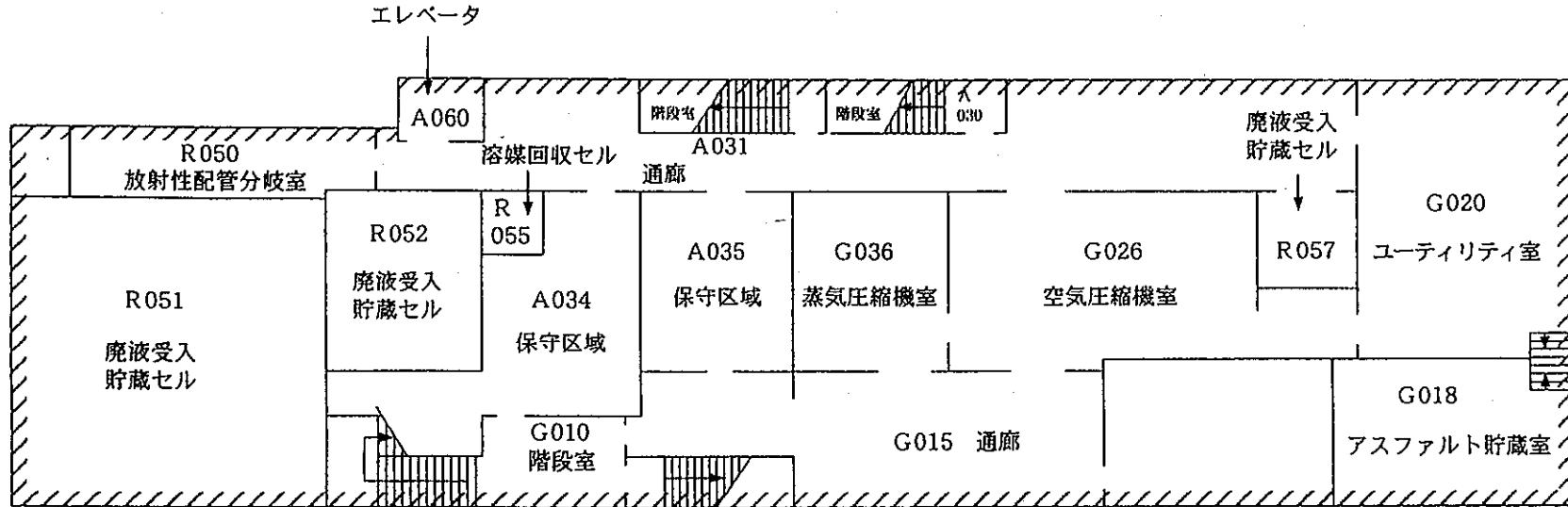
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（第二スラッジ貯蔵場：その2）



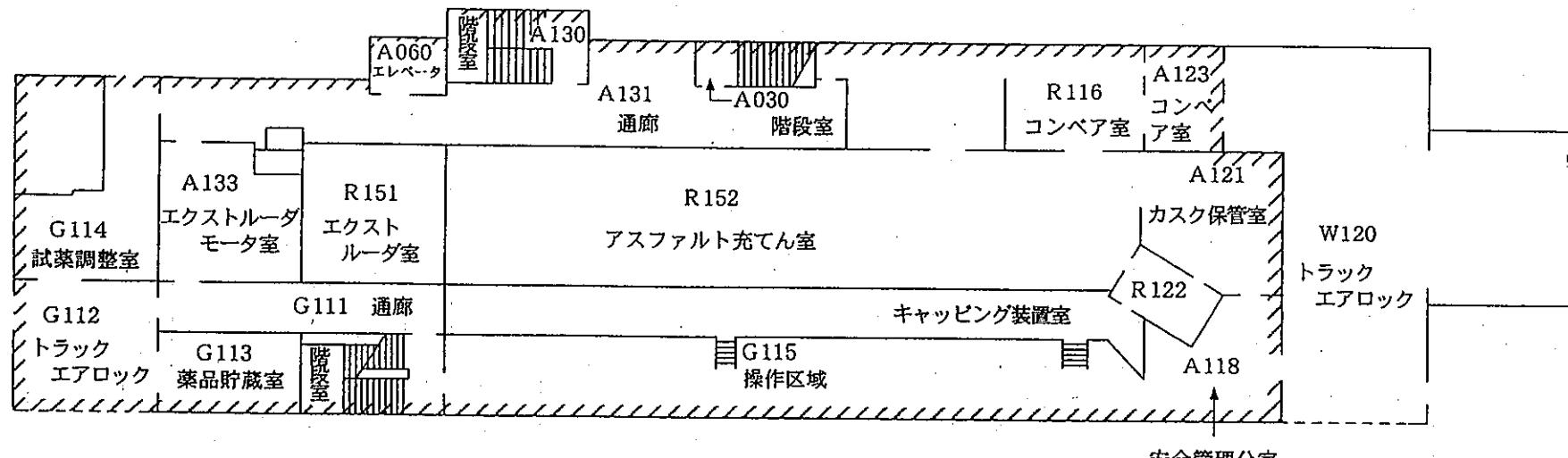
地下2階平面図

管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化処理施設：その1）



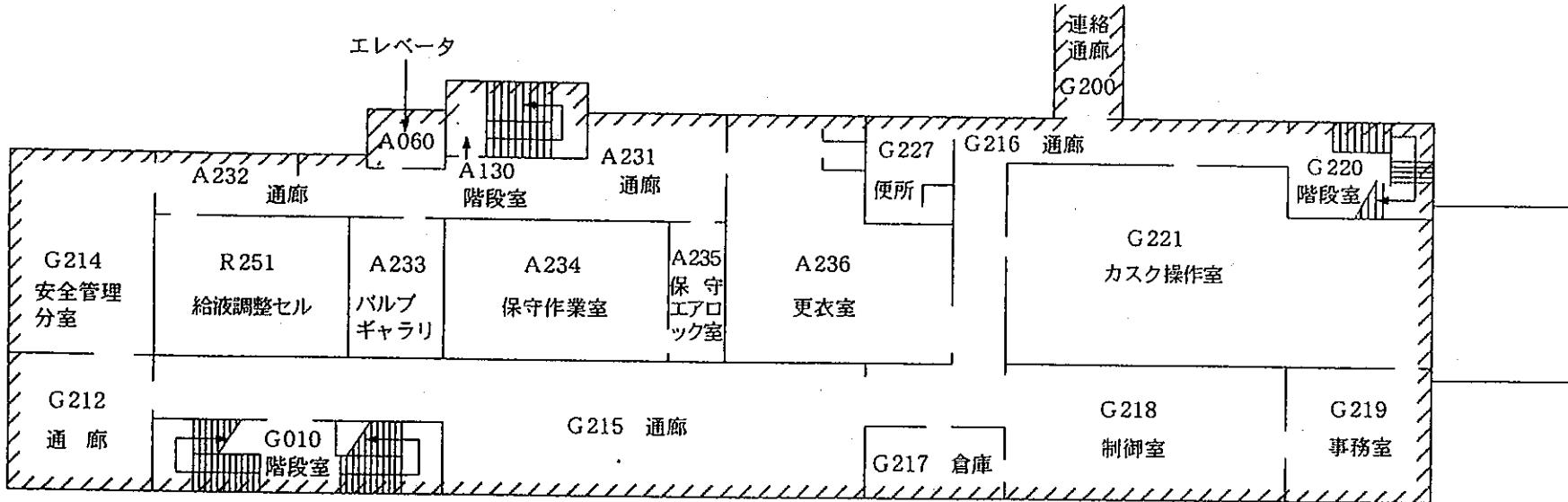
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化処理施設：その2）



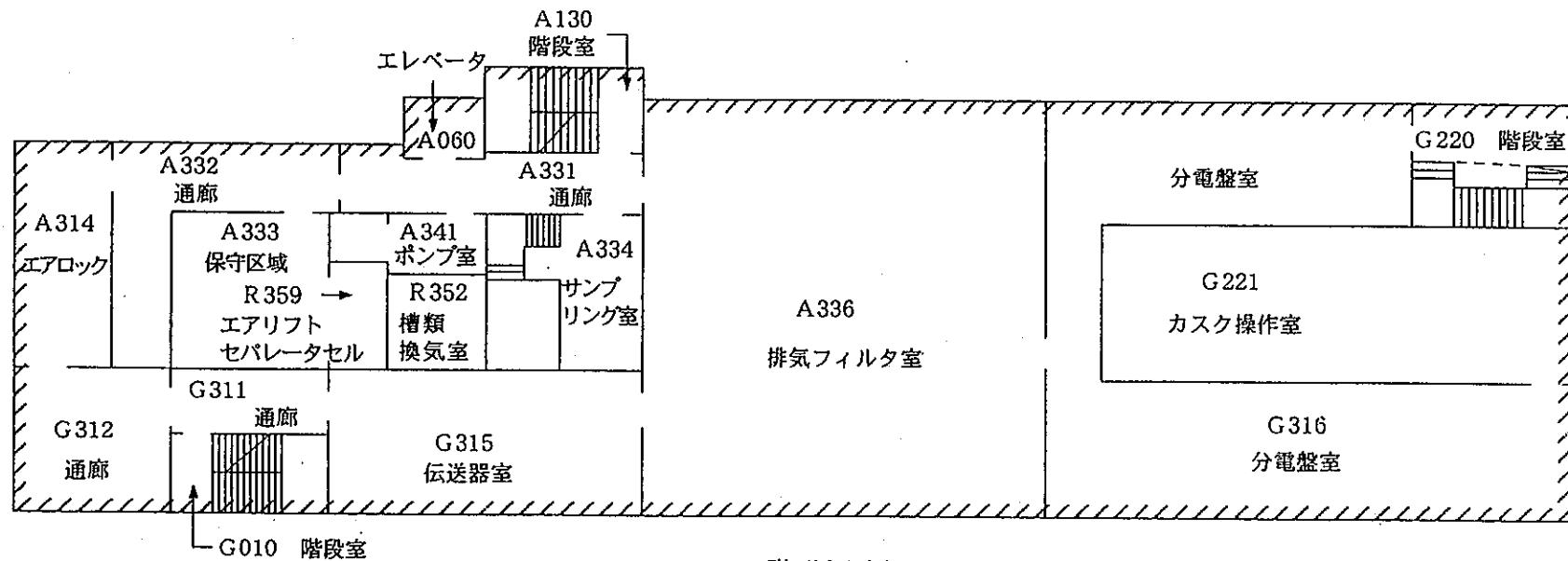
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化処理施設：その3）



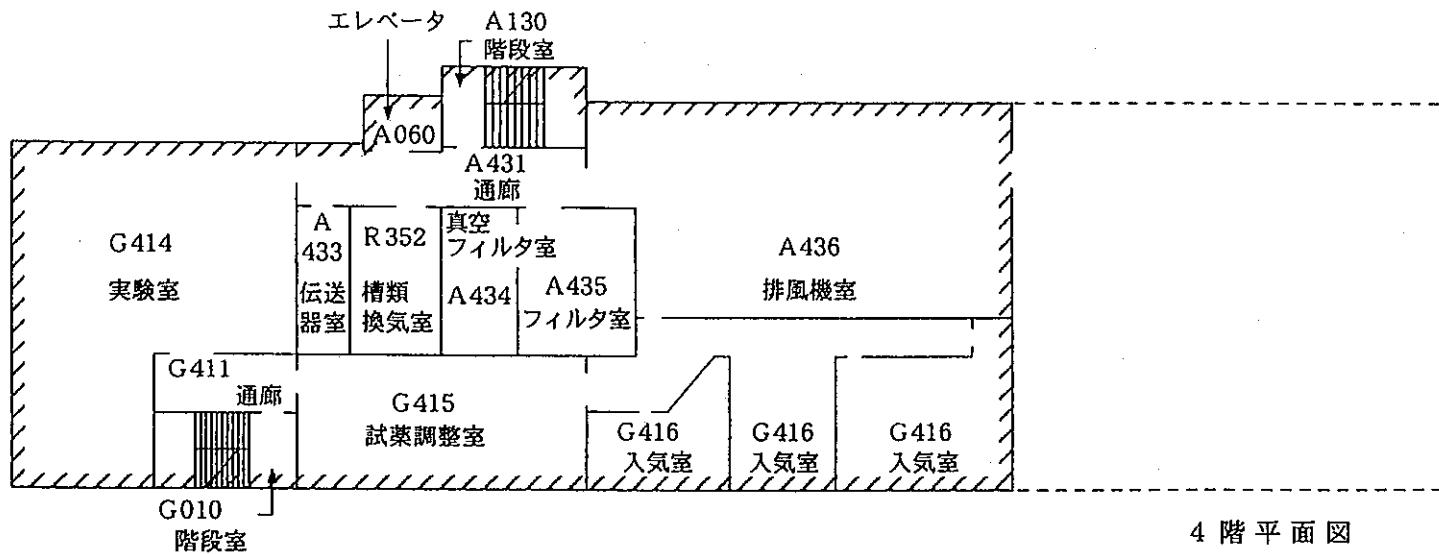
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化処理施設：その4）

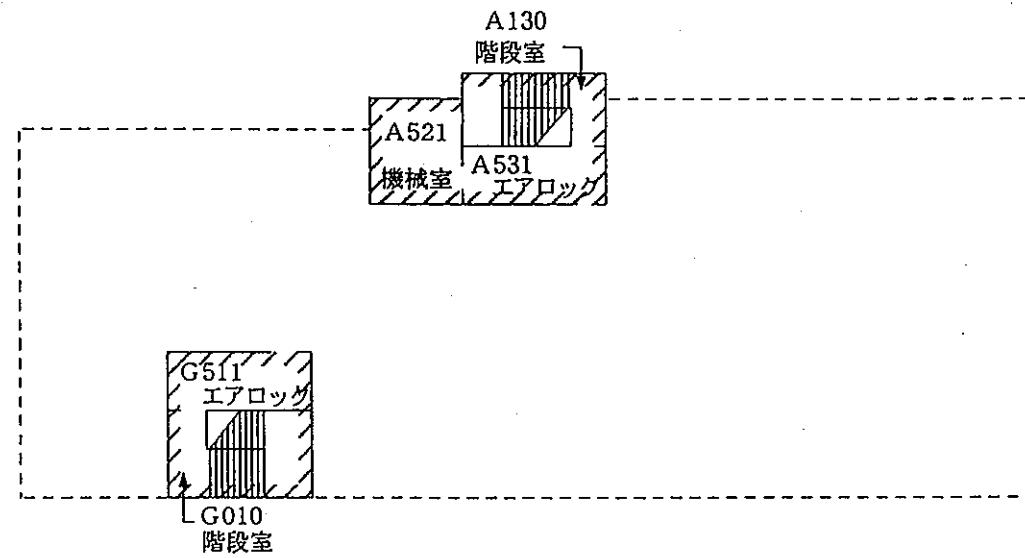


3階平面図

管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化処理施設：その5）

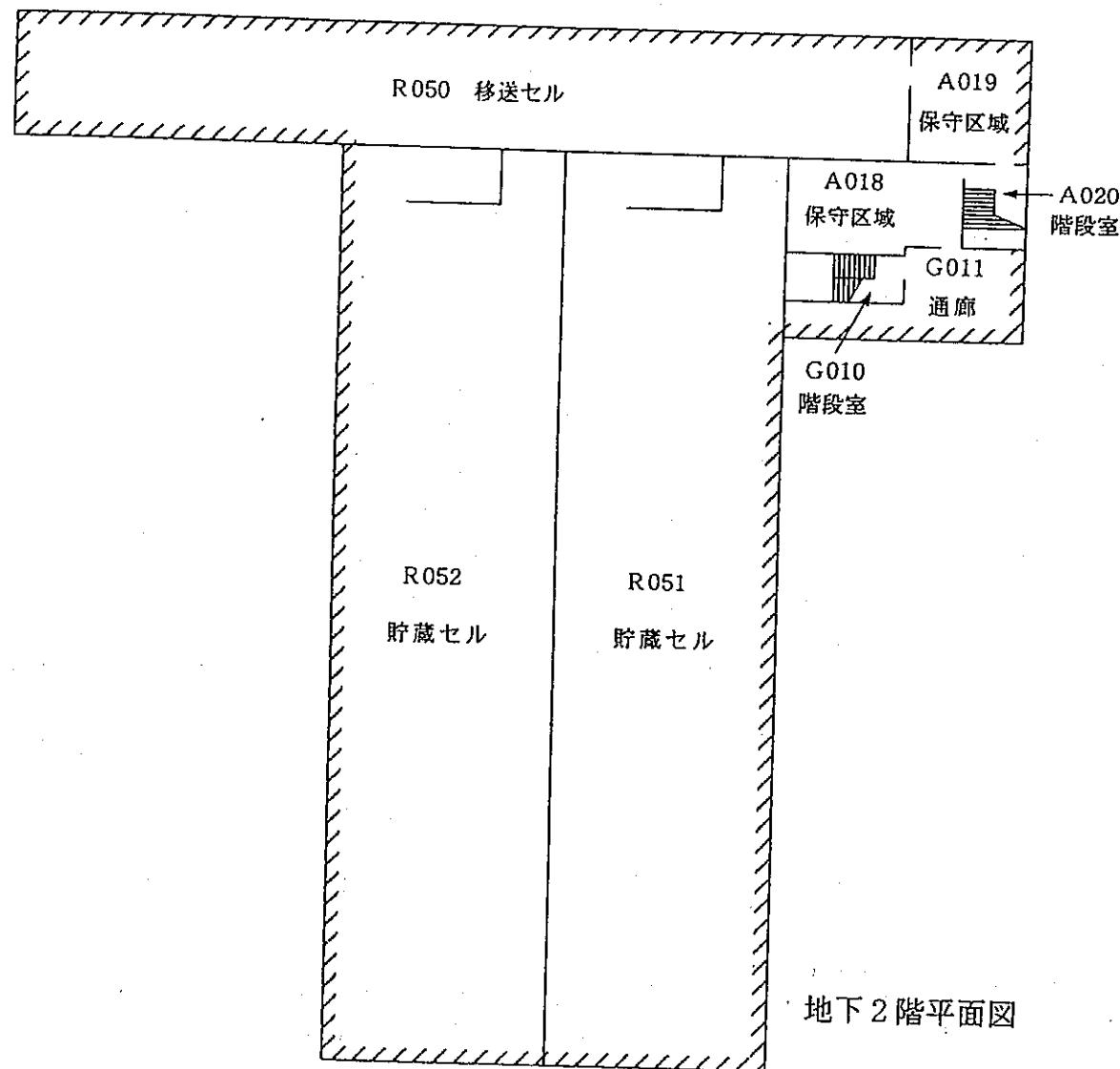


4階平面図

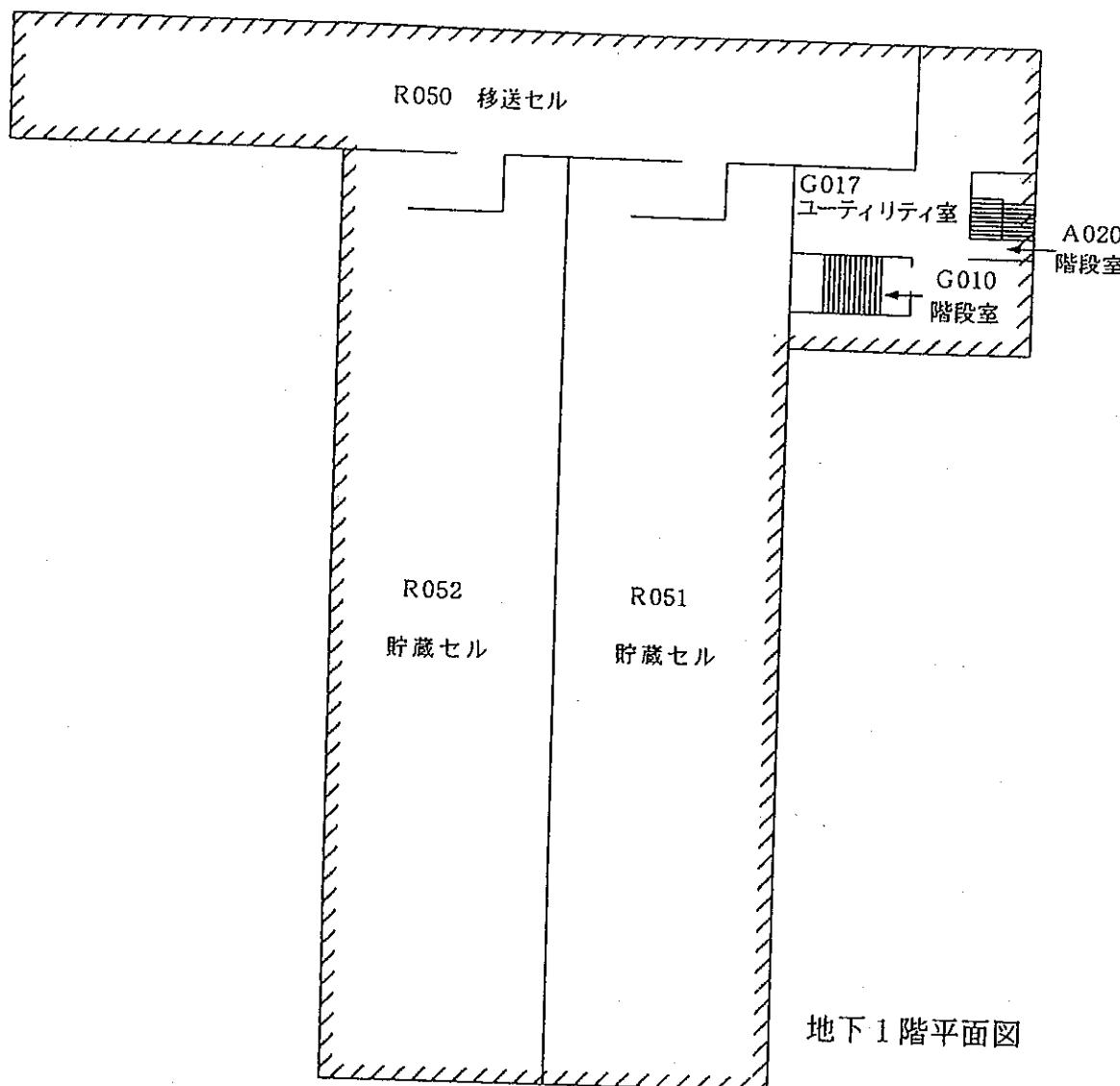


屋上平面図

管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化処理施設：その6）

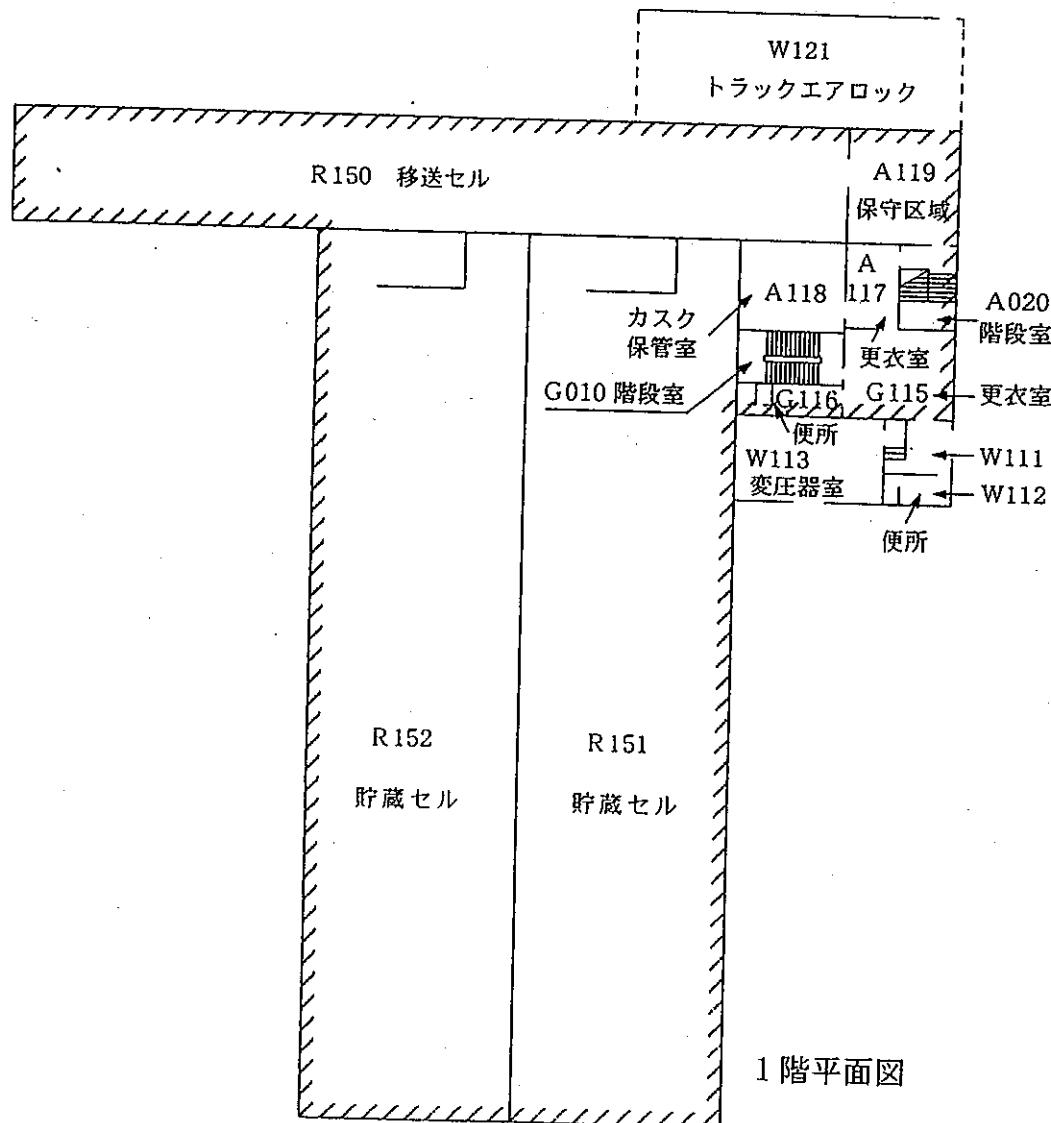


管理区域及びホワイト区域 (アスファルト固化体貯蔵施設：その 1)

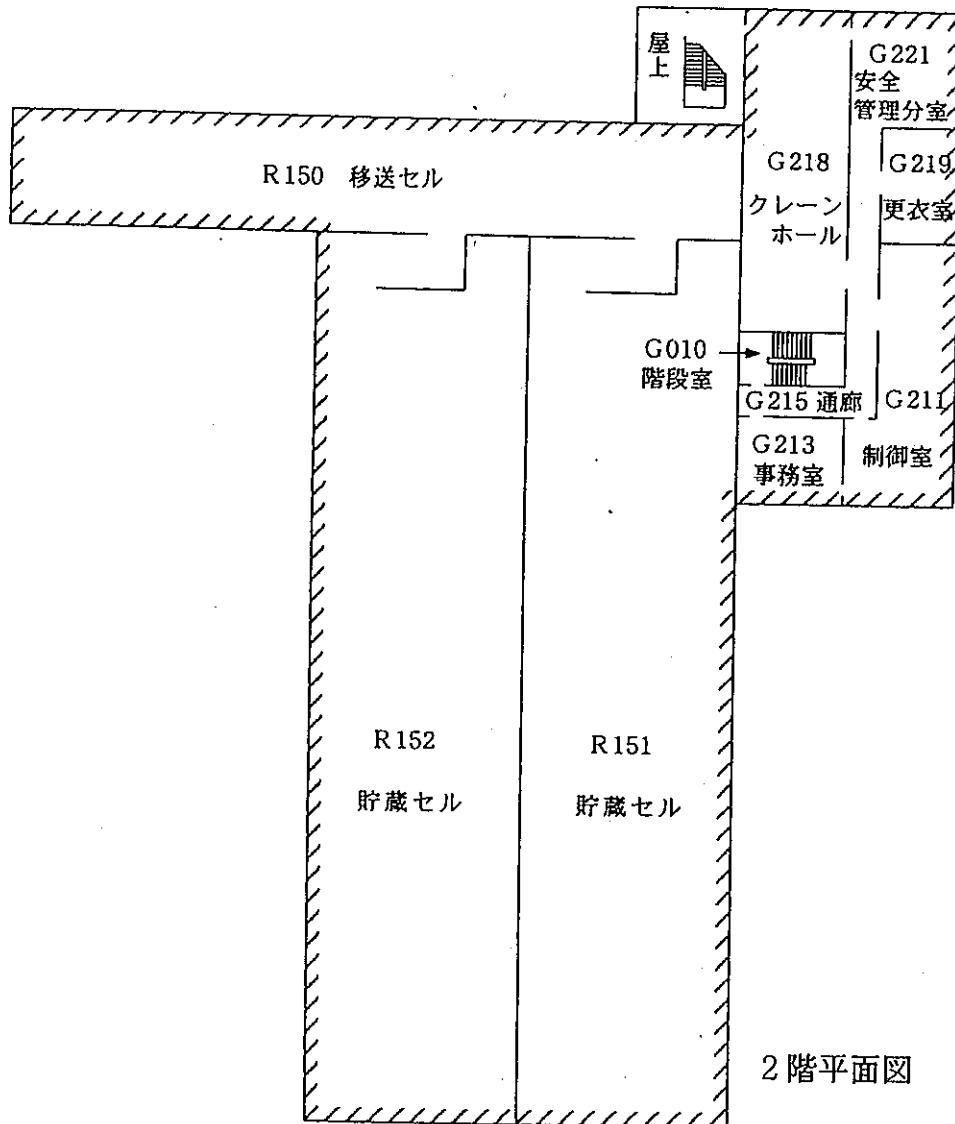


地下1階平面図

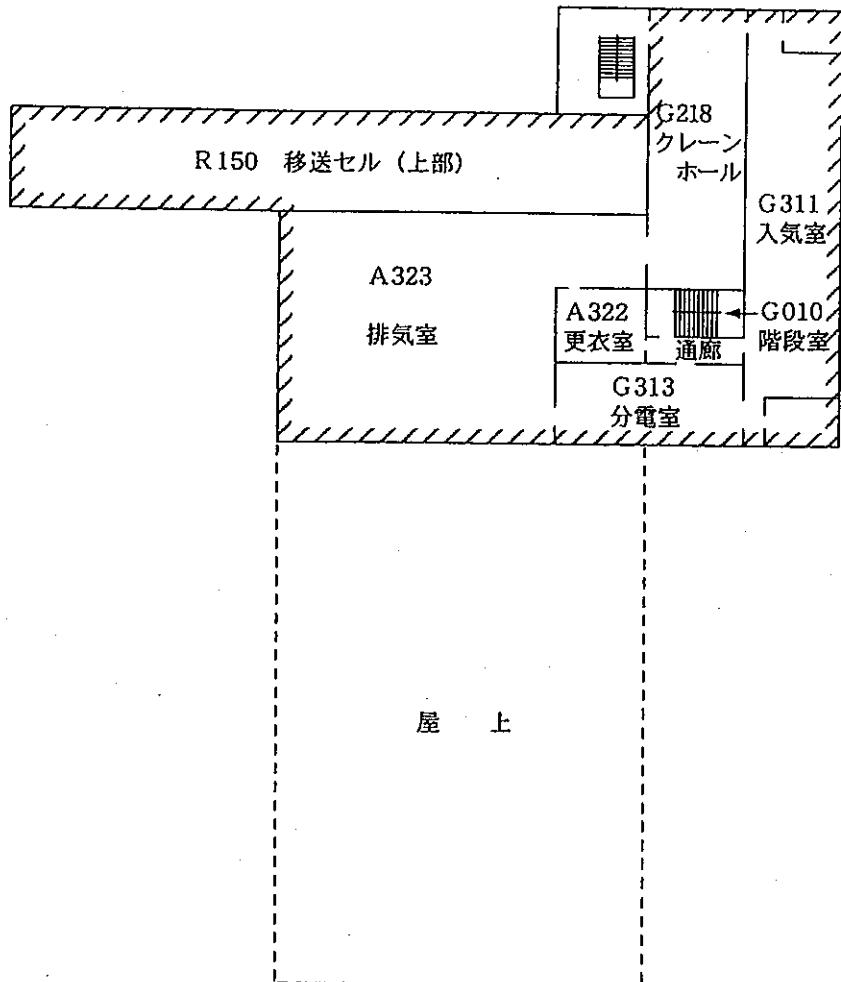
管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化体貯蔵施設：その2）



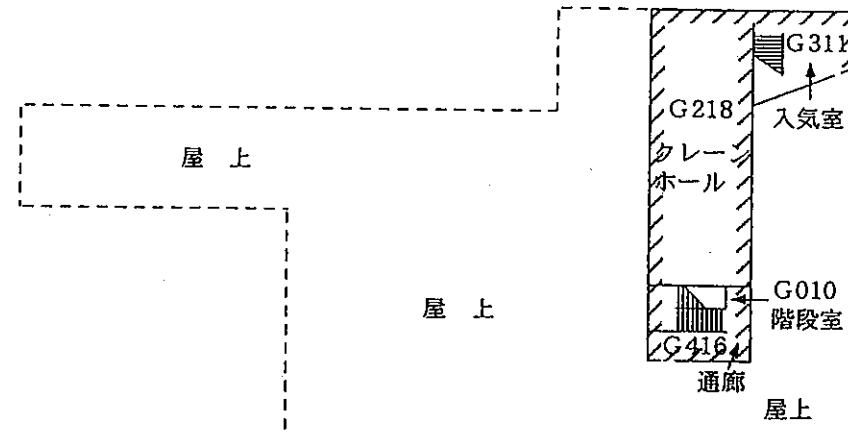
管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化体貯蔵施設：その3）



管理区域及びホワイト区域（アスファルト固化体貯蔵施設：その4）

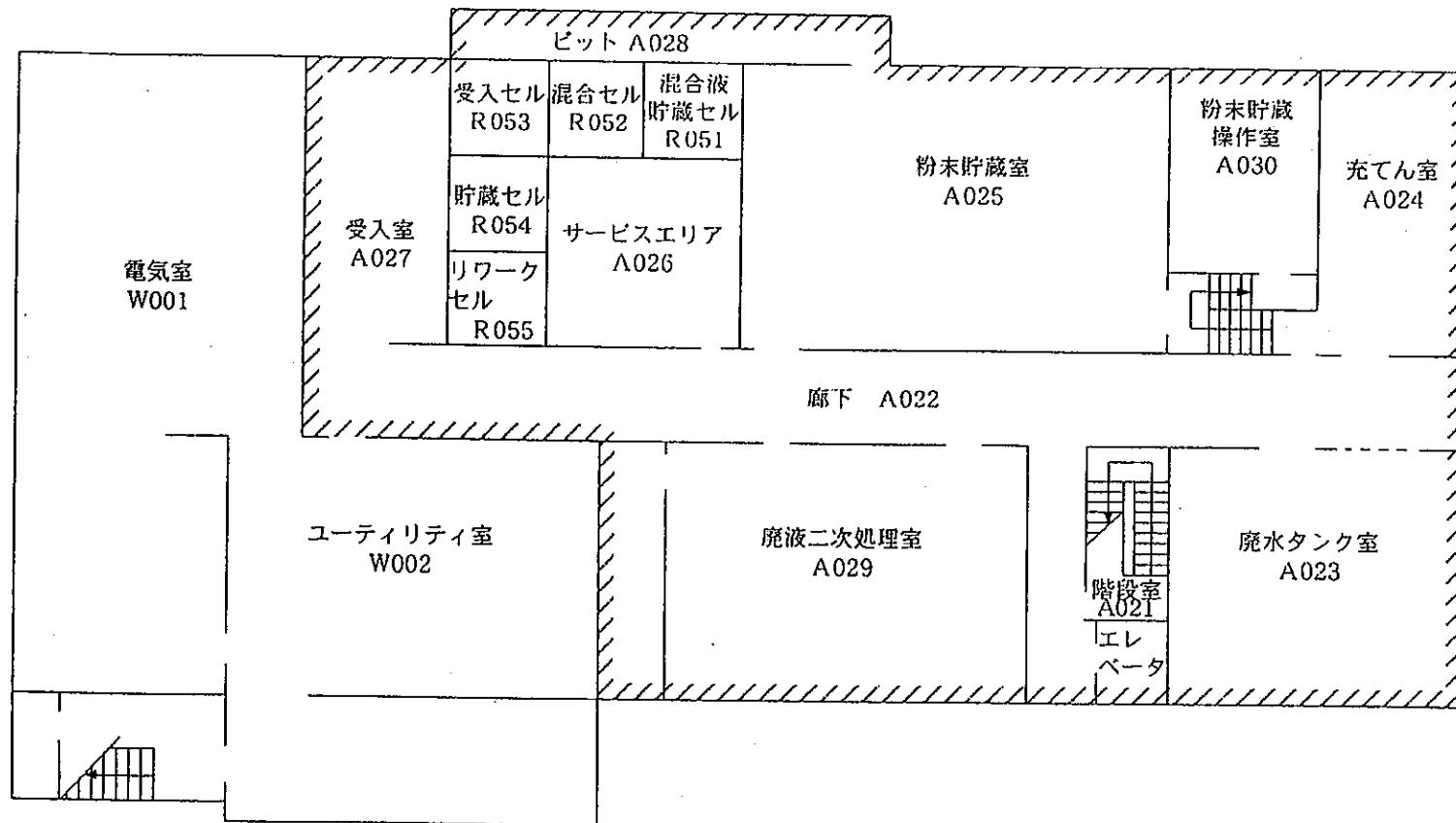


3階平面図



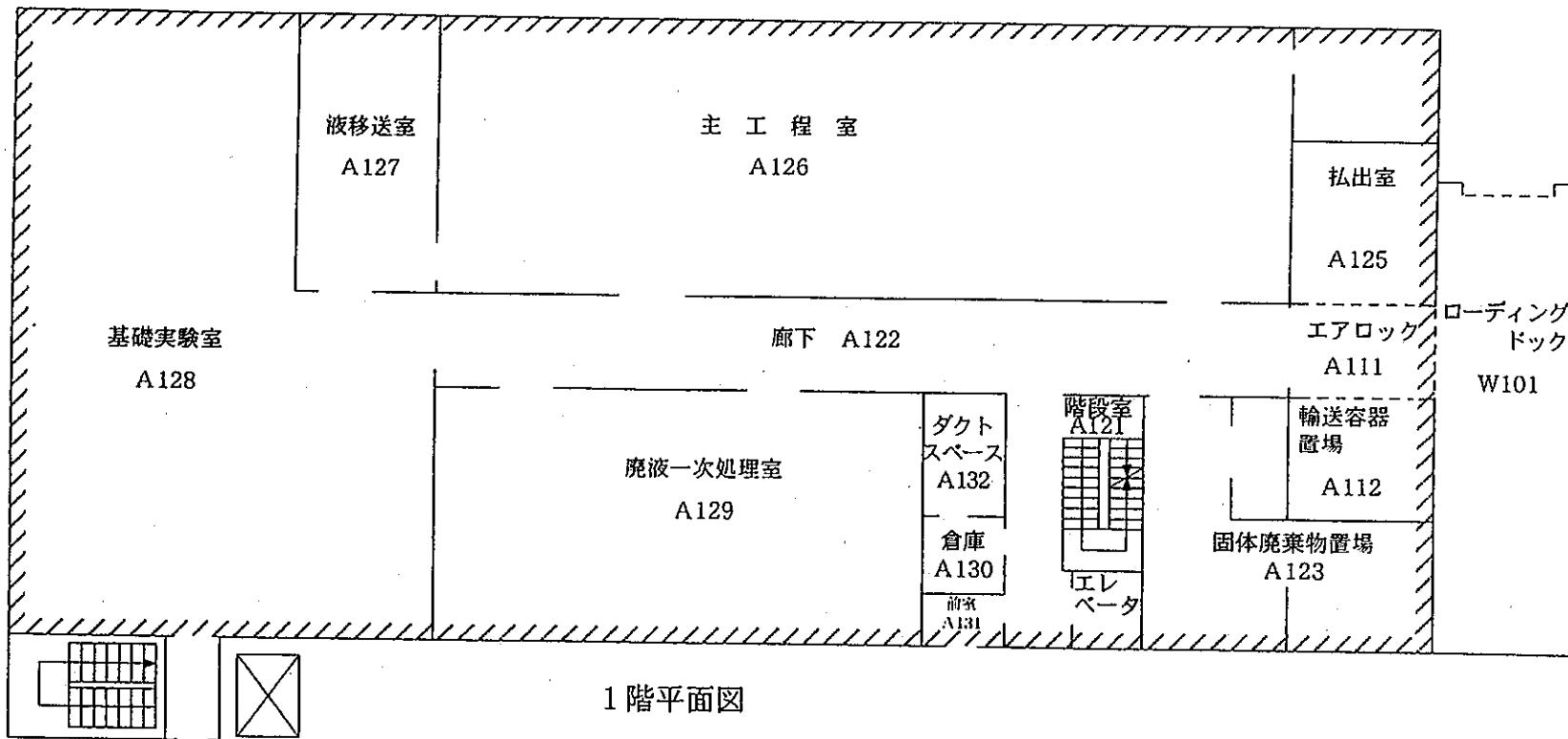
屋上平面図

管理区域及びホワイト区域 (アスファルト固化体貯蔵施設：その 5)

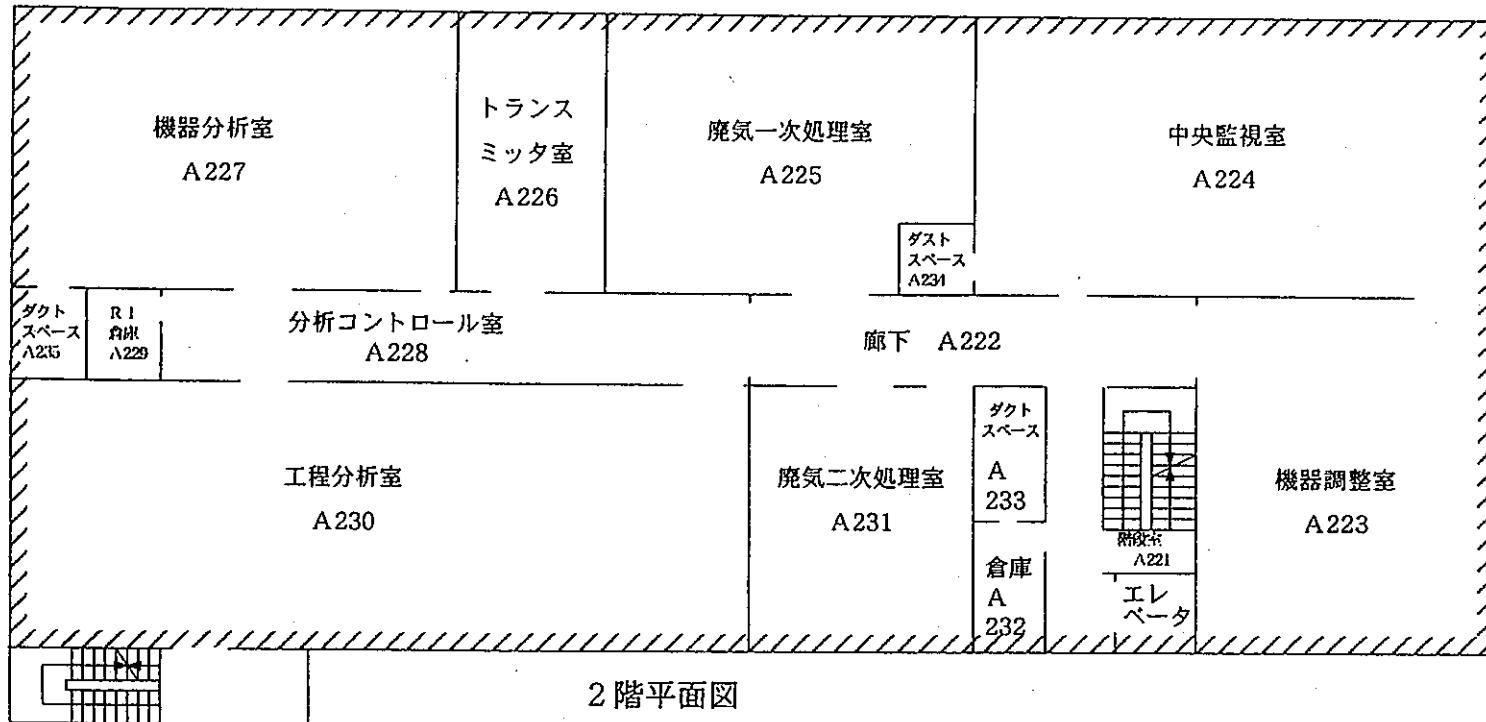


地下1階平面図

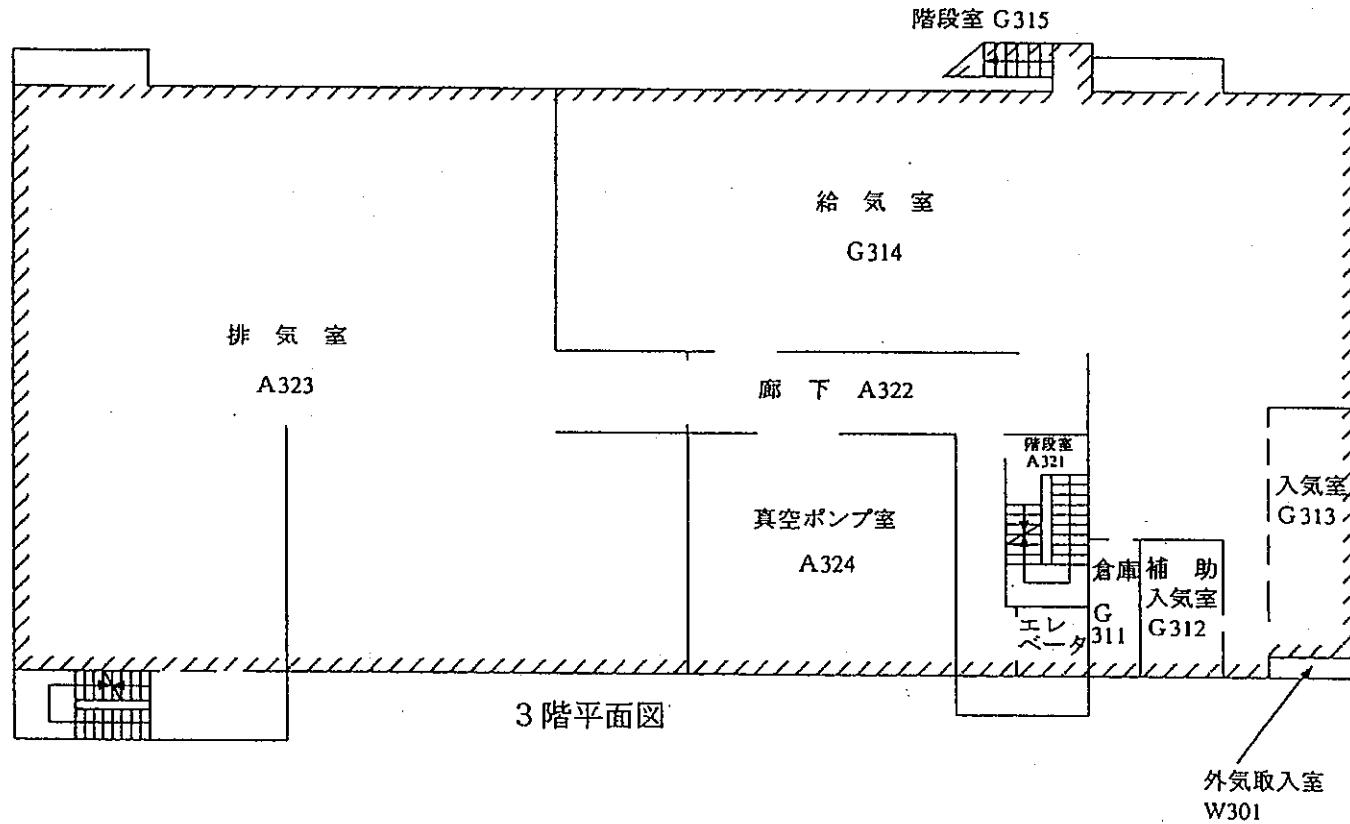
管理区域及びホワイト区域（プルトニウム転換技術開発施設：その1）



管理区域及びホワイト区域（プルトニウム転換技術開発施設：その2）



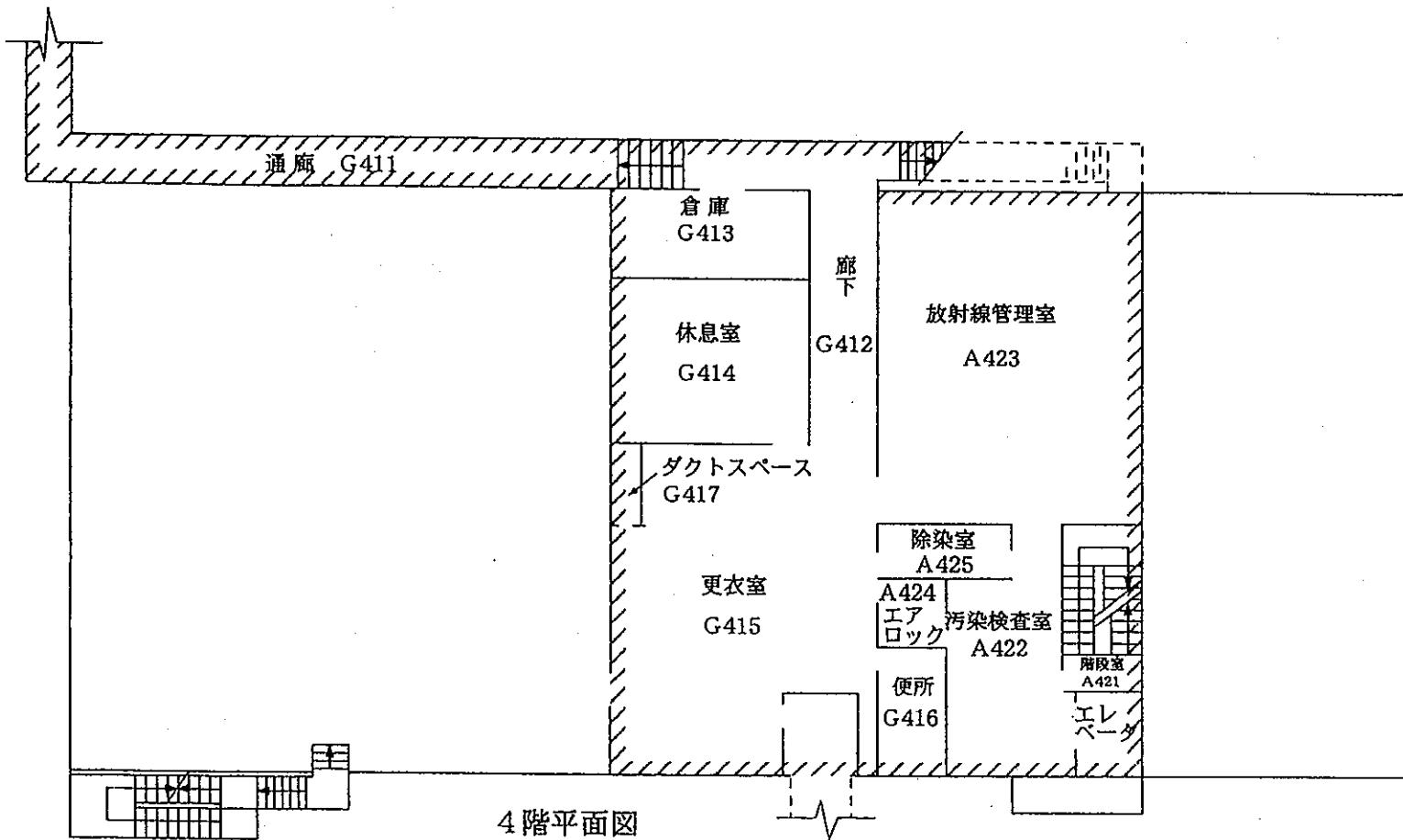
管理区域及びホワイト区域（プルトニウム転換技術開発施設：その3）



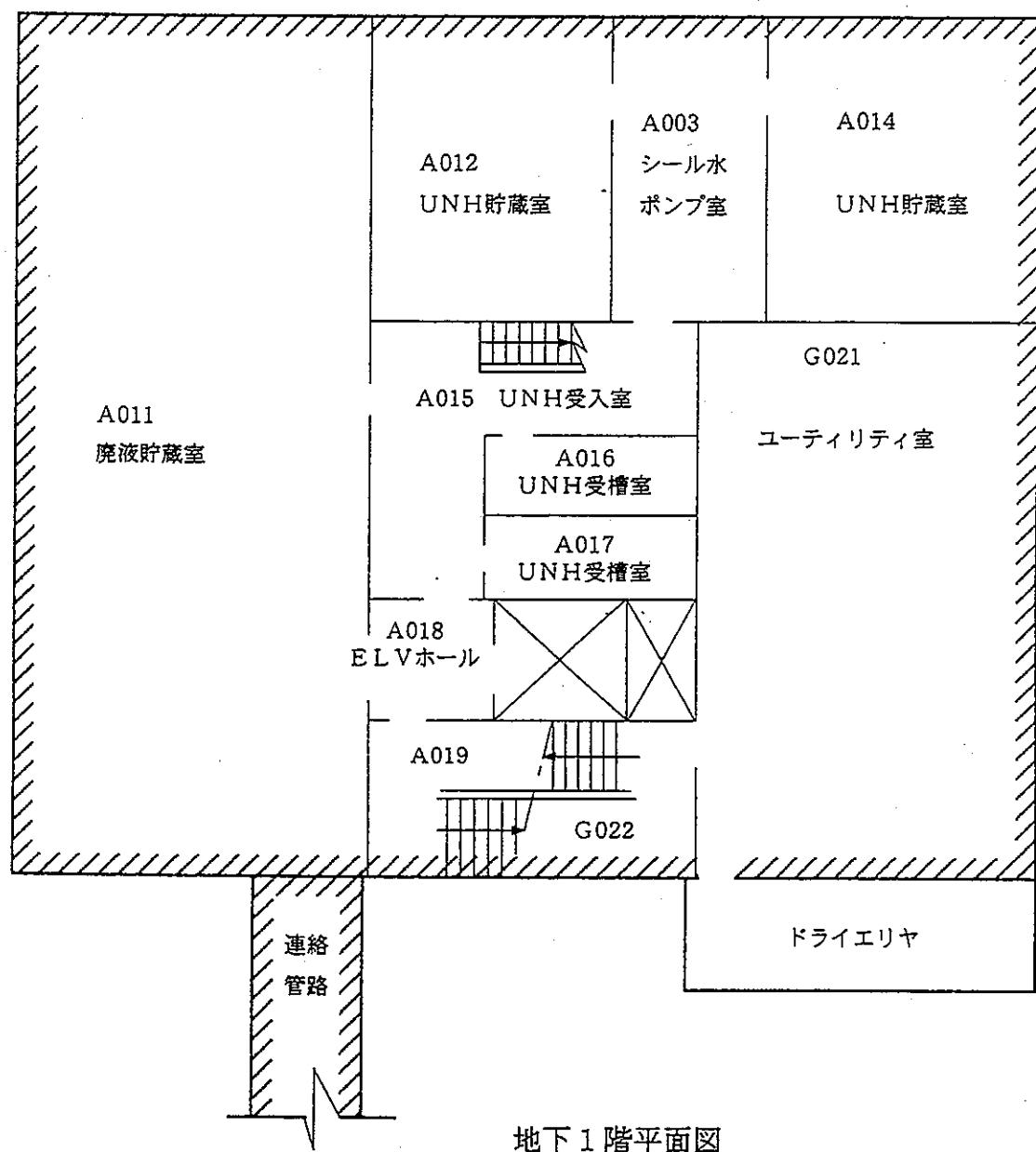
管理区域及びホワイト区域（プルトニウム転換技術開発施設：その4）



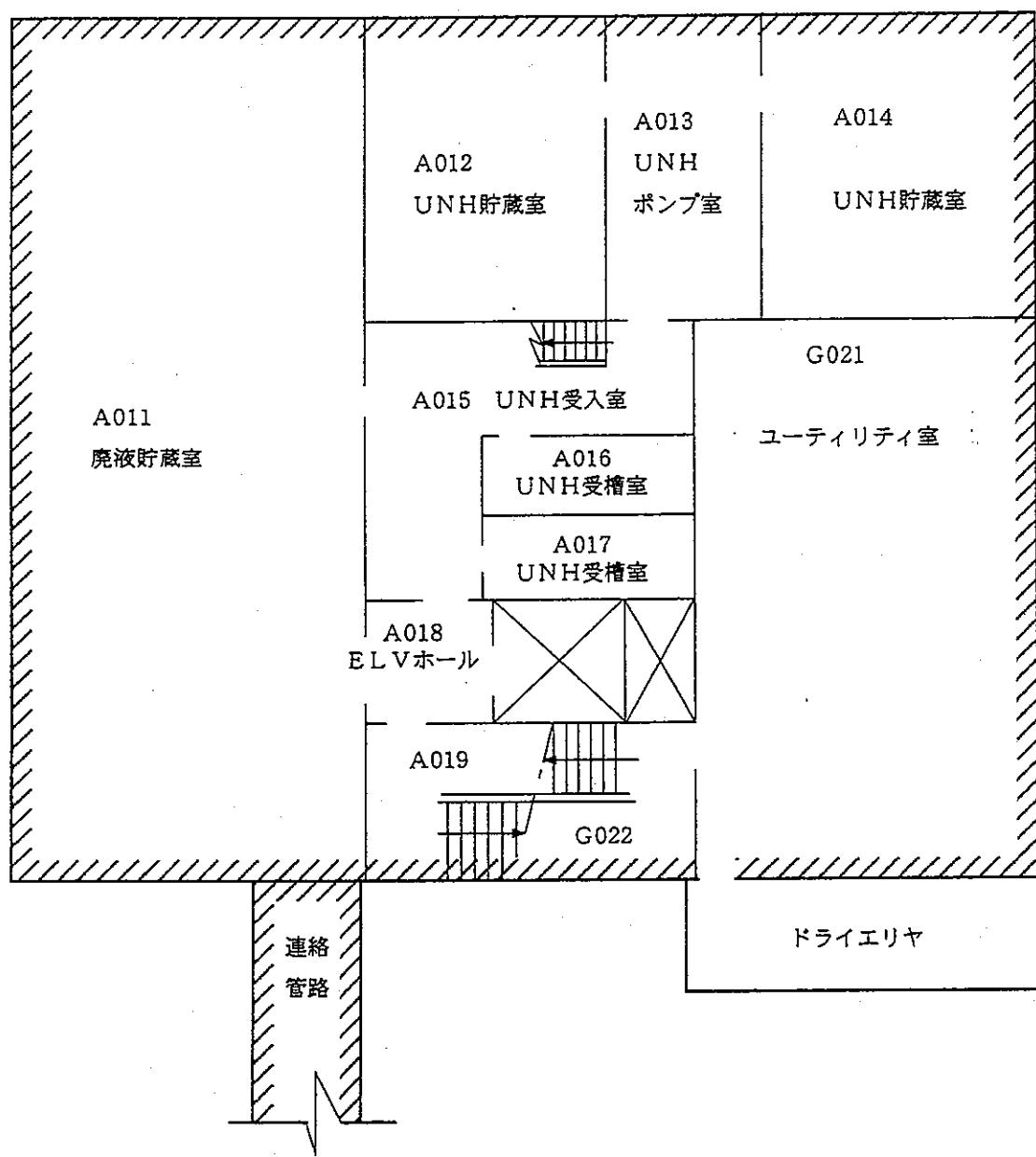
ペントハウス
平面図



管理区域及びホワイト区域（プルトニウム転換技術開発施設：その5）

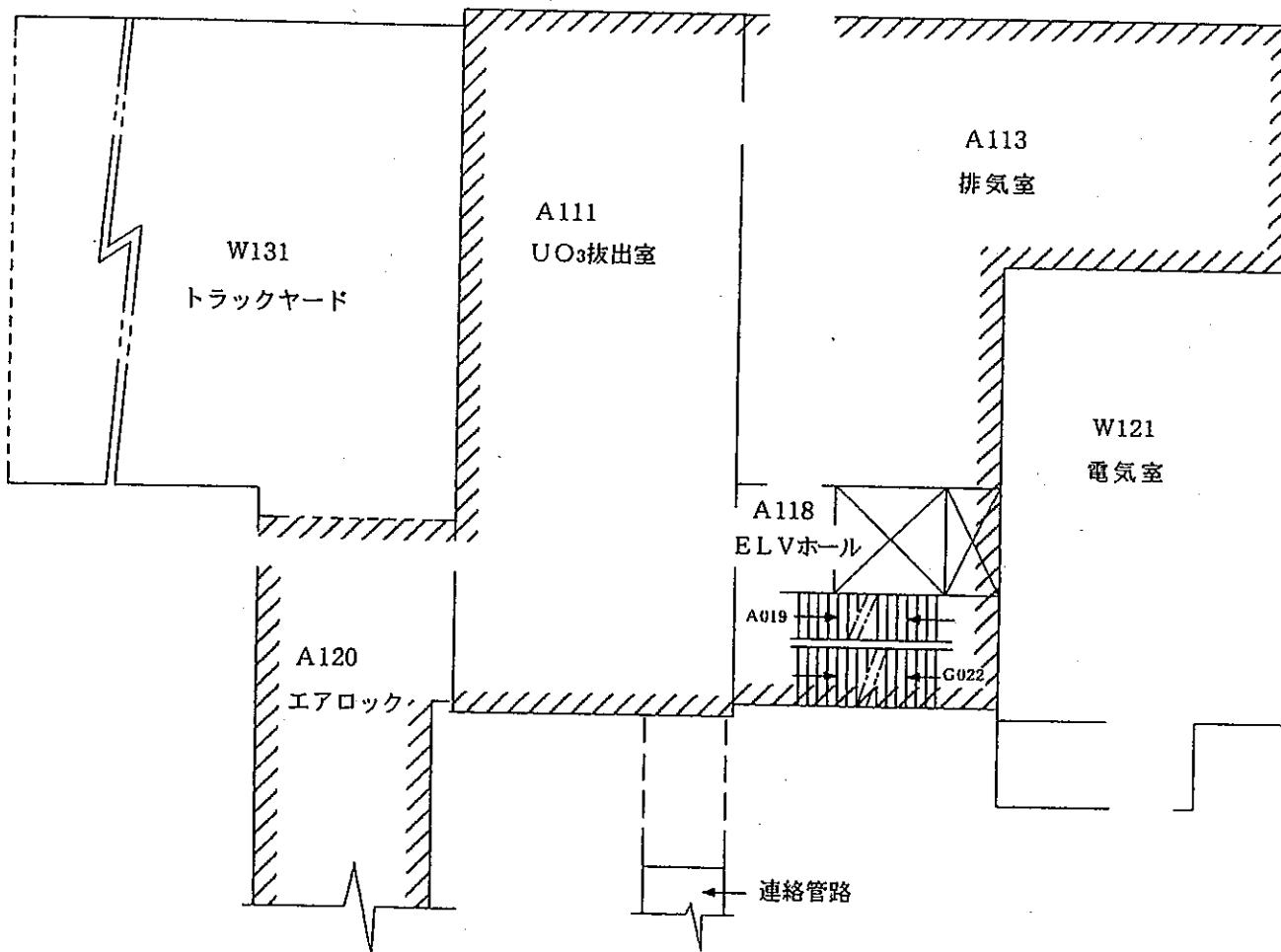


管理区域及びホワイト区域（ウラン脱硝施設：その1）



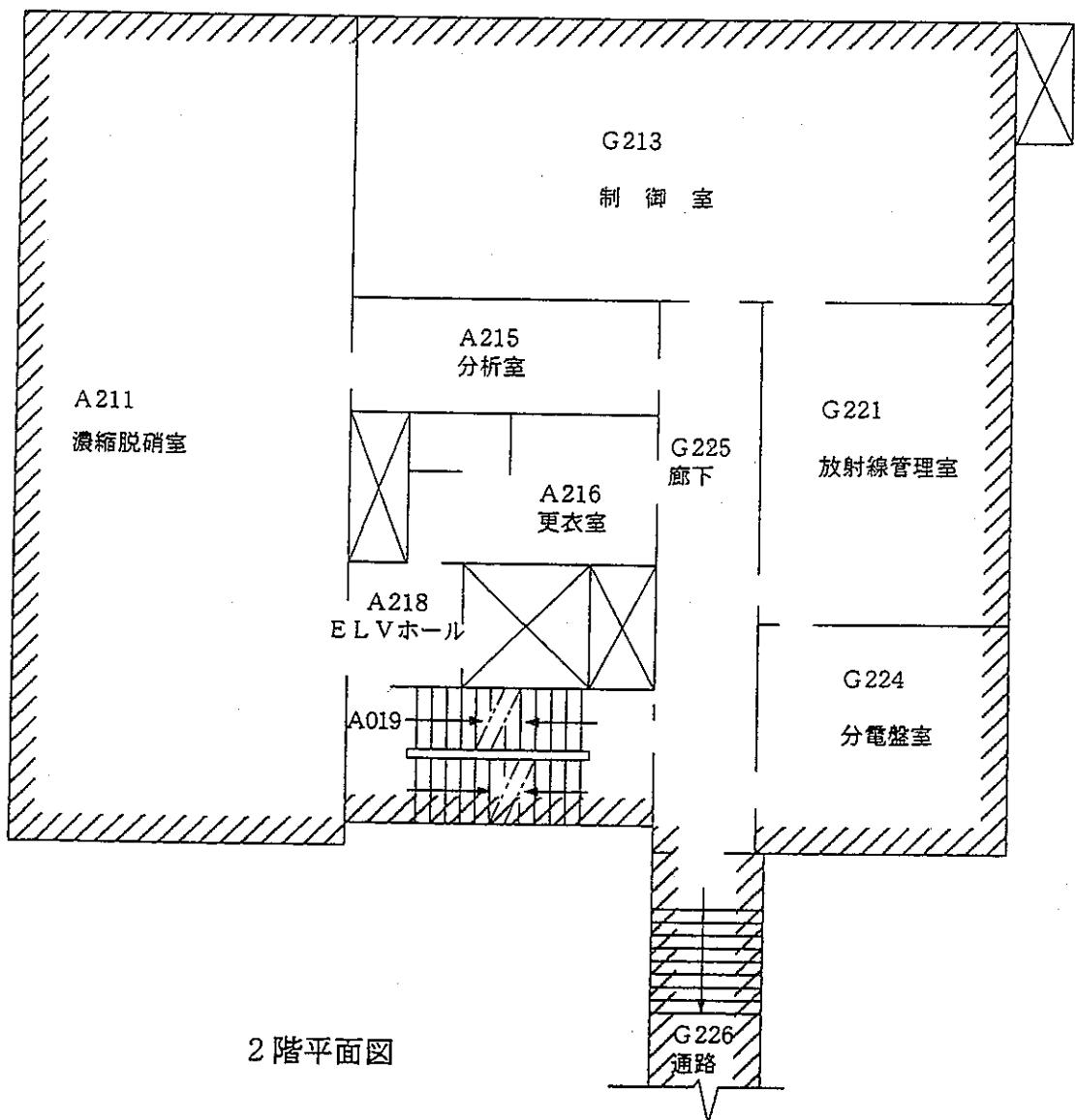
地下中 1 階平面図

管理区域及びホワイト区域（ウラン脱硝施設：その 2）



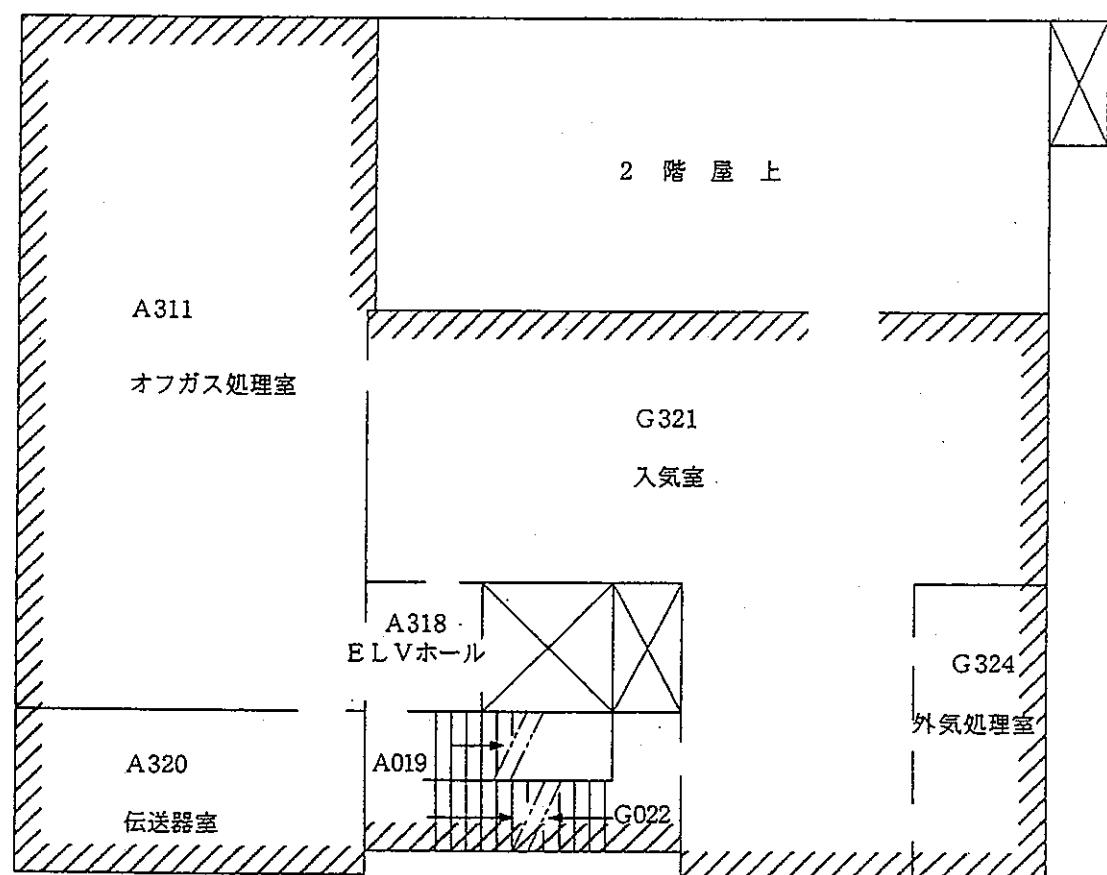
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（ウラン脱硝施設：その3）



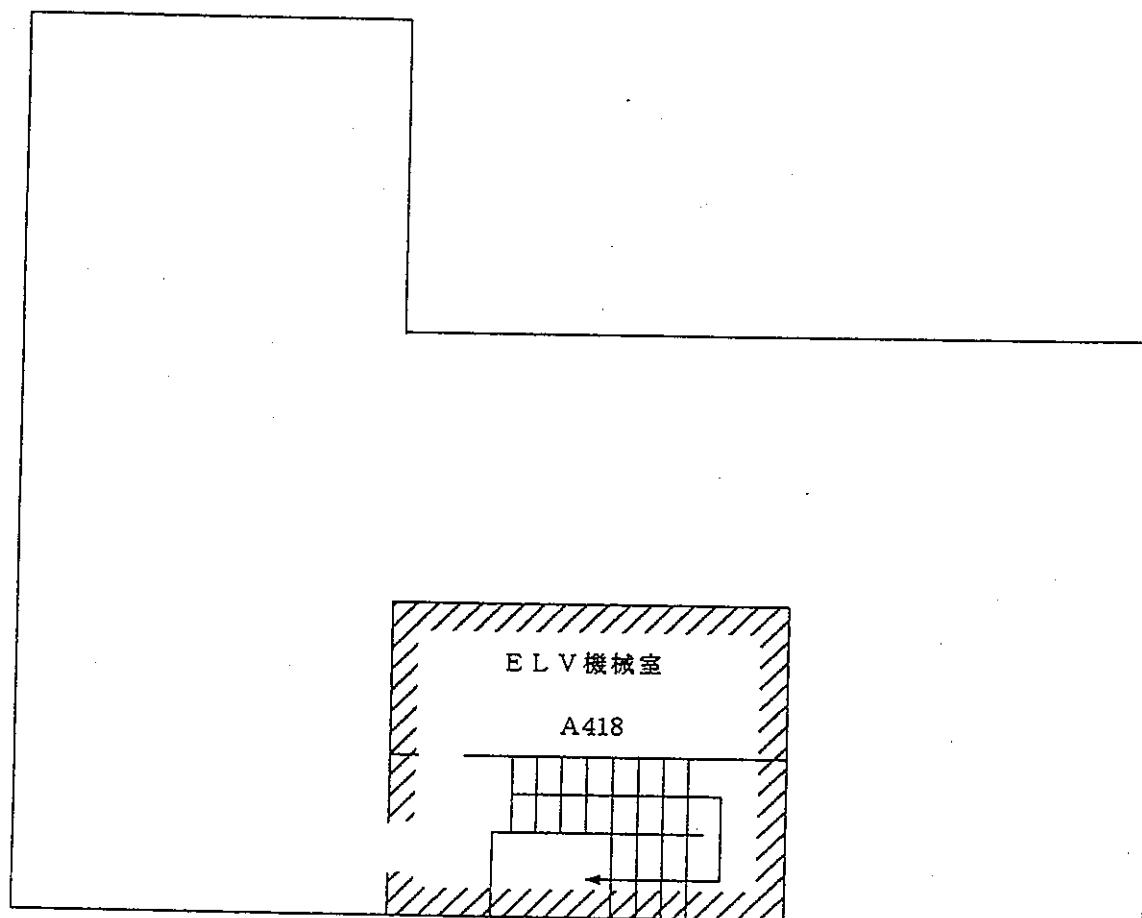
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（ウラン脱硝施設：その4）



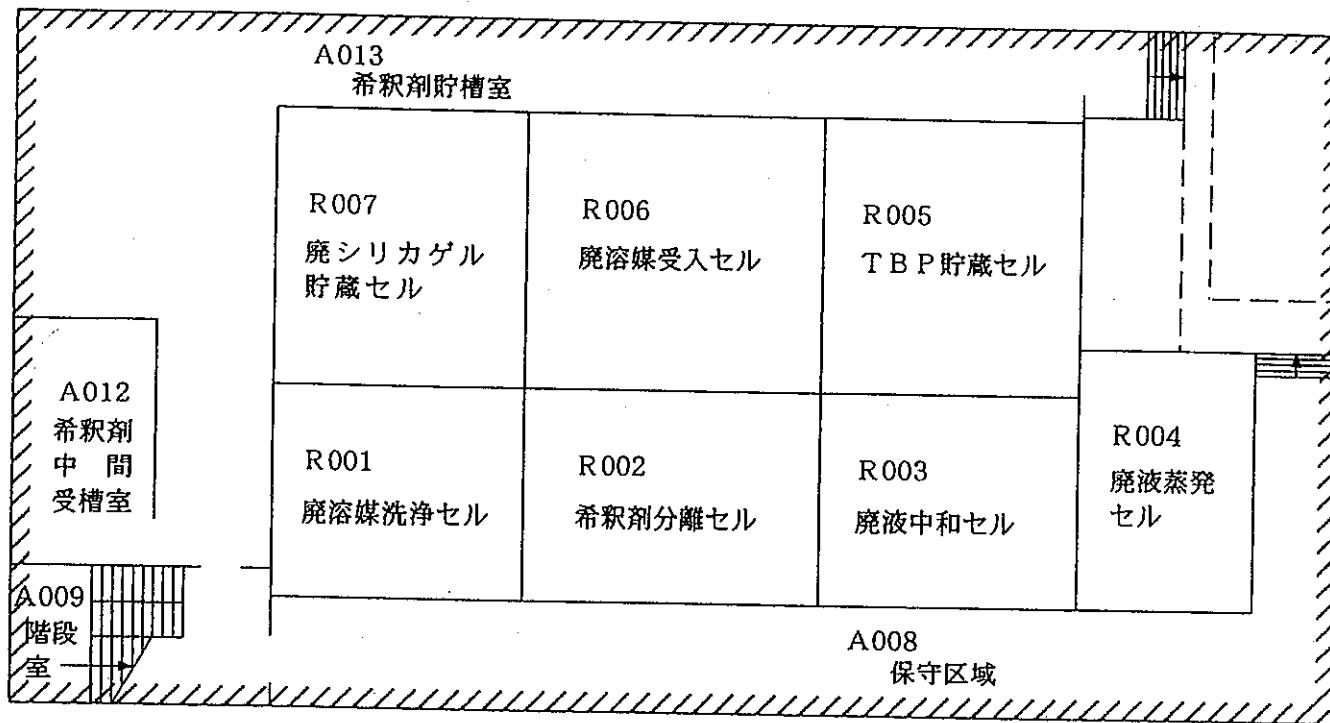
3階平面図

管理区域及びホワイト区域（ウラン脱硝施設：その5）



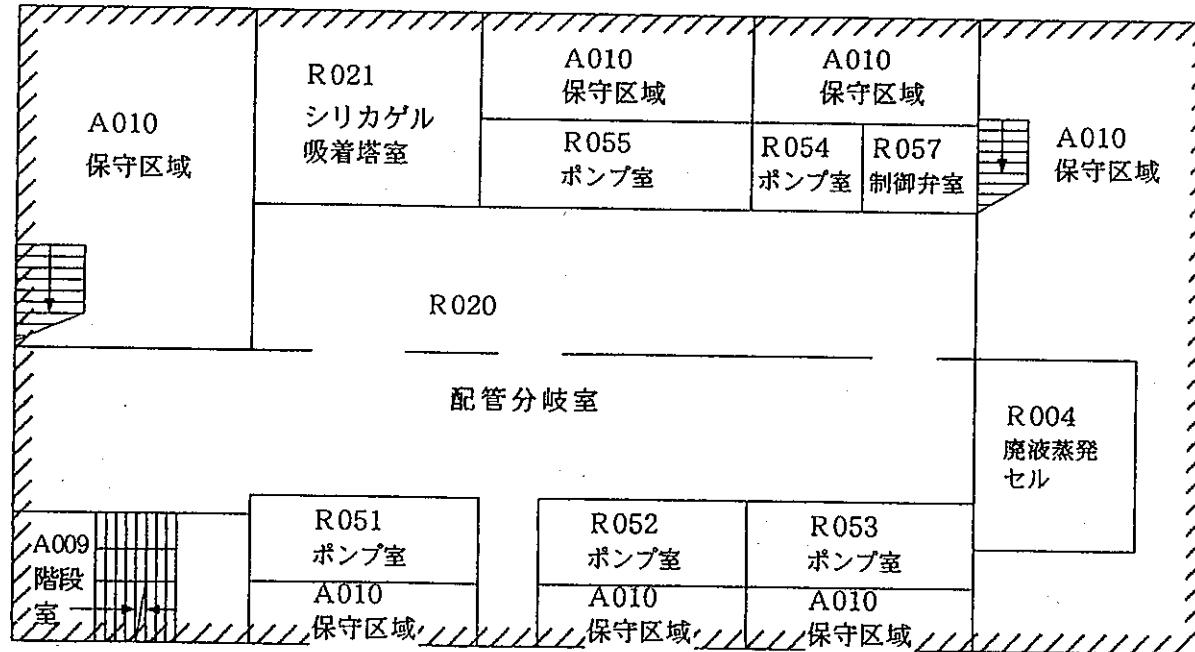
屋上平面図

管理区域及びホワイト区域（ウラン脱硝施設：その6）



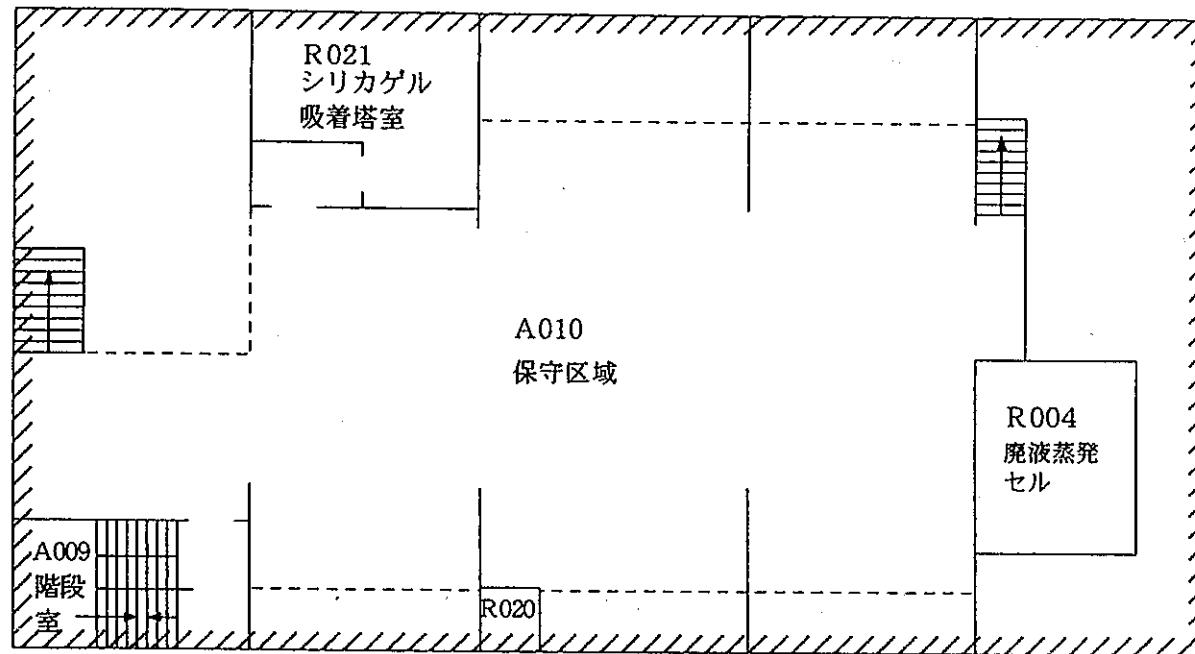
地下2階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒処理技術開発施設：その1）



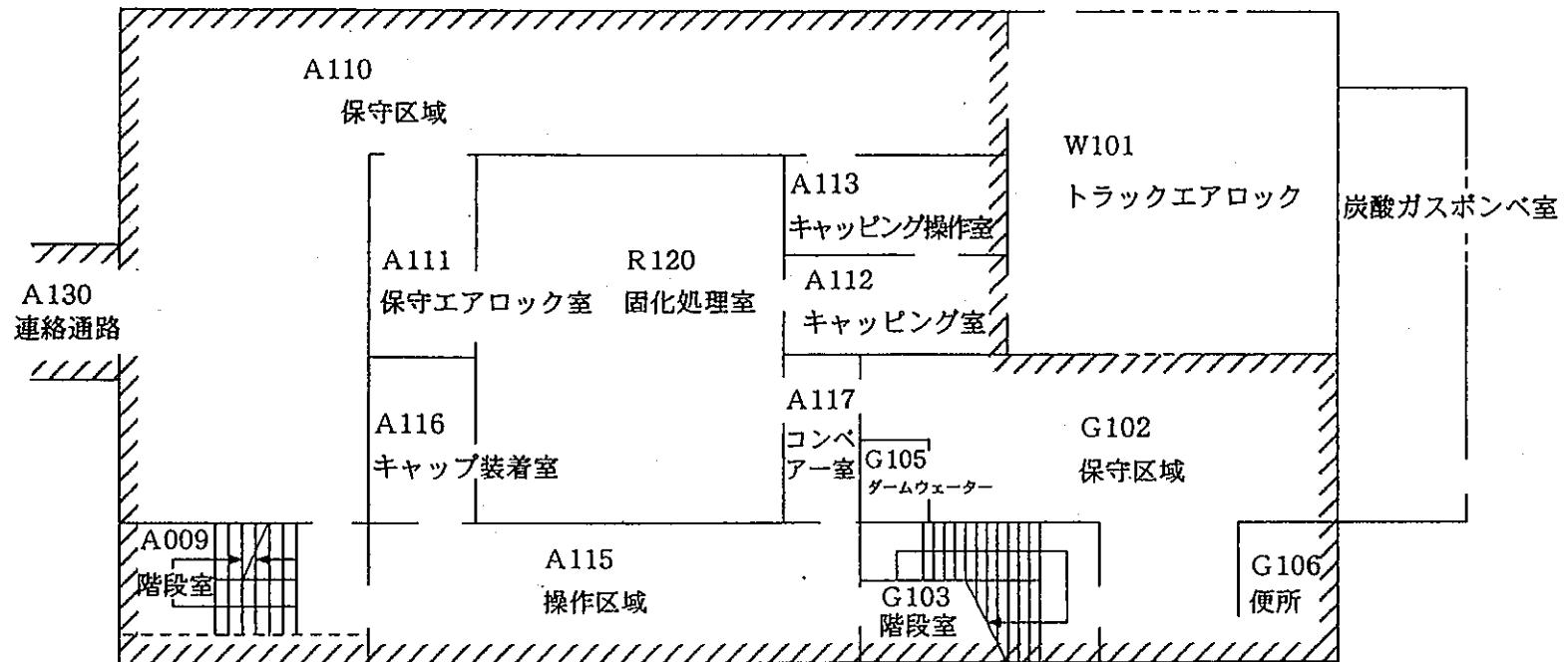
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒処理技術開発施設：その2）



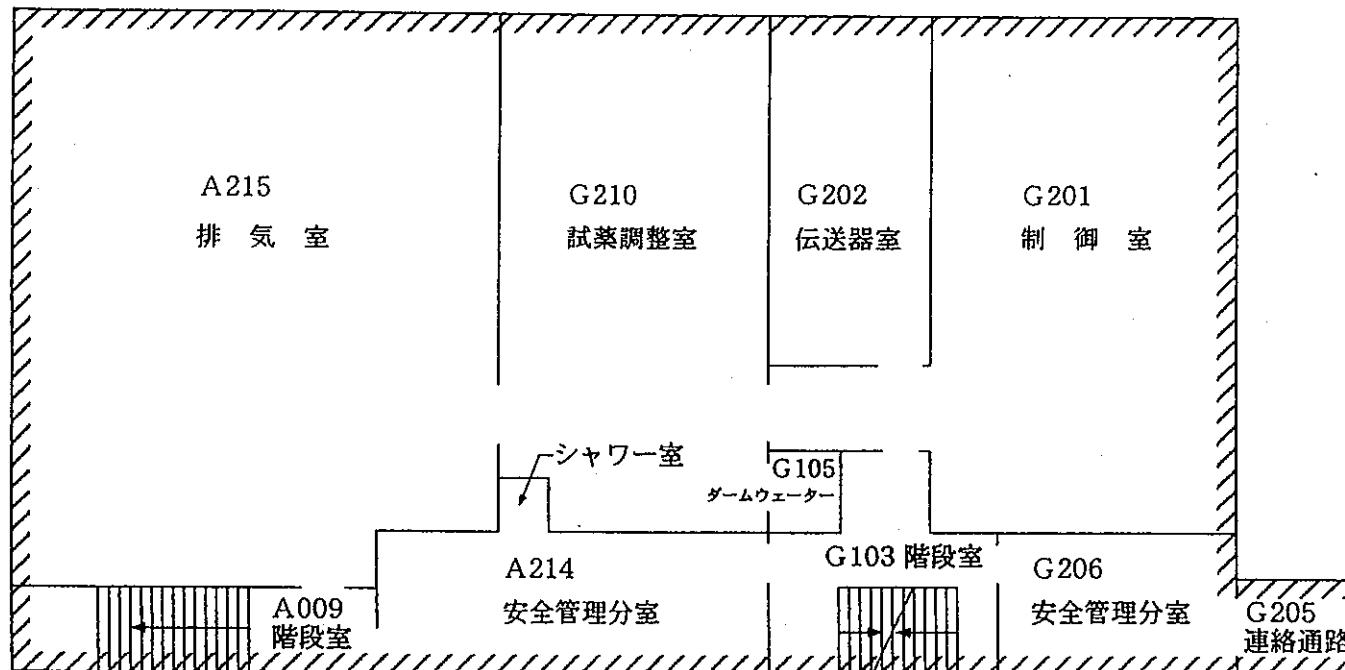
地下中 1 階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒処理技術開発施設：その 3）



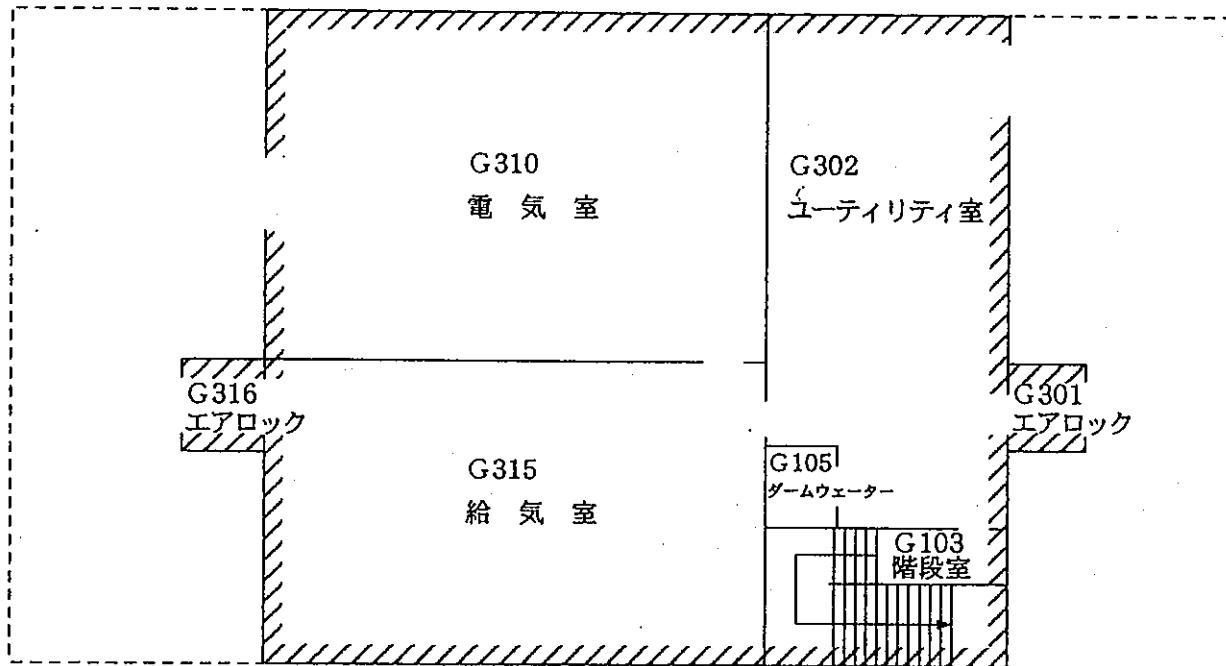
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒処理技術開発施設：その4）



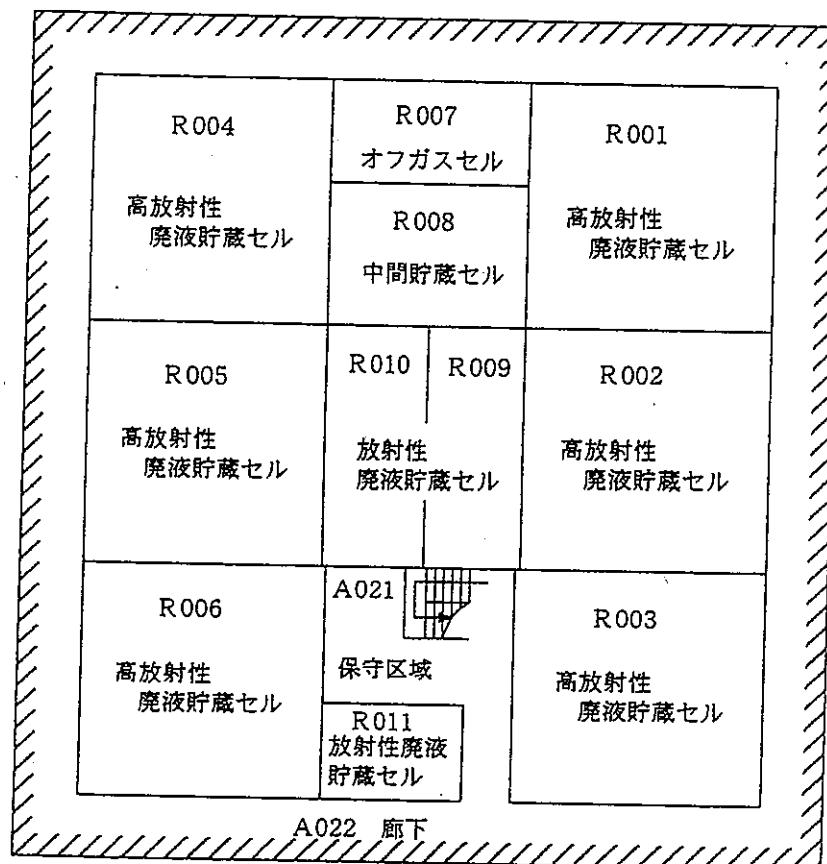
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒処理技術開発施設：その5）



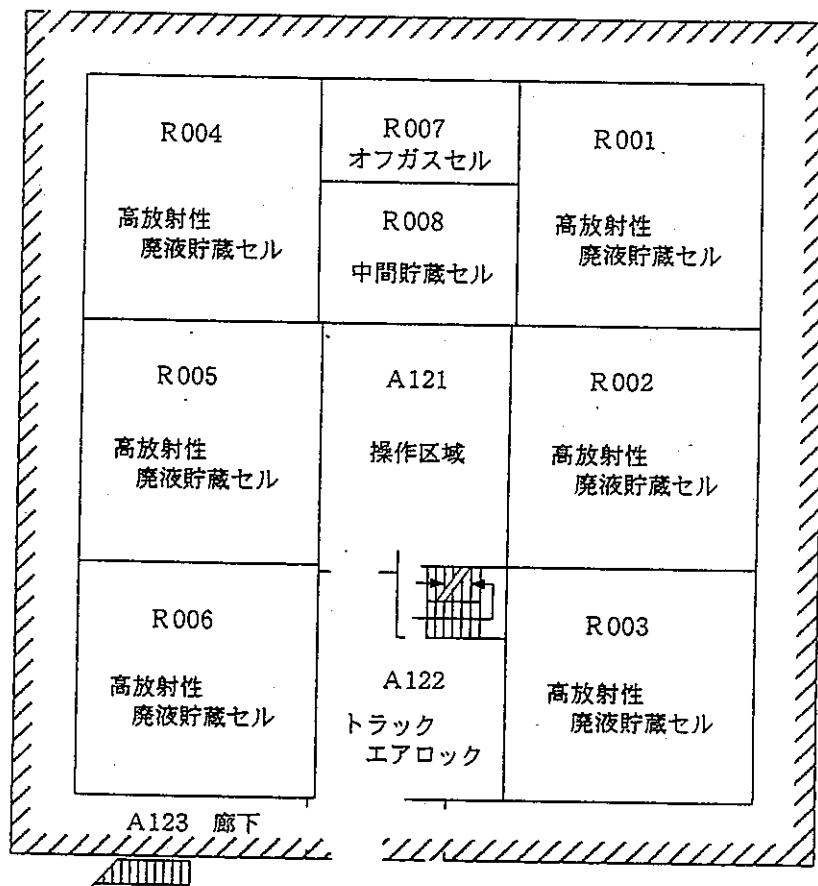
3階平面図

管理区域及びホワイト区域（廃溶媒処理技術開発施設：その6）



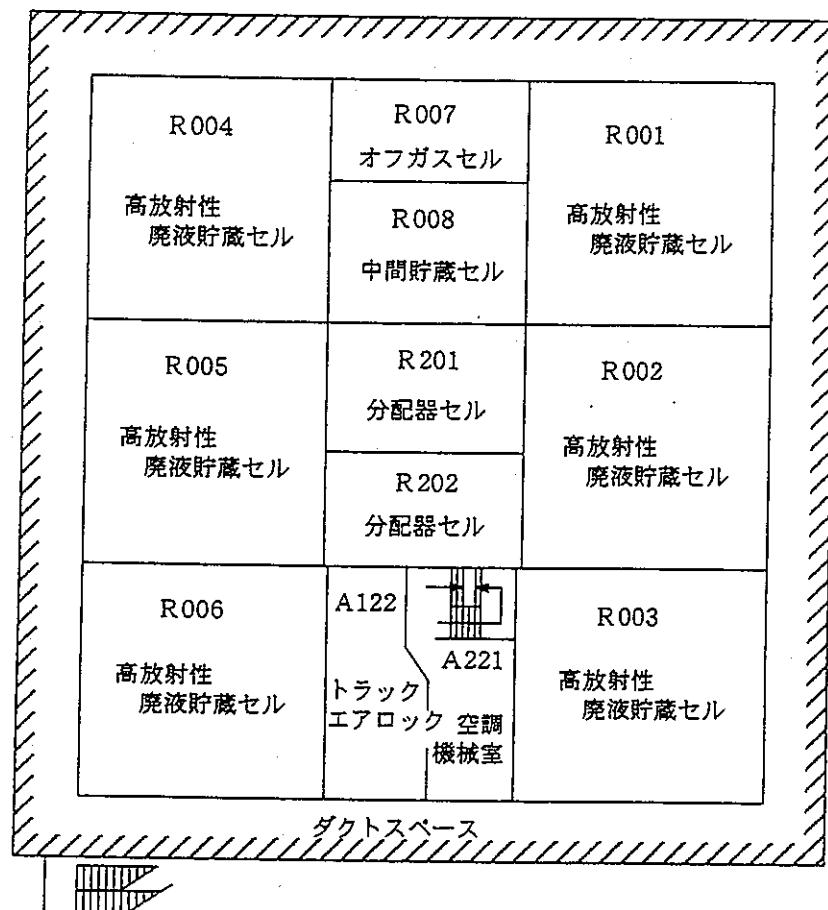
地下1階平面図

管理区域及びホワイト区域（高放射性廃液貯蔵場：その1）



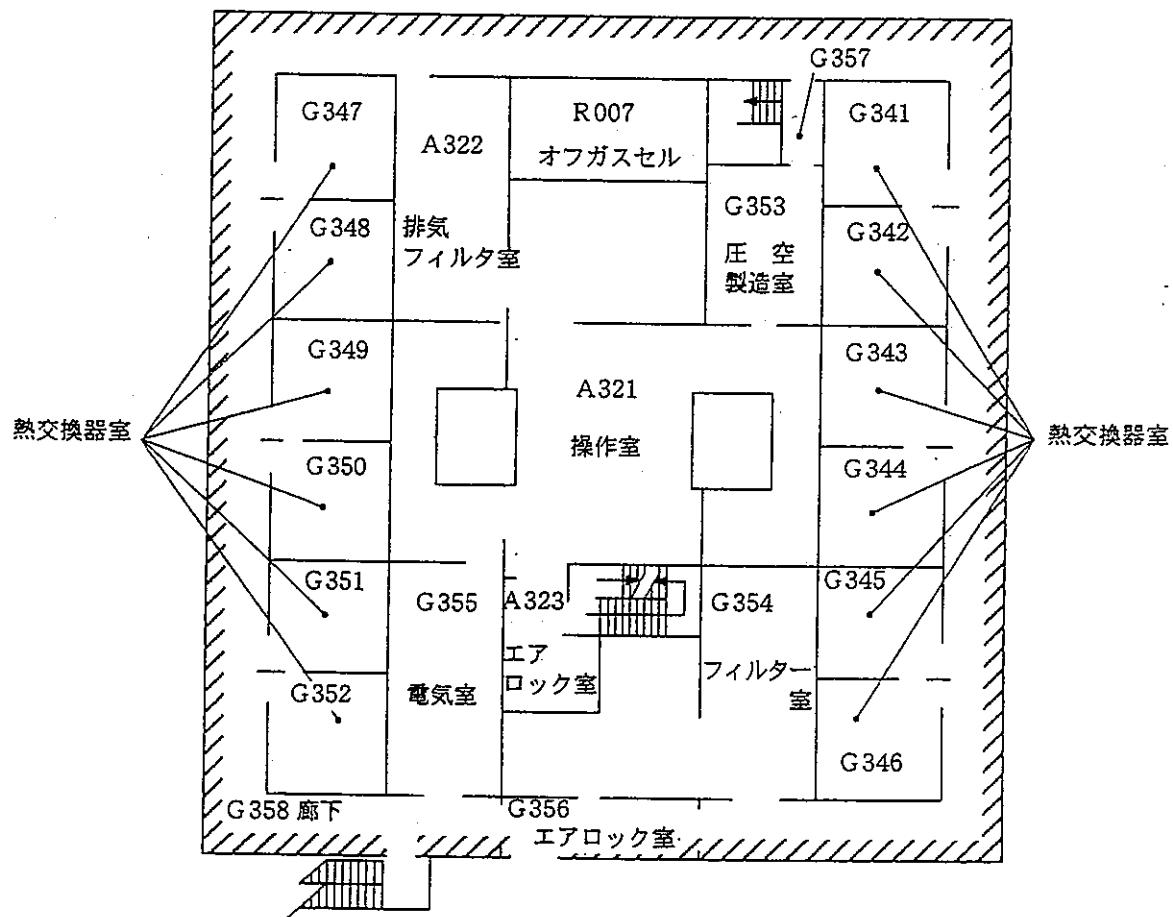
1階平面図

管理区域及びホワイト区域（高放射性廃液貯蔵場：その2）



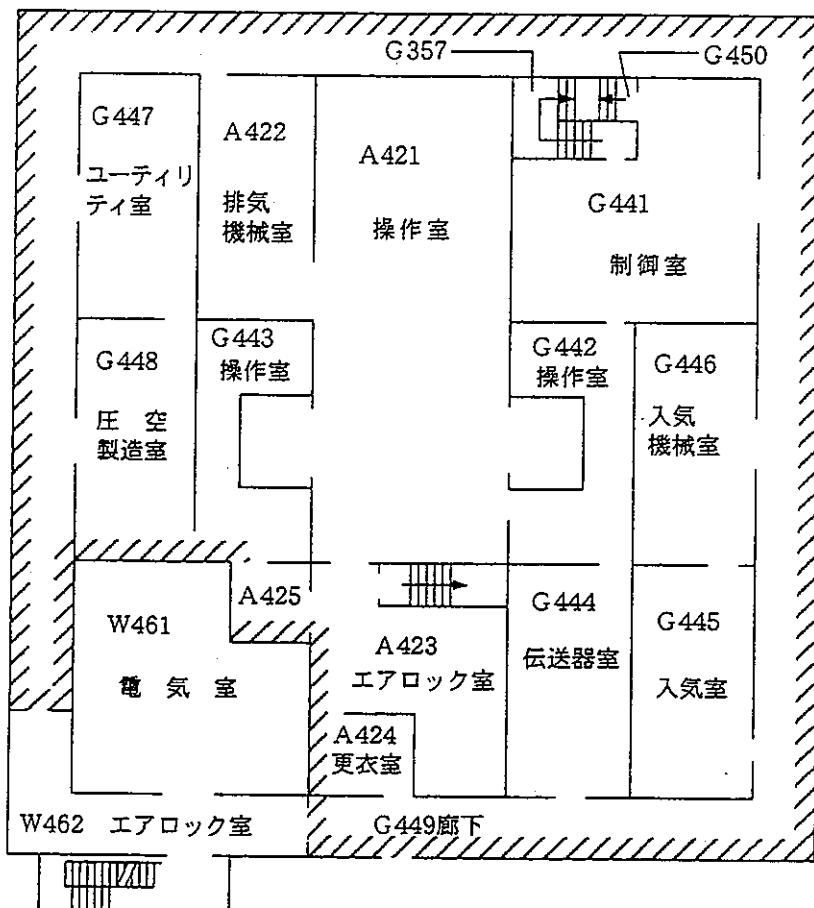
2階平面図

管理区域及びホワイト区域（高放射性廃液貯蔵場：その3）



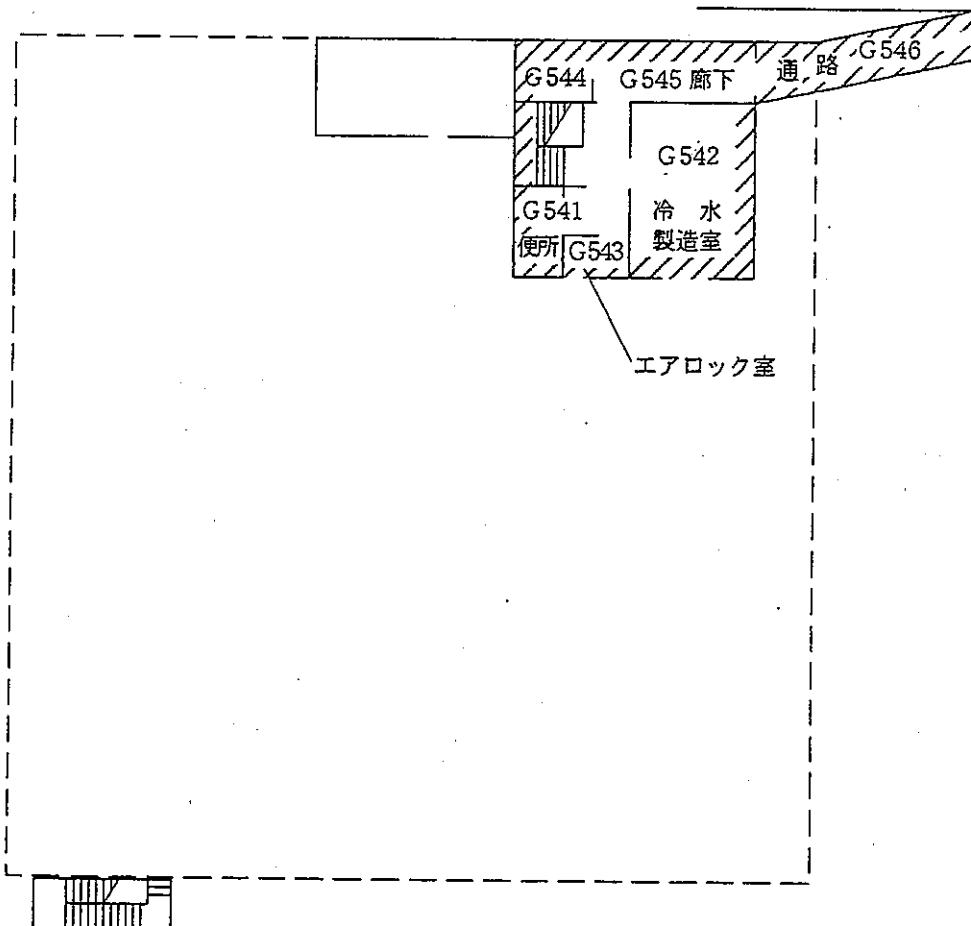
3階平面図

管理区域及びホワイト区域（高放射性廃液貯蔵場：その4）



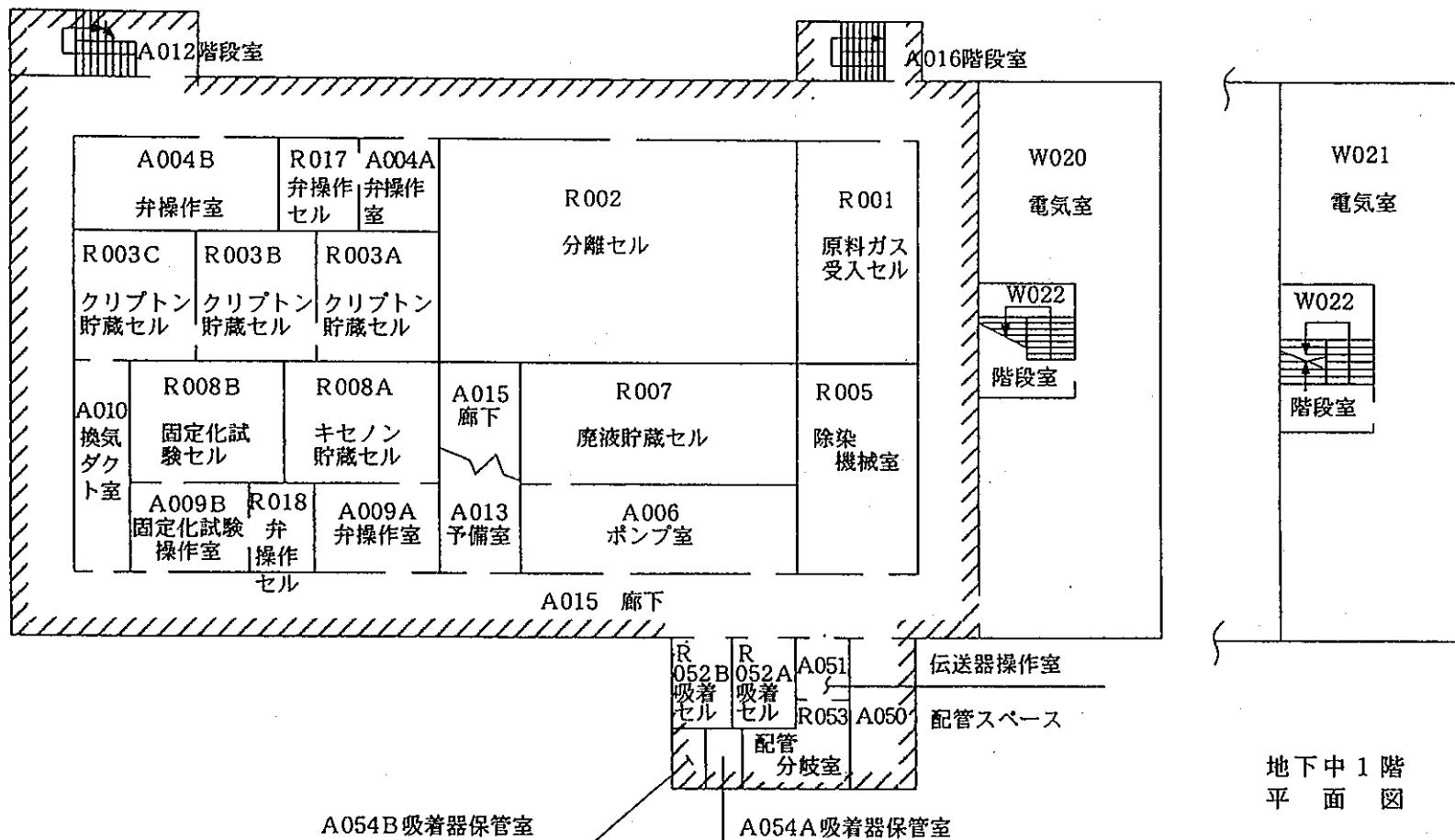
4階平面図

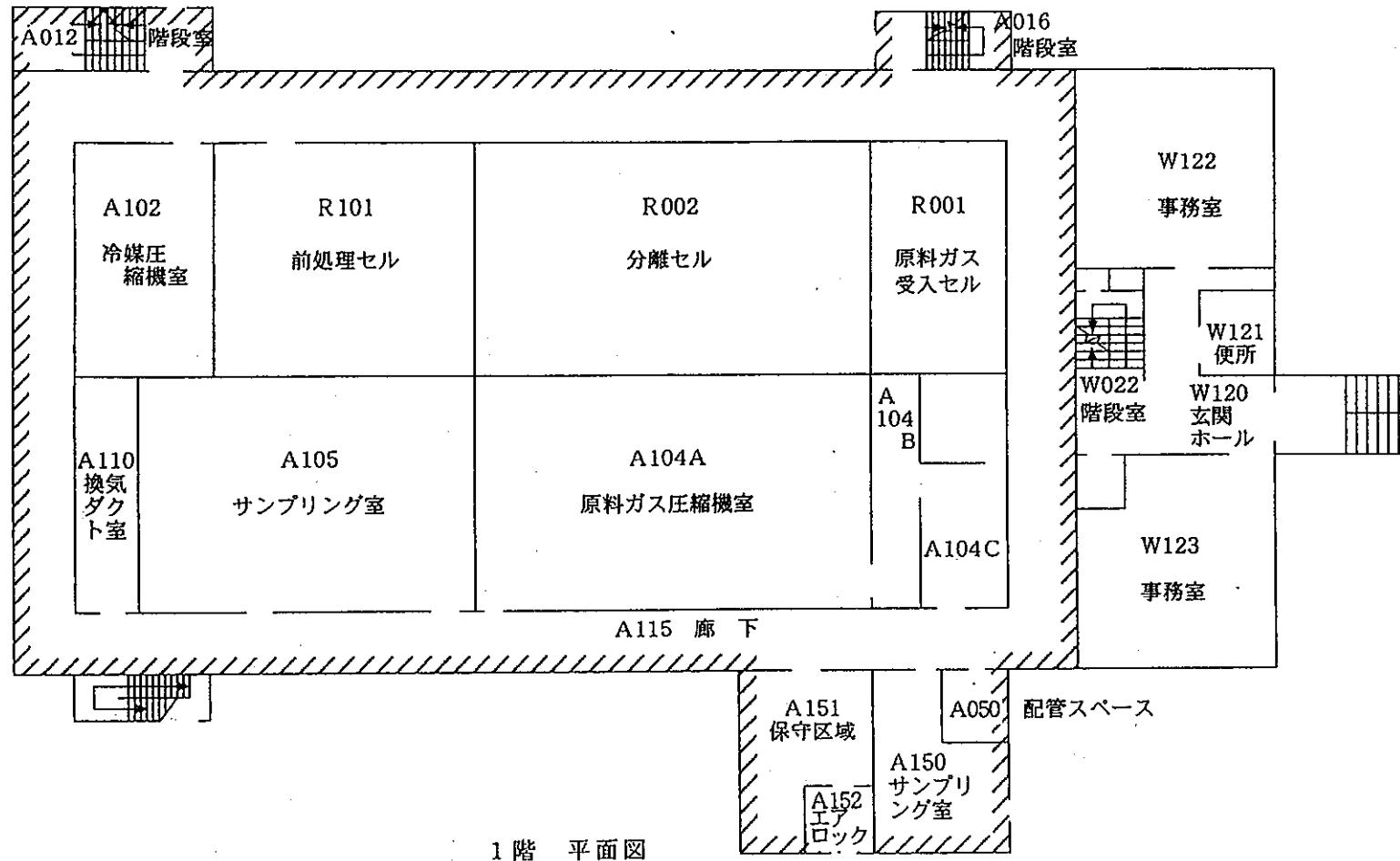
管理区域及びホワイト区域（高放射性廃液貯蔵場：その5）



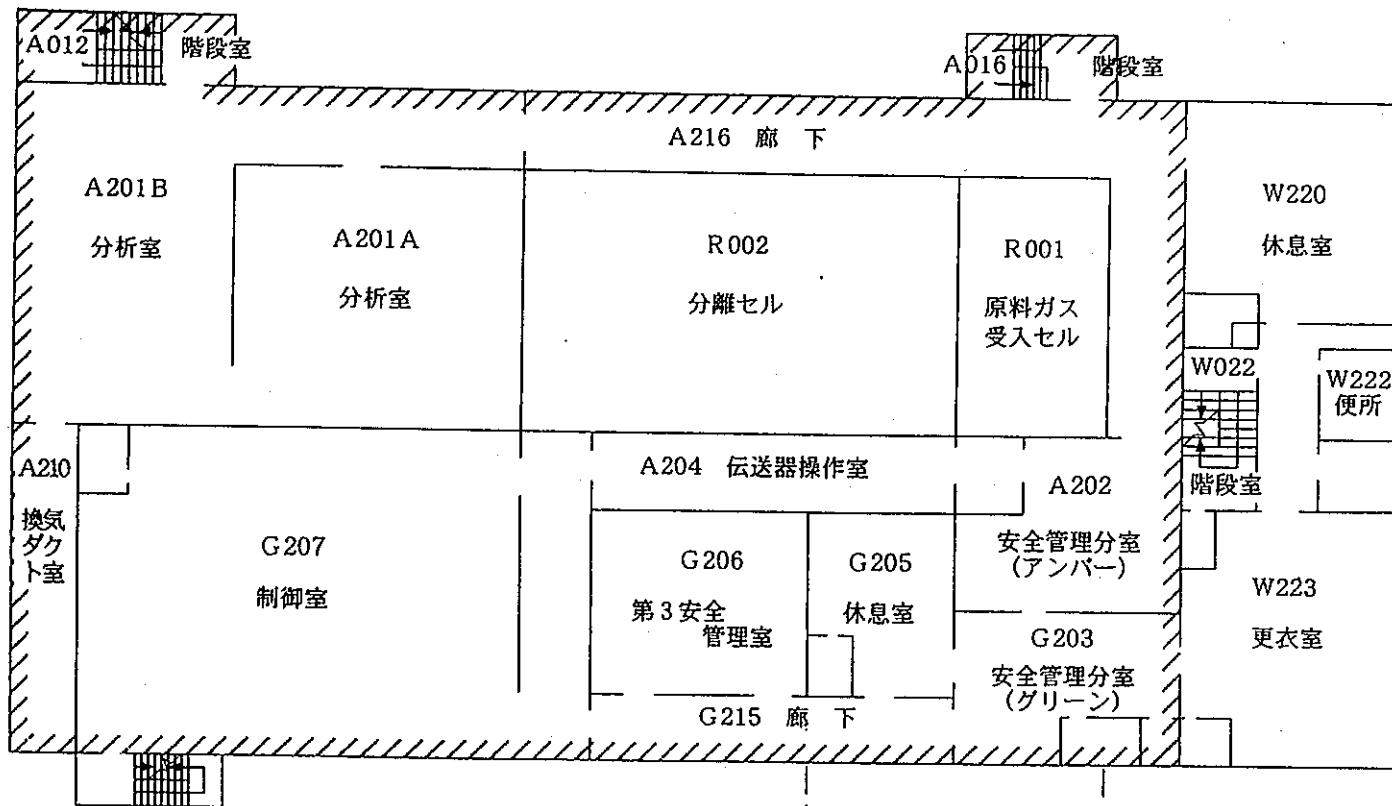
5階平面図

管理区域及びホワイト区域（高放射性廃液貯蔵場：その6）

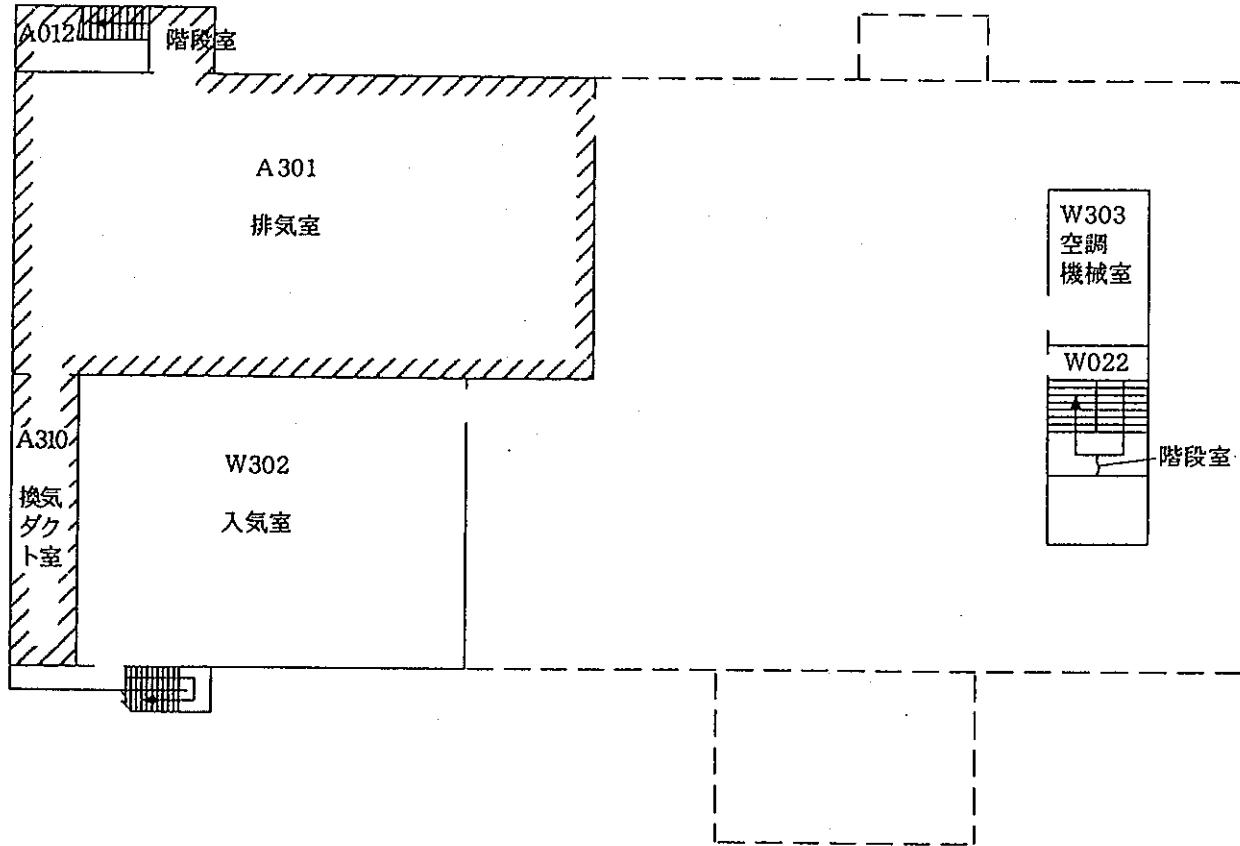




管理区域及びホワイト区域
(クリプトン回収技術開発施設：その2)

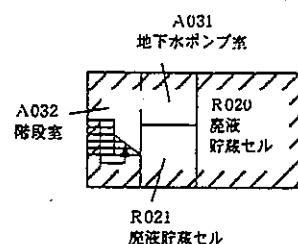


管理区域及びホワイト区域
(クリプトン回収技術開発施設: その3)

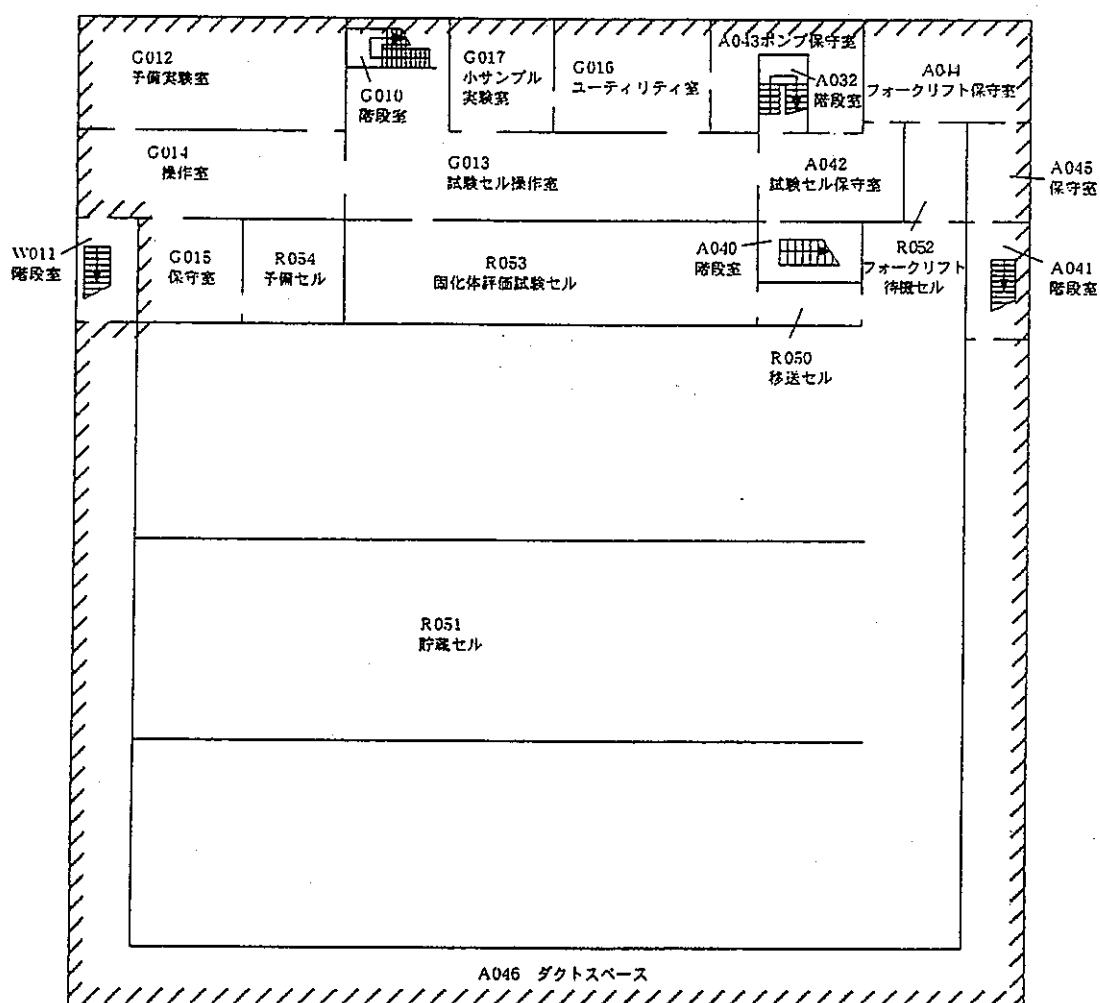


3階 平面図

管理区域及びホワイト区域
(クリプトン回収技術開発施設：その4)

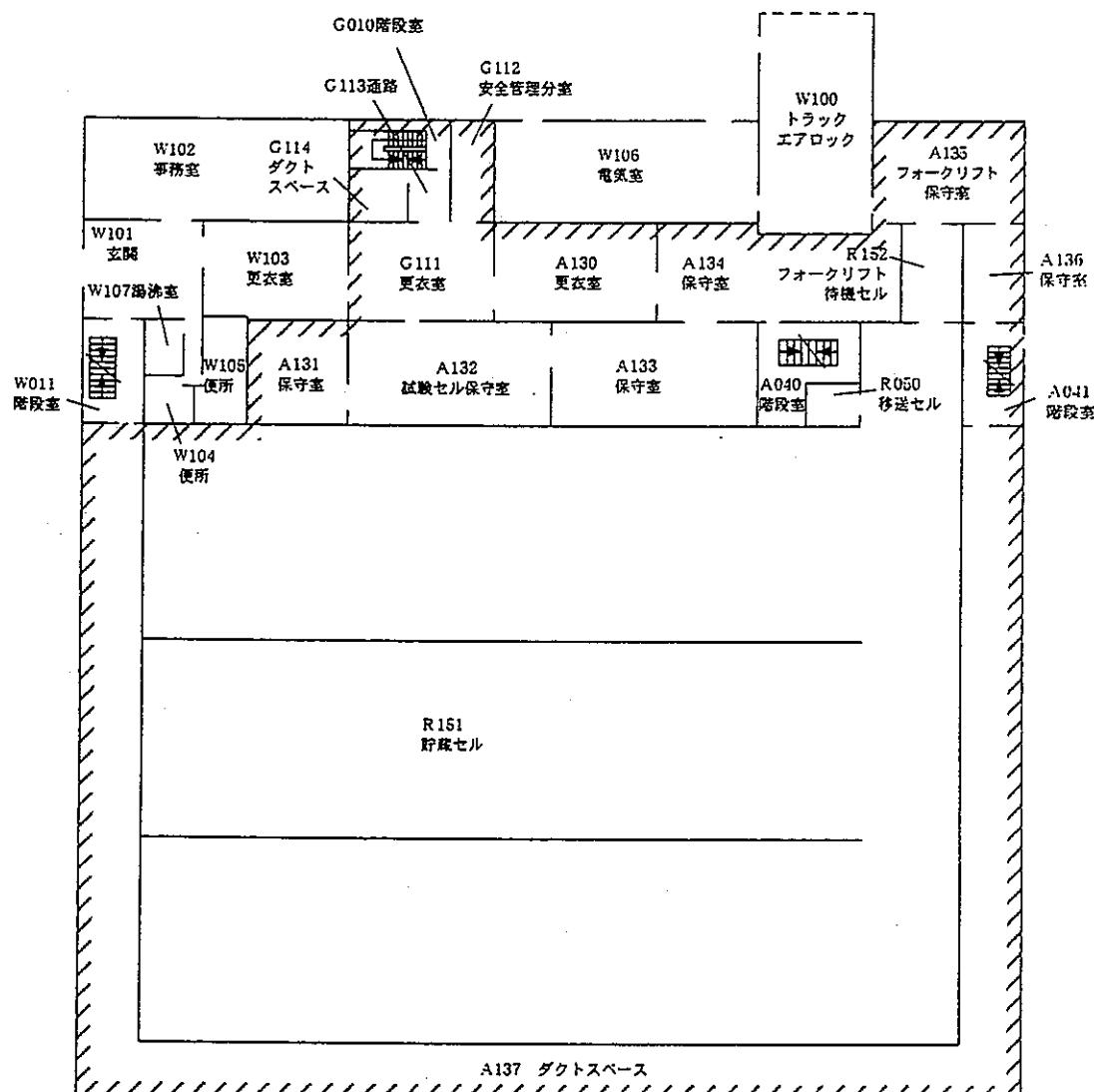


地下 2 階平面図



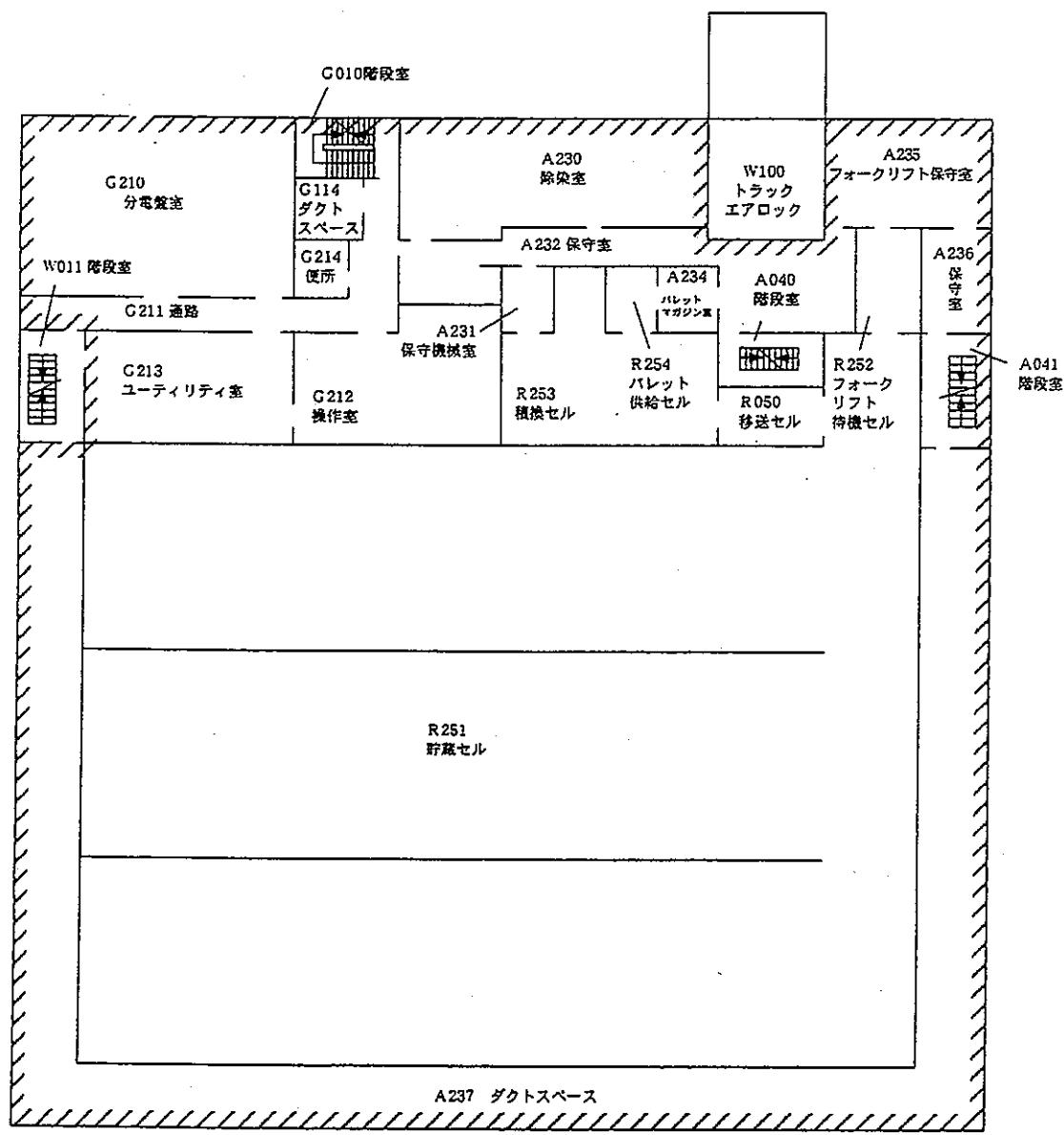
地下 1 階平面図

管理区域及びホワイト区域
(第二アスファルト固化体貯蔵施設：その 1)



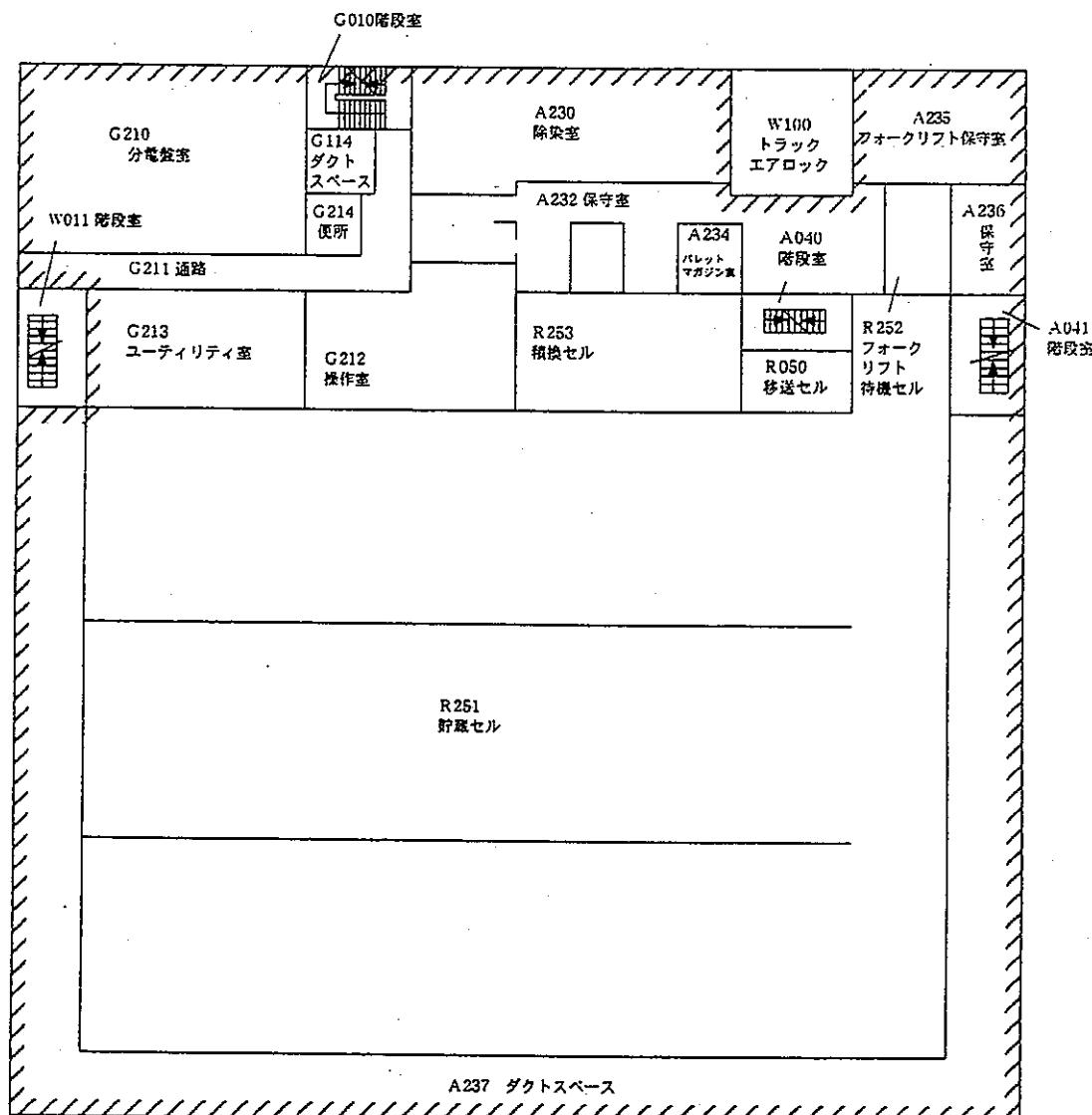
1階平面図

管理区域及びホワイト区域
(第二アスファルト固化体貯蔵施設：その2)



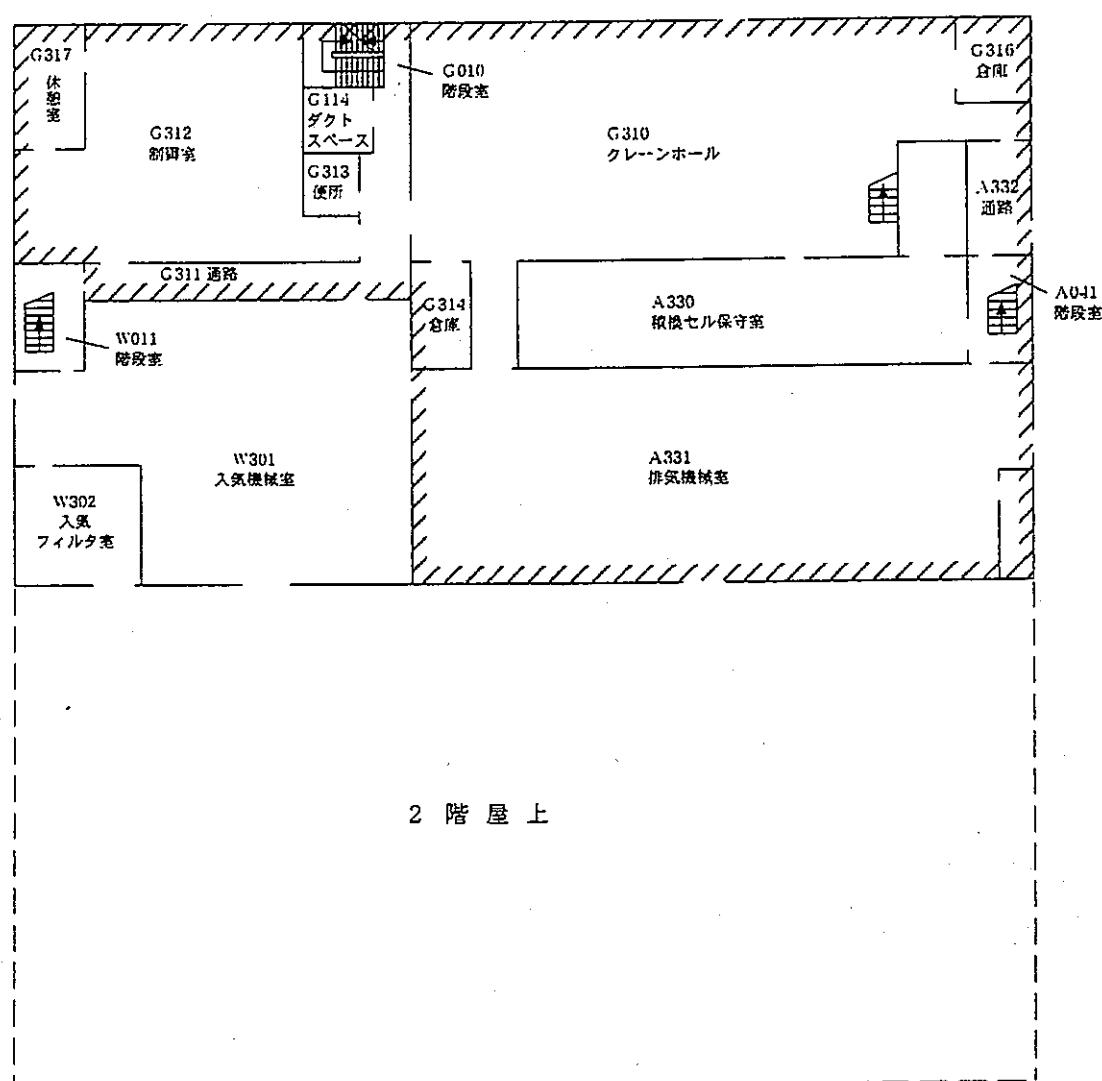
2階平面図

管理区域及びホワイト区域
(第二アスファルト固化体貯蔵施設：その3)



中2階平面図

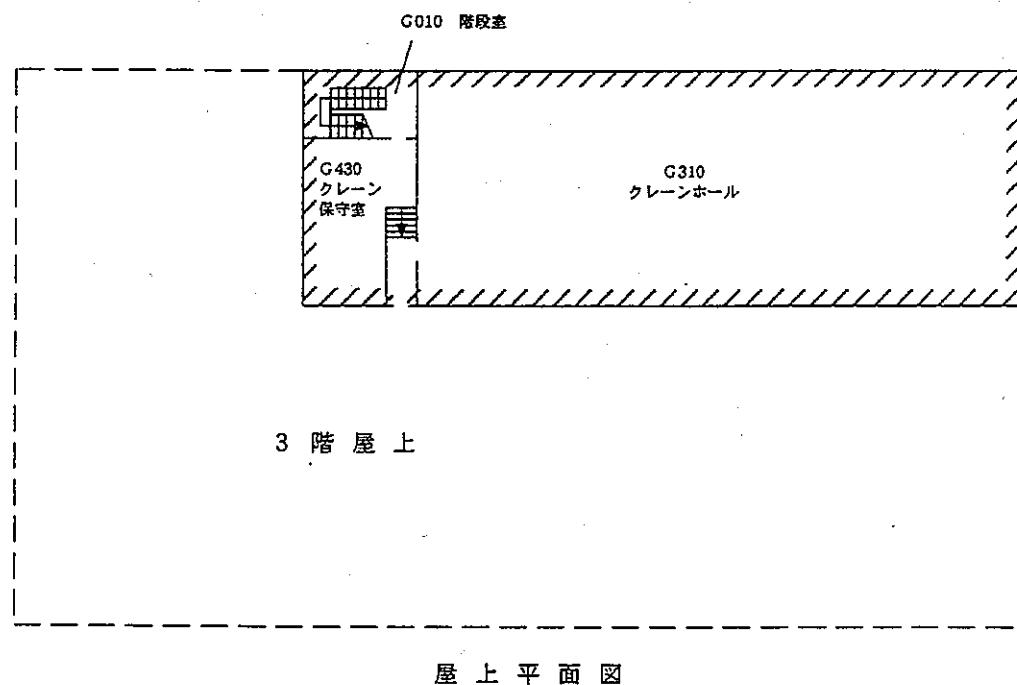
管理区域及びホワイト区域
(第二アスファルト固化体貯蔵施設：その4)



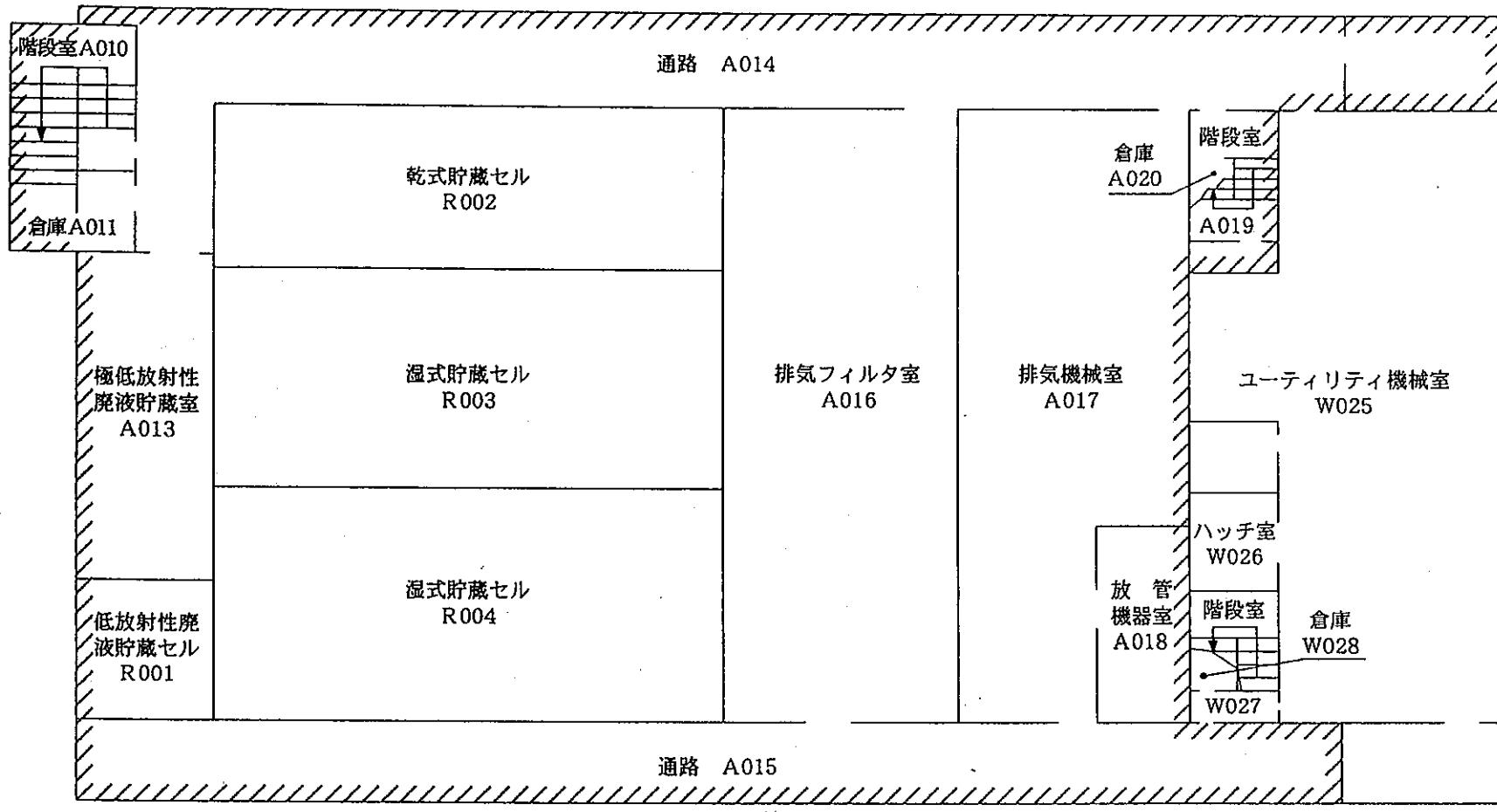
2階屋上

3階平面図

管理区域及びホワイト区域
(第二アスファルト固化体貯蔵施設：その5)

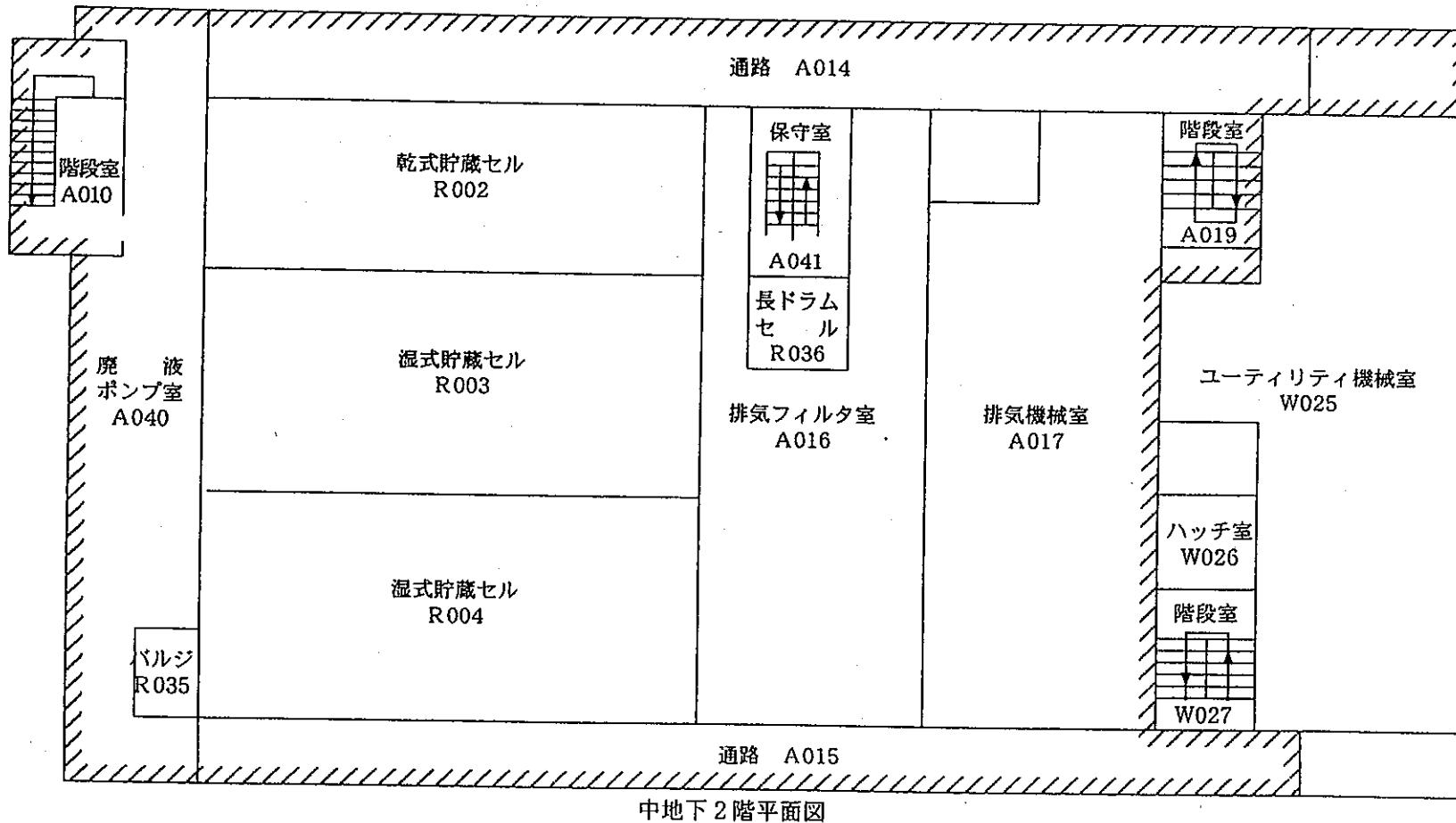


管理区域及びホワイト区域
(第二アスファルト固化体貯蔵施設：その6)

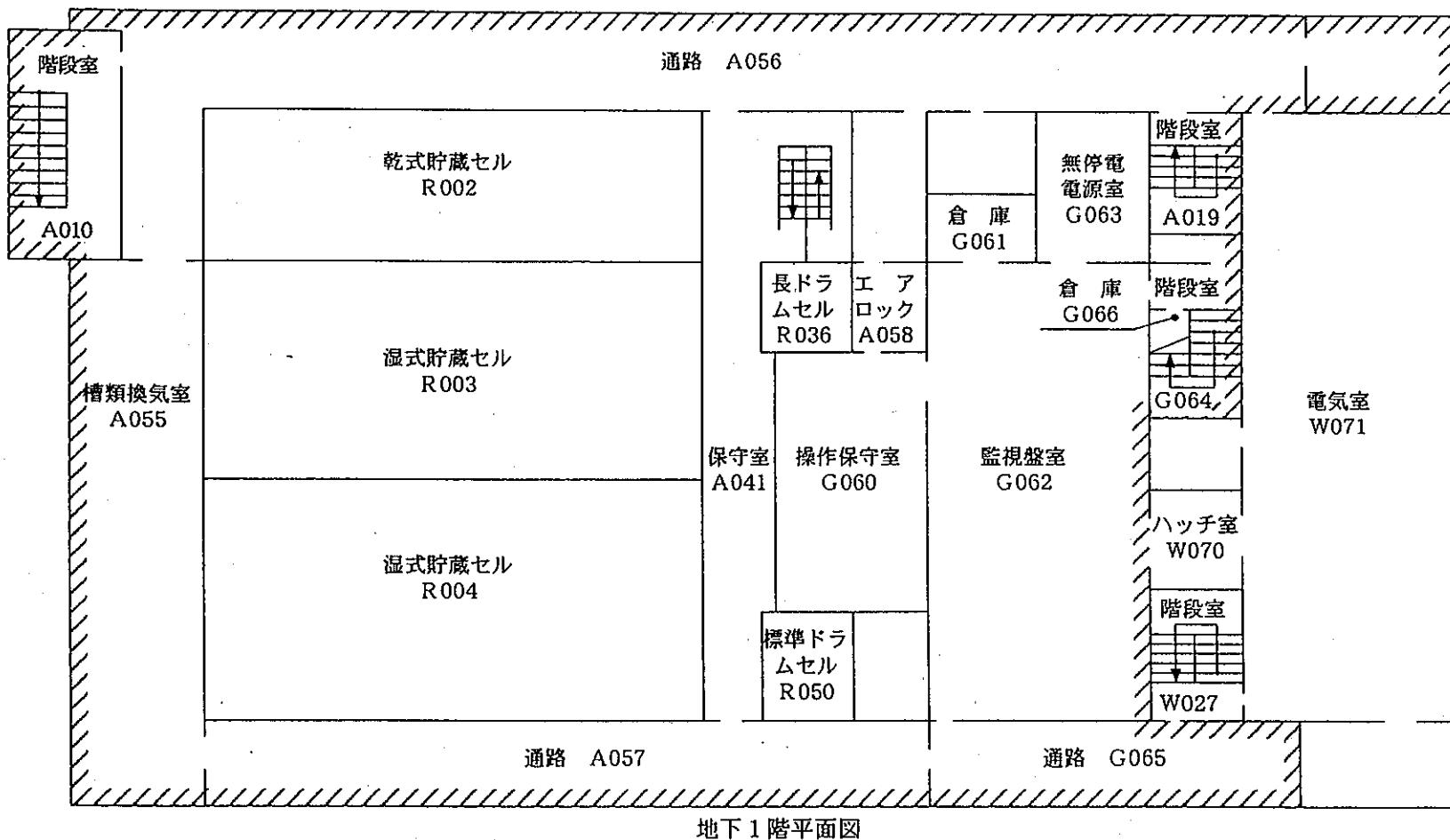


地下2階平面図

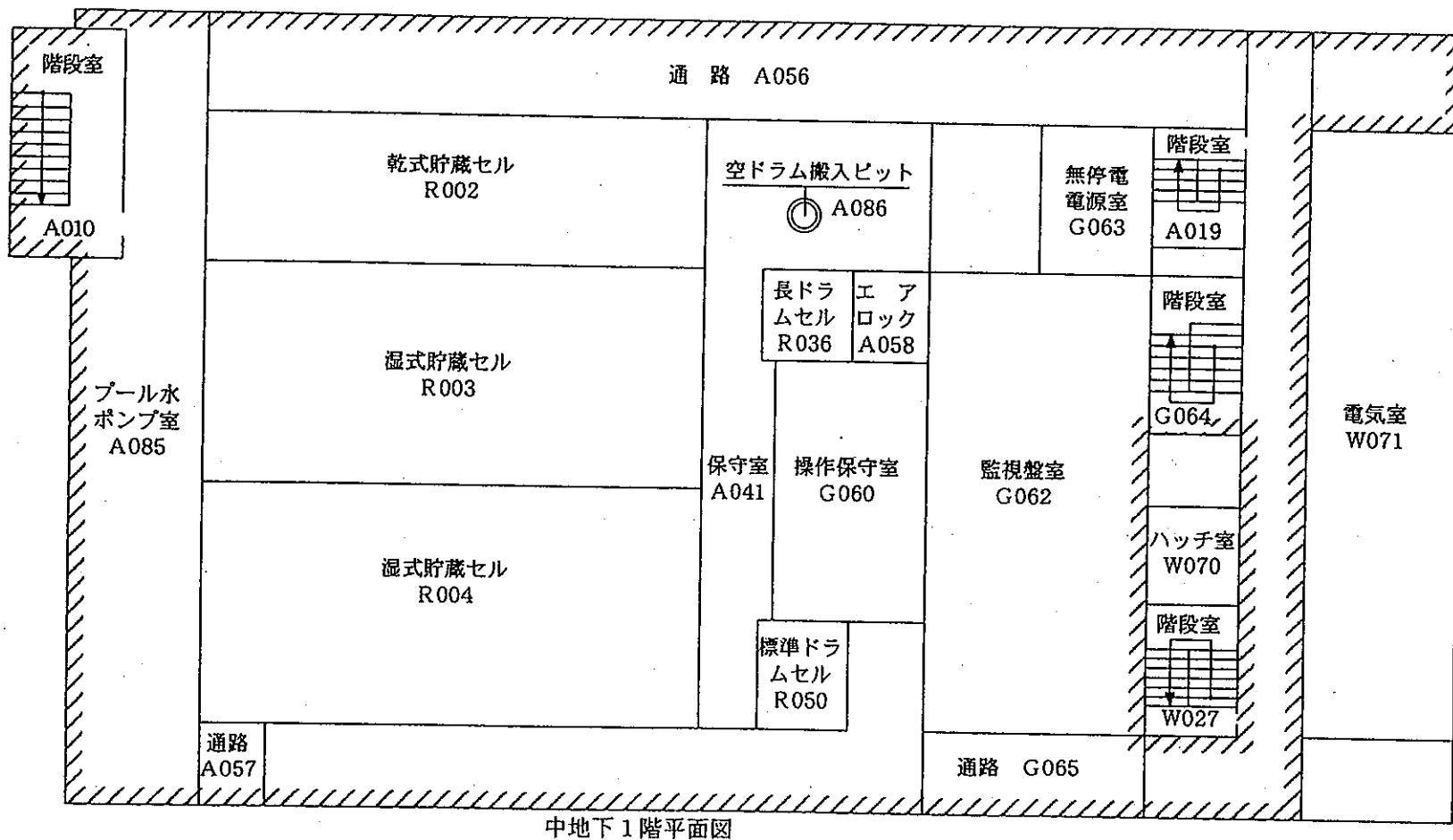
管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その1)



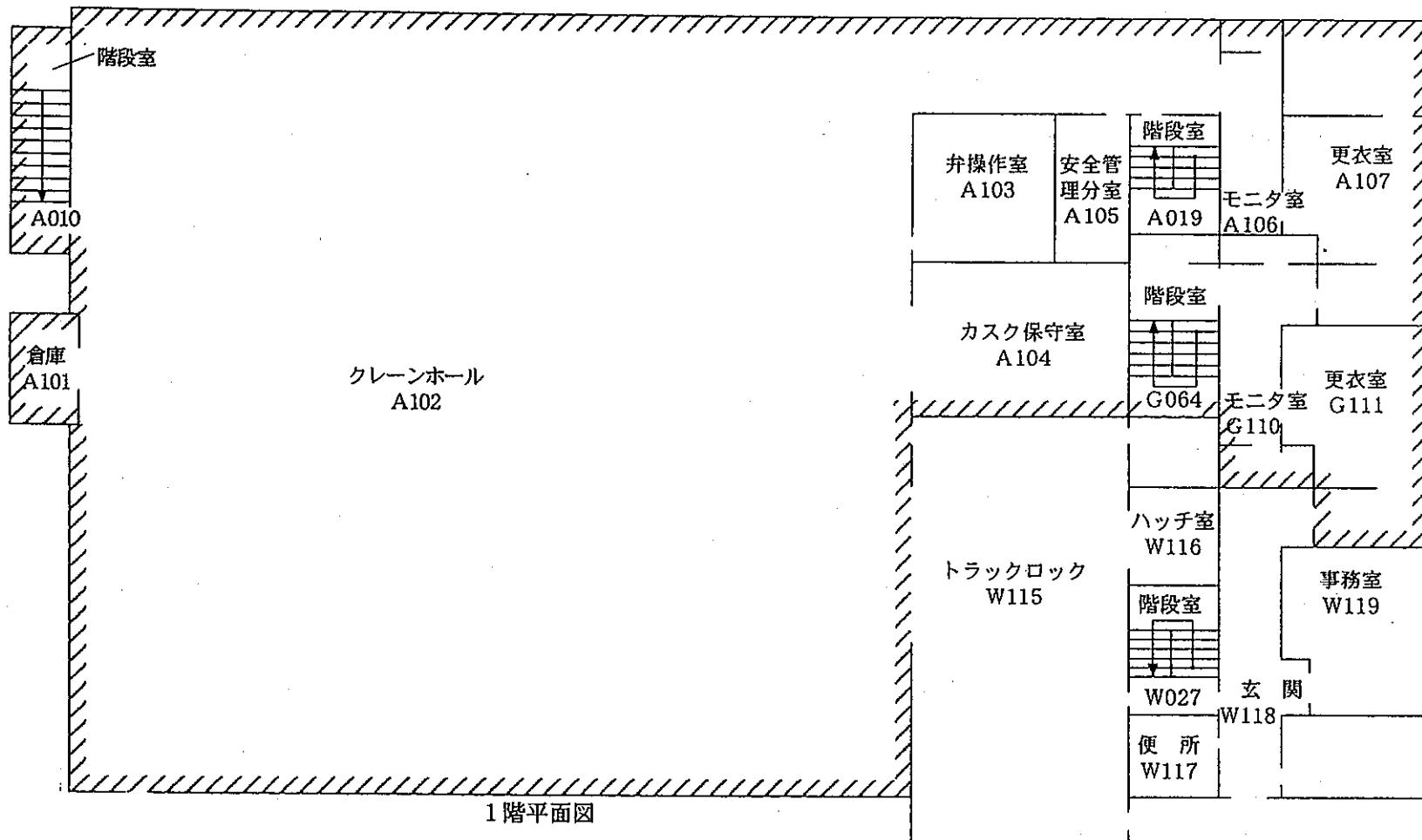
管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その 2)



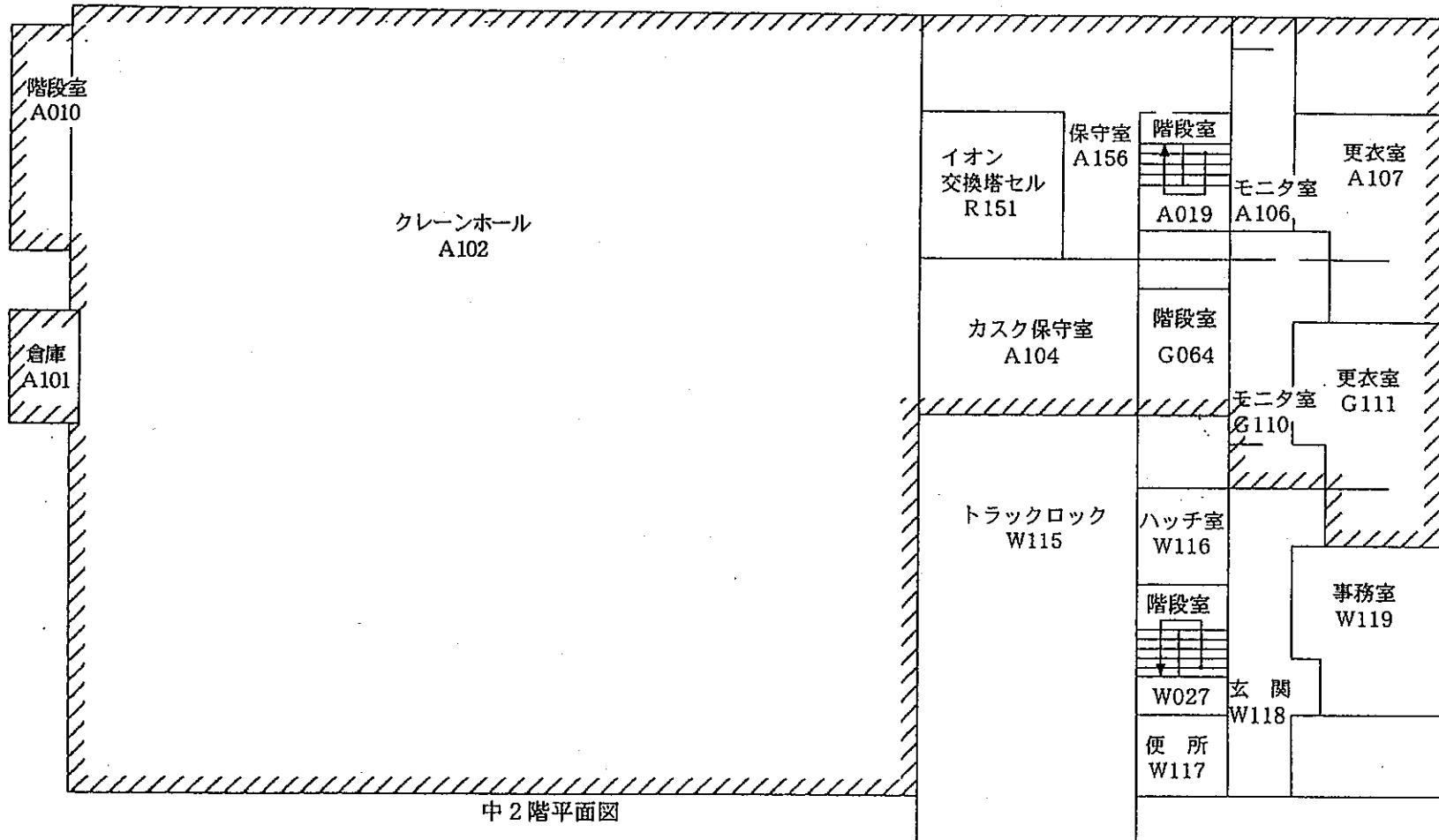
管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その3)



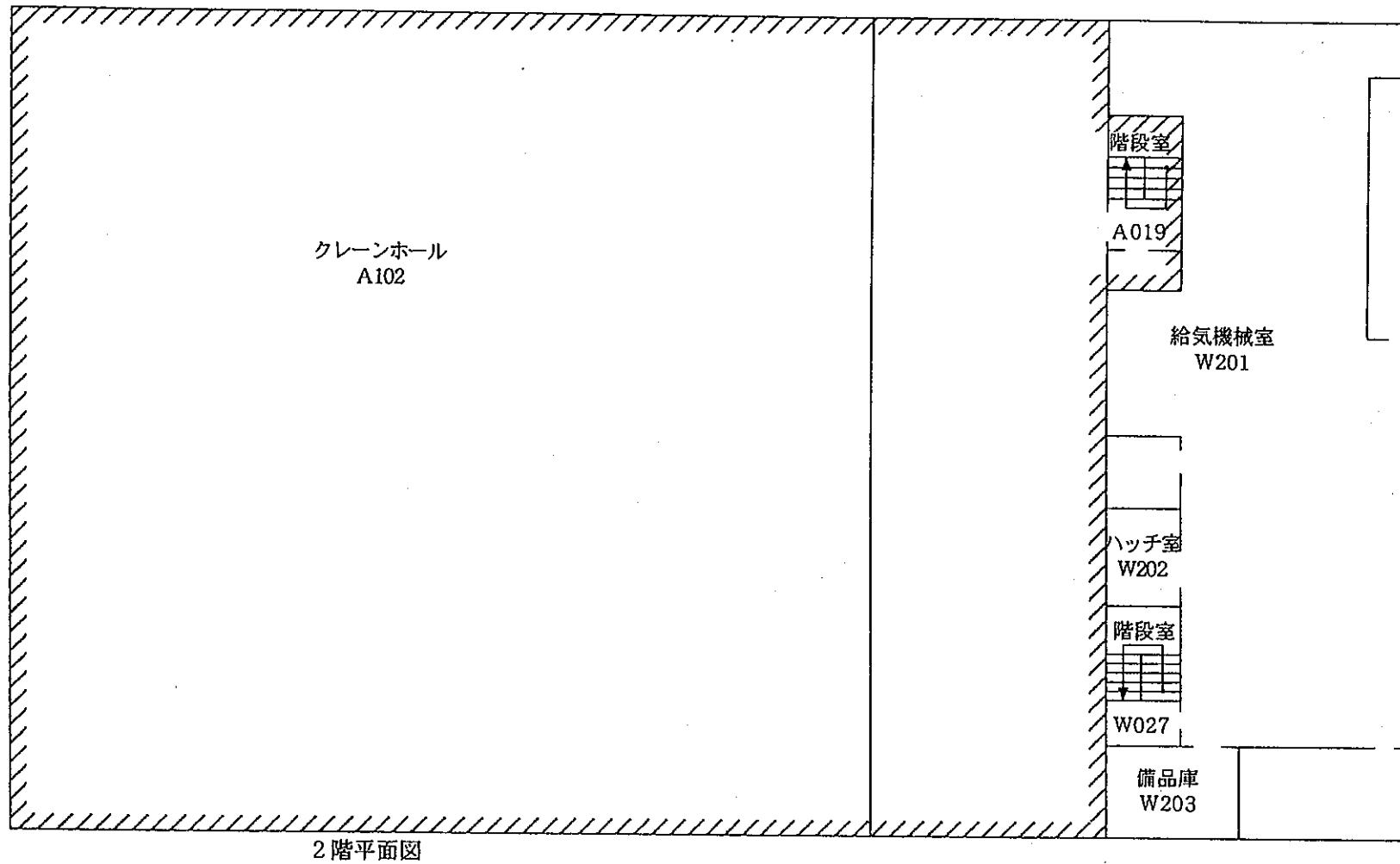
管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その4)



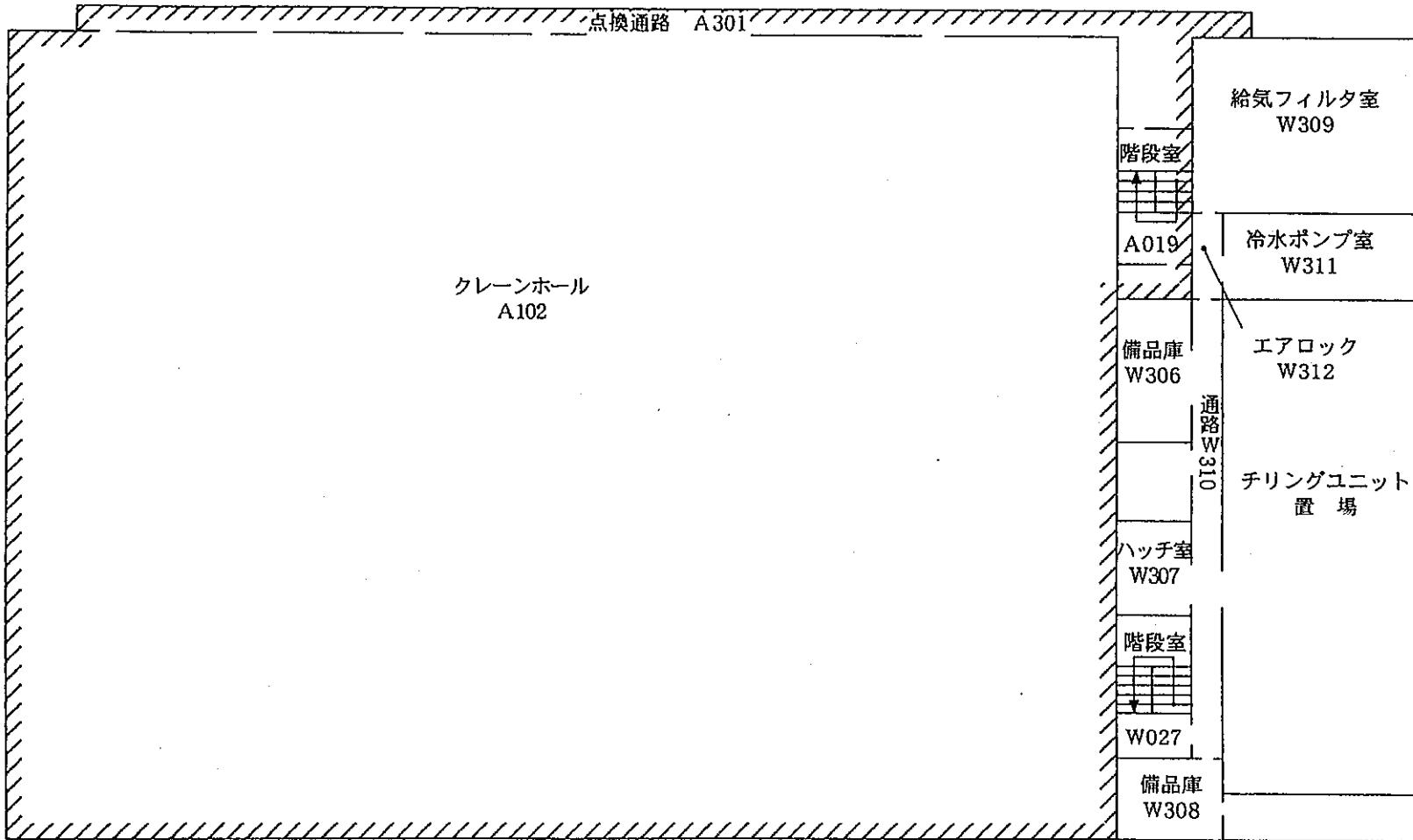
管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その5)



管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その6)

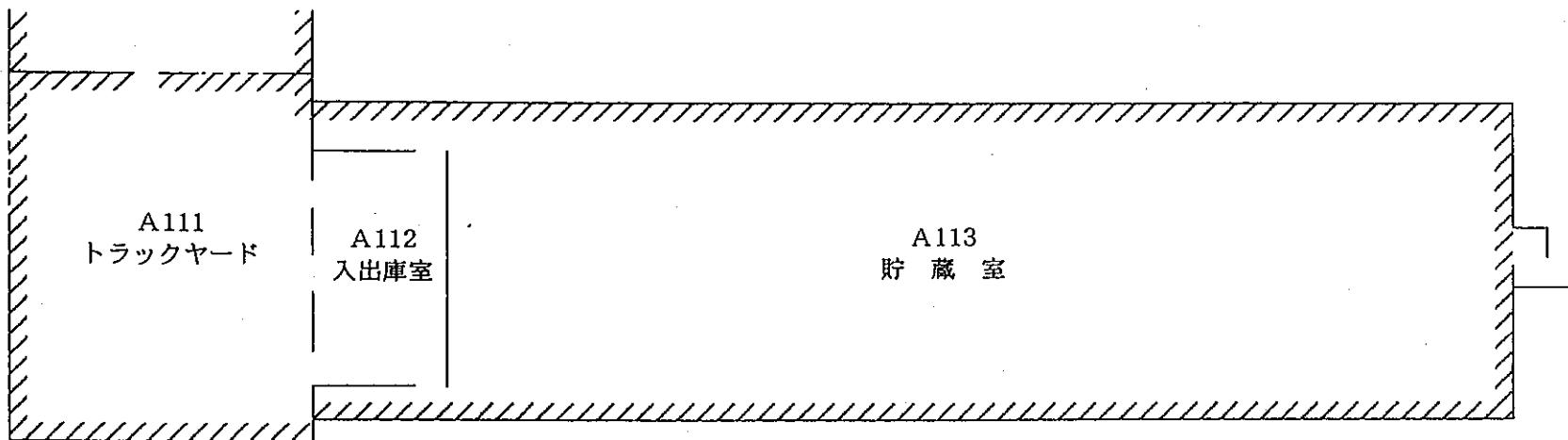


管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その7)



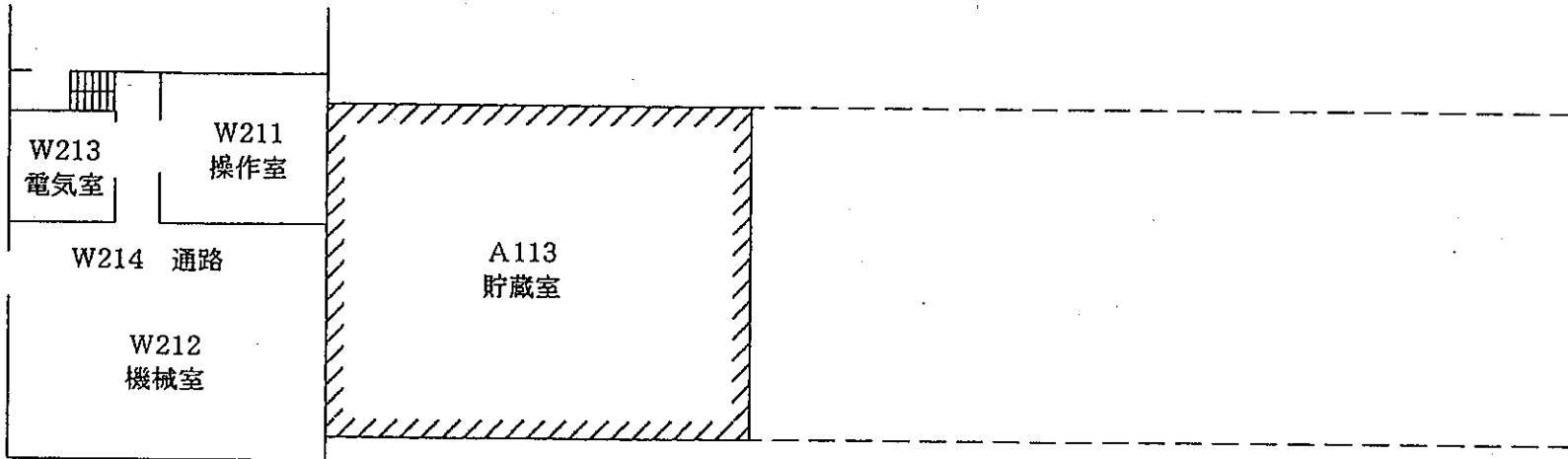
3階平面図

管理区域及びホワイト区域
(第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設：その8)



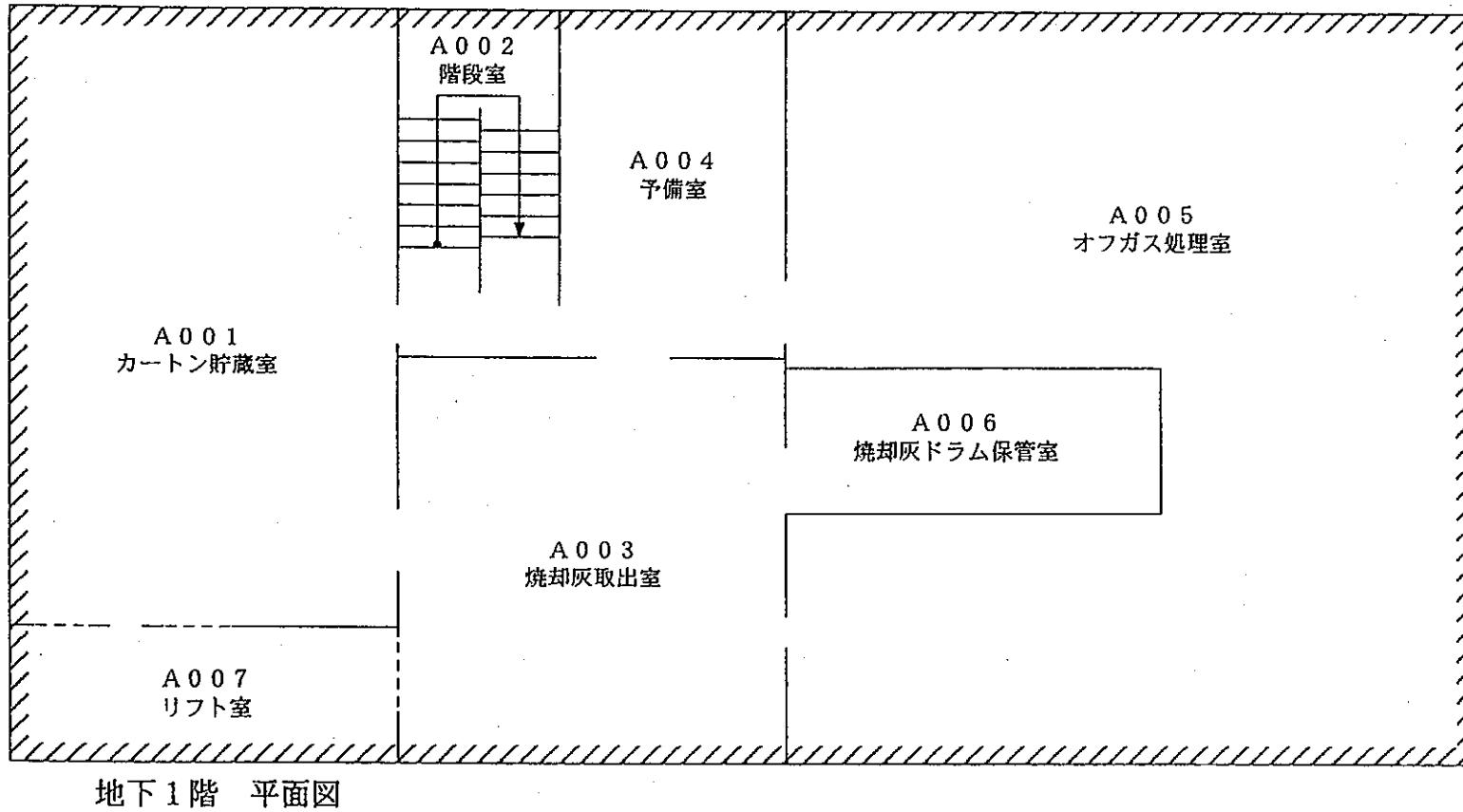
1階 平面図

管理区域及びホワイト区域（第三ウラン貯蔵所：その1）

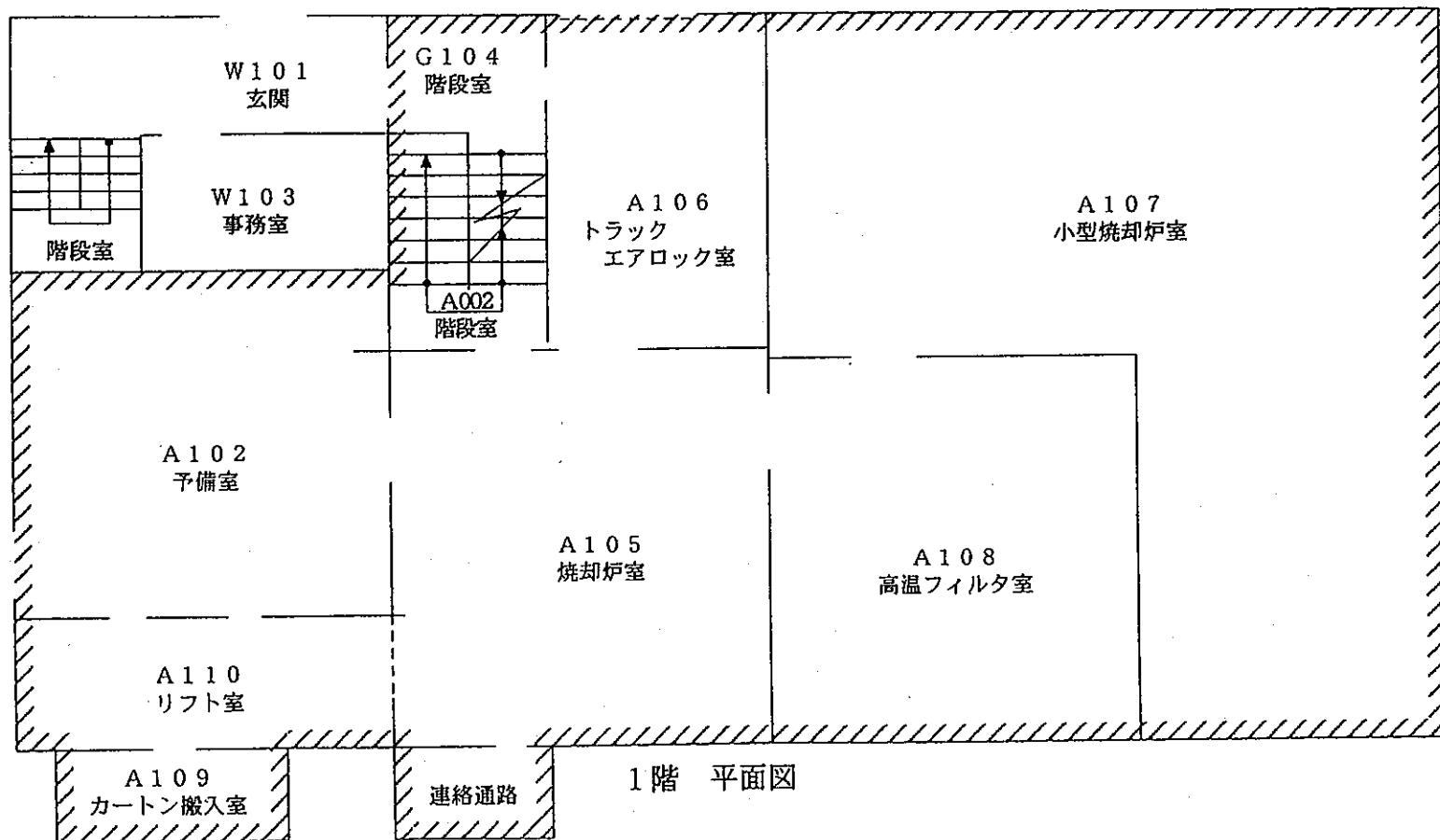


2階 平面図

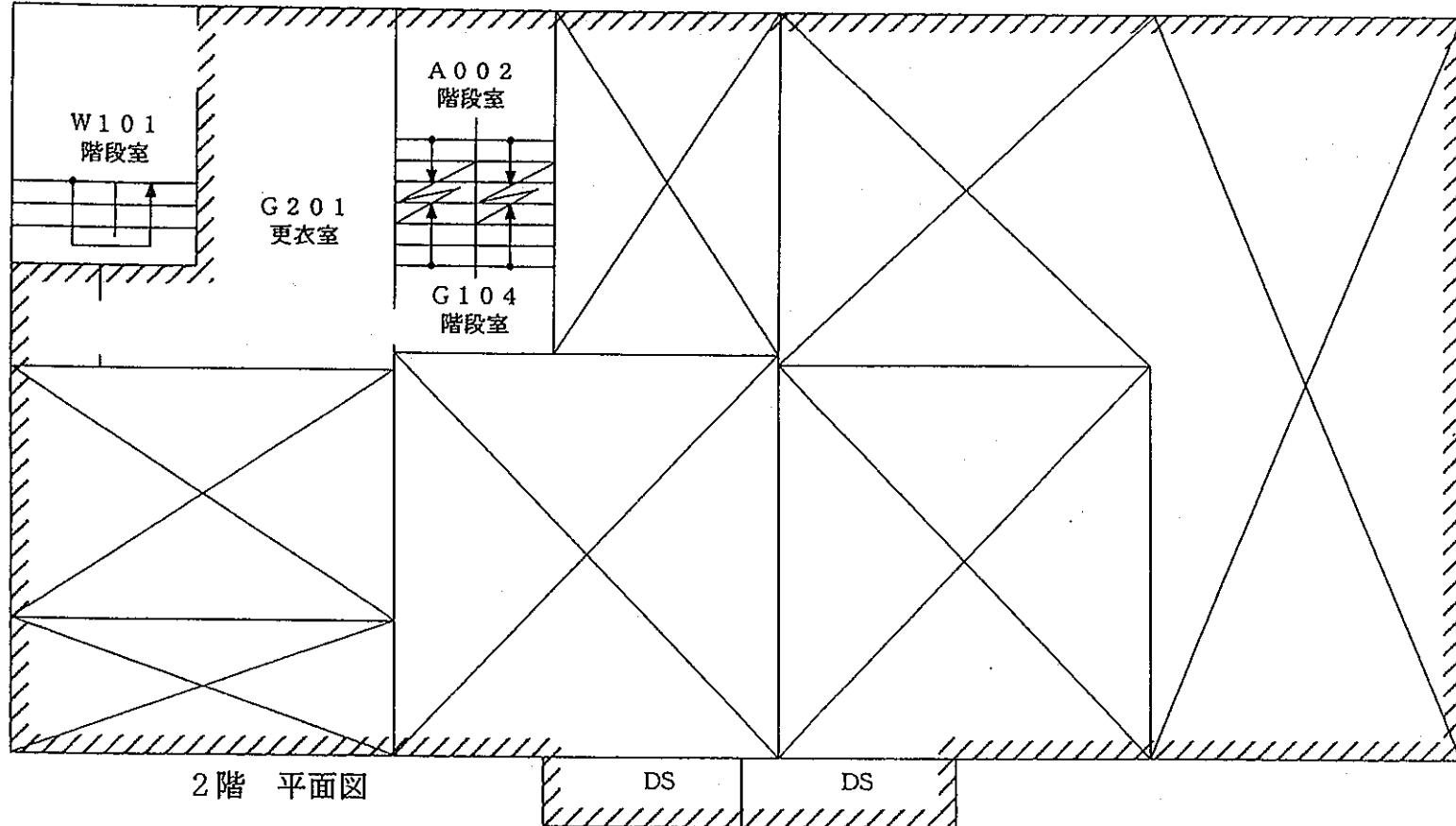
管理区域及びホワイト区域（第三ウラン貯蔵所：その2）



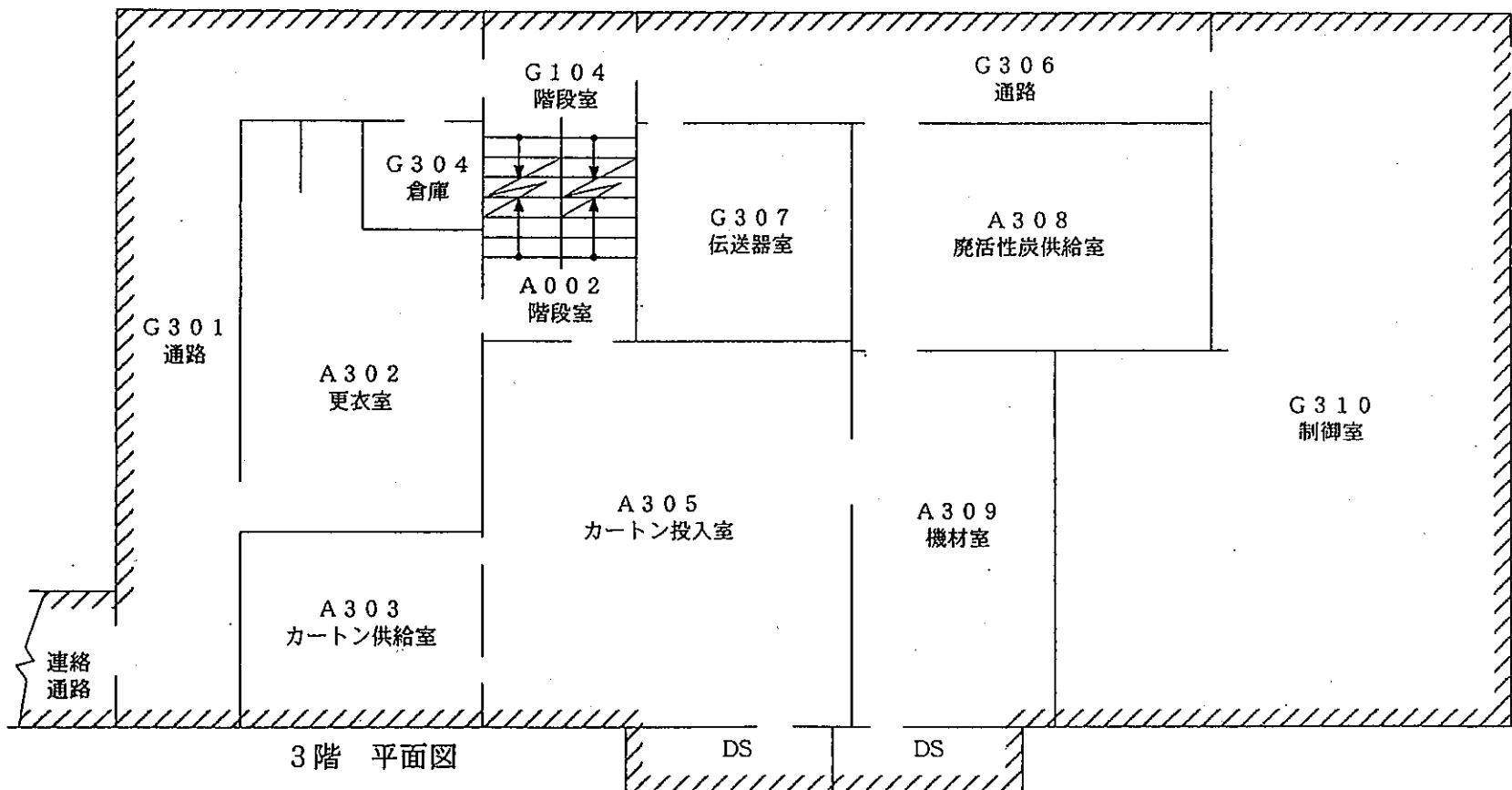
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その1）



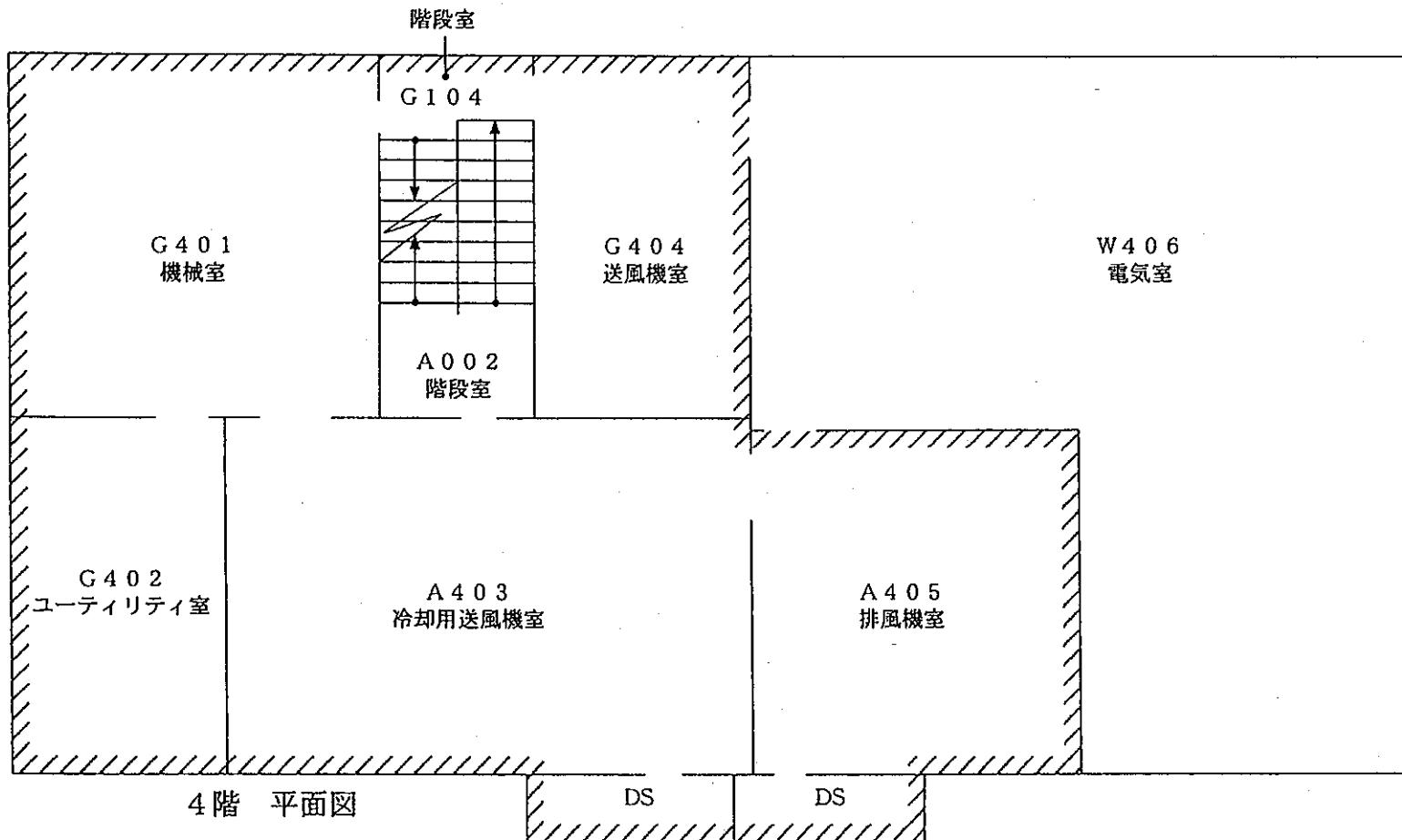
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その2）



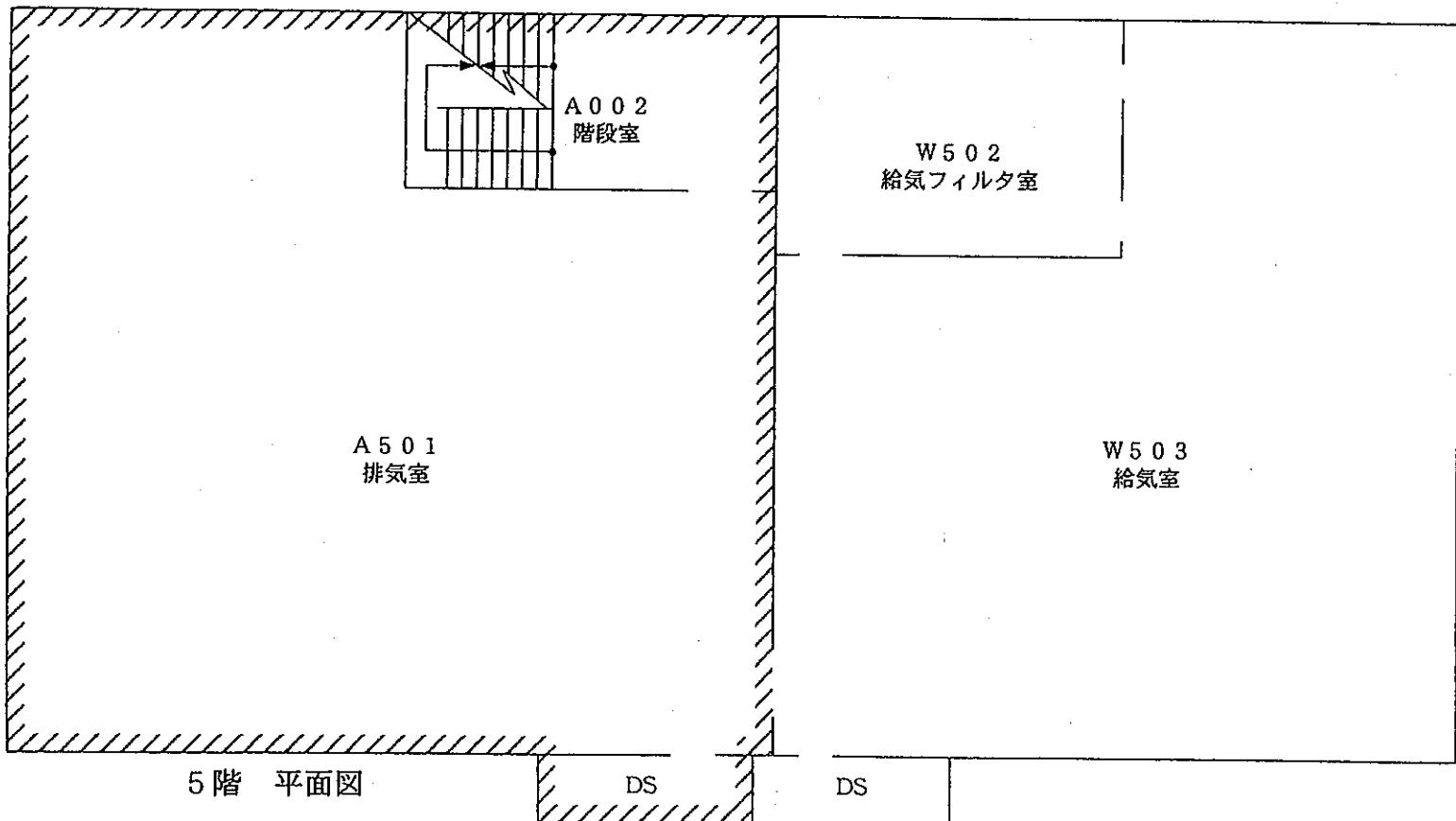
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その3）



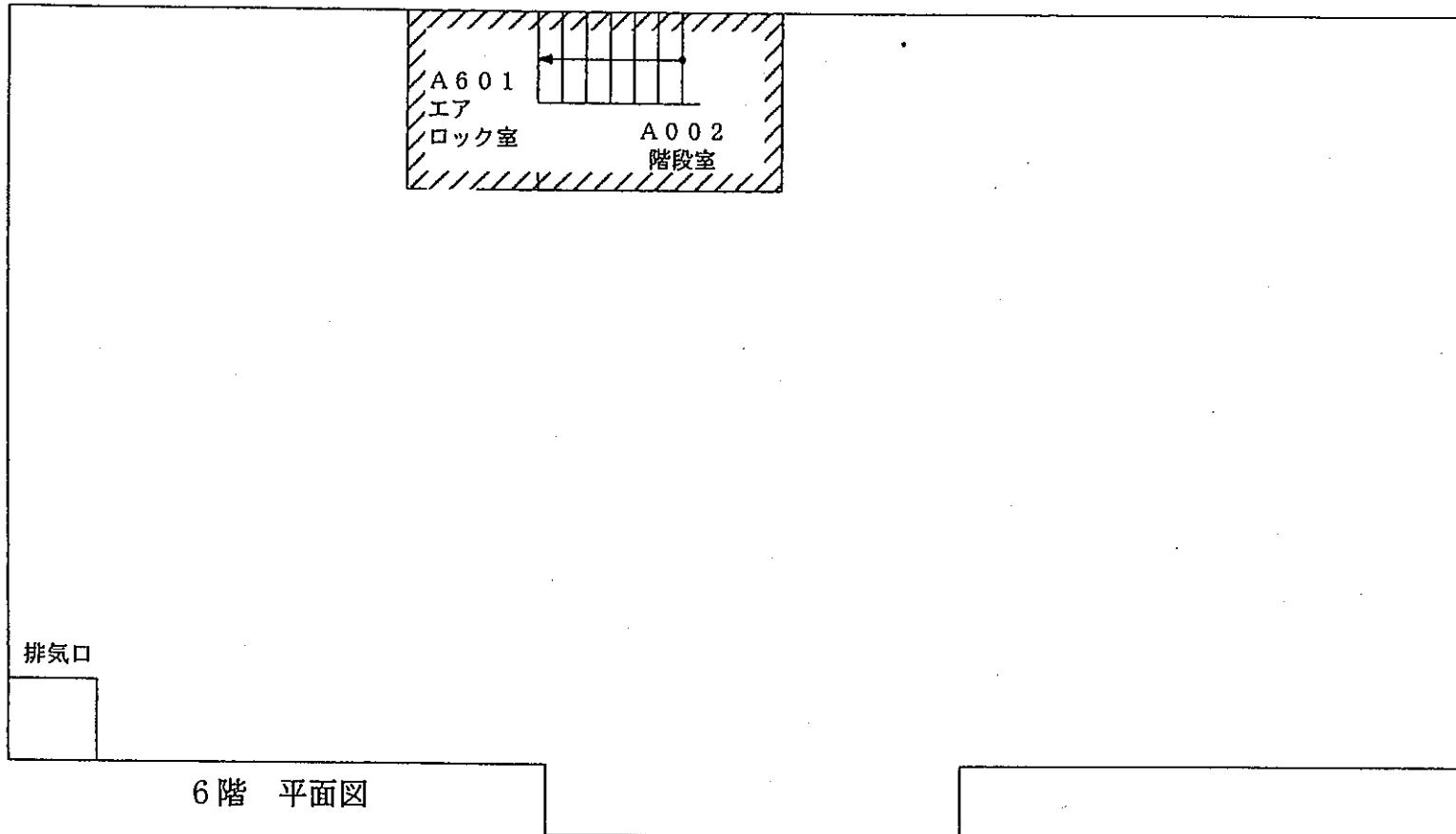
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その4）



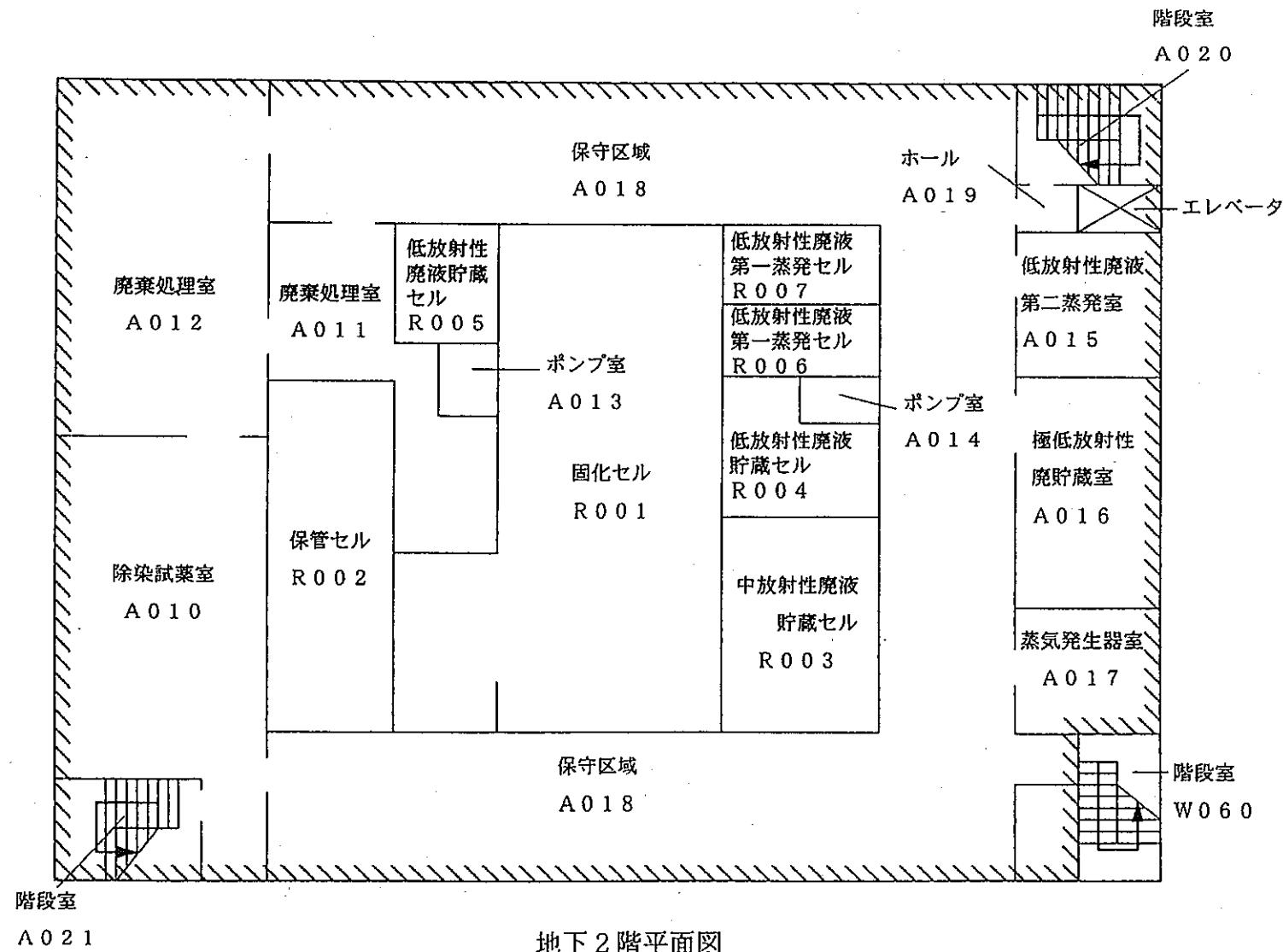
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その5）



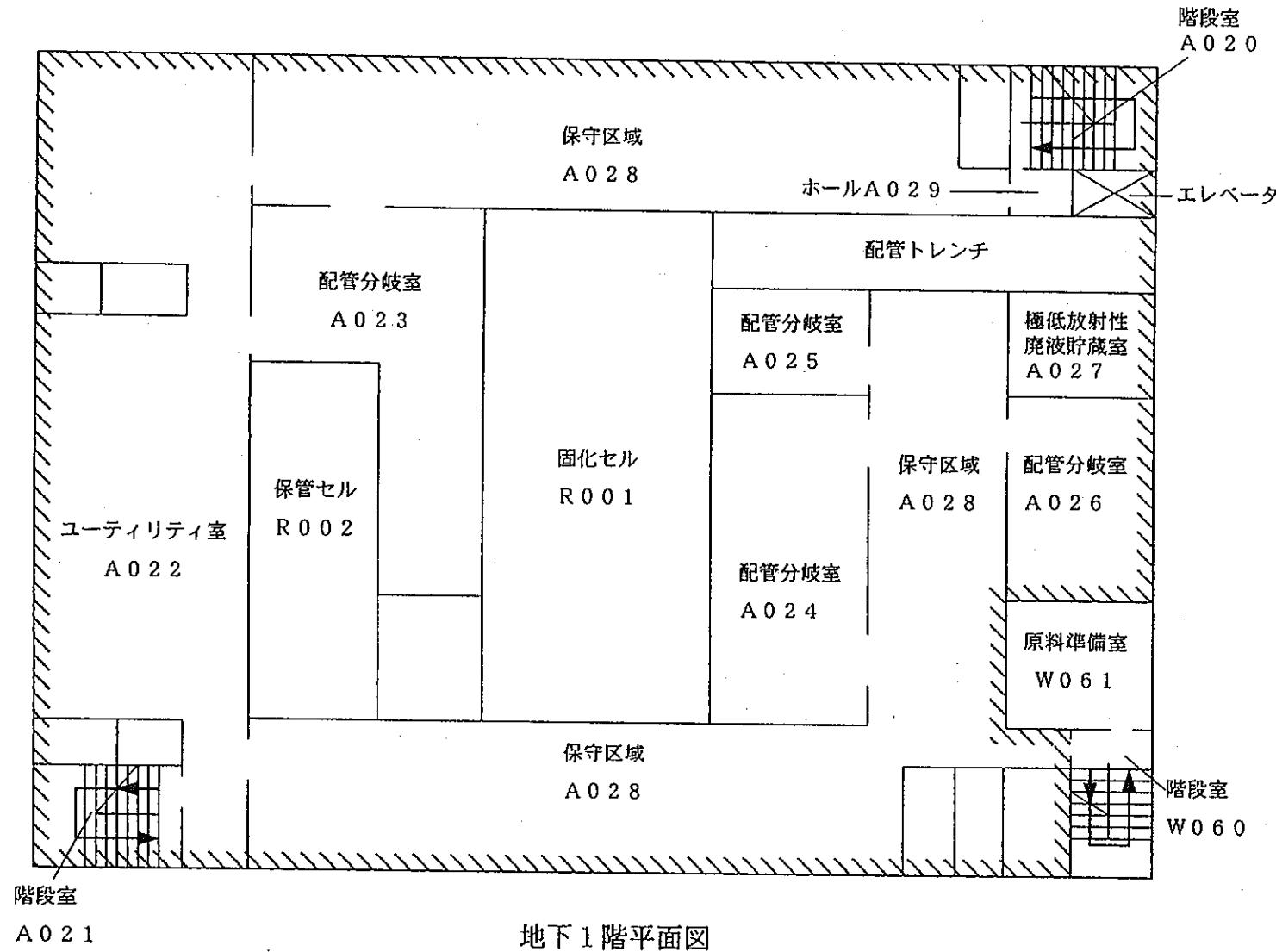
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その 6）



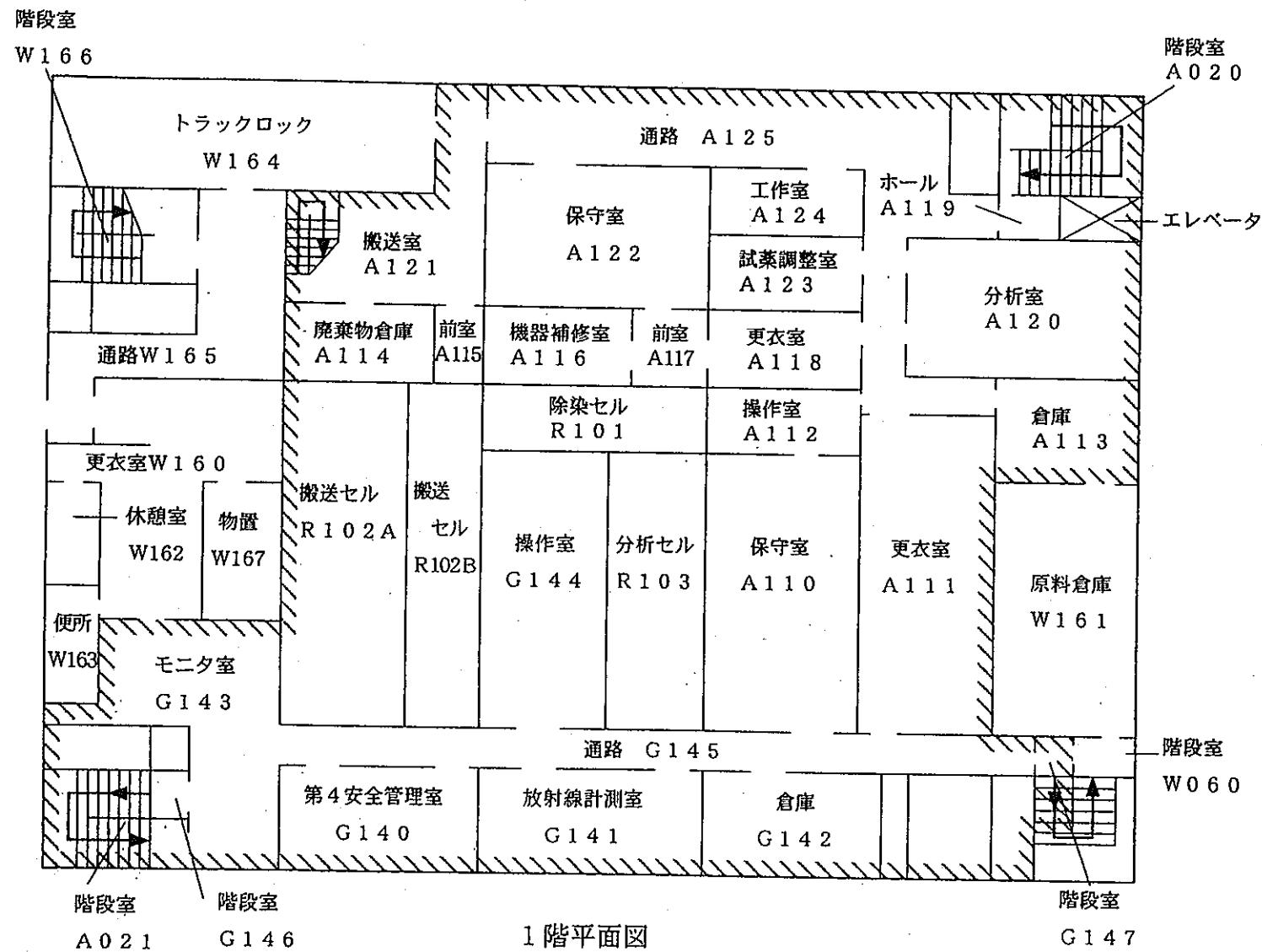
管理区域及びホワイト区域（焼却施設：その7）



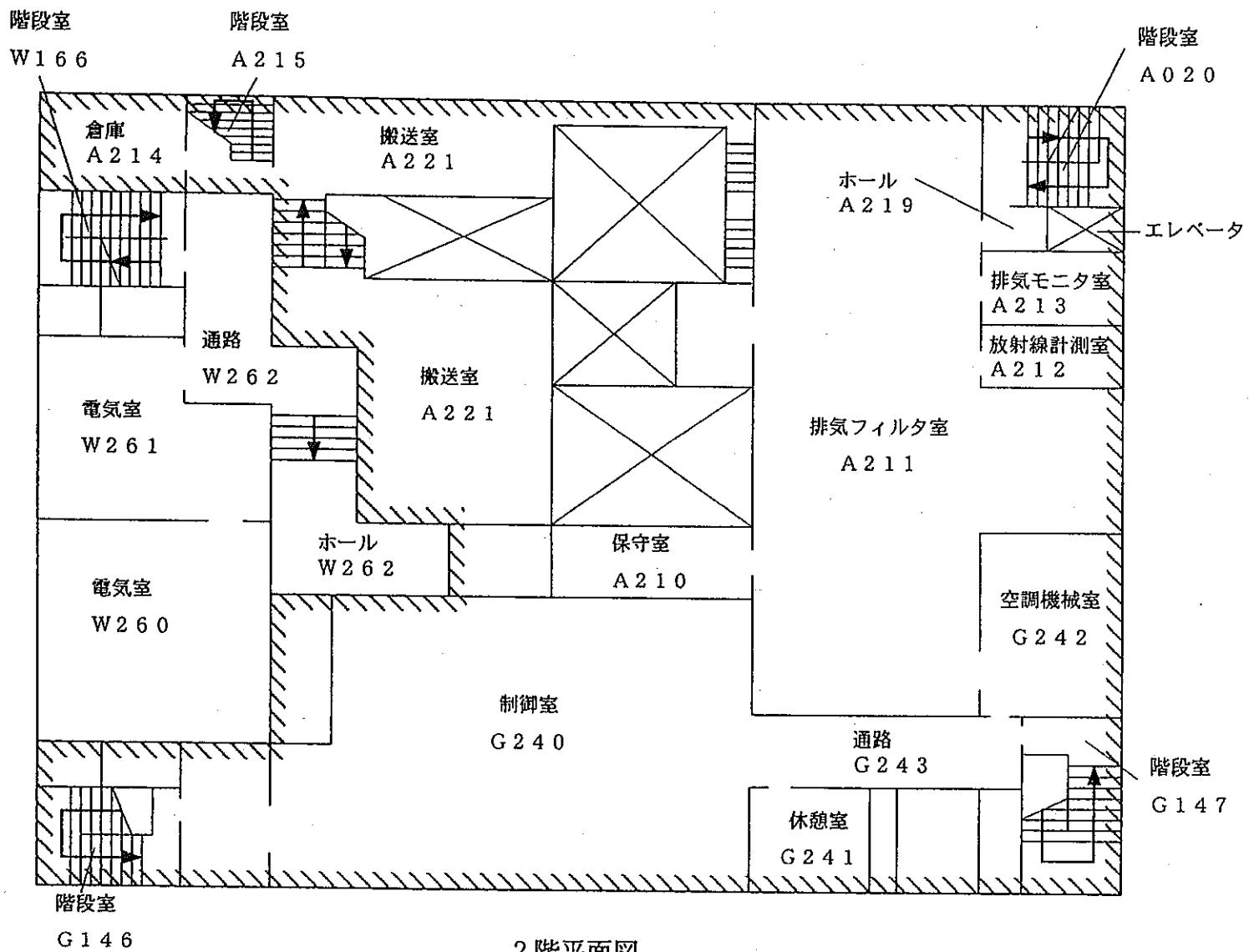
管理区域及びホワイト区域
(ガラス固化技術開発施設：その1)



管理区域及びホワイト区域
(ガラス固化技術開発施設: その2)

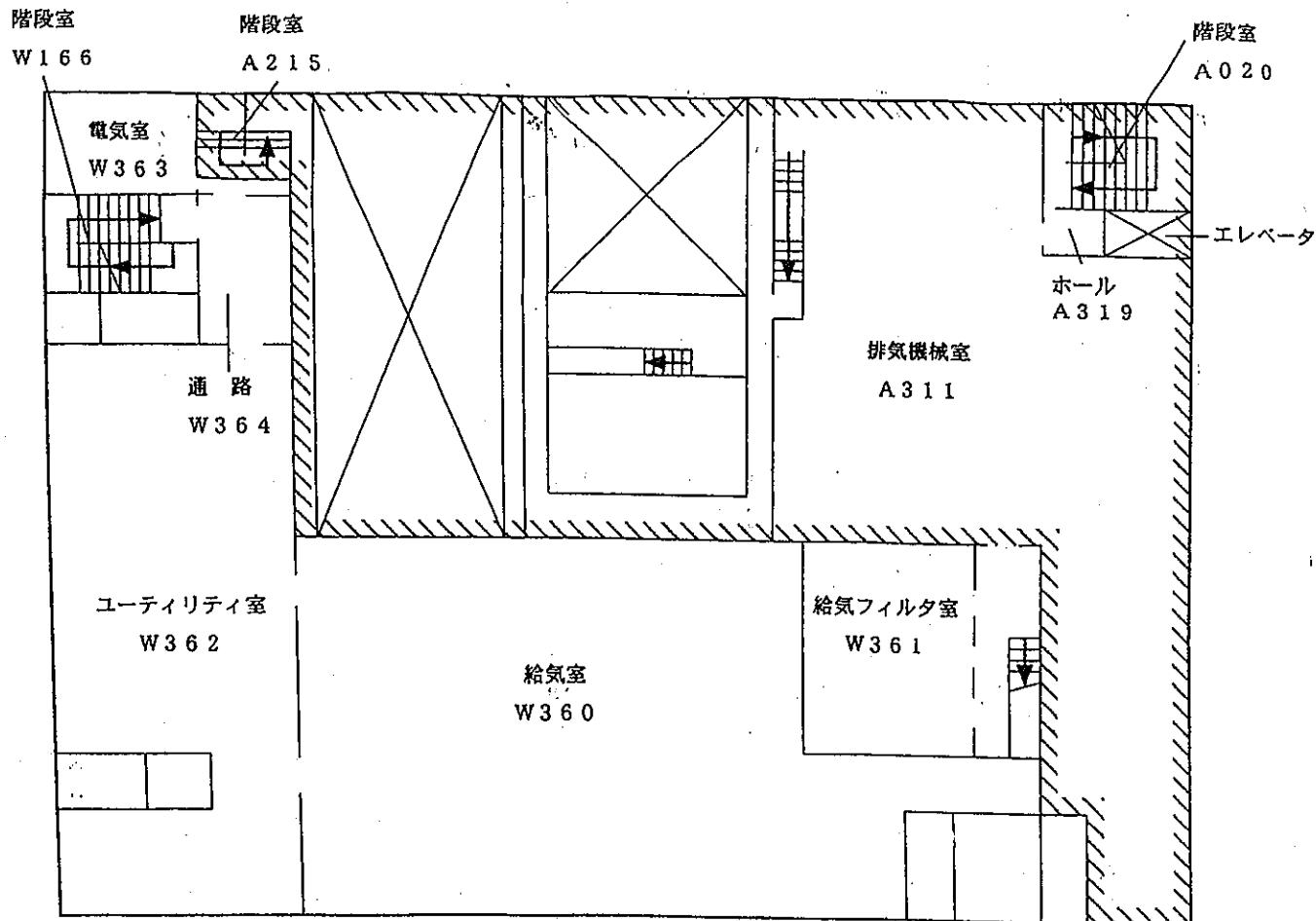


管理区域及びホワイト区域
(ガラス固化技術開発施設：その3)

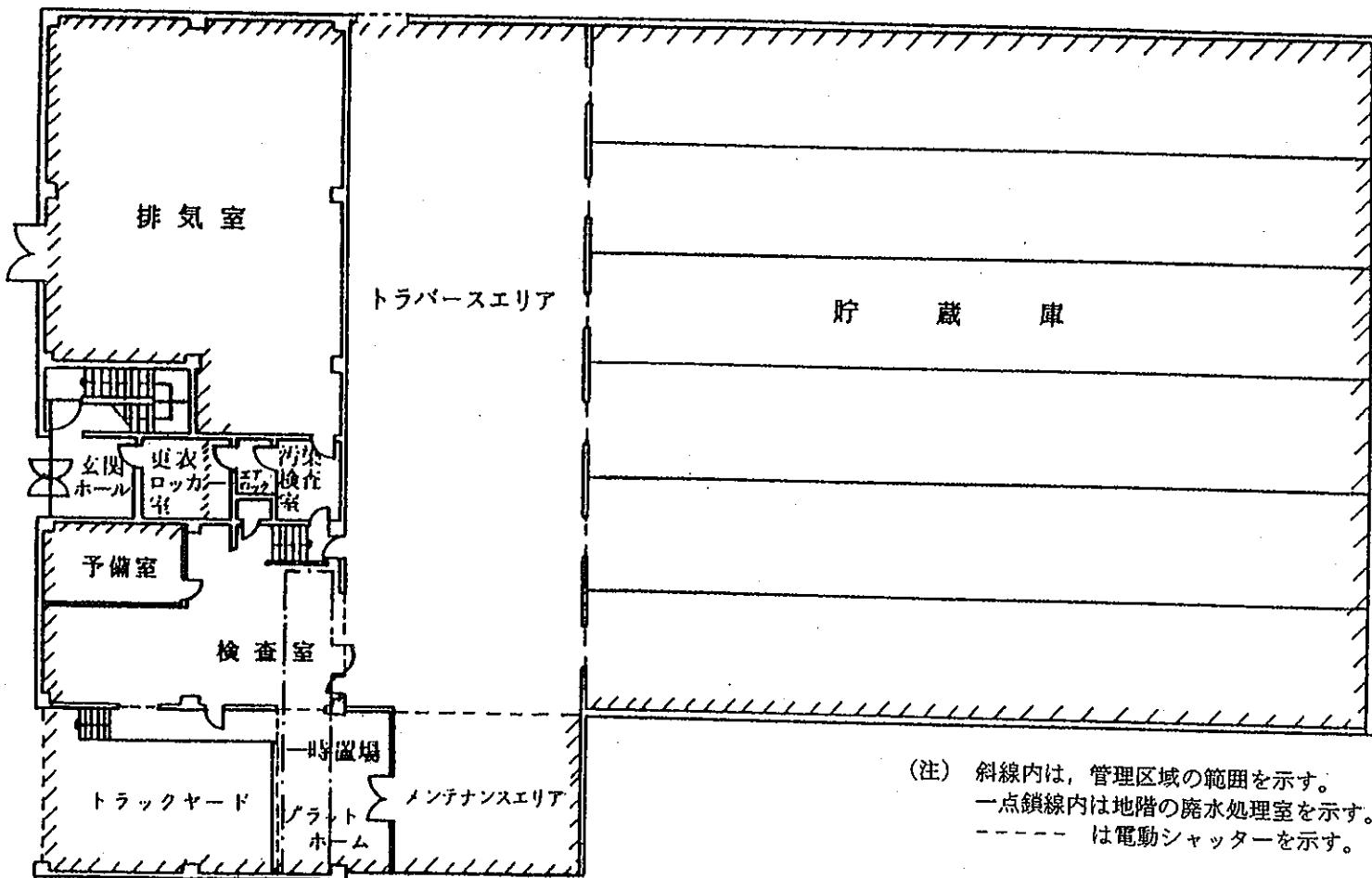


2階平面図

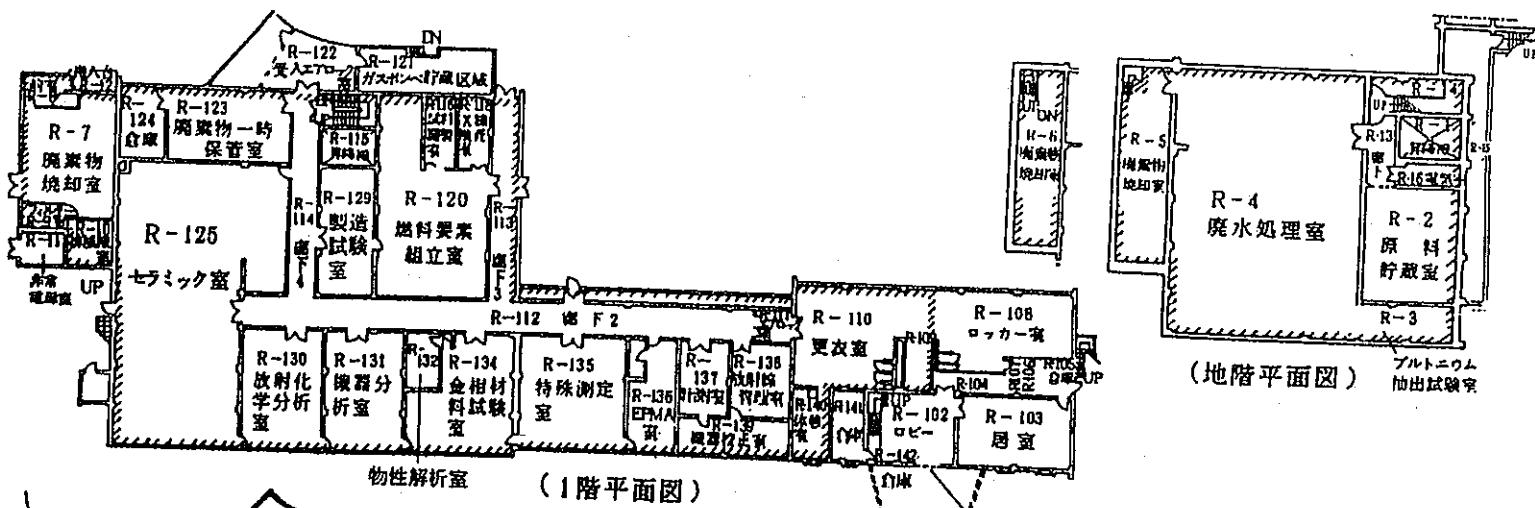
管理区域及びホワイト区域
(ガラス固化技術開発施設：その4)



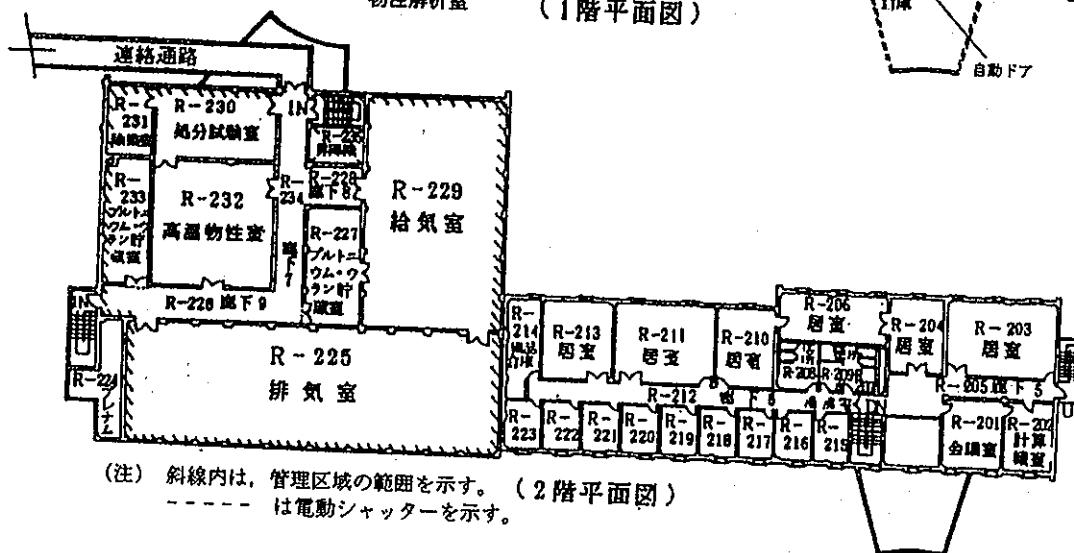
3階平面図
管理区域及びホワイト区域
(ガラス固化技術開発施設: その5)



プルトニウム廃棄物貯蔵施設管理区域

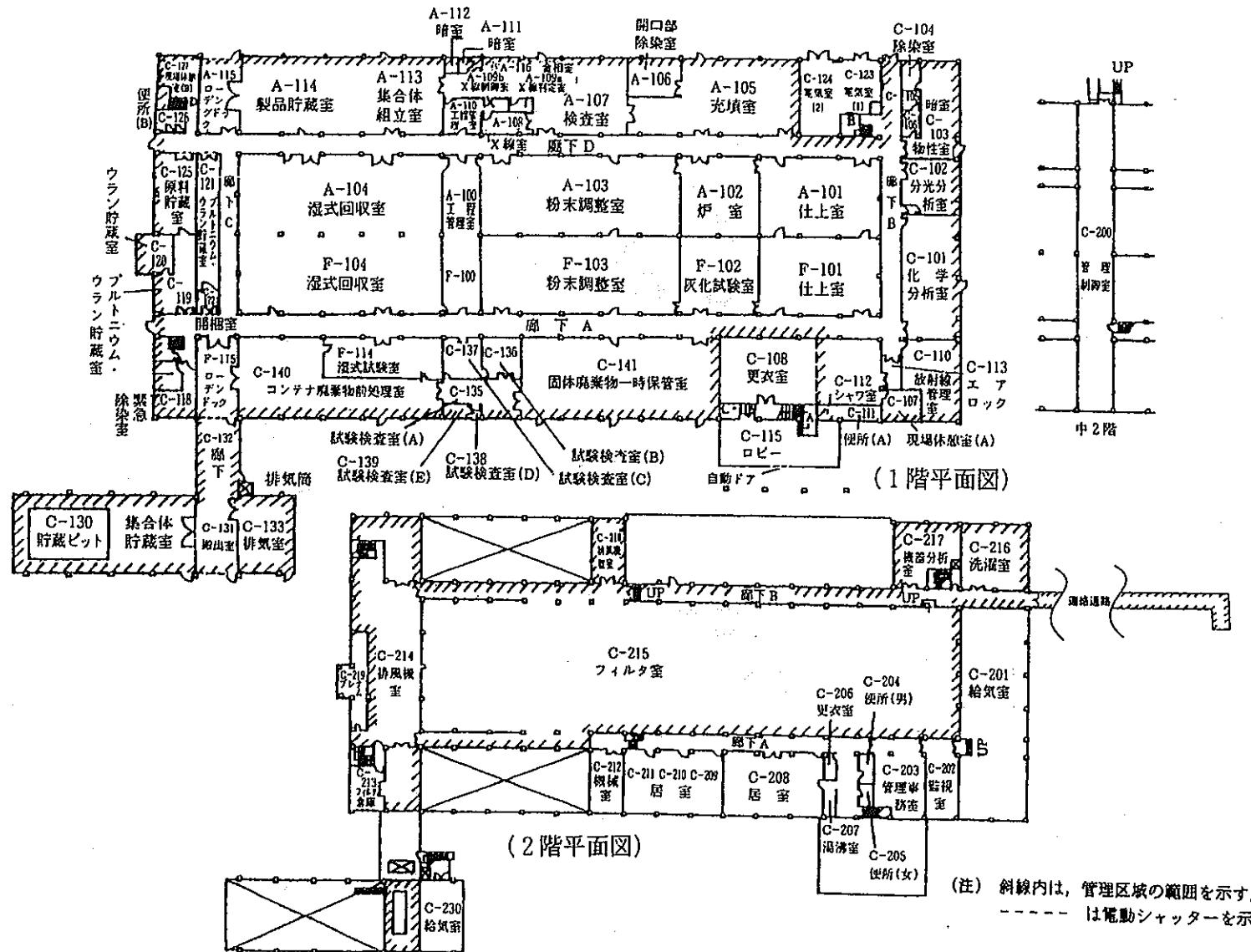


物性解析室 (1階平面図)

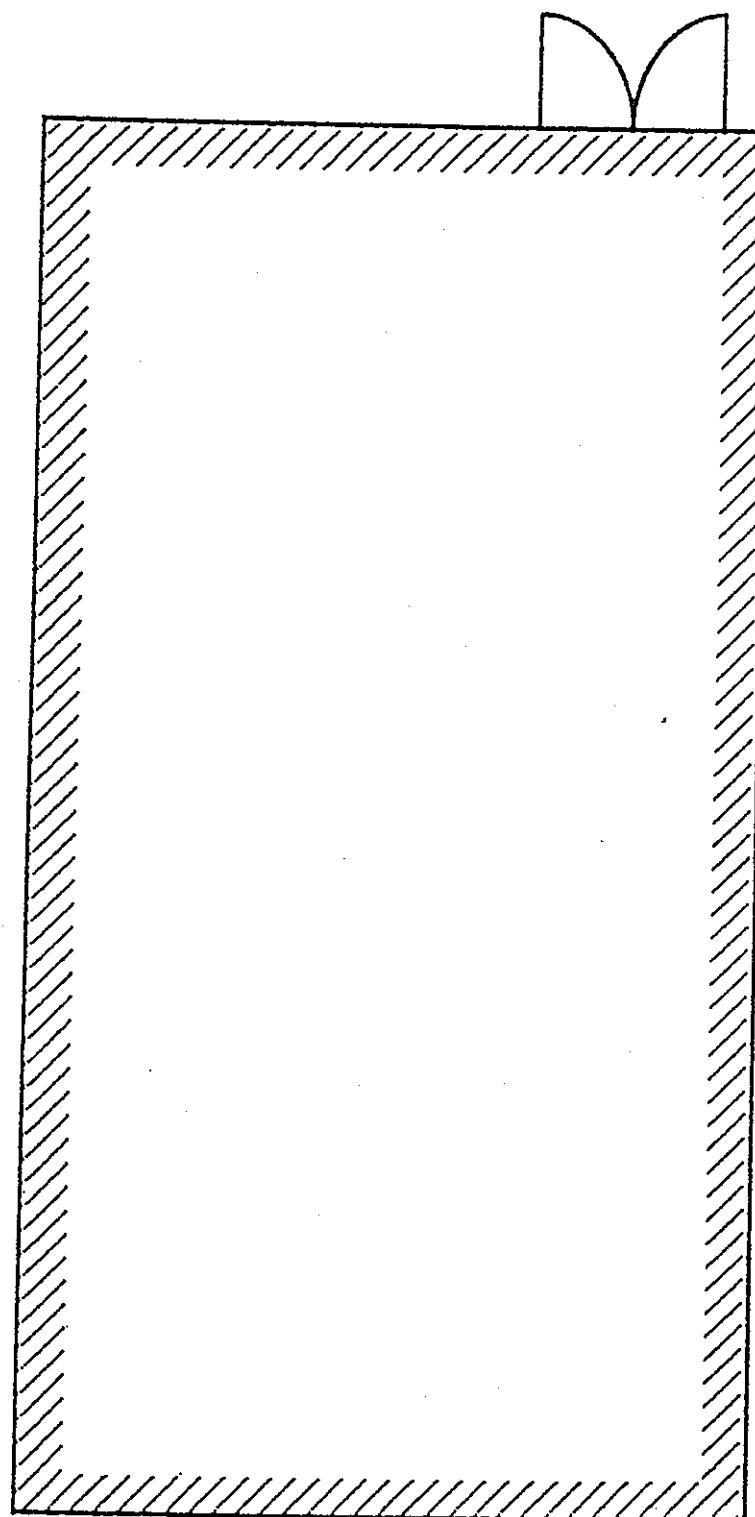


(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。 (2階平面図)
---- は電動シャッターを示す。

プルトニウム燃料第一開発室管理区域

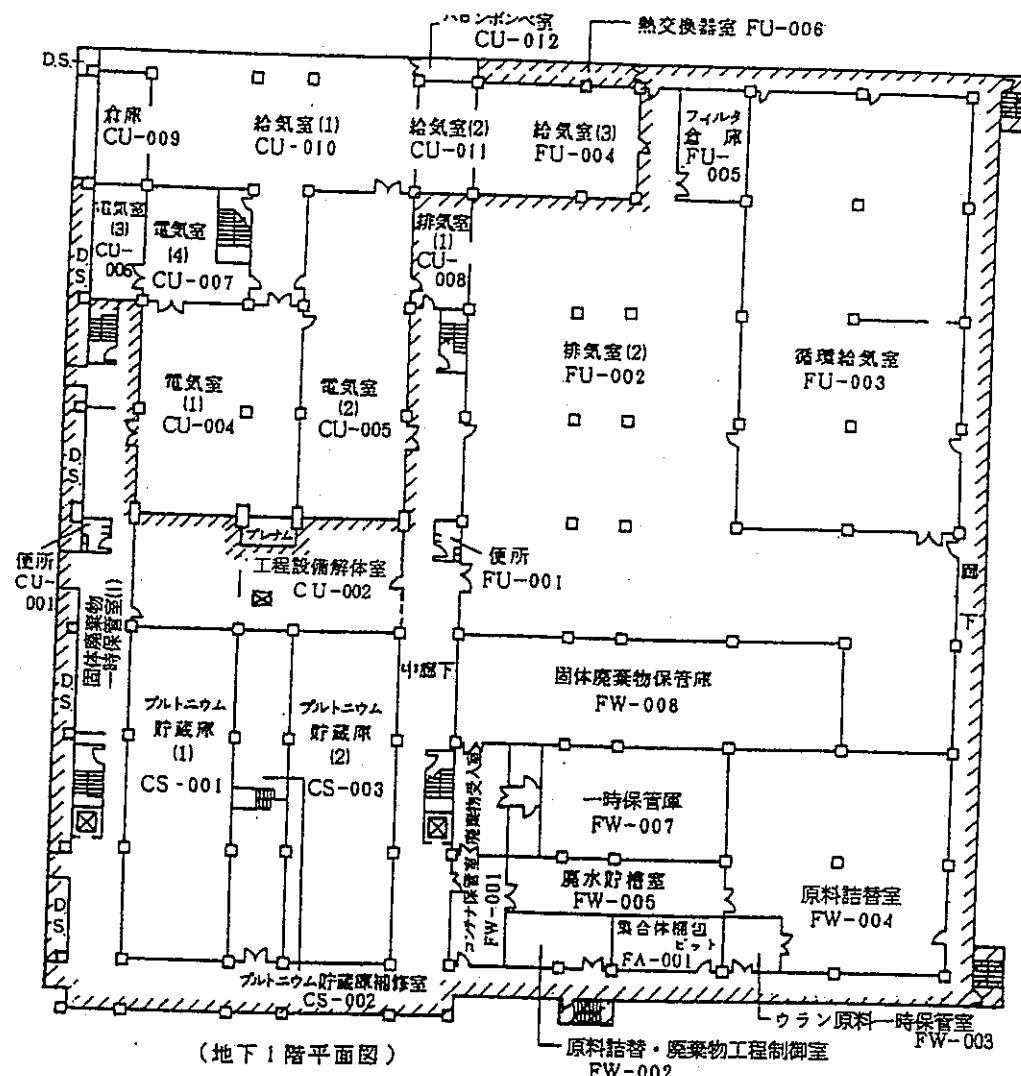


プルトニウム燃料第二開発室管理区域



(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

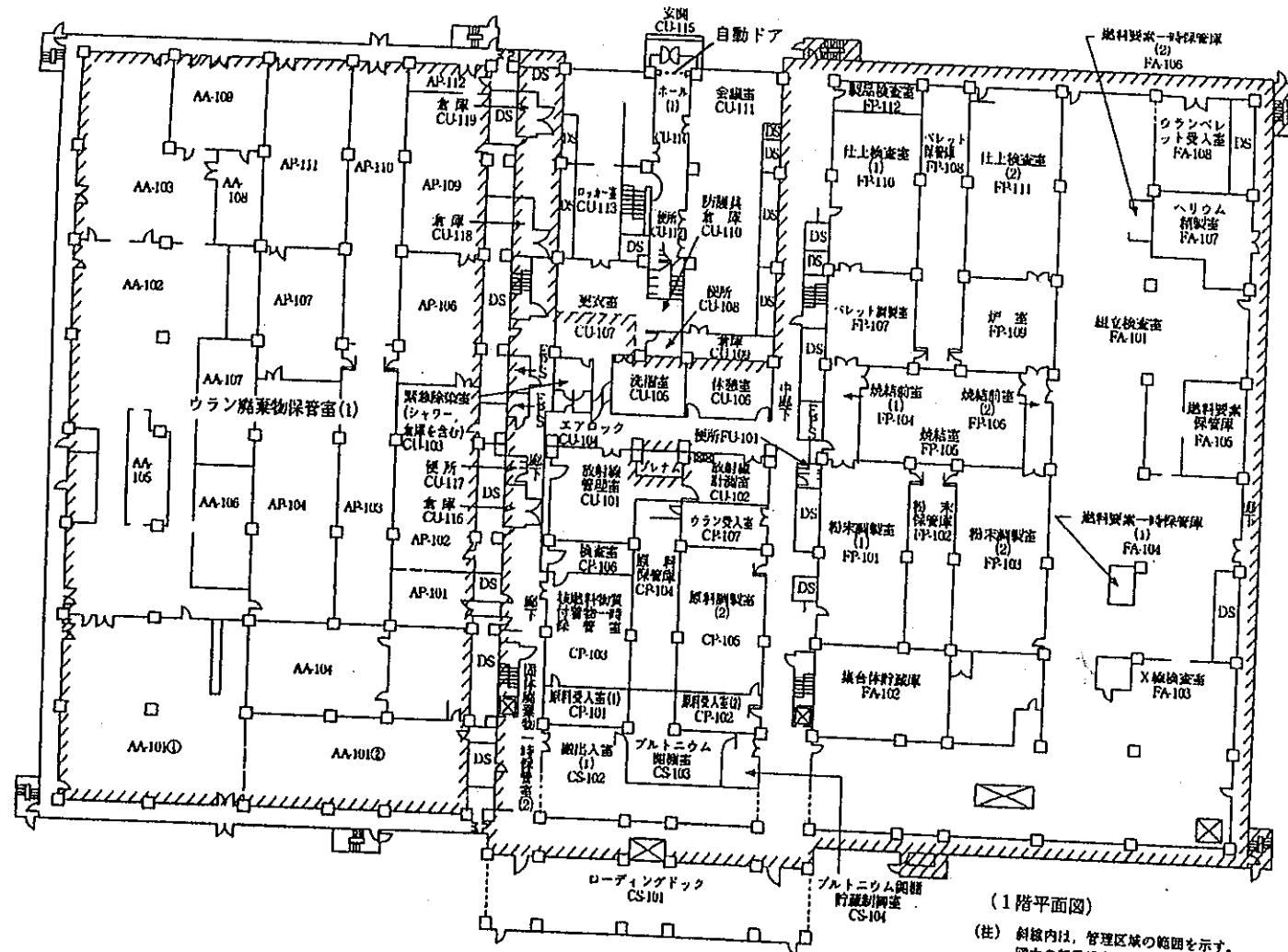
屋外固体廃棄物貯蔵庫管理区域



(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

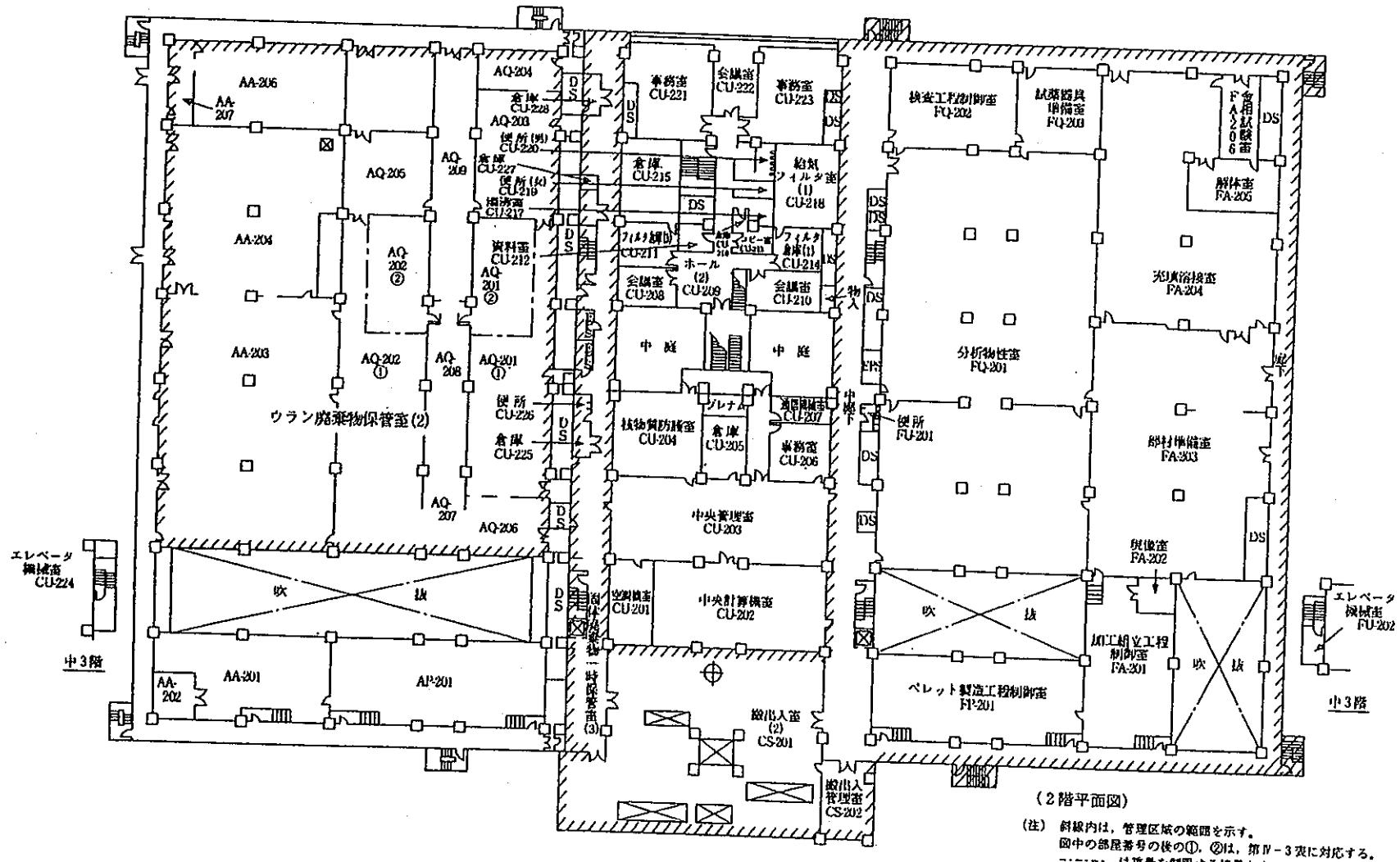
----- は電動シャッターを示す。

プルトニウム燃料第三開発室管理区域(1)

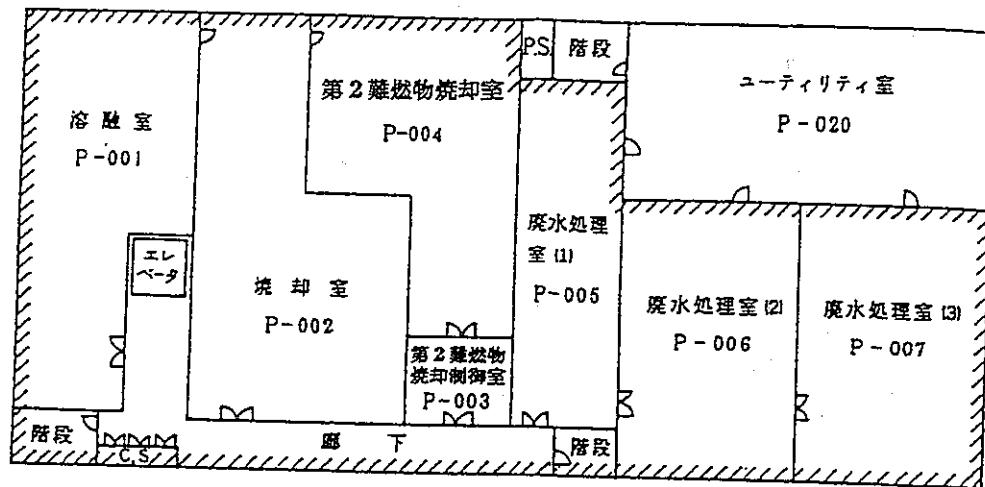


プルトニウム燃料第三開発室管理区域(2)

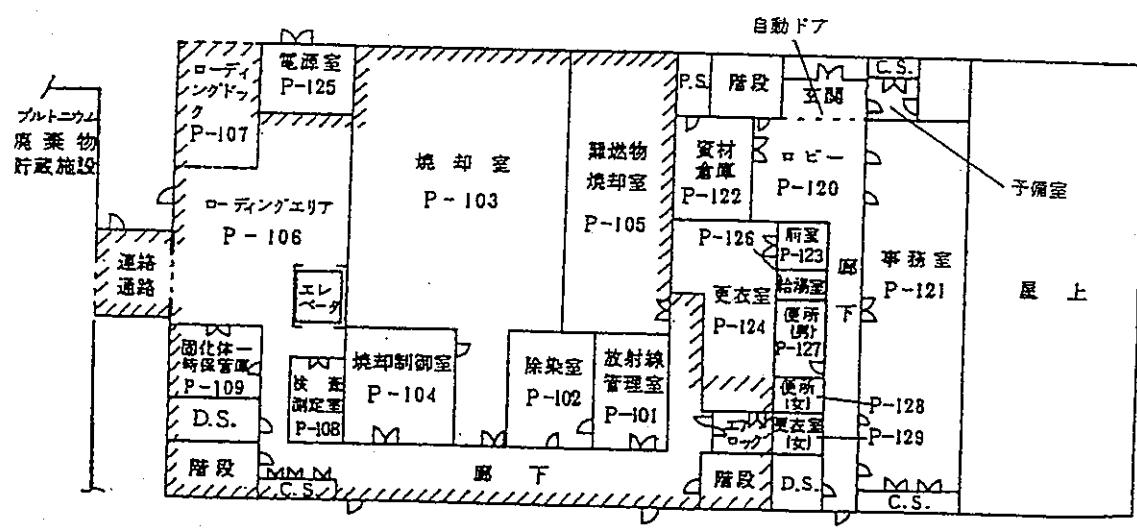
(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。
 圖中の部屋番号の後の①、②は、第IV-3表に対応する。
 - - - - - は電動シャッターを示す。
 - - - - - は重量を制限する境界とする。



プルトニウム燃料第三開発室管理区域(3)



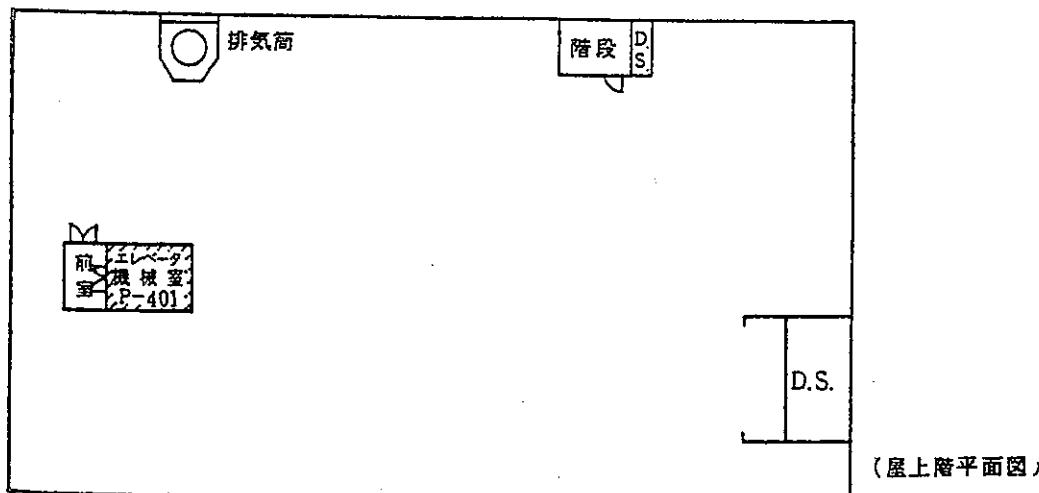
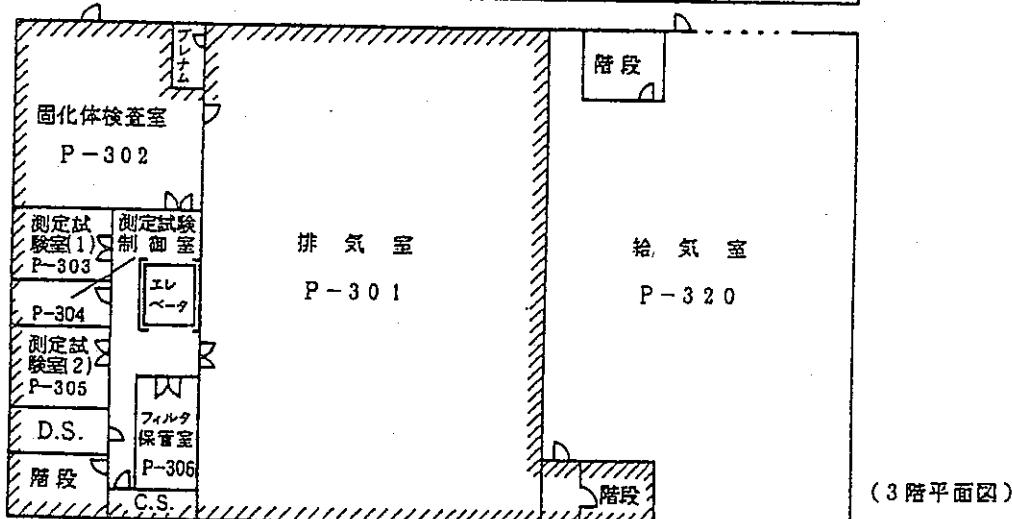
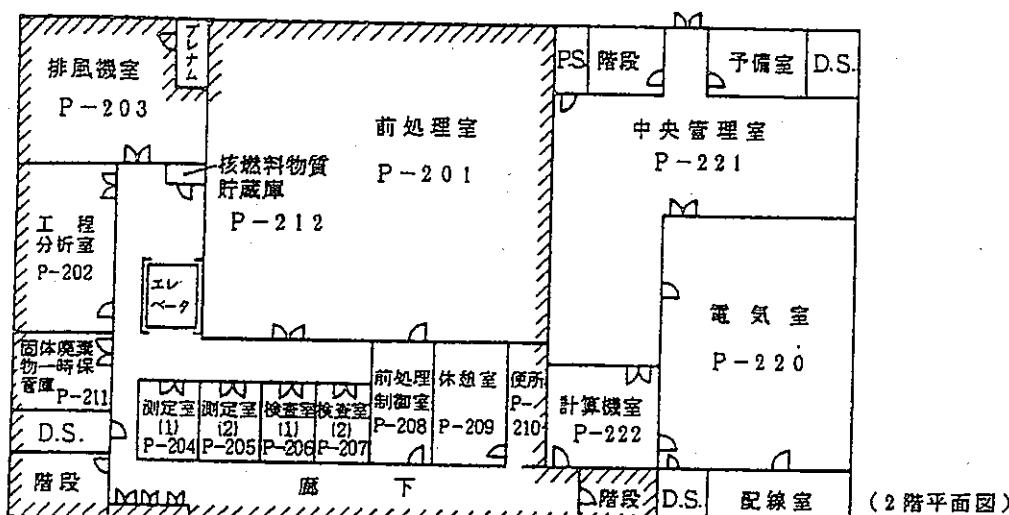
(地下1階平面図)



(1階平面図)

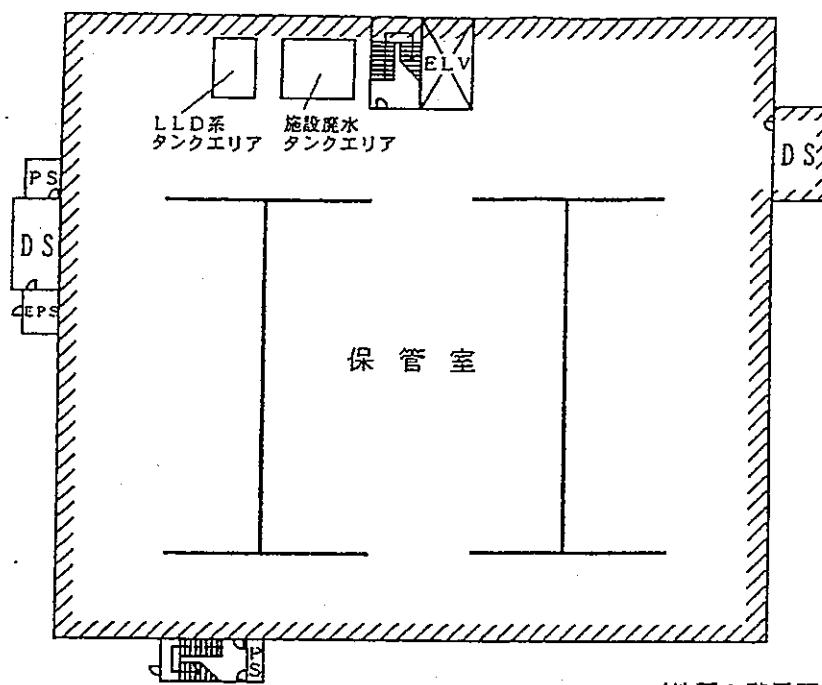
(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。
-----は電動シャッターを示す。

プルトニウム廃棄物処理開発施設管理区域(1)

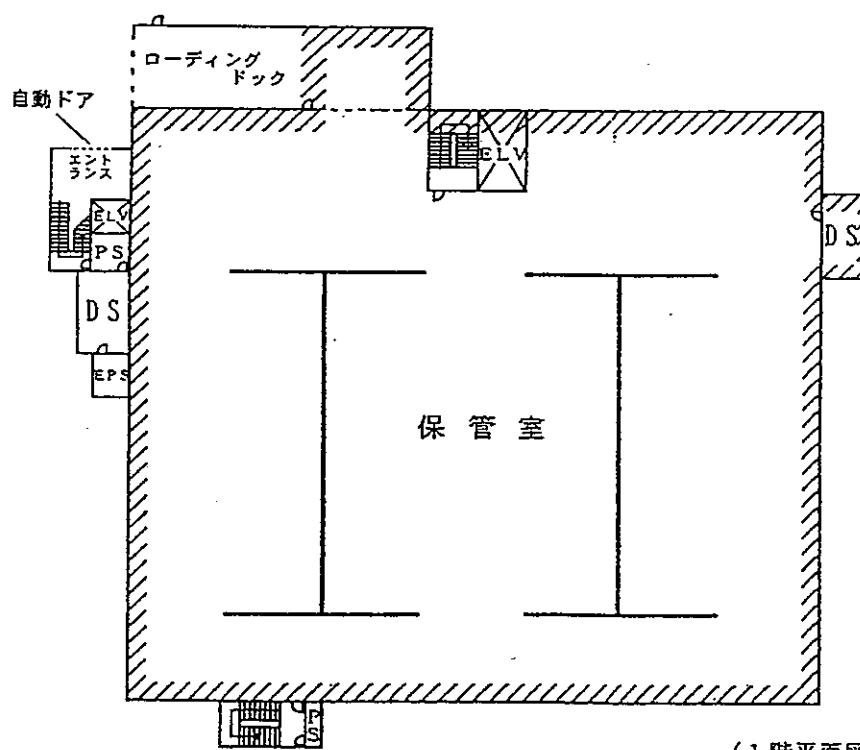


(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。
-----は電動シャッターを示す。

プルトニウム廃棄物処理開発施設管理区域(2)



(地下1階平面図)

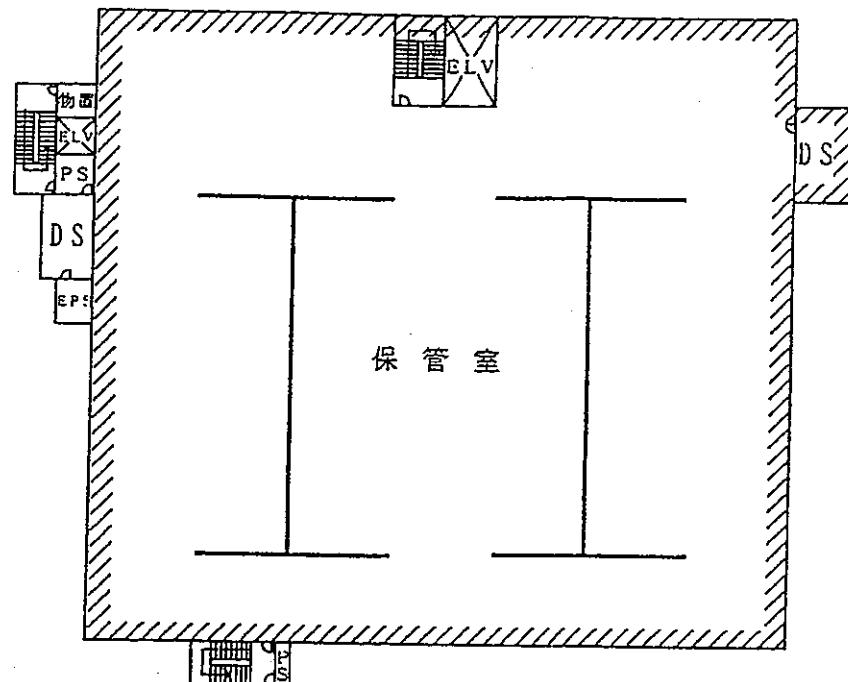


(1階平面図)

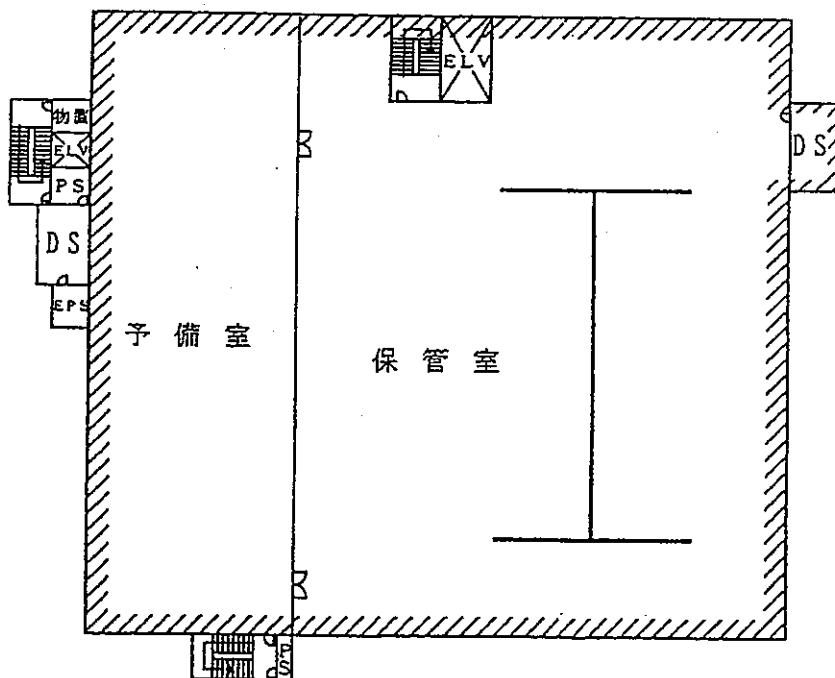
(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

-----は電動シャッターを示す。

第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設管理区域(1)



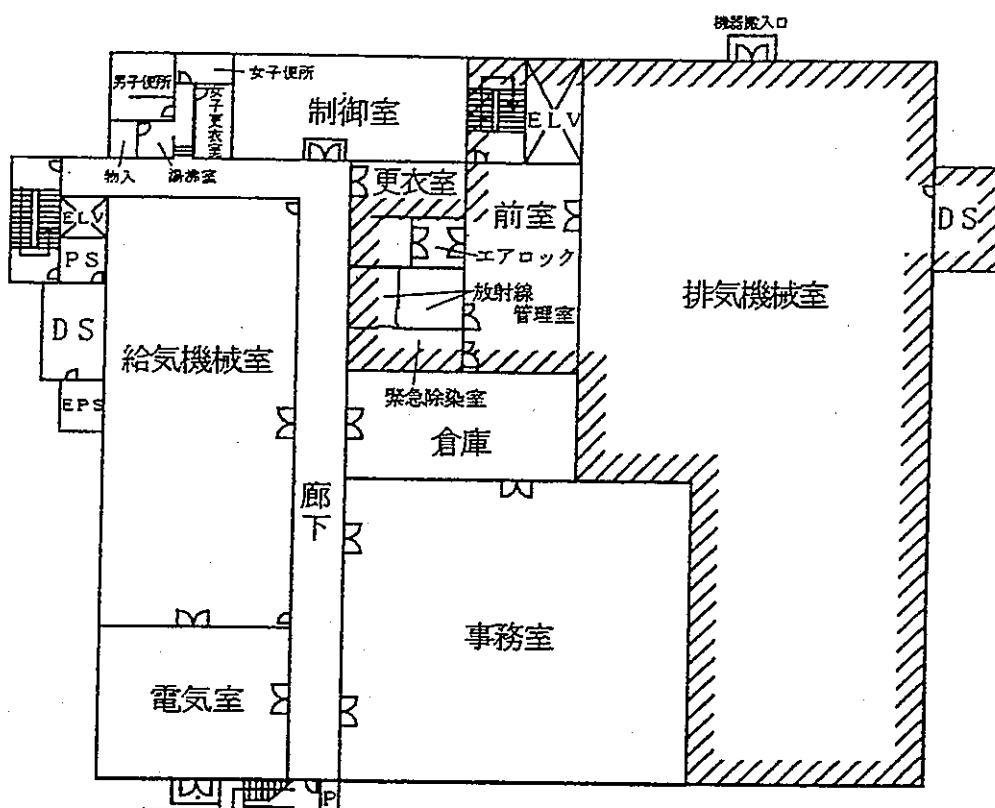
(2階平面図)



(3階平面図)

(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

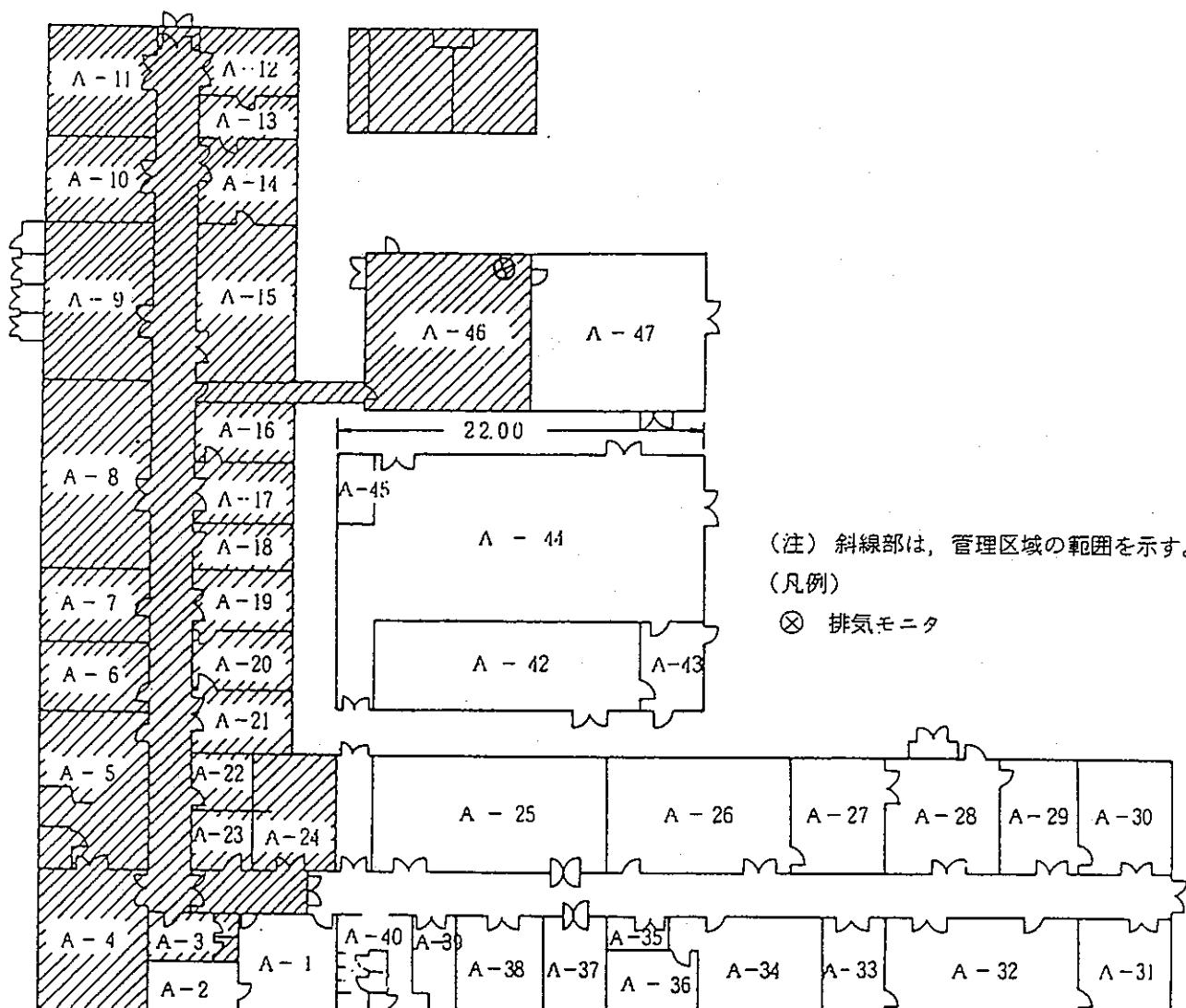
第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設管理区域(2)



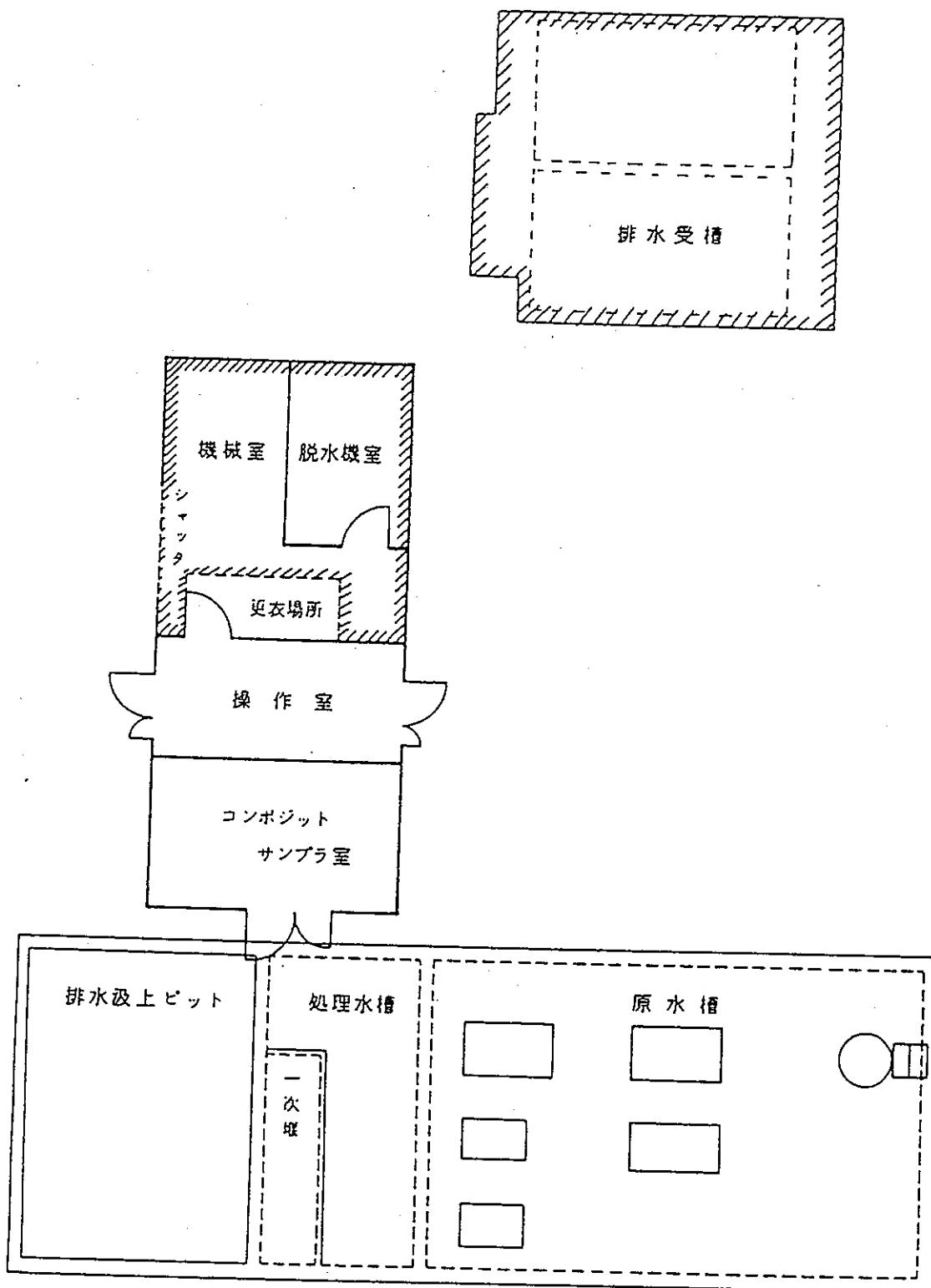
(4階平面図)

(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設管理区域(3)

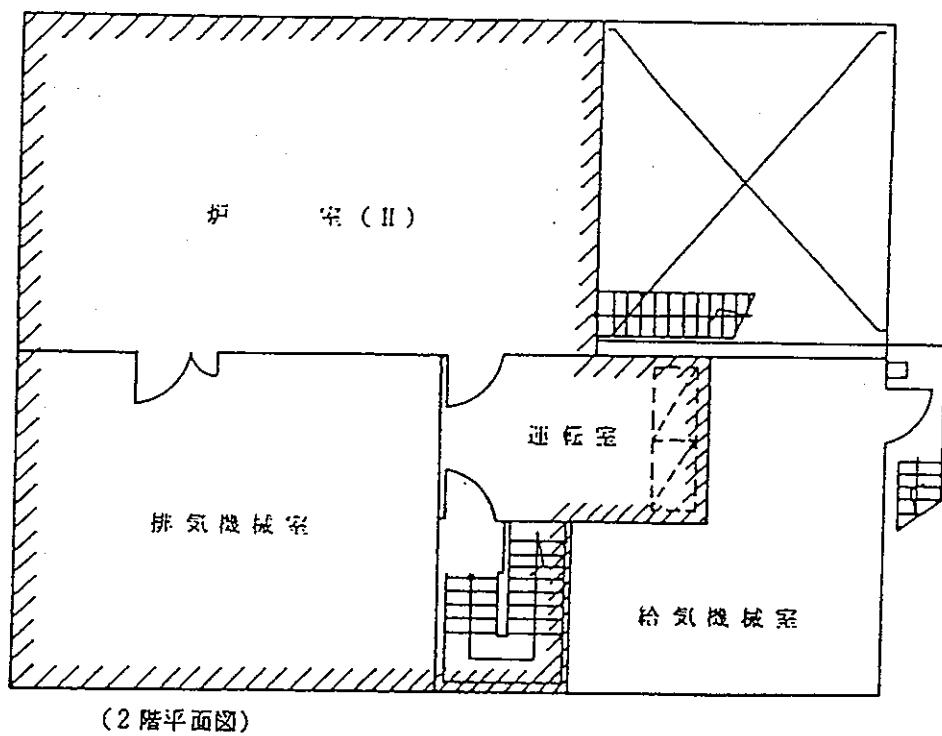


第2-1-(12)図 A棟管理区域

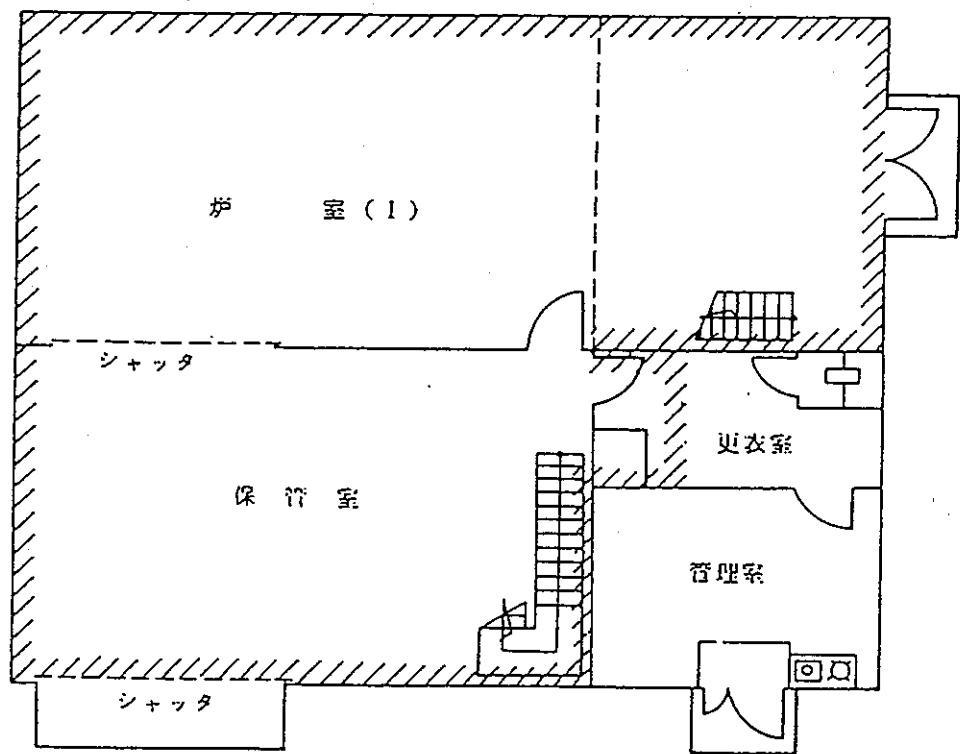


(注) 斜線部は管理区域の範囲を示す。

第2-1-(24)図 ウラン廃棄物処理施設中央廃水処理場管理区域



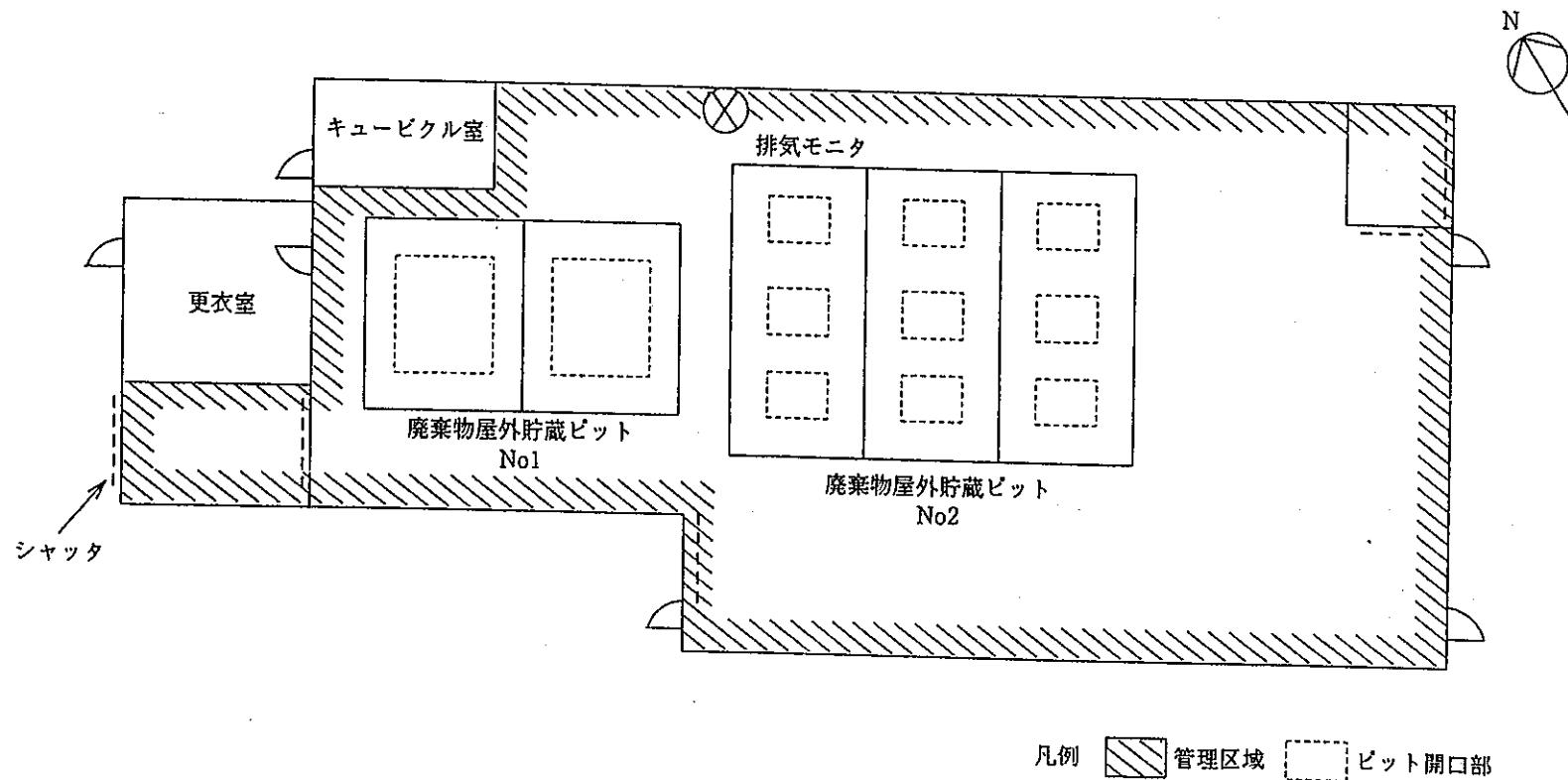
(2階平面図)



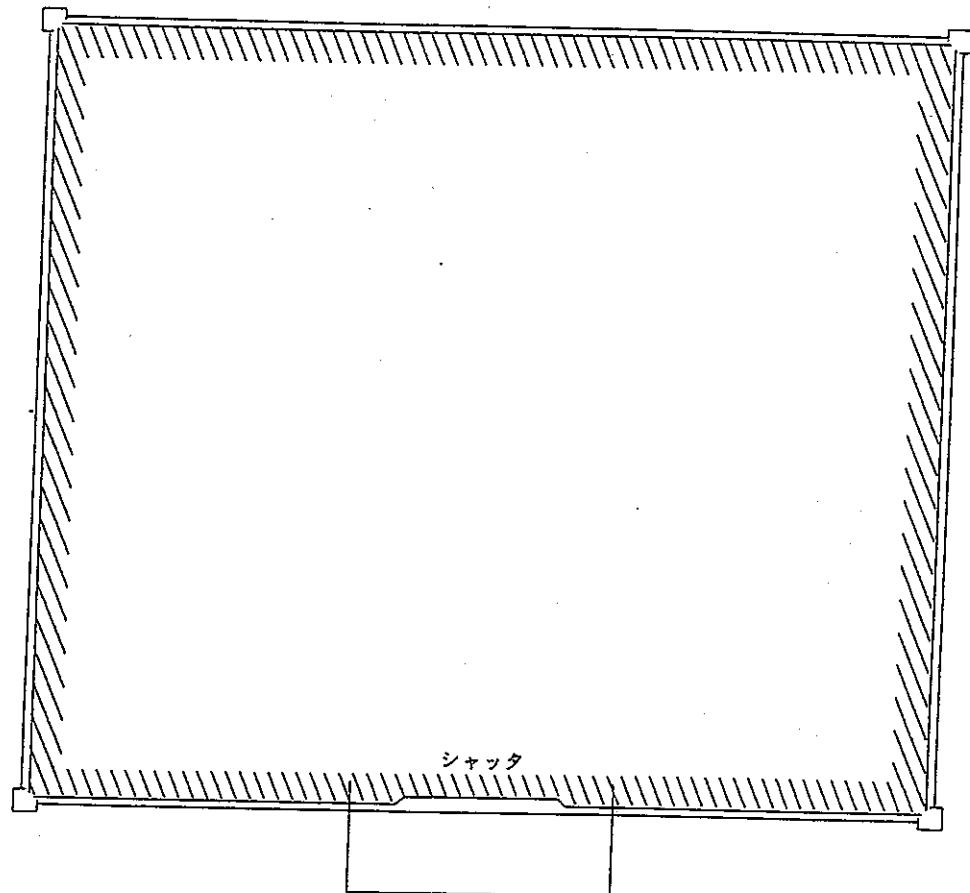
(1階平面図)

(注) 斜線内は管理区域の範囲を示す。

第2-1-(23)図 ウラン廃棄物処理施設焼却施設管理区域

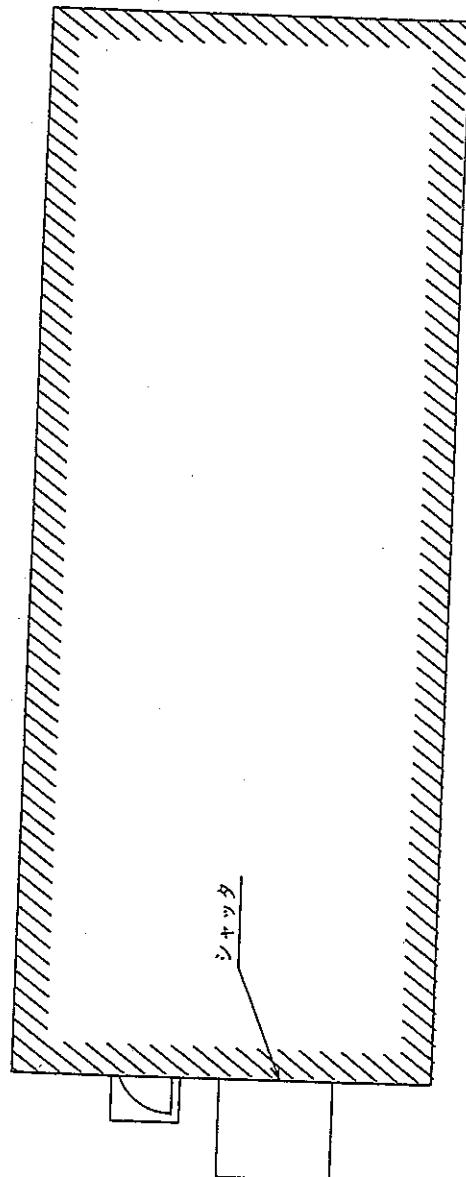


第2-1-(29)図 廃棄物屋外貯蔵ピット作業建家管理区域



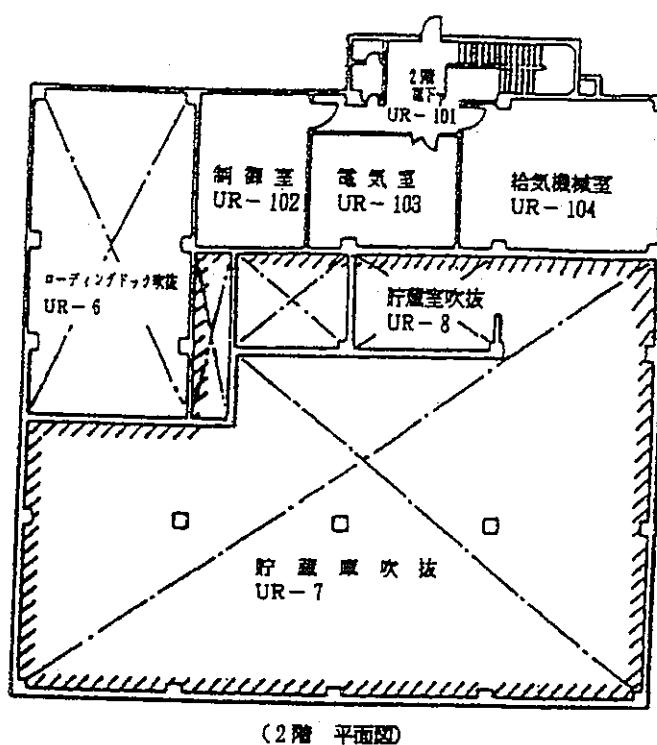
(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

第2-1-(25)図 第1廃棄物倉庫管理区域

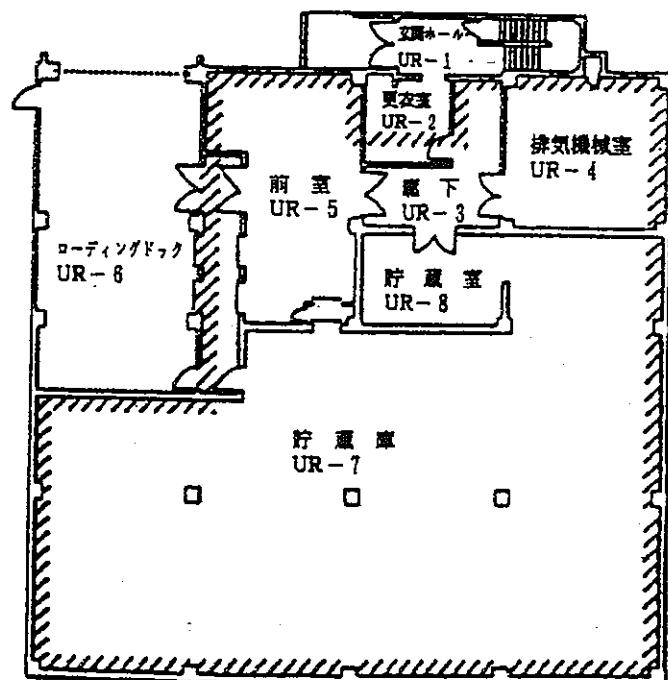


(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

第2-1-(26)図 第2～第6廃棄物倉庫管理区域



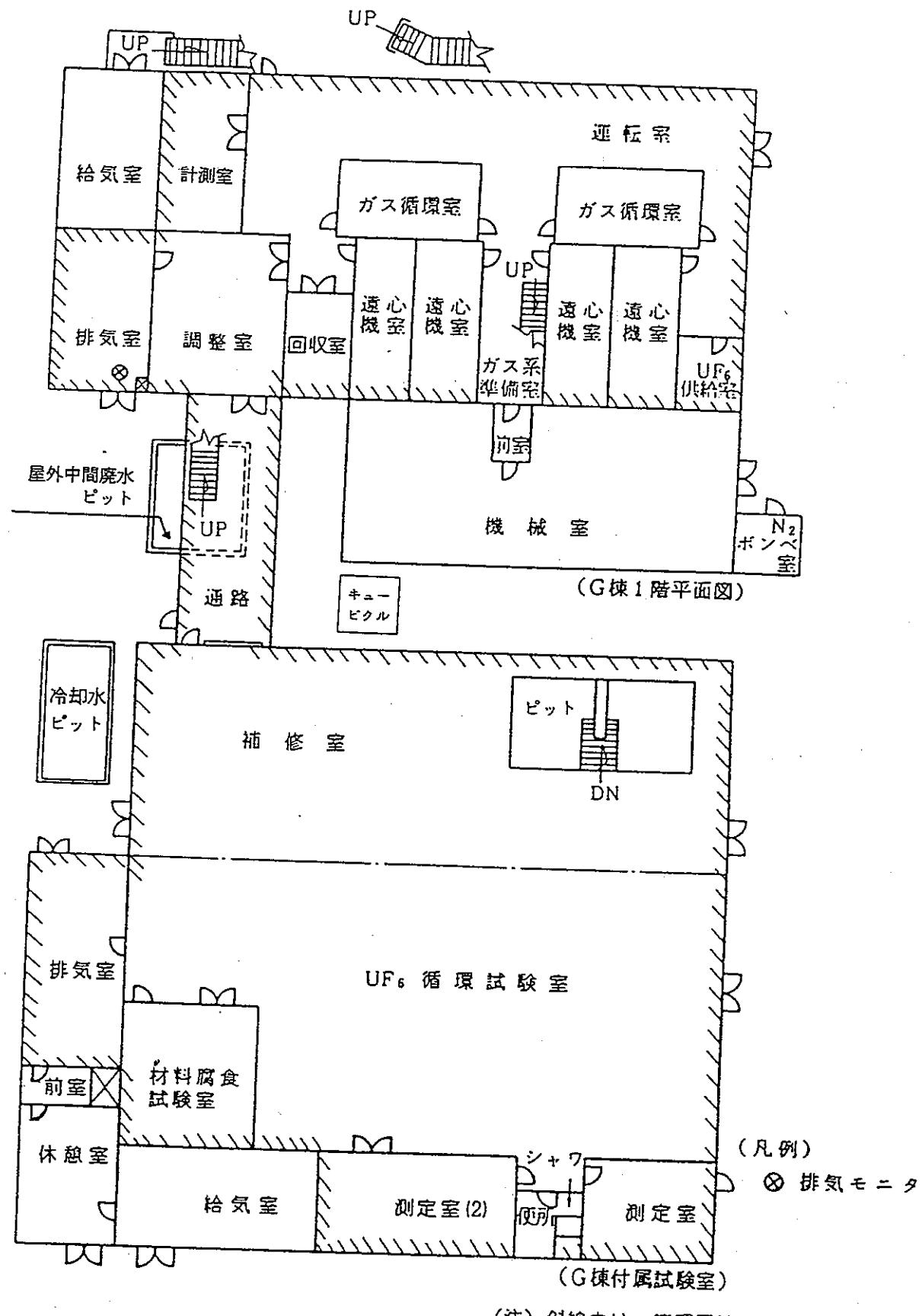
(2階 平面図)



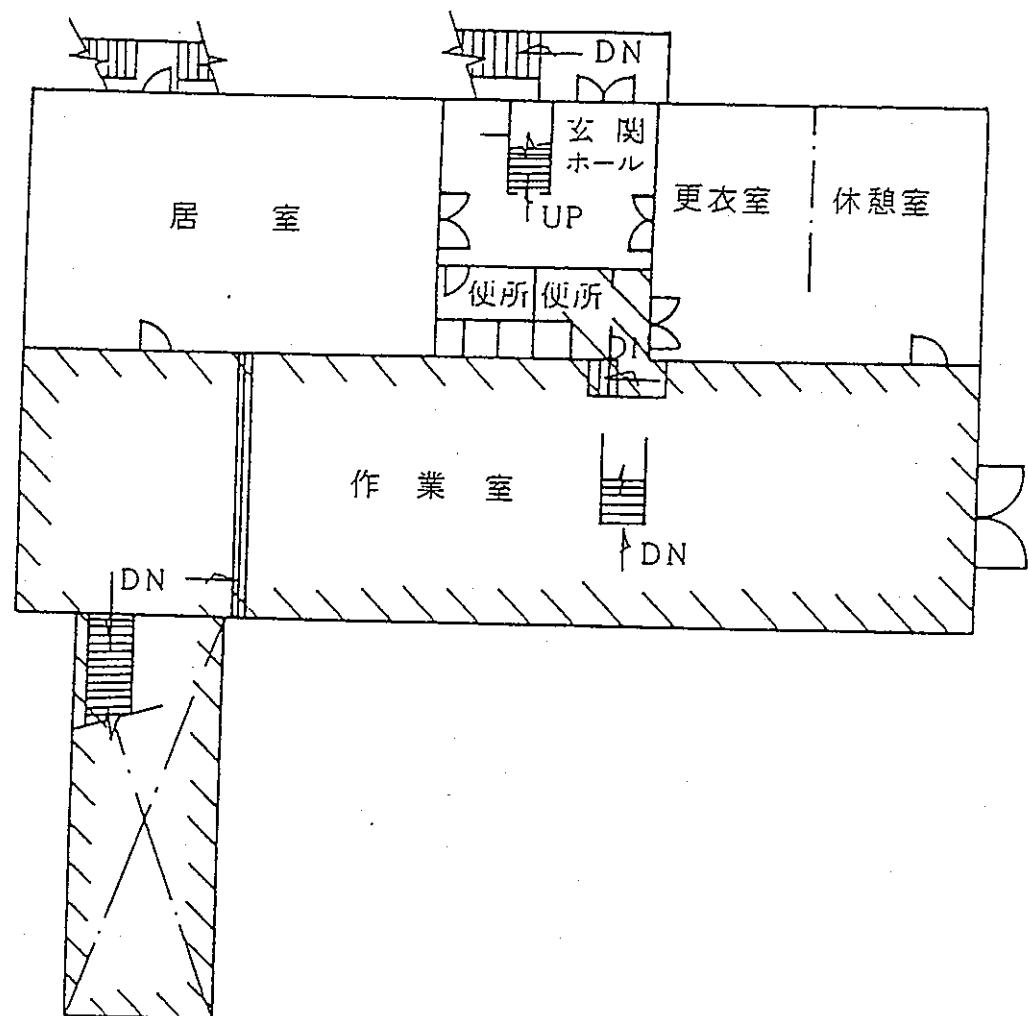
(1階 平面図)

(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

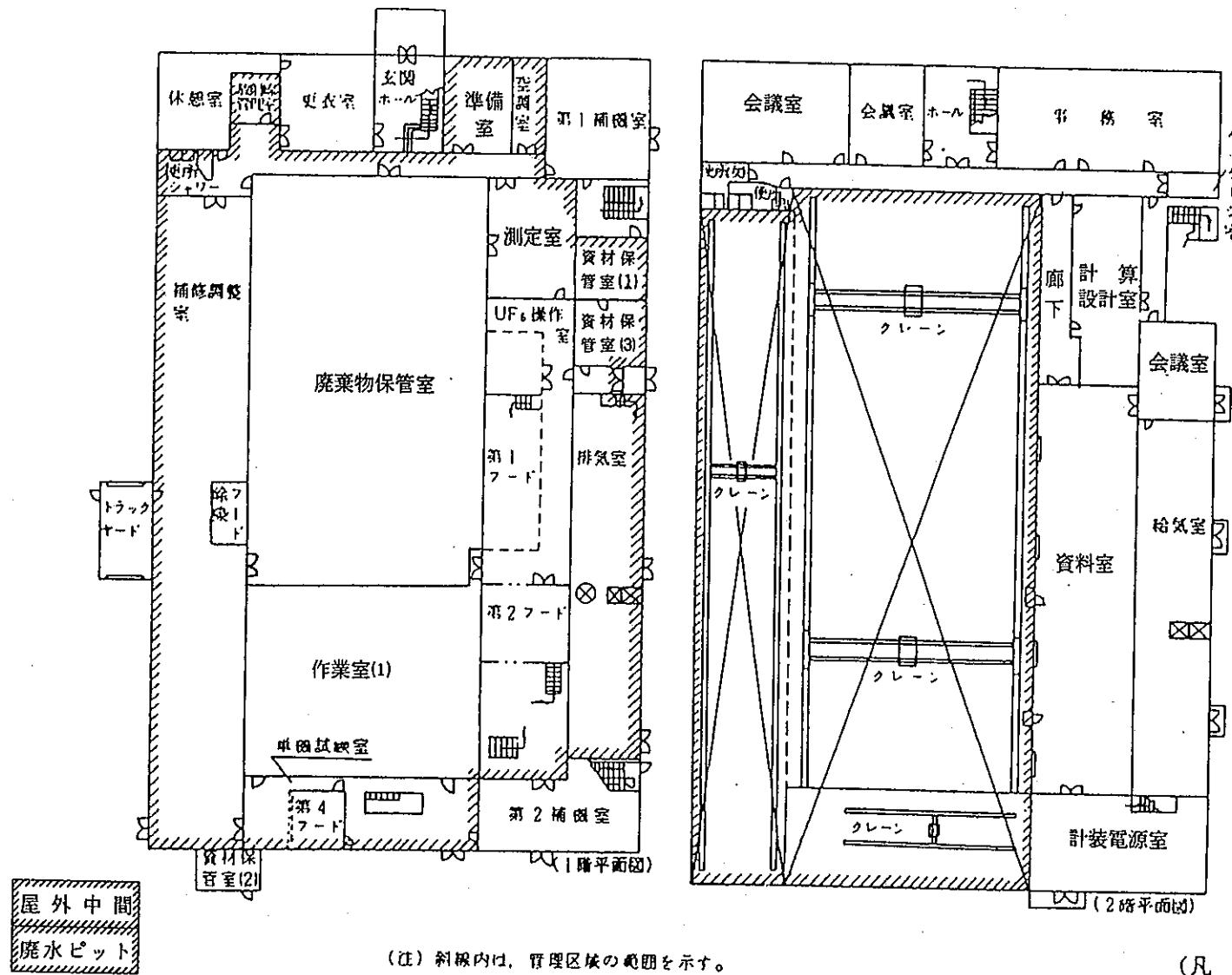
ウラン貯蔵庫管理区域



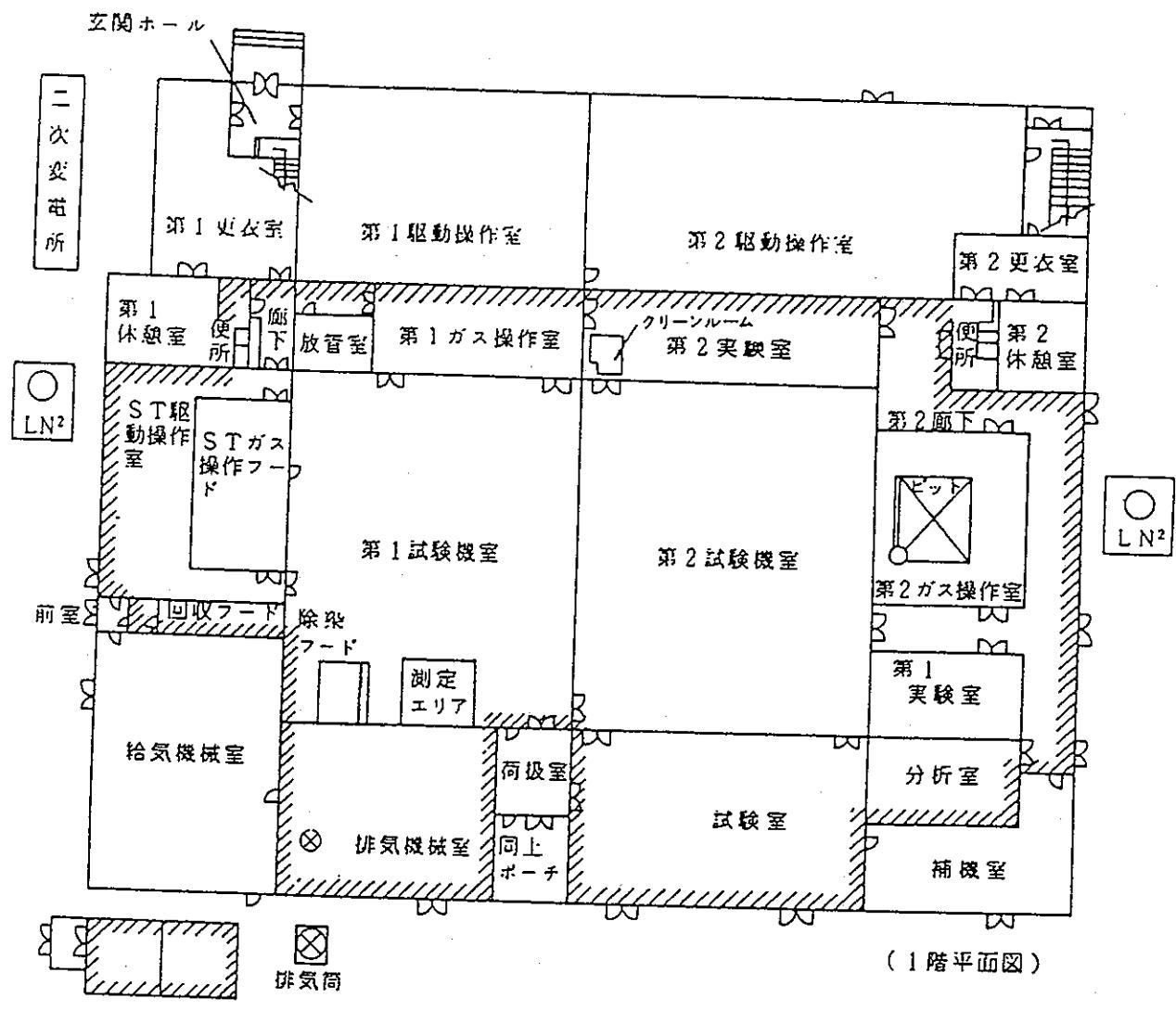
第2-1-(16)図 G棟・G棟付属試験室(H棟) 管理区域(その1)



第2-1-(16)図 G棟・G棟付属試験室(H棟)管理区域(その2)



第2-1-(17)図 J棟管理区域

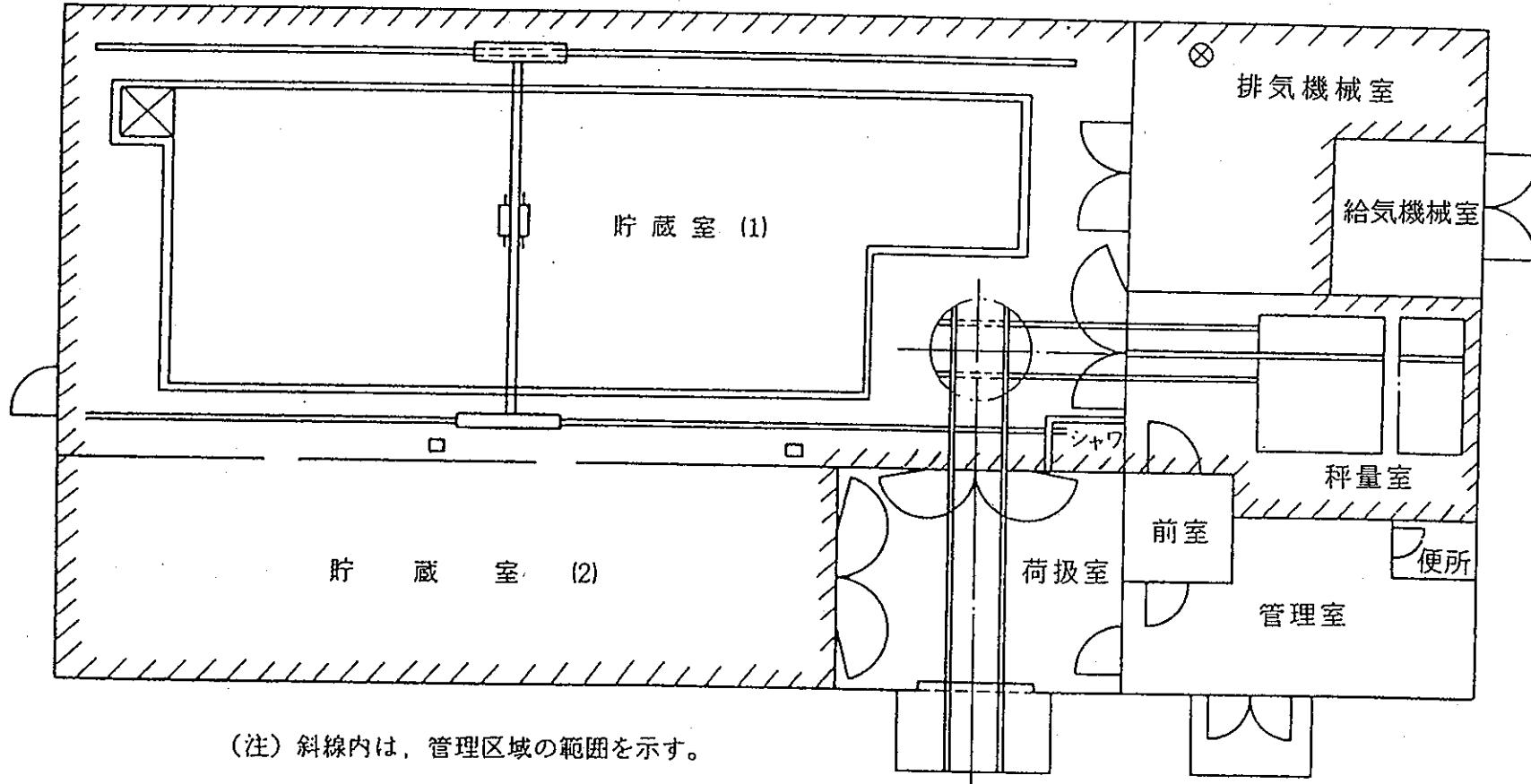


(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

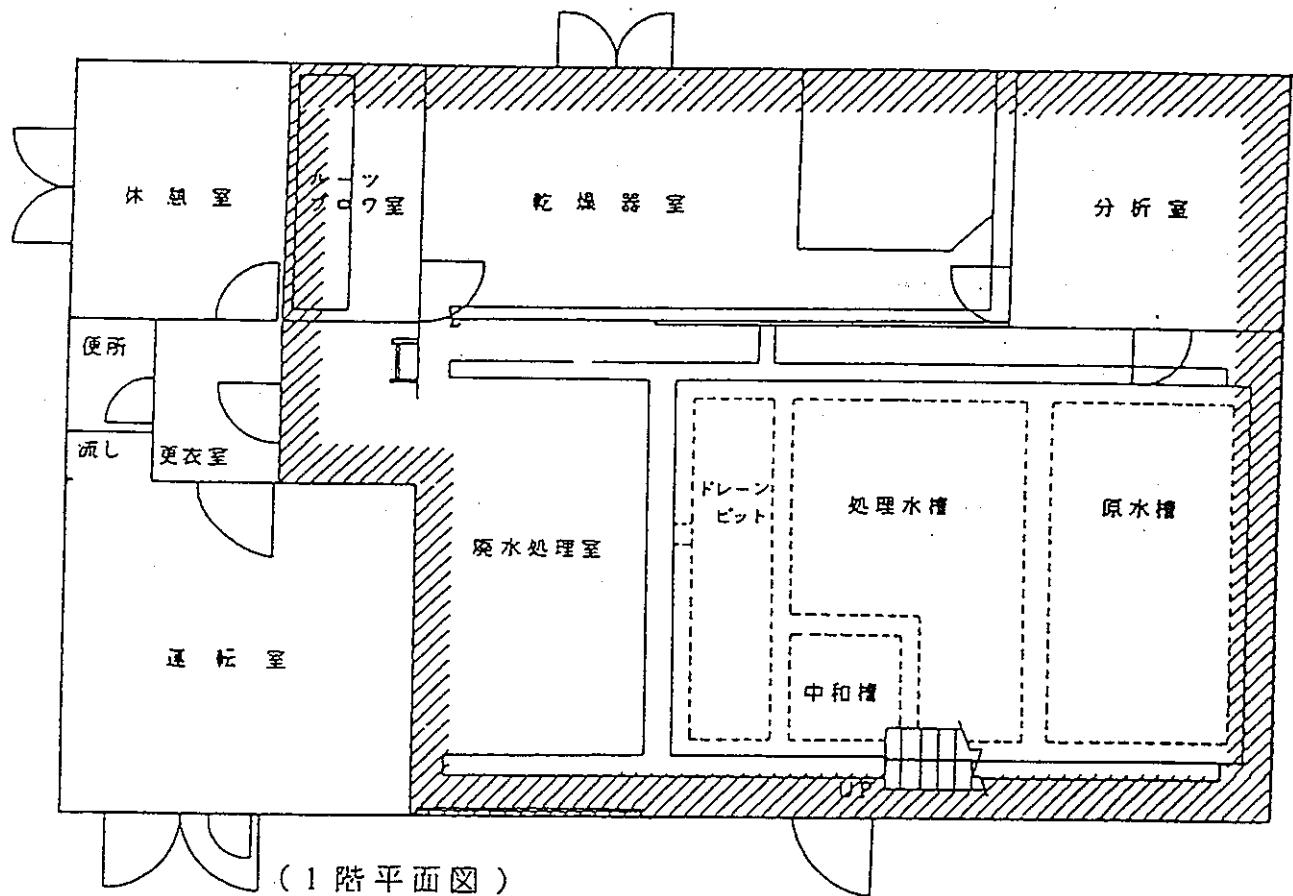
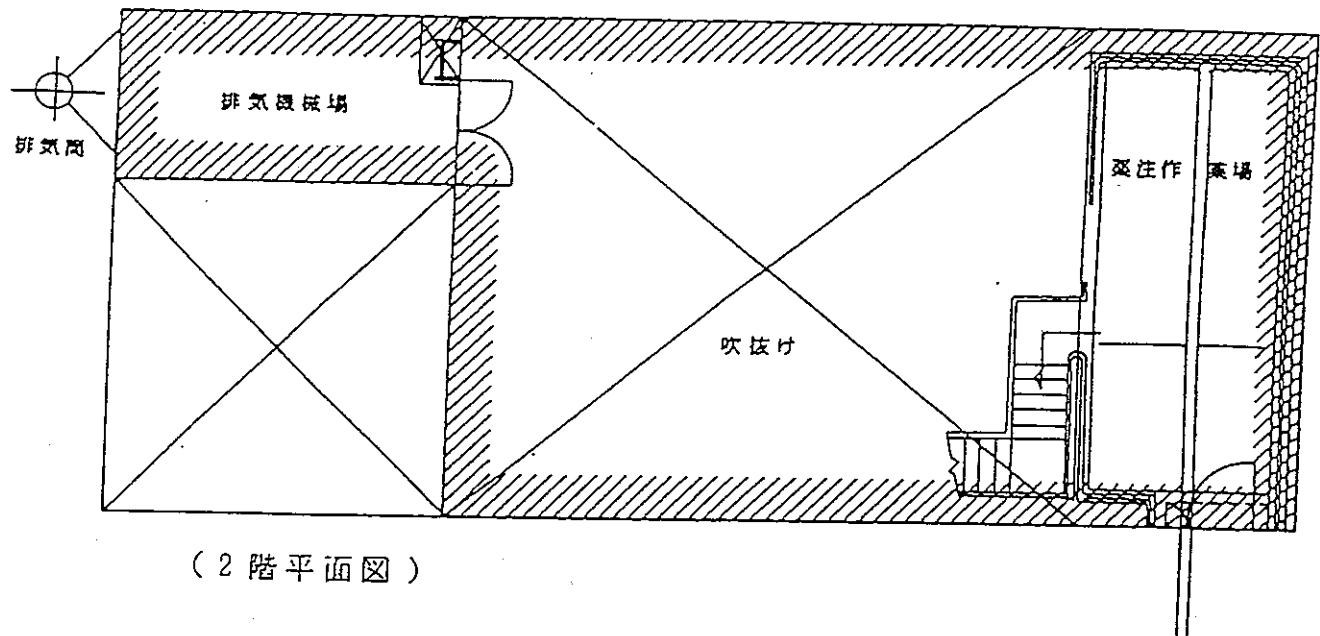
(凡例)

⊗ 排気モニタ

第2-1-(18)図 L棟管理区域

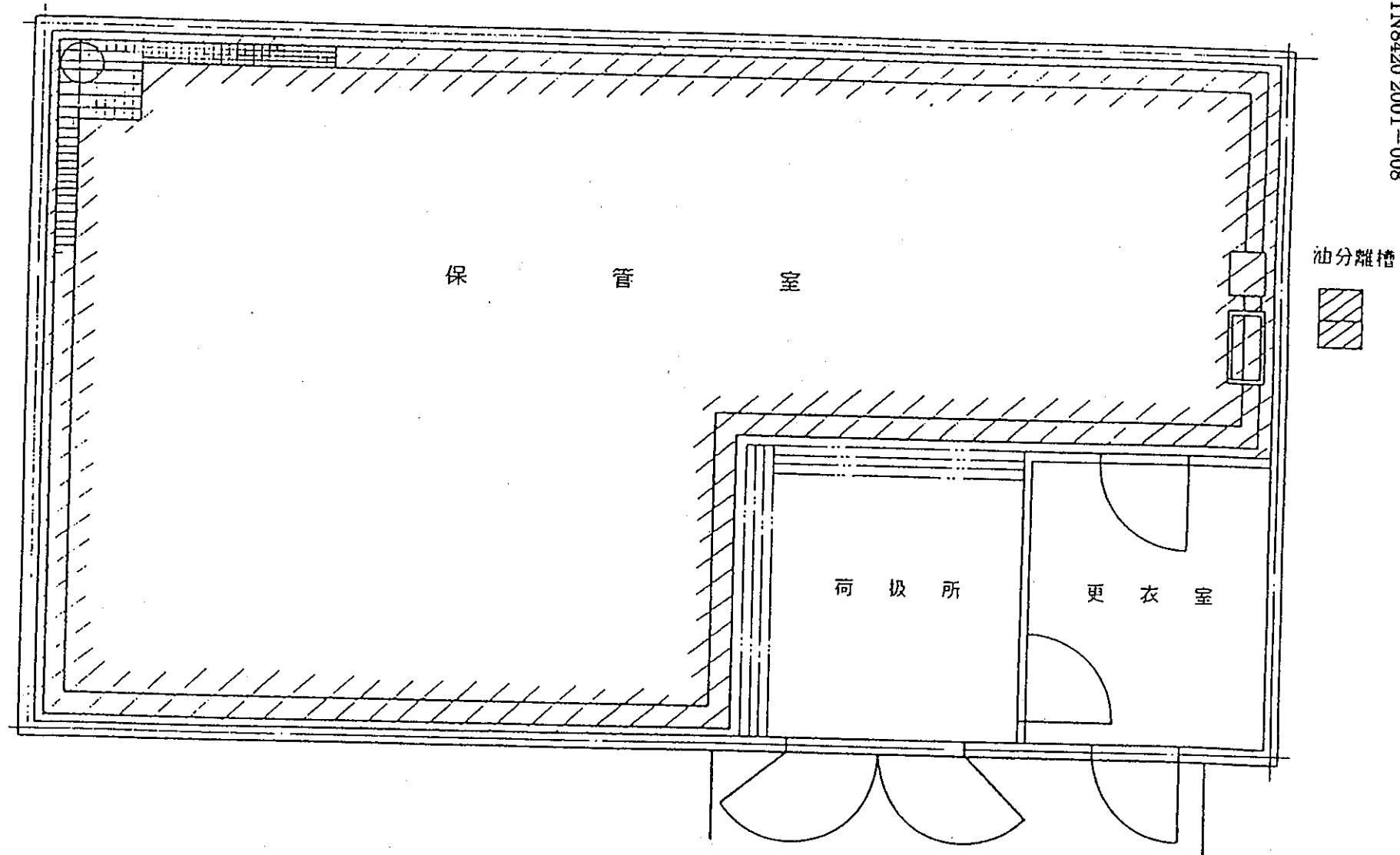


第2-1-(20)図 東海事業所第2ウラン貯蔵庫管理区域



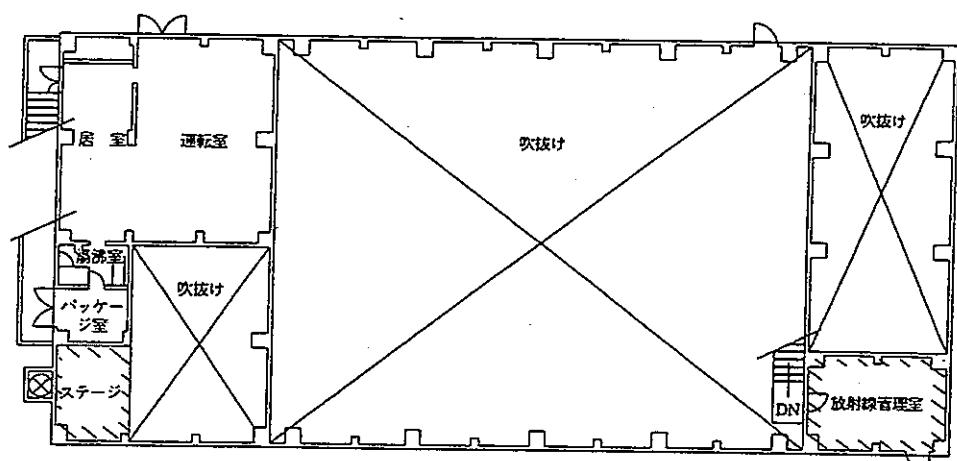
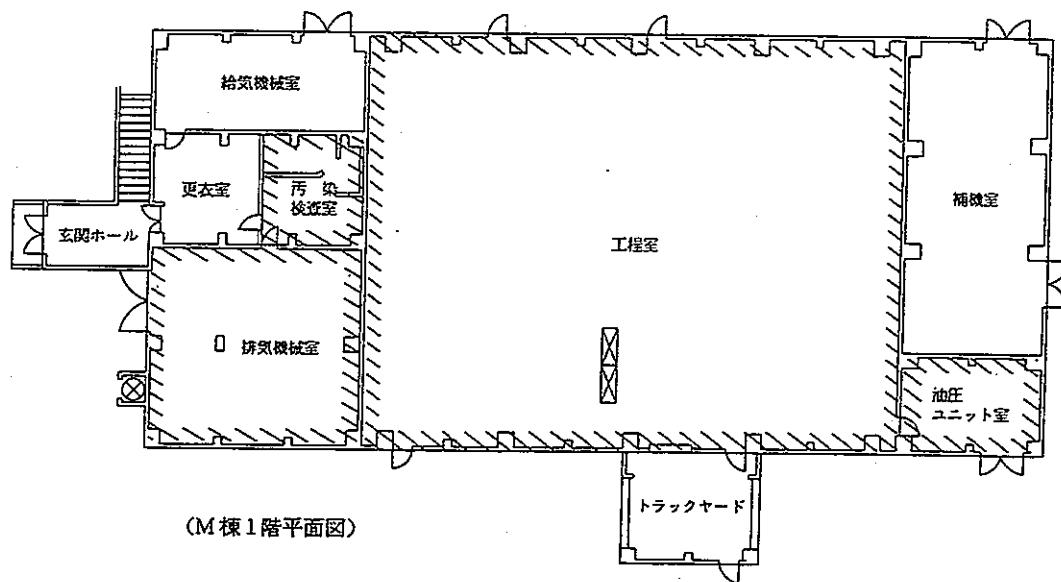
(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

第2-1-(21)図 ウラン廃棄物処理施設廃水処理室管理区域



(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

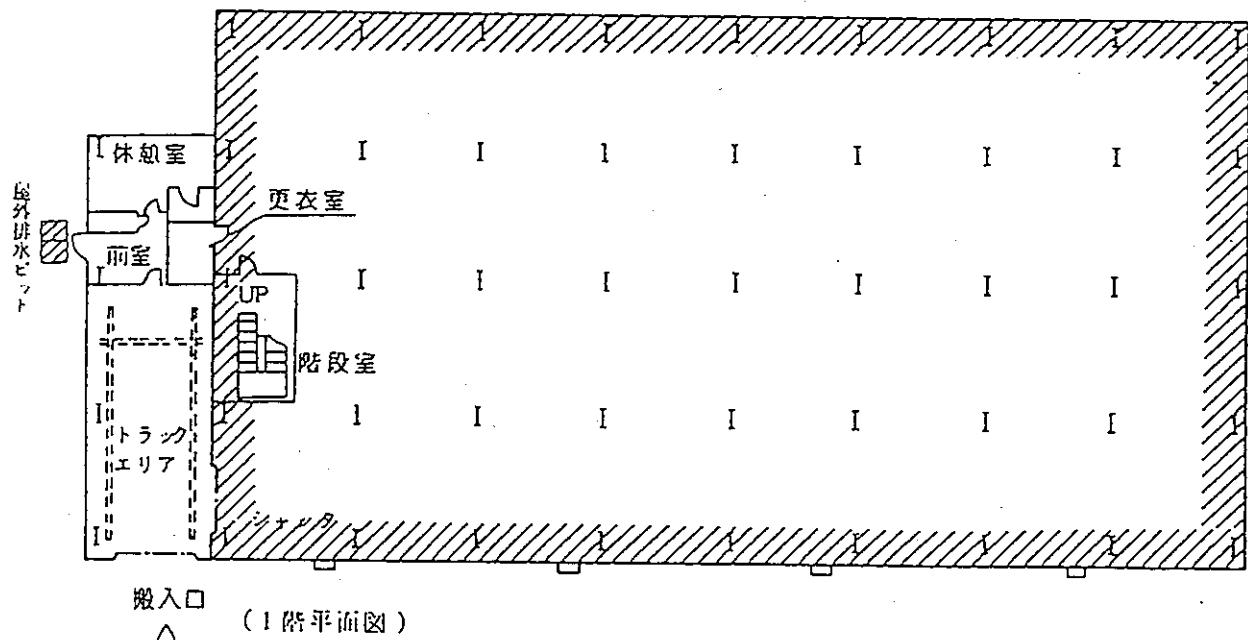
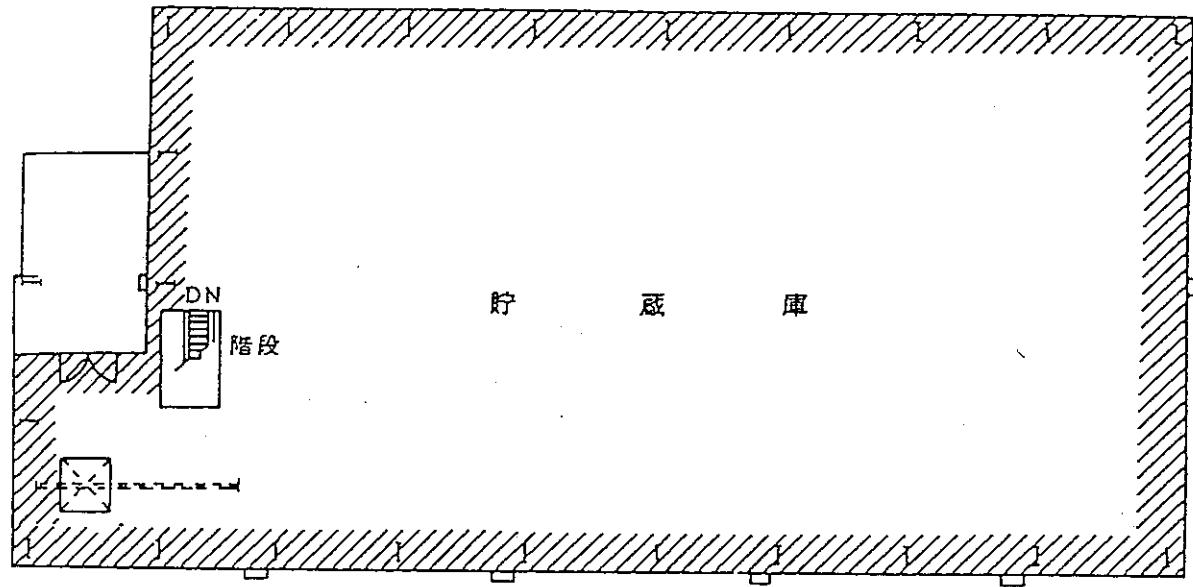
第2-1-(22)図 ウラン廃棄物処理施設廃油保管庫管理区域



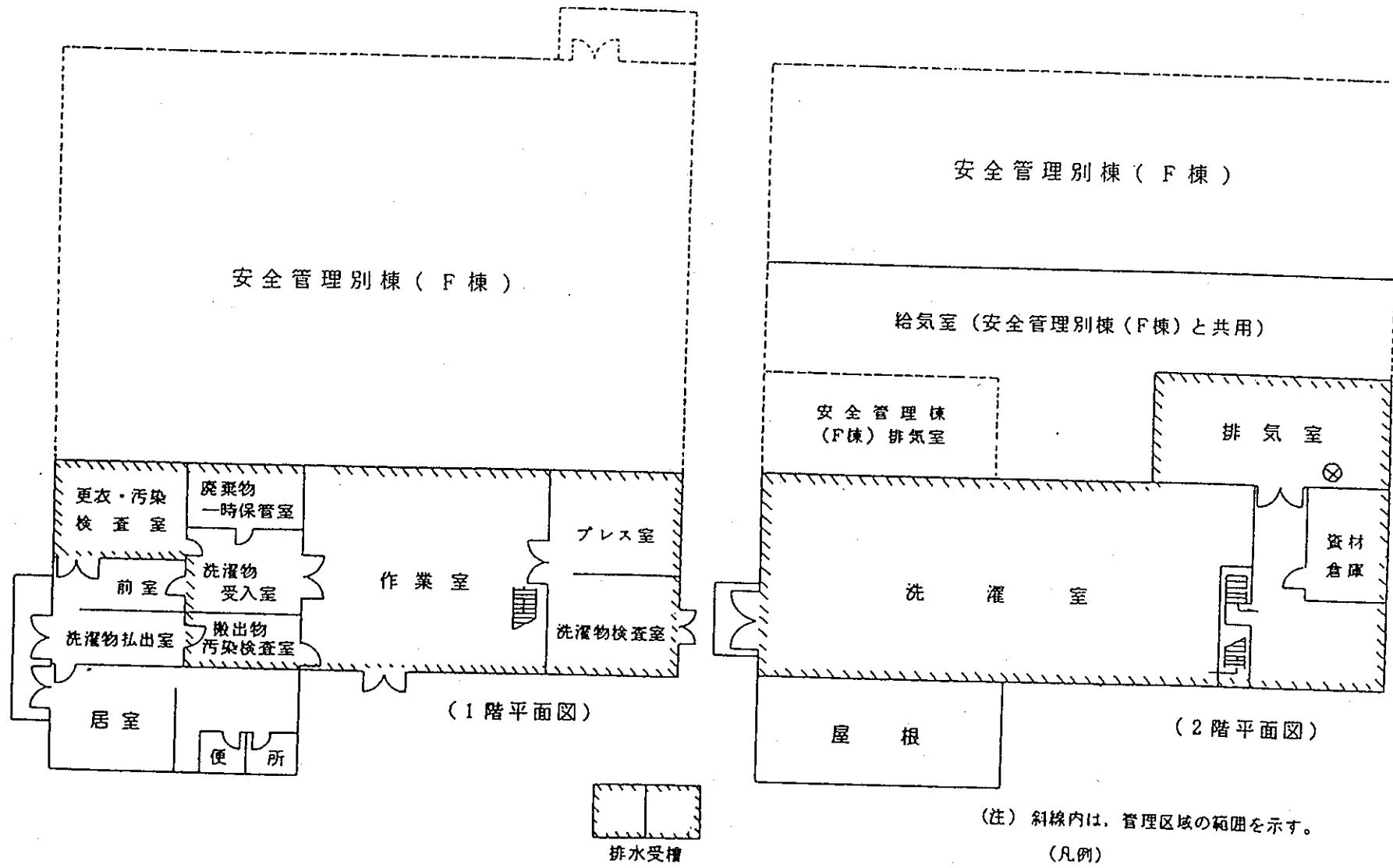
(M棟2階平面図)

(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

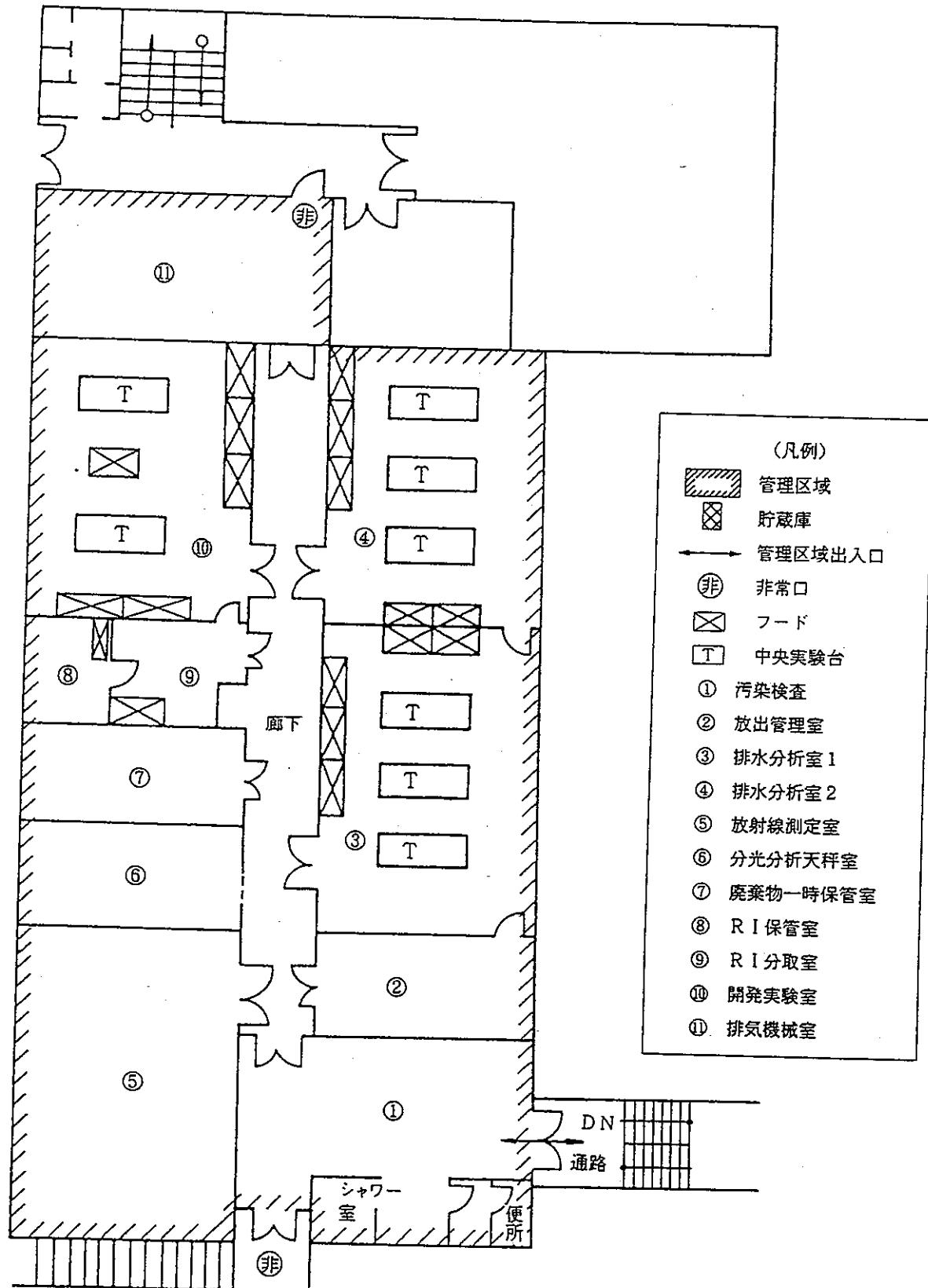
第2-1-(19)図 M棟管理区域



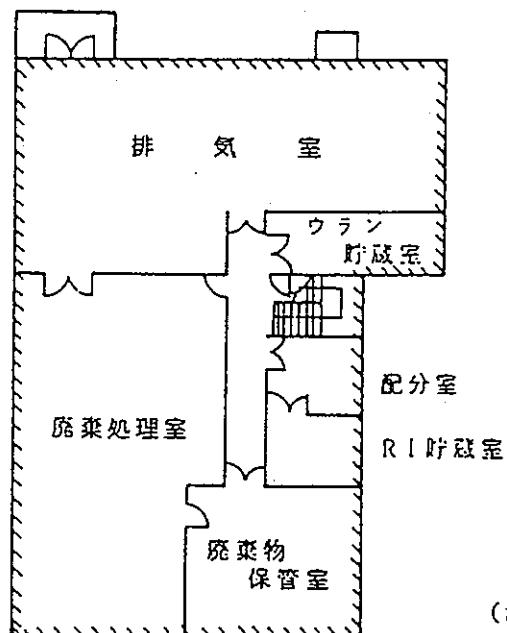
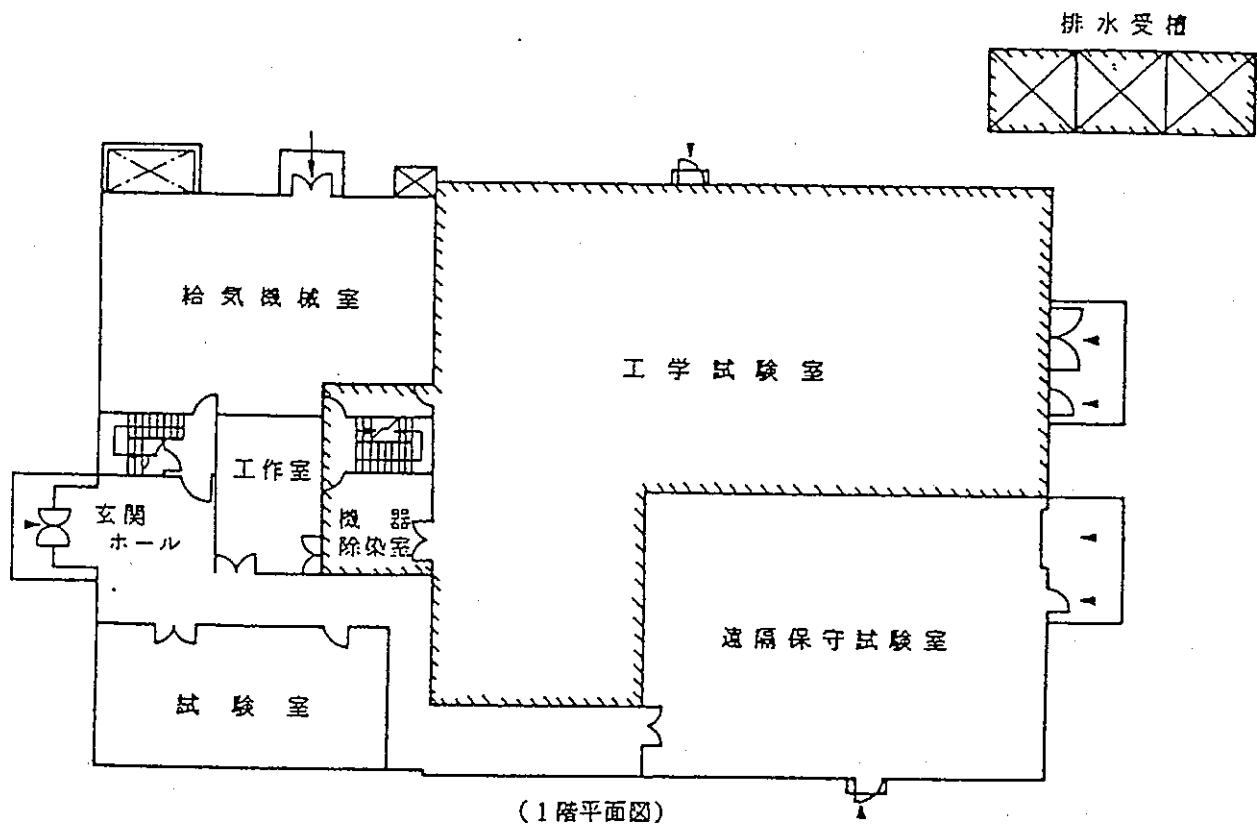
第2-1-(27)図 ウラン系廃棄物貯蔵施設管理区域



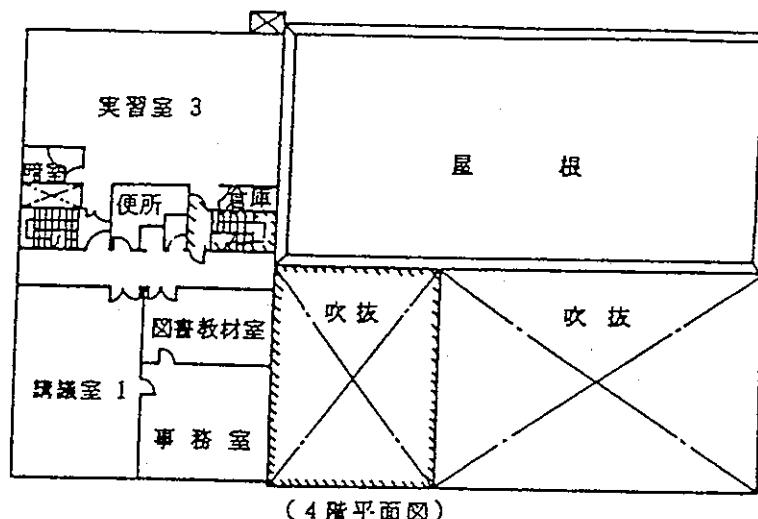
第2-1-(28)図 洗濯場管理区域



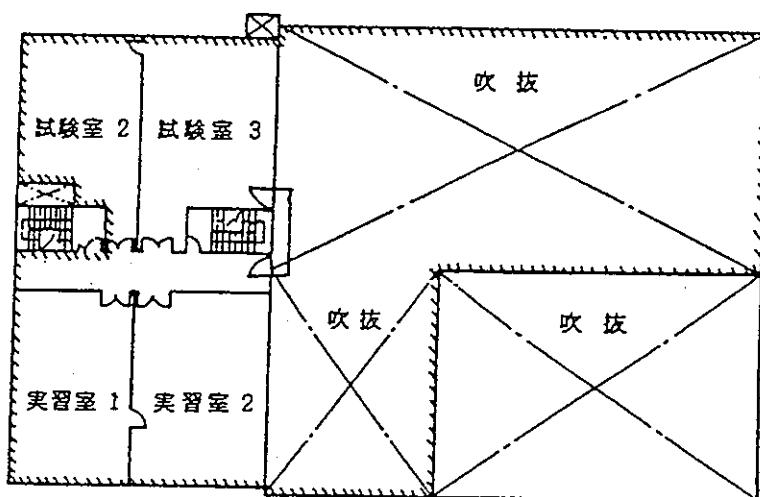
第 2 - 1 - (31) 図 安全管理棟 2 階管理区域



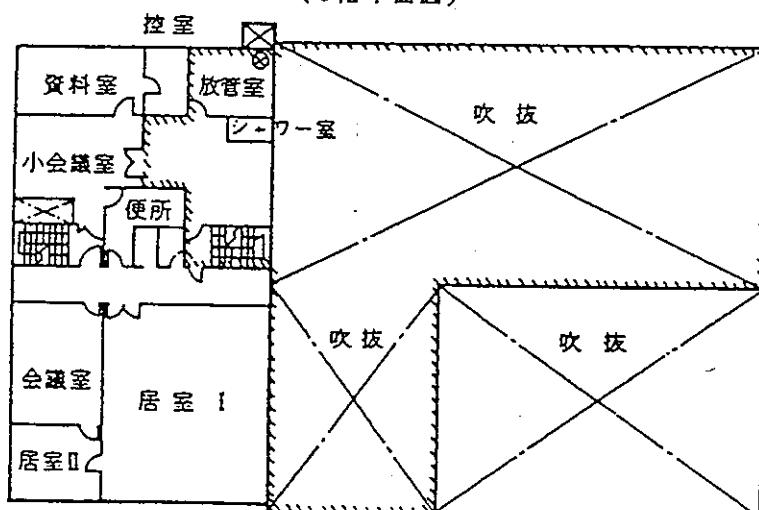
第2-1-(14)図 応用試験棟管理区域（その1）



(4階平面図)



(3階平面図)



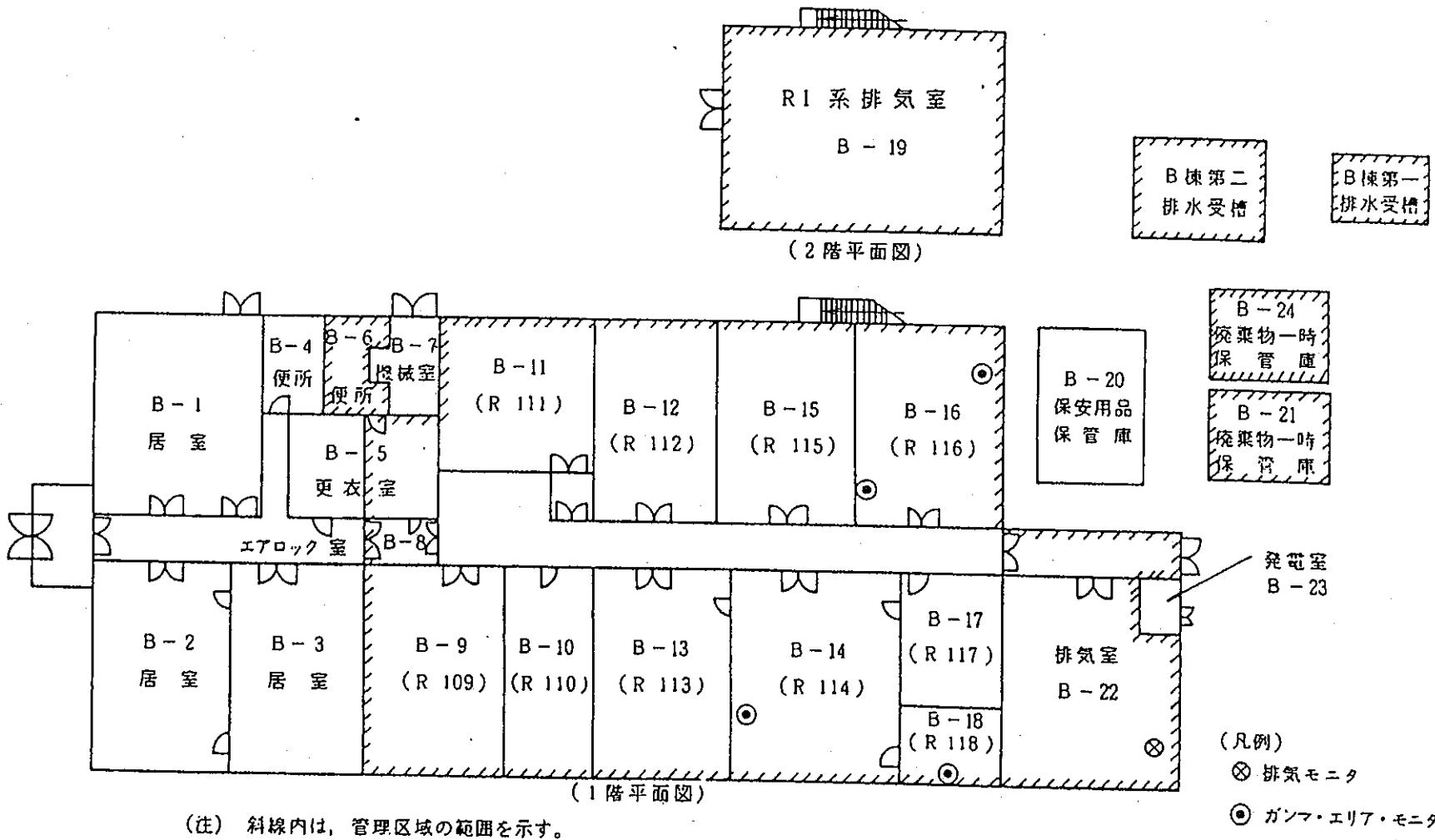
(2階平面図)

(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

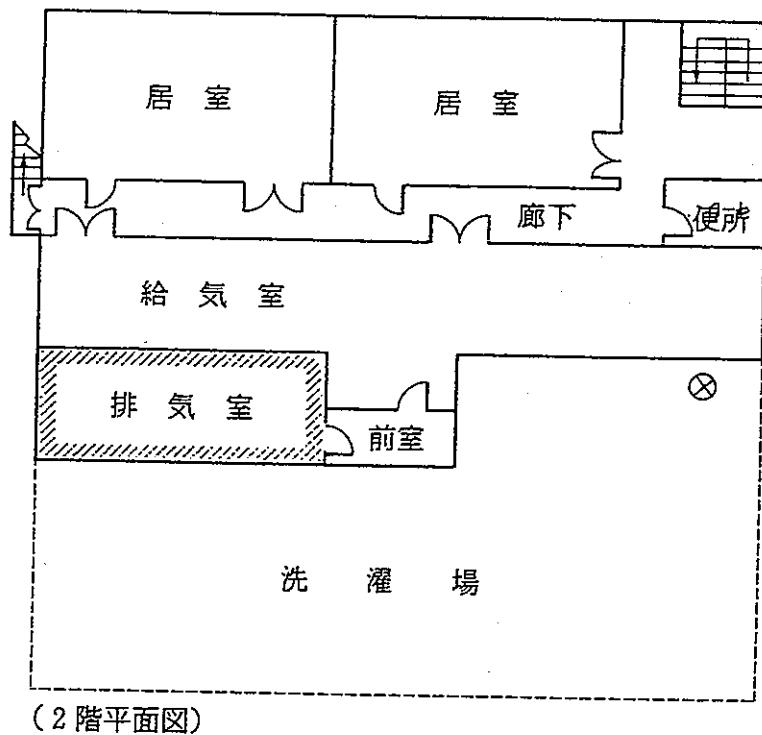
(凡例)

⊗ 排気モニタ

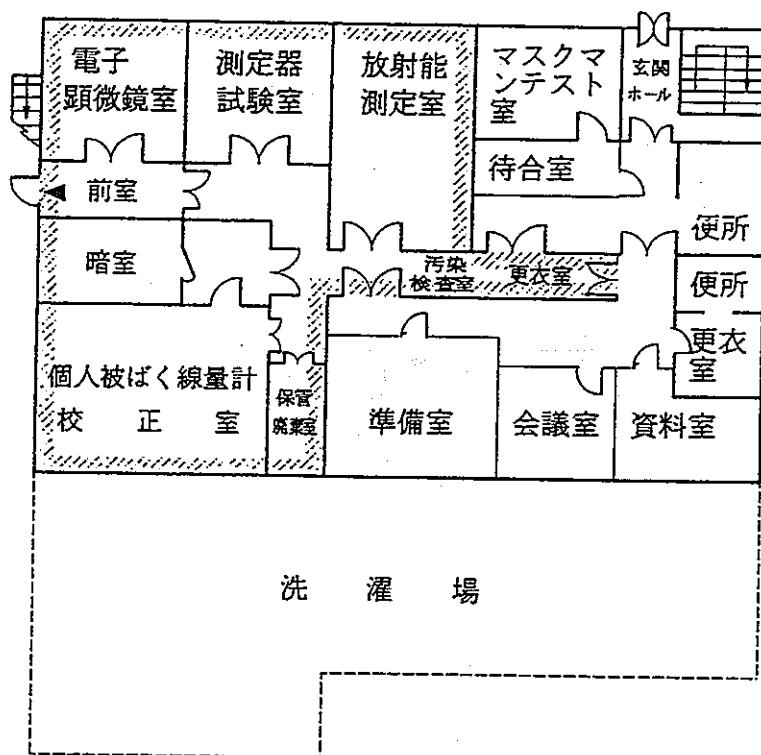
第2-1-(14)図 応用試験棟管理区域(その2)



第2-1-(13)図 B棟管理区域



(2階平面図)

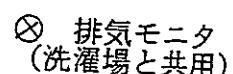


(1階平面図)

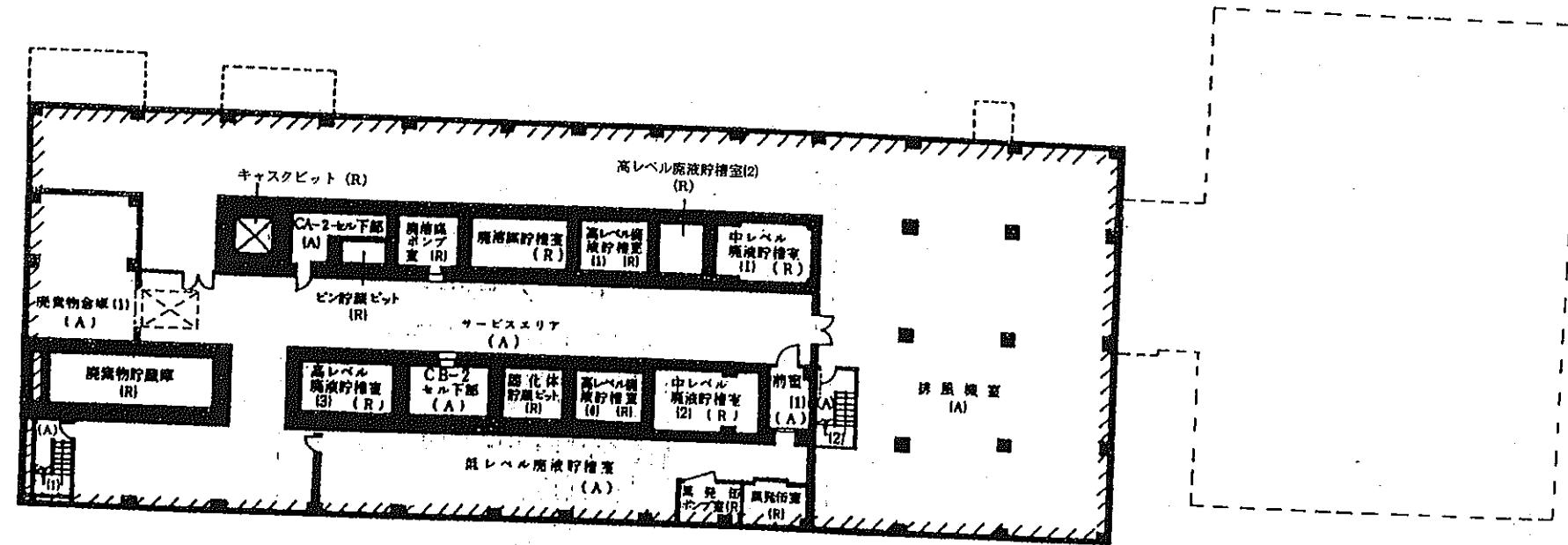
凡例



◀ 非常口



第2-1-(32)図 安全管理別棟管理区域



(注1) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

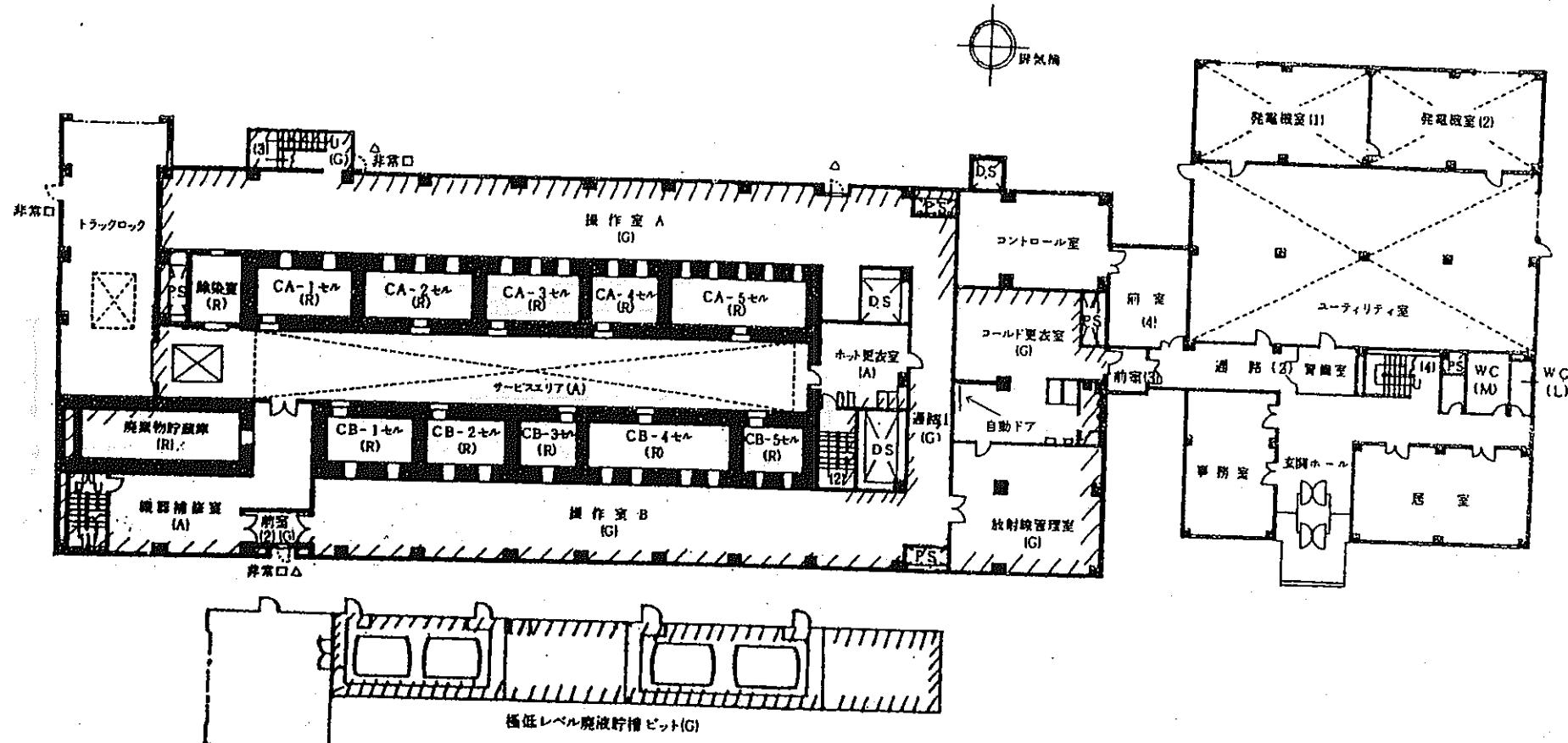
(注2) (G) グリーン区域

(A) アンバー区域

(R) レッド区域

(注3) ----- は電動シャッターを示す。

CPF 管理区域 (地下平面図)



(注1) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

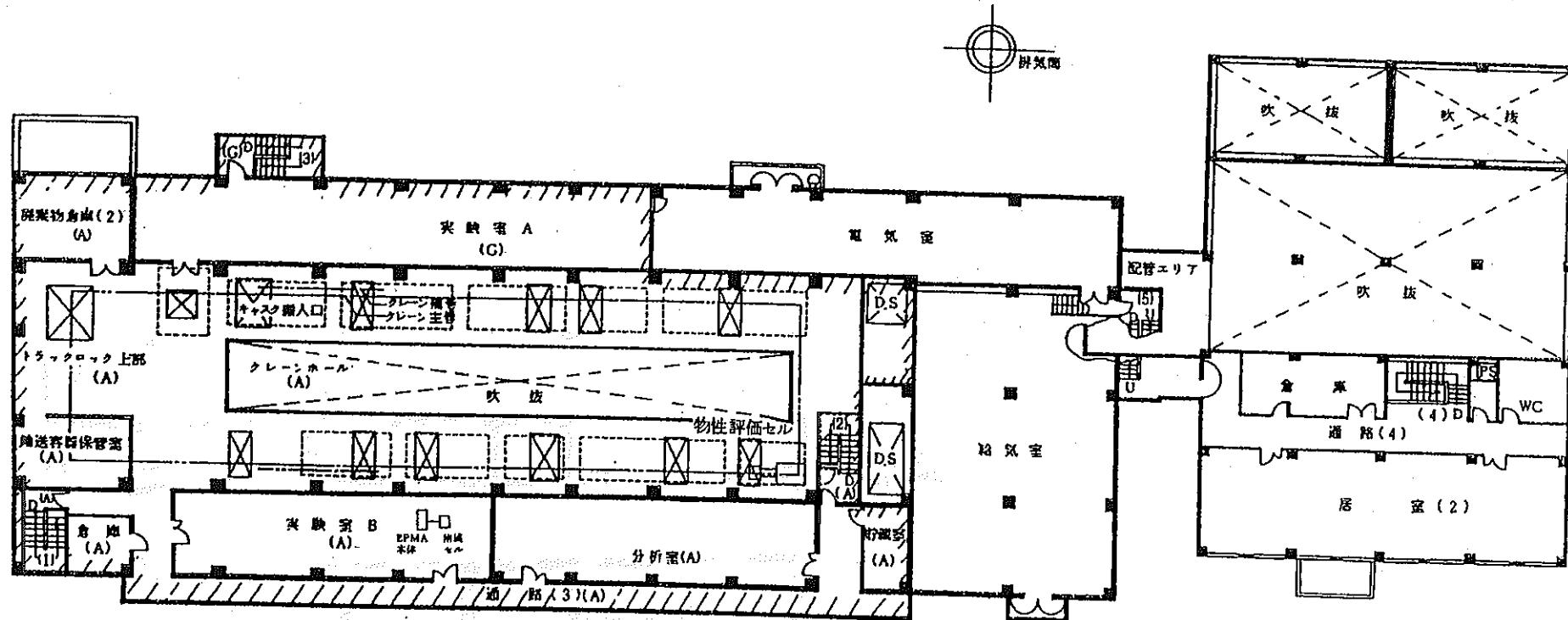
(注2) (G) グリーン区域

(A) アンバー区域

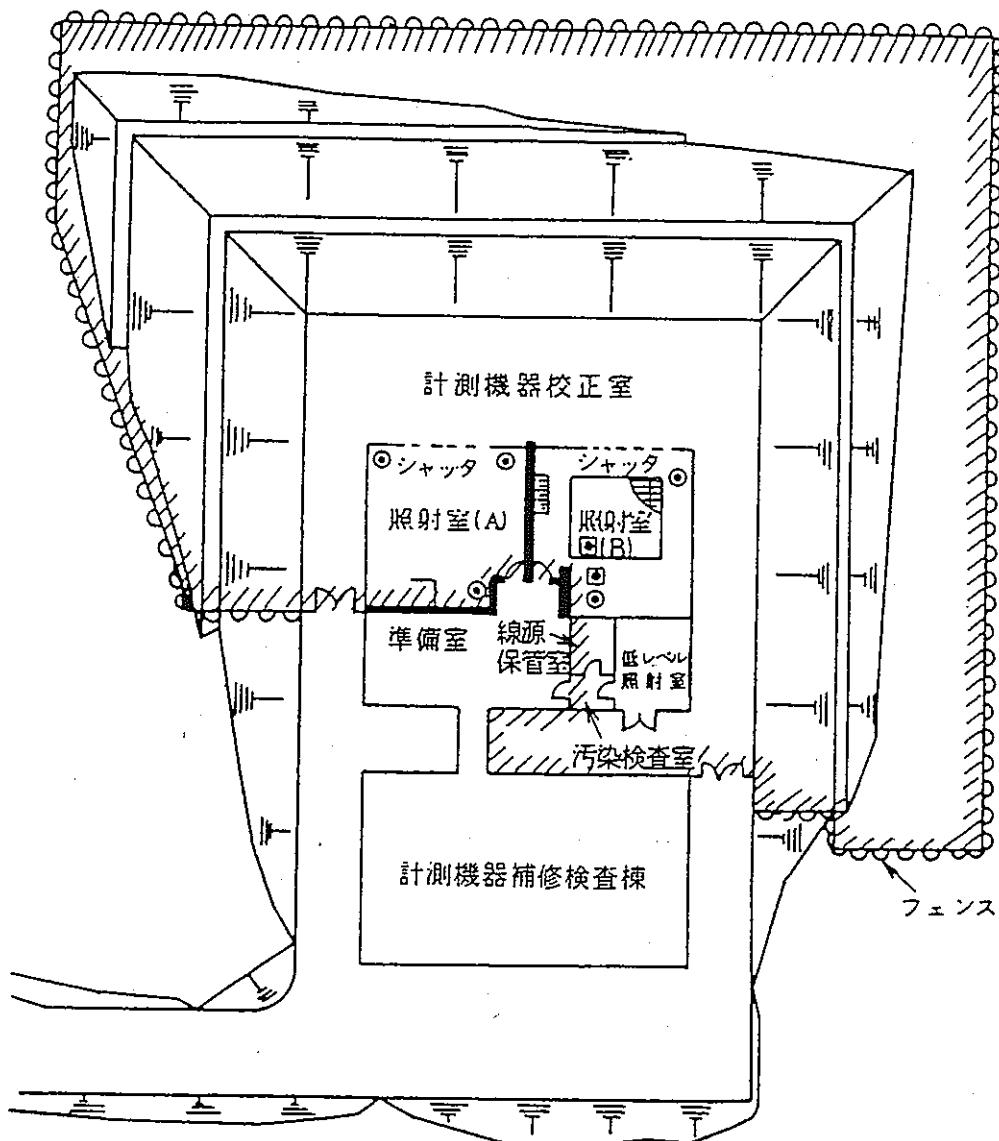
(R) レッド区域

(注3) ----- は電動シャッターを示す。

CPF 管理区域（1階平面図）



CPF 管理区域 (2階平面図)



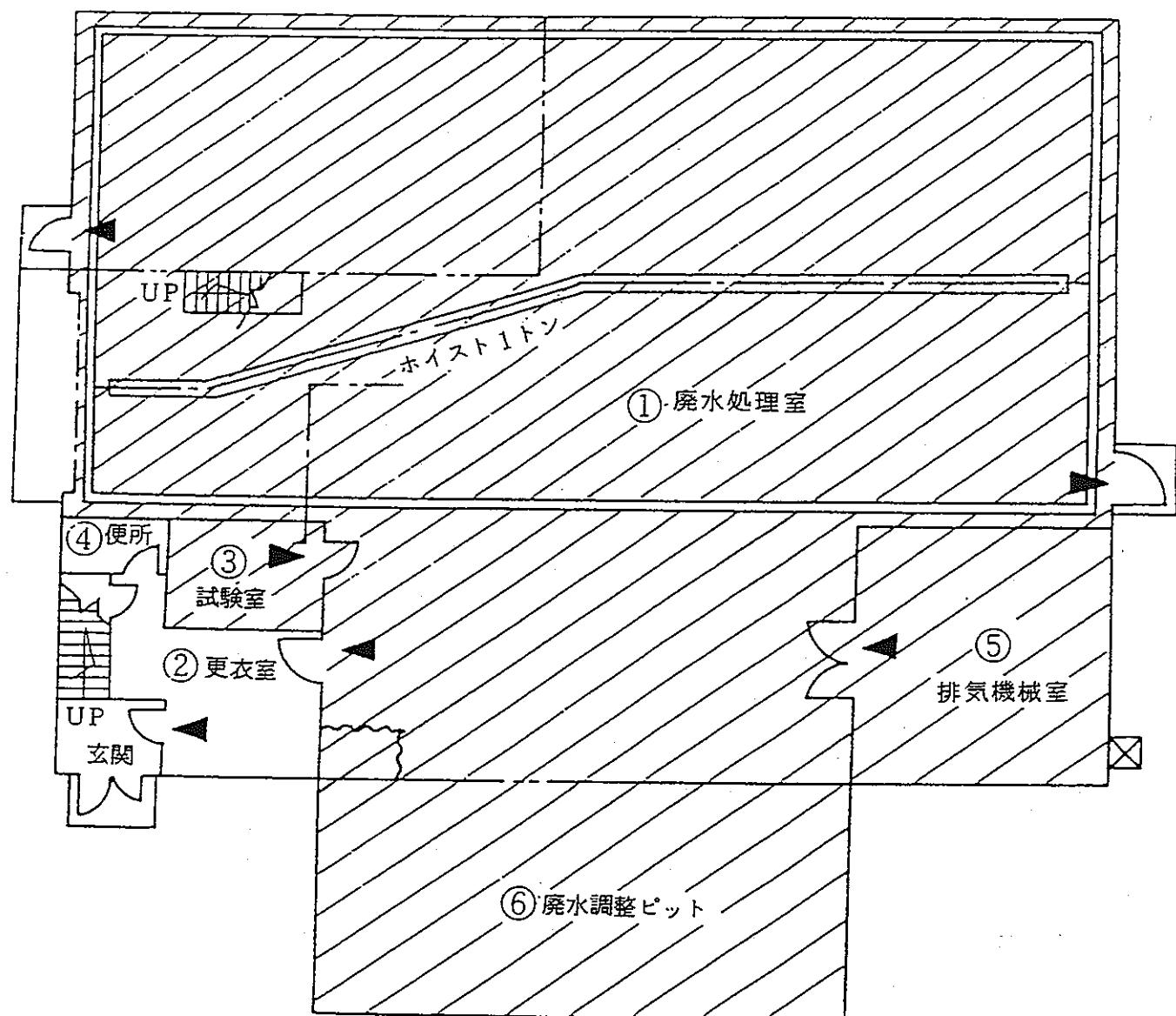
(注) 斜線内は、管理区域の範囲を示す。

(凡例)

□：中性子線エリアモニタ

○：ガンマ線エリアモニタ

第 2 - 1 - (33) 図 計 測 機 器 校 正 室 管 理 区 域



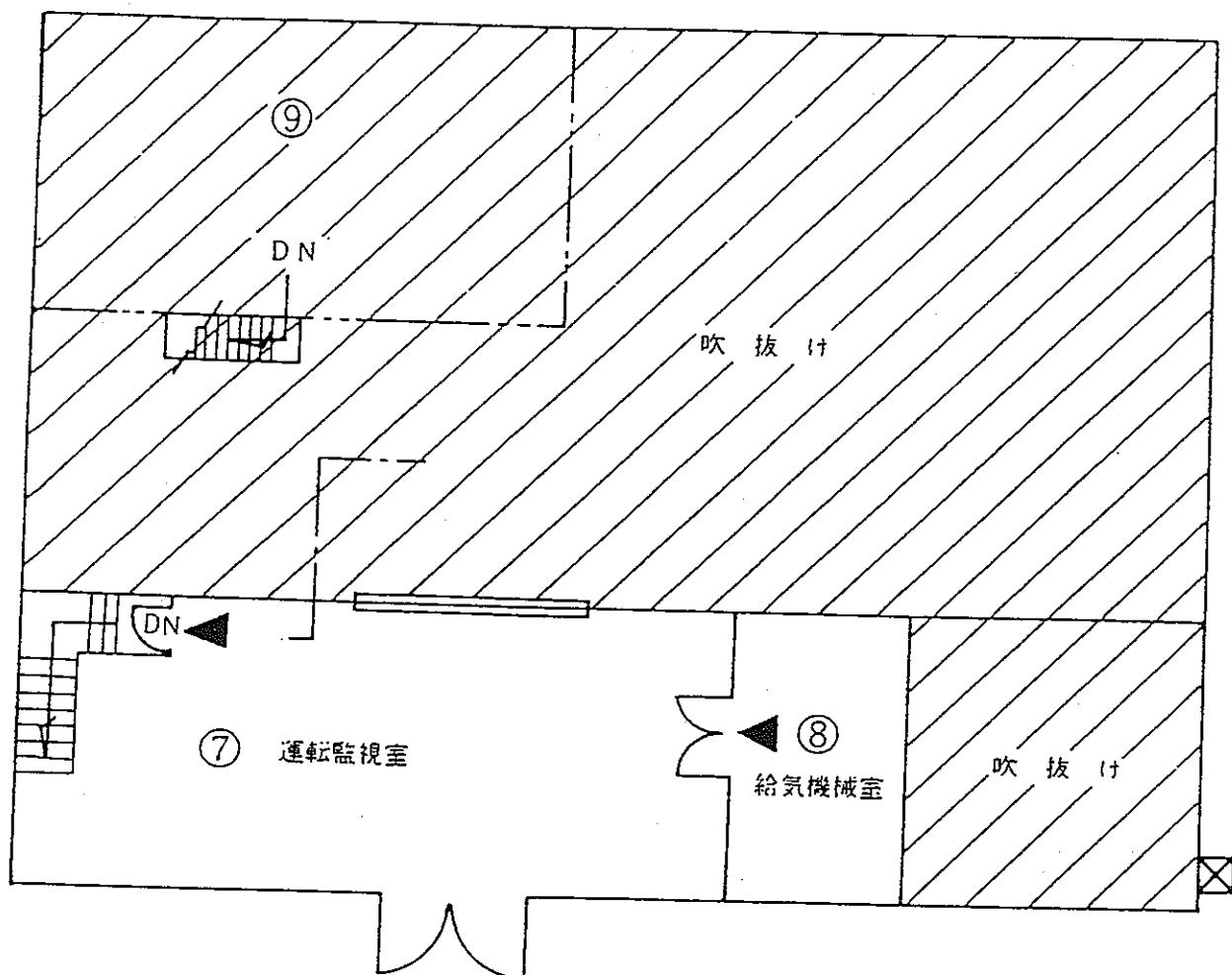
凡例

■ 管理区域

► 非常口

注：○内数字は室番を示す。

第II-1-8図 濃縮工学施設廃水処理棟管理区域（1階）



凡例

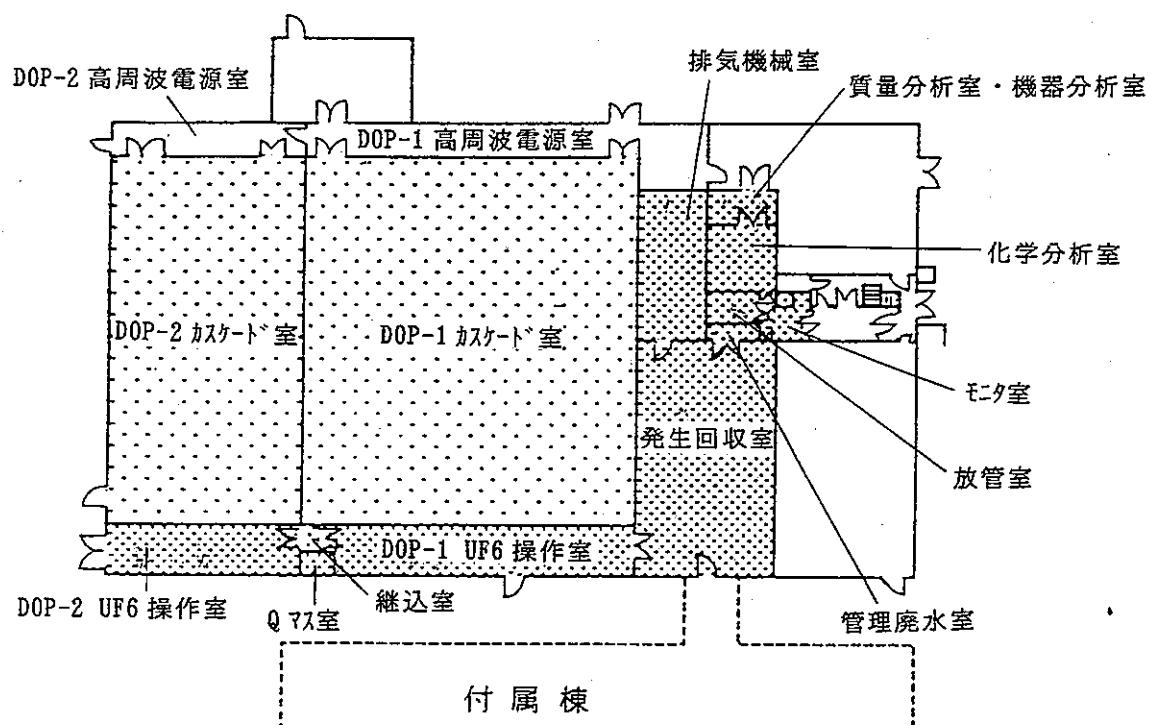
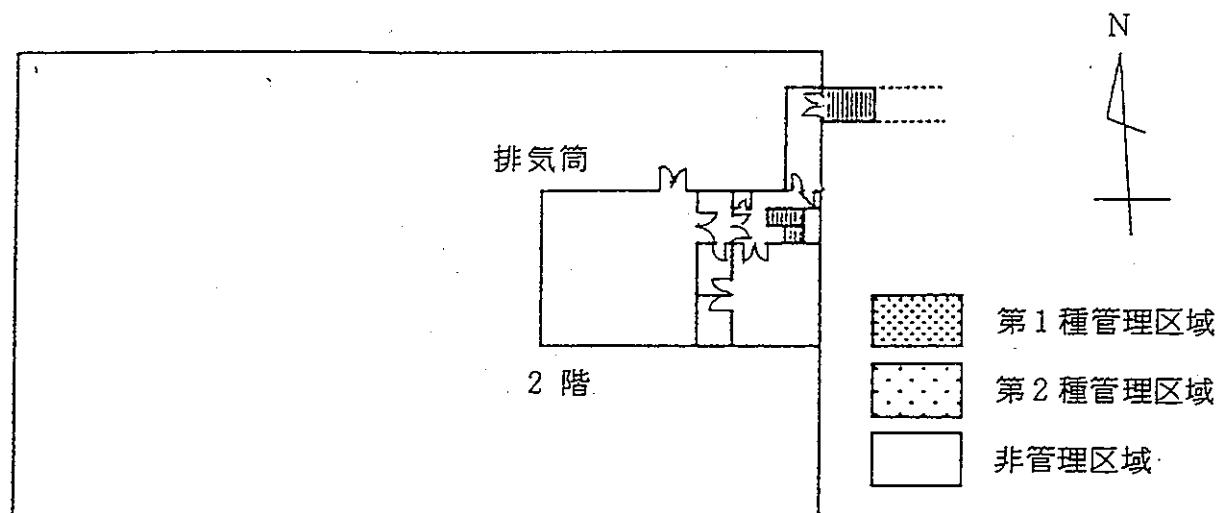


► 非常口

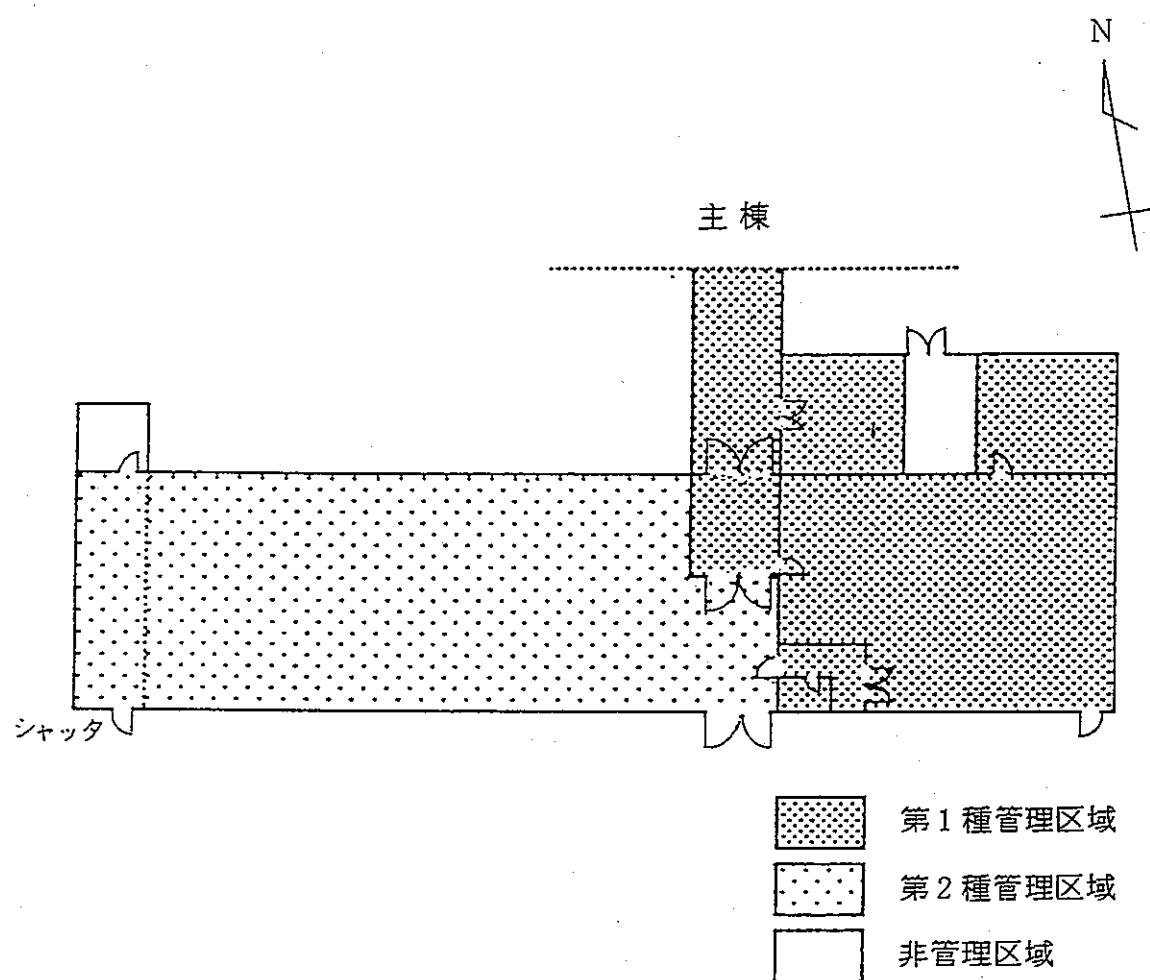
注：○内数字は室番を示す。

第 II-1-9 図 濃縮工学施設廃水処理棟管理区域 (2階)

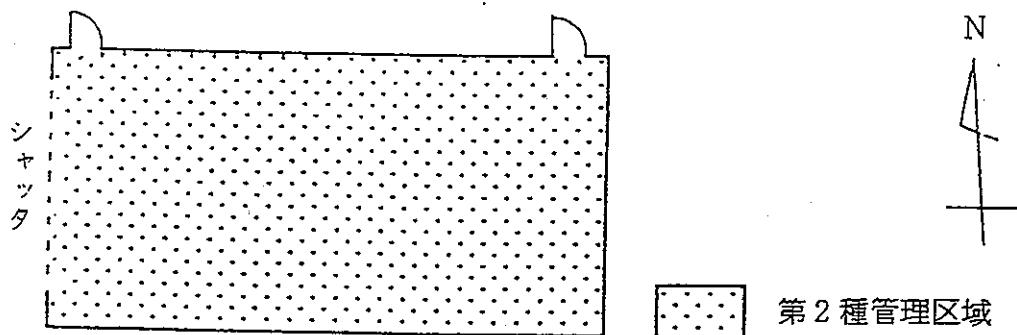
人形峰



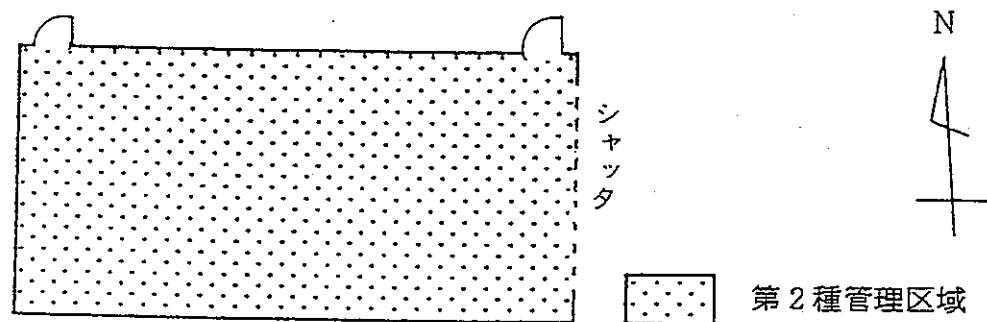
第2図(1) 主棟管理区域



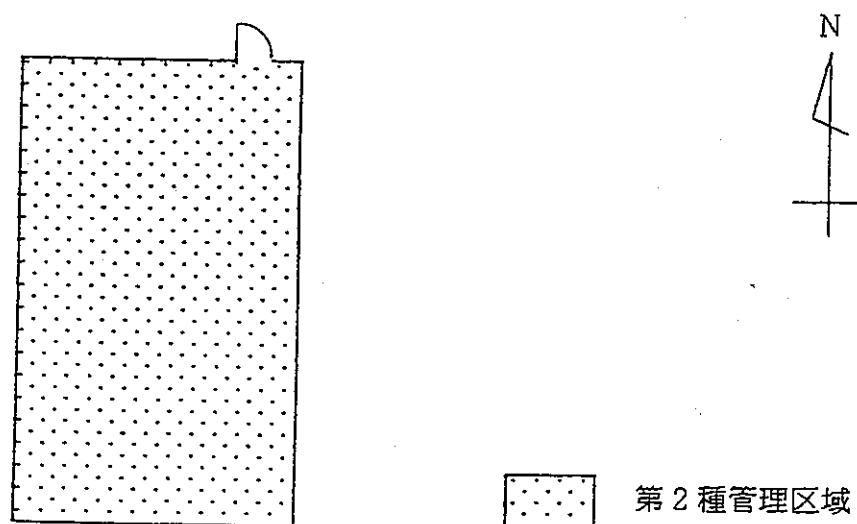
第2図(2) 付属棟管理区域



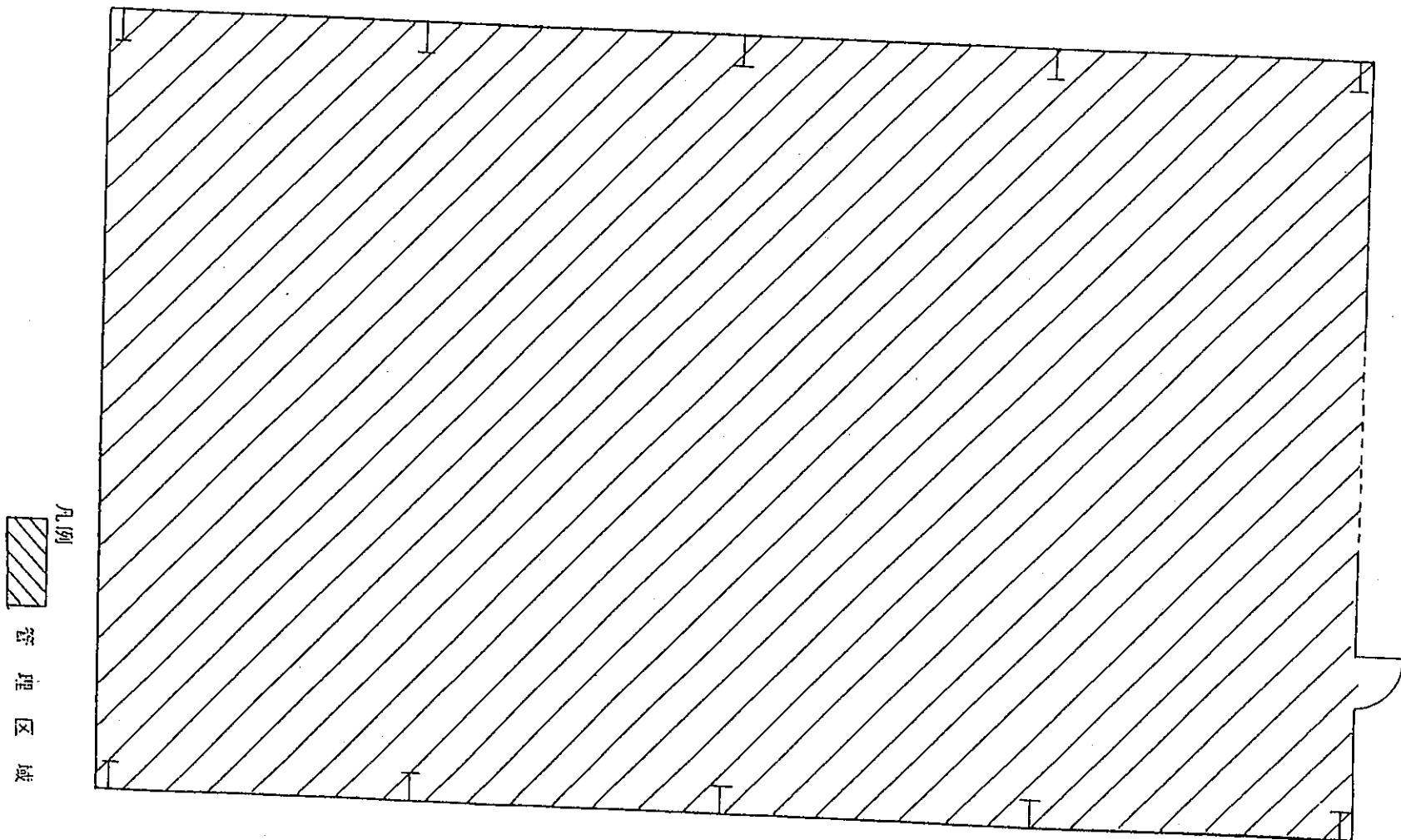
第2図(3) 第2貯蔵庫管理区域



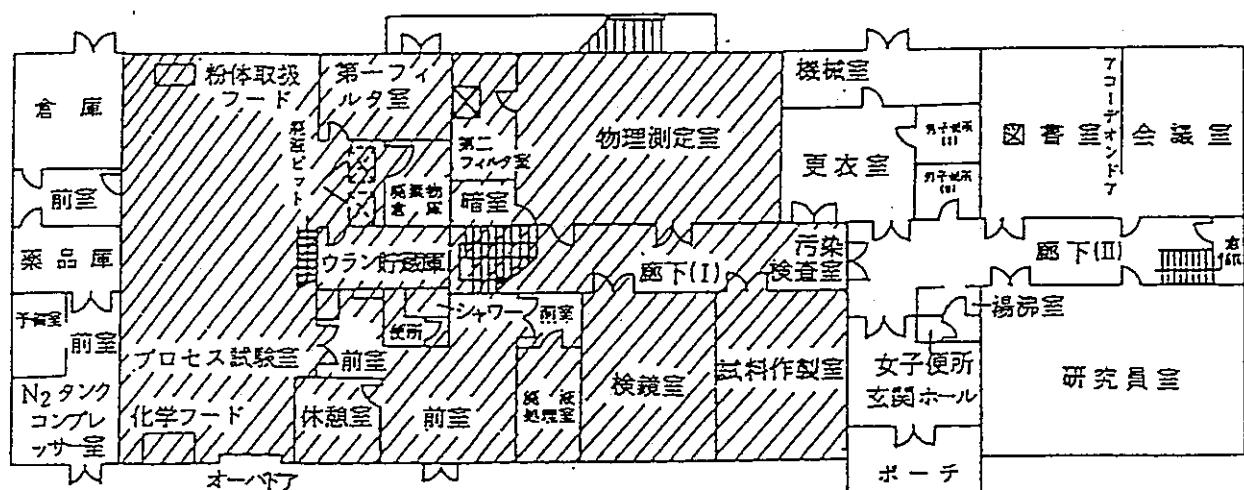
第2図(4) 第3貯蔵庫管理区域



第2図(5) 廃棄物貯蔵庫管理区域



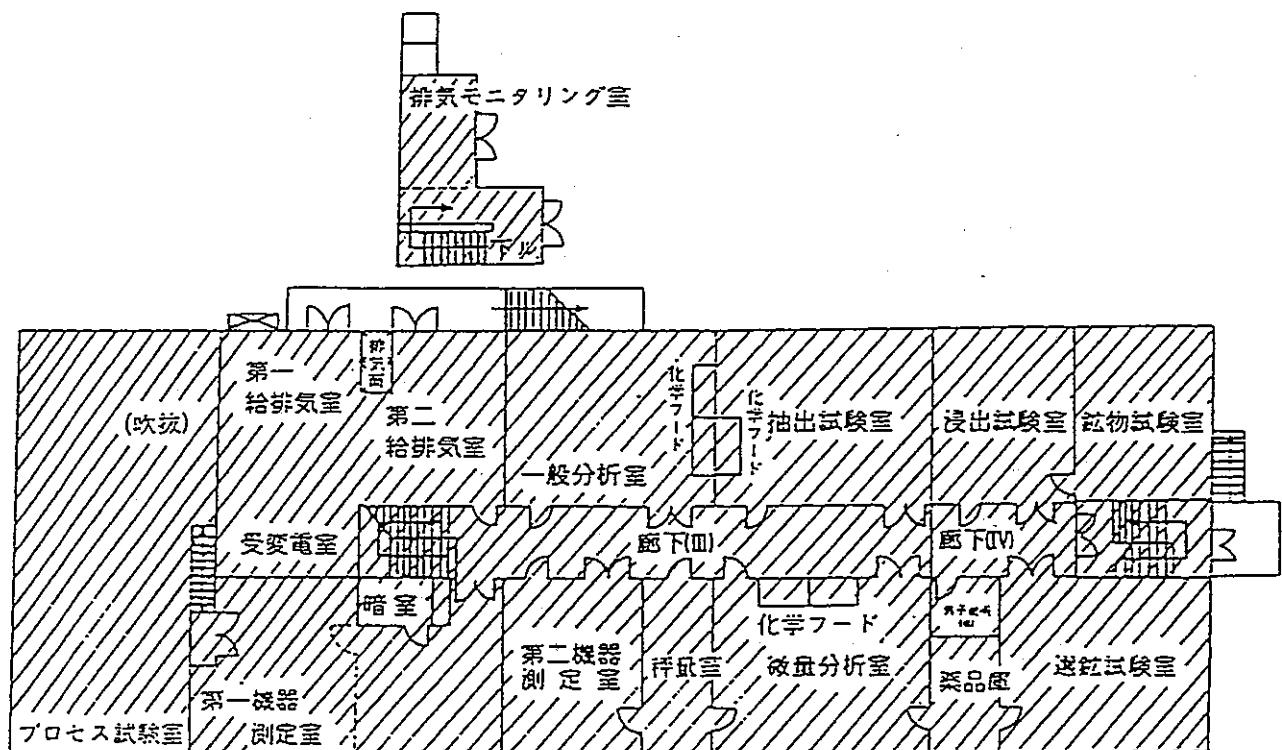
第Ⅱ-1-10図 廃棄物処理施設管理区域（第1～第12廃棄物貯蔵庫）



第10図-16 開発試験棟管理区域（1階）

凡例

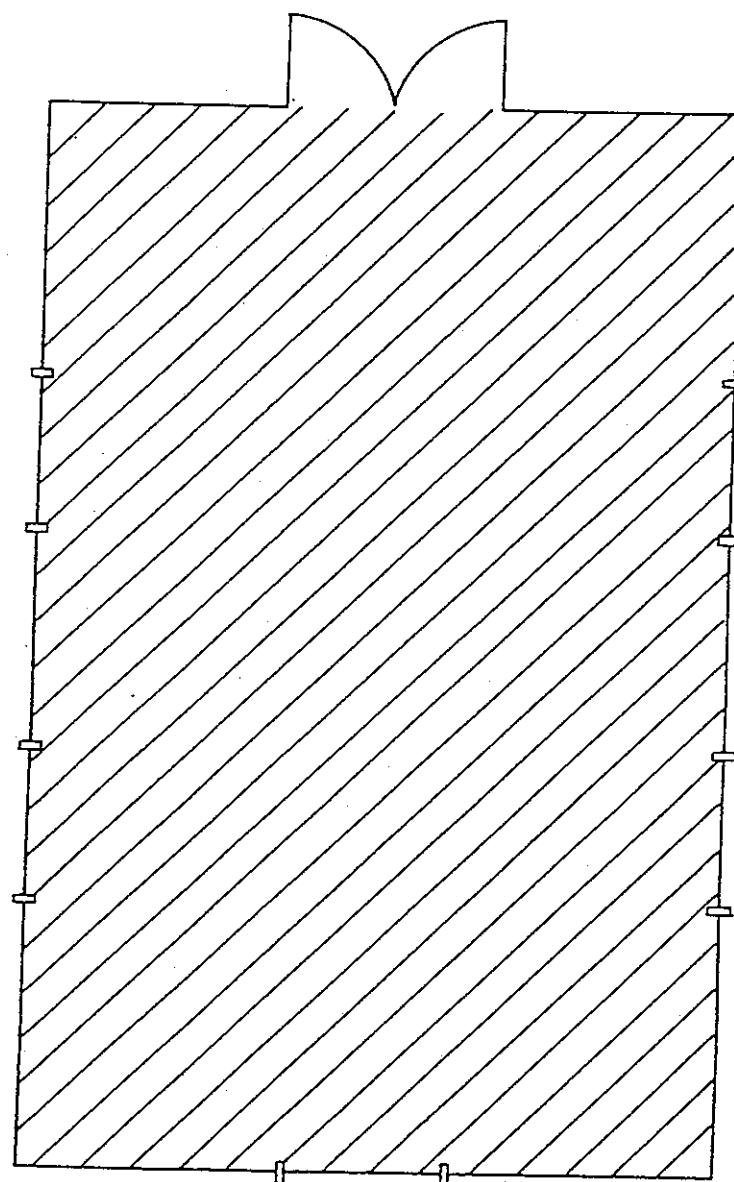
■ 管理区域



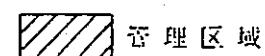
第10図-17 開発試験棟管理区域（2階）

凡例

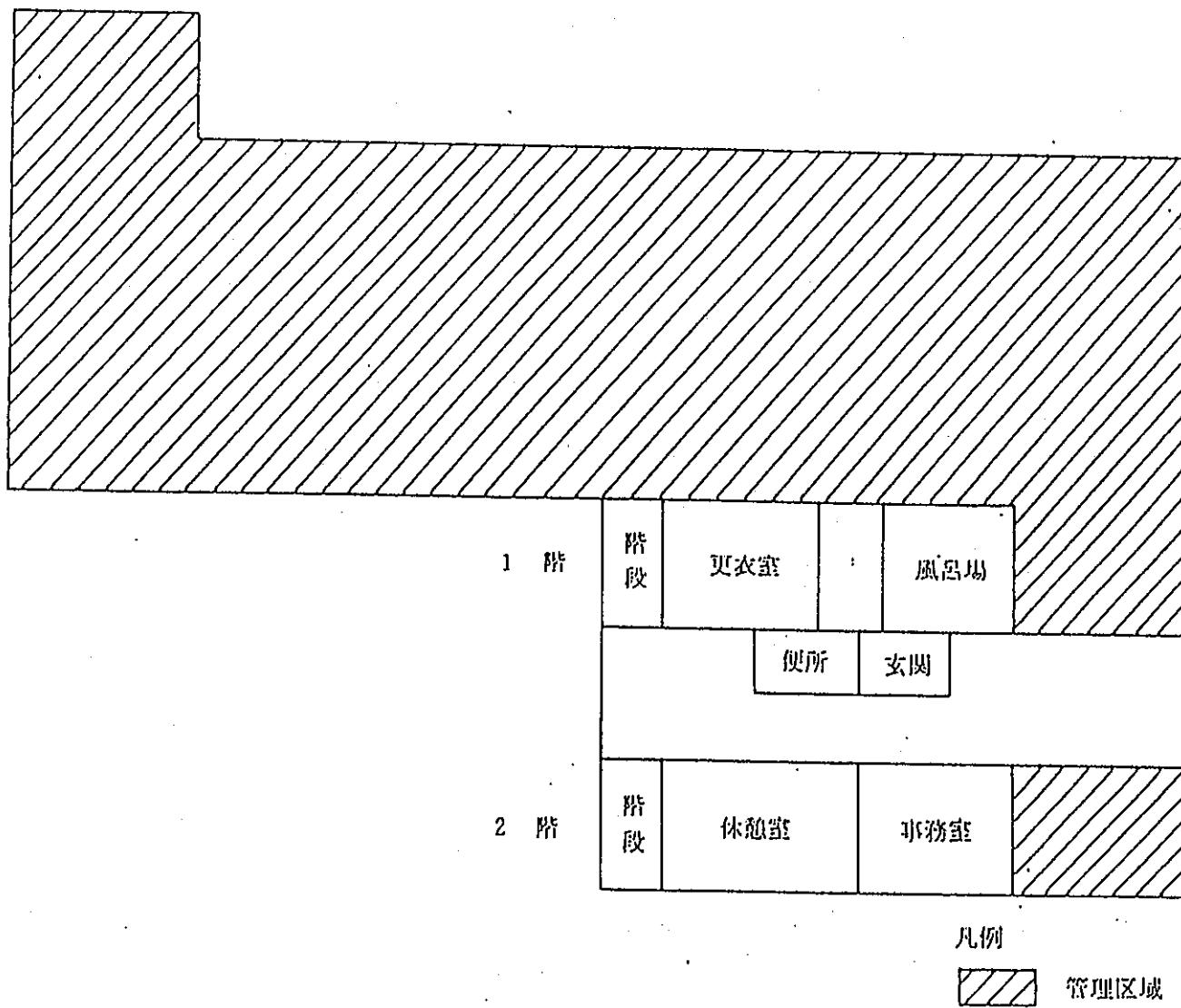
■ 管理区域



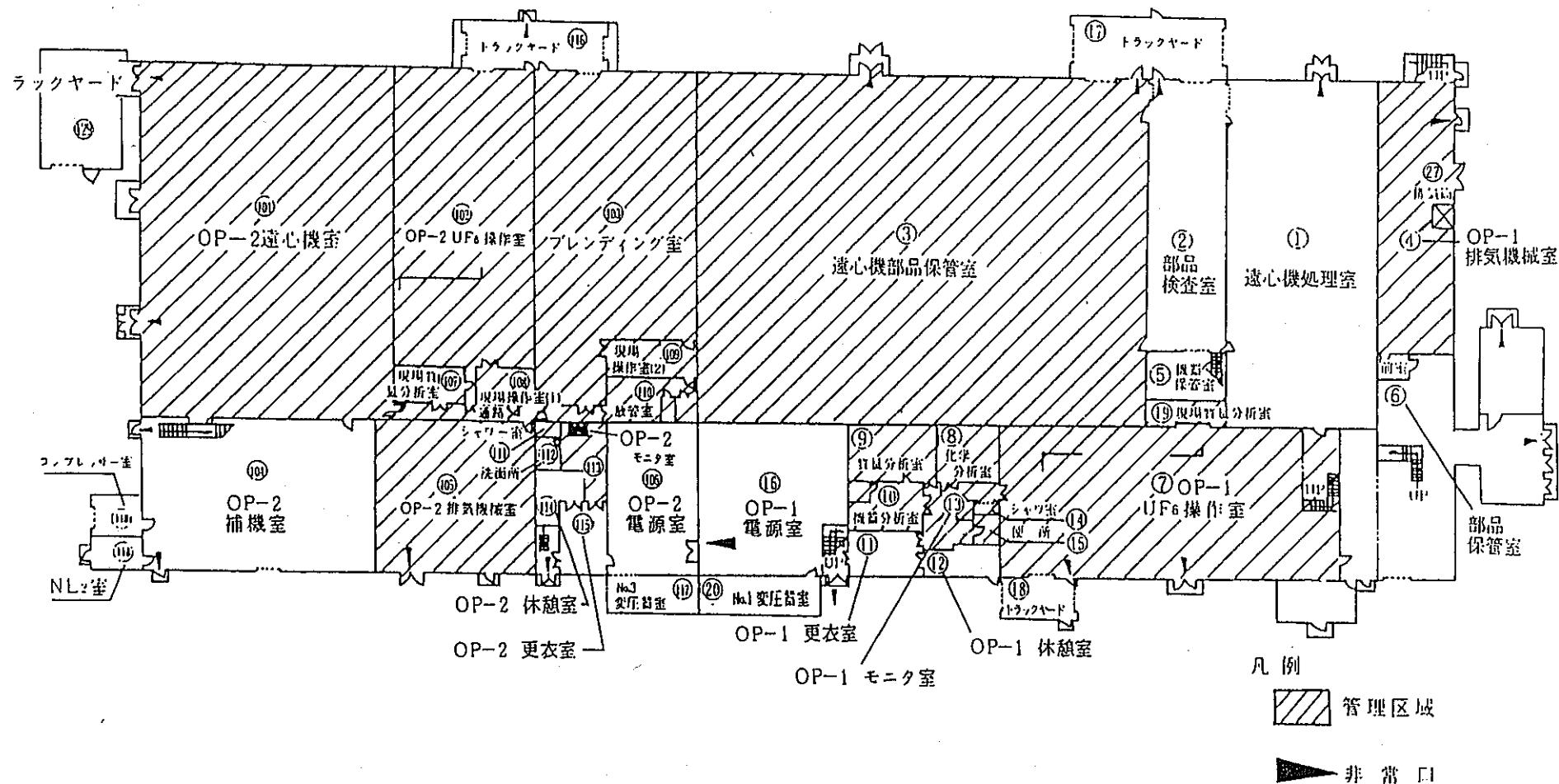
凡例



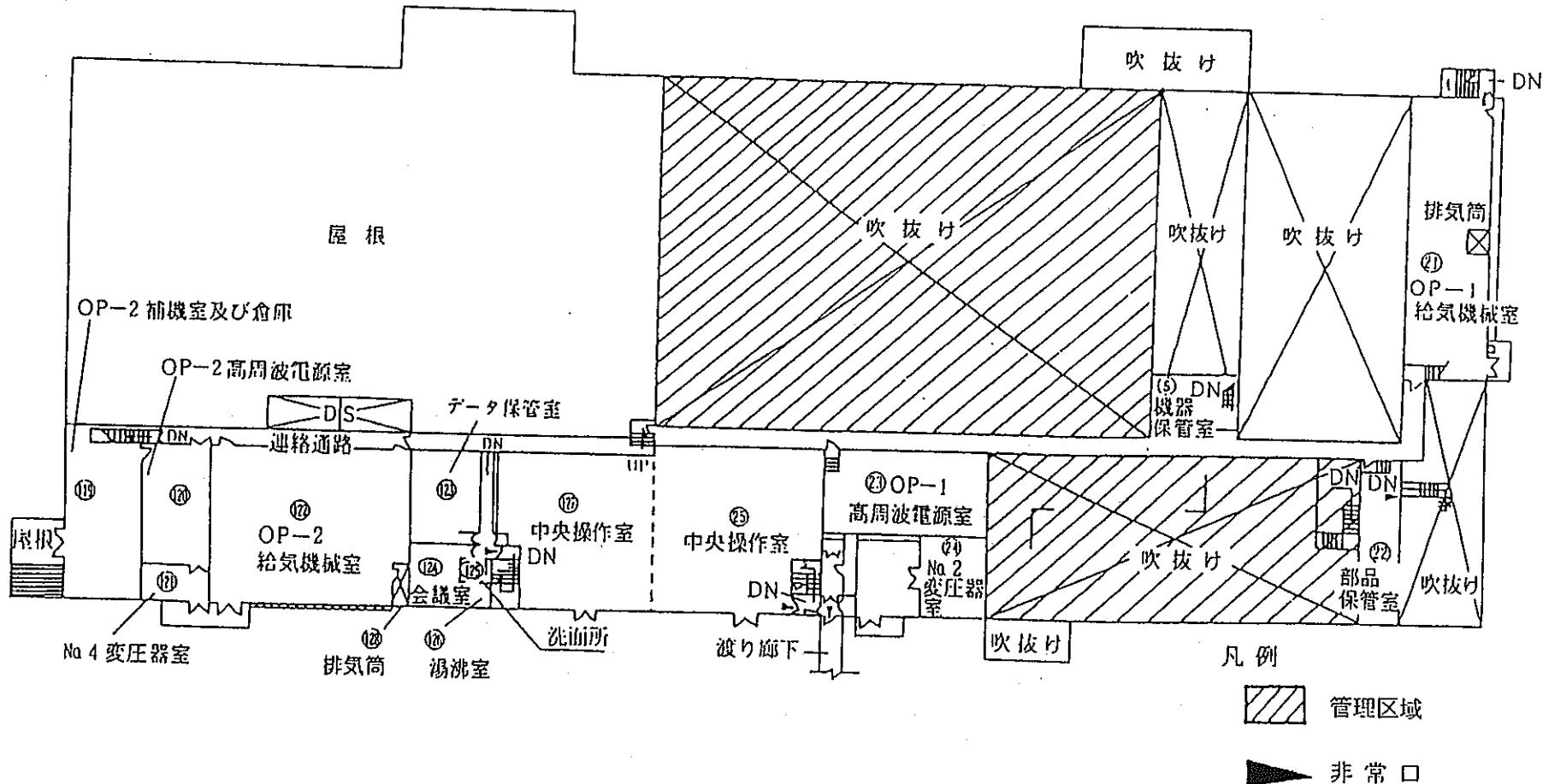
第Ⅱ-1-11図 廃棄物処理施設管理区域（廃油貯蔵庫）



第10図-2 製鍊施設管理区域

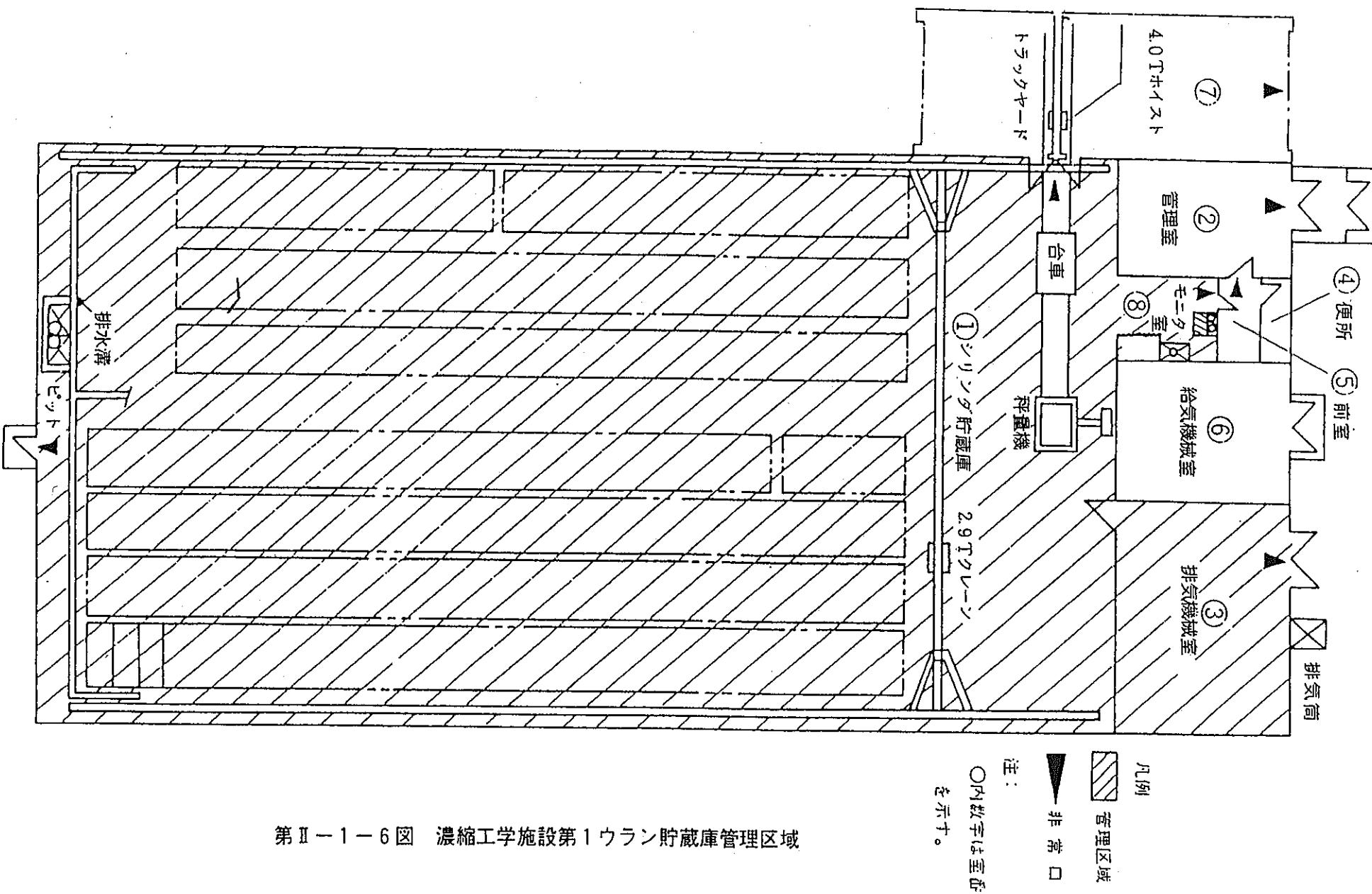


第 II-1-4 図 濃縮工学施設主棟管理区域（1 暈）

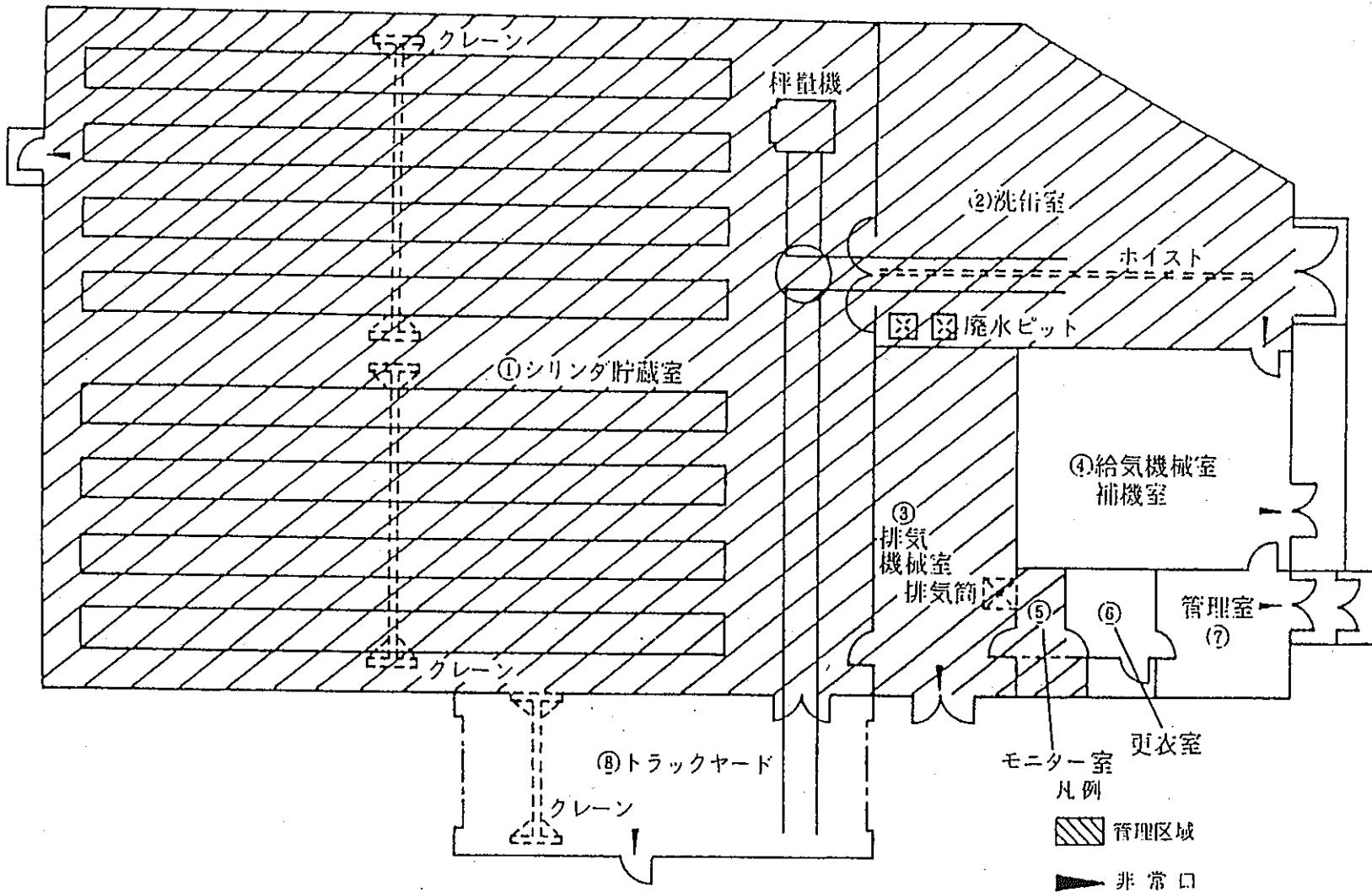


注：○内数字は室番を示す。

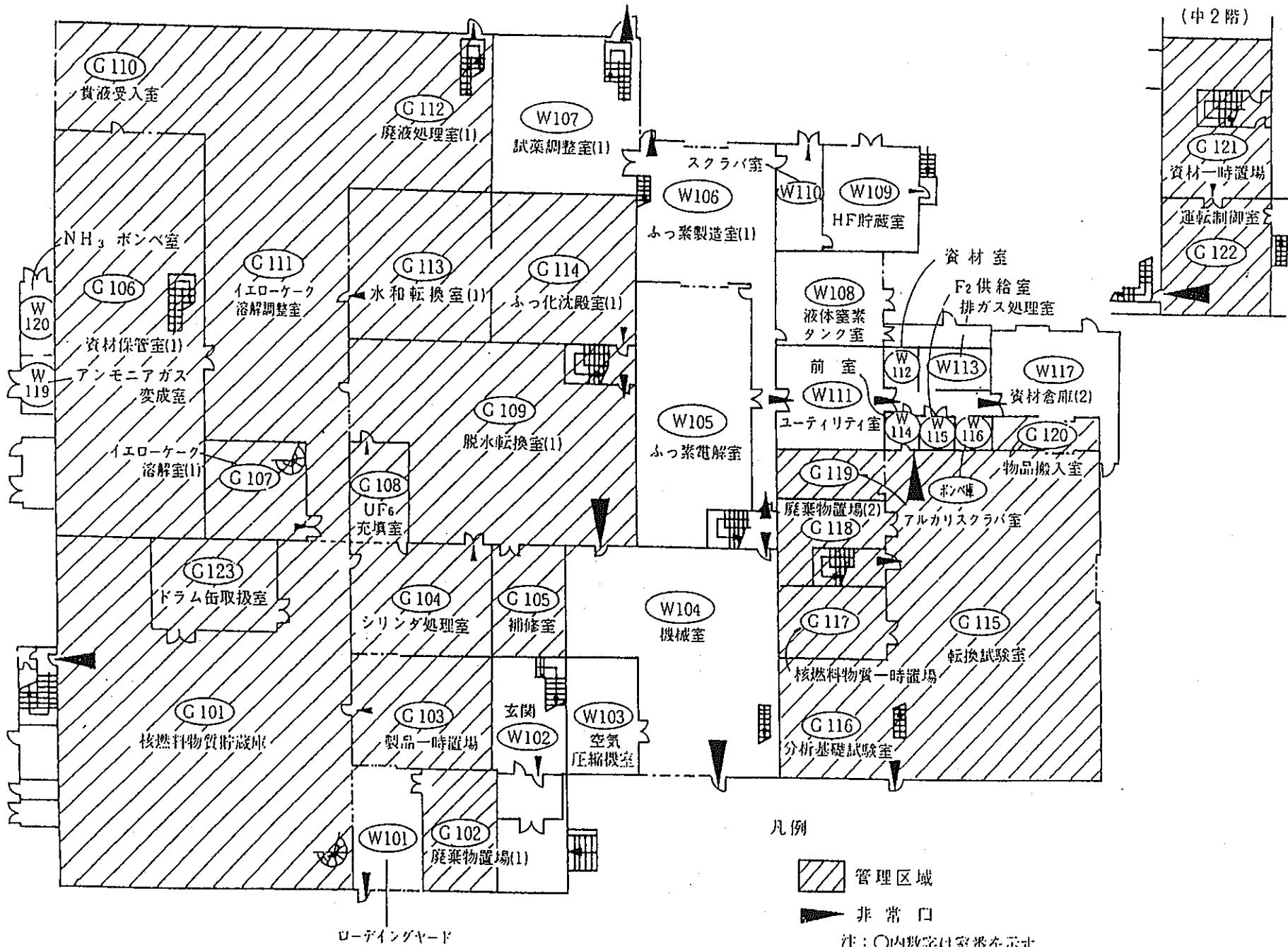
第Ⅱ-1-5図 濃縮工学施設主棟管理区域（2階）

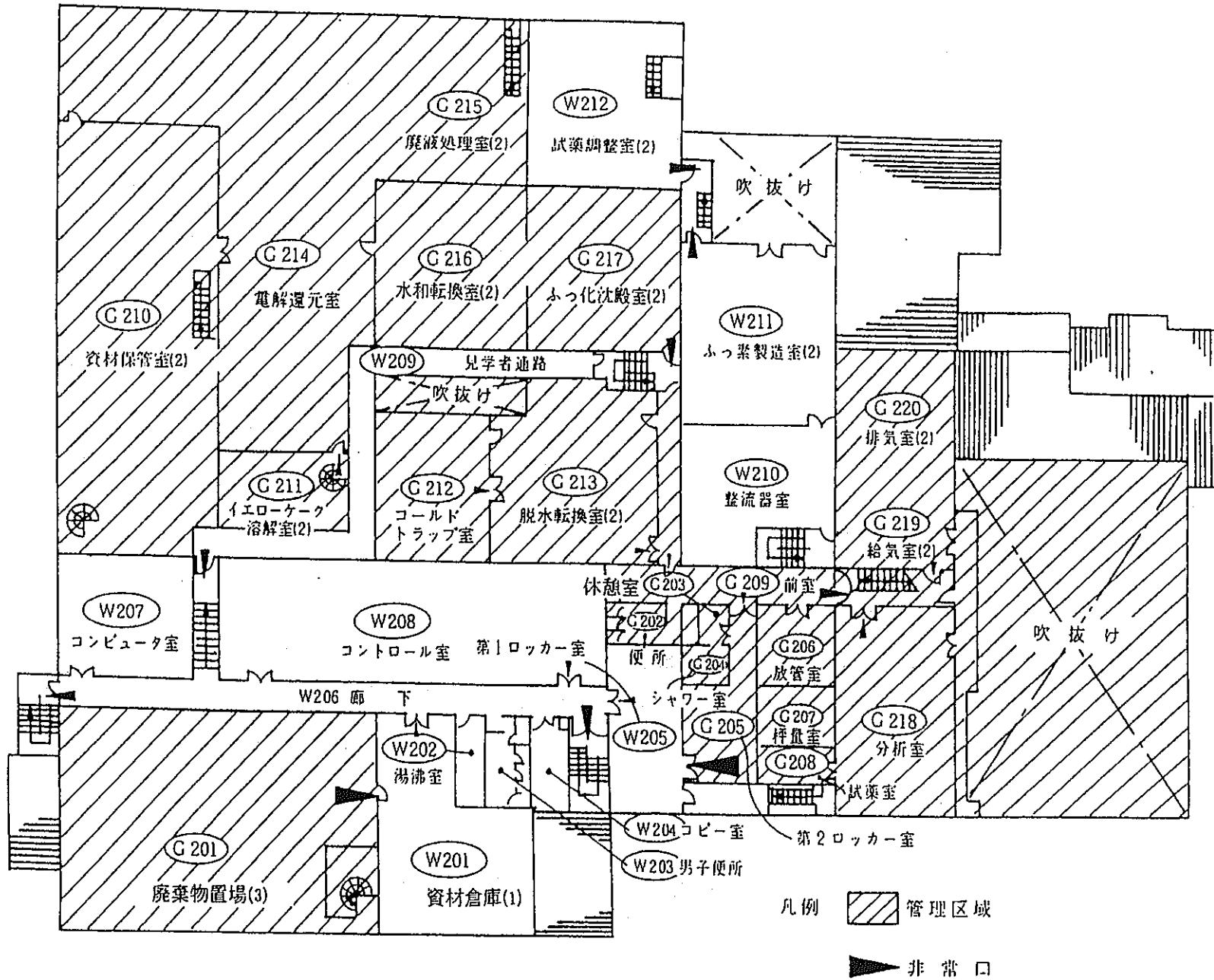


第II-1-6図 濃縮工学施設第1ウラン貯蔵庫管理区域



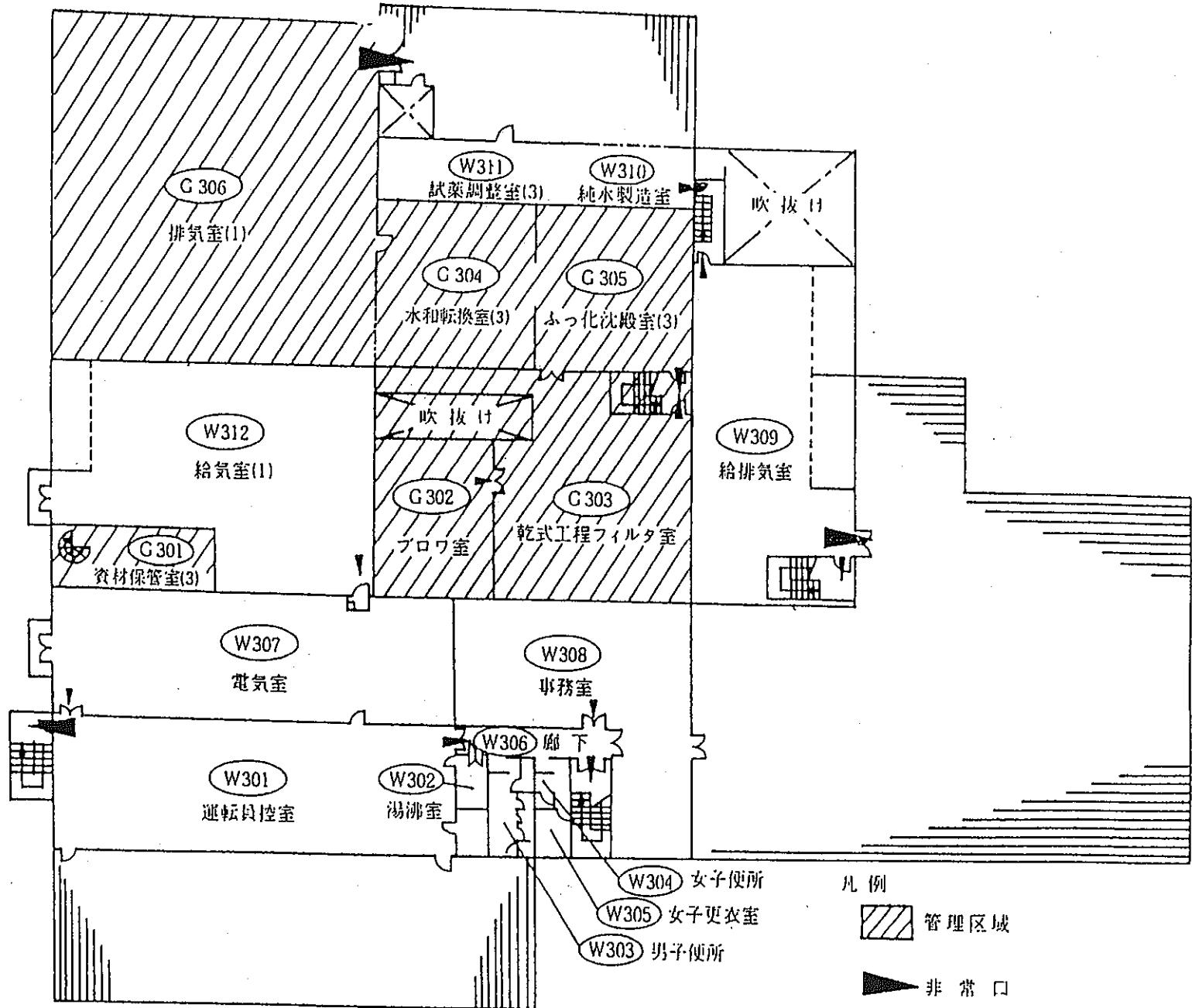
第Ⅱ-1-7図 濃縮工学施設第2ウラン貯蔵庫管理区域





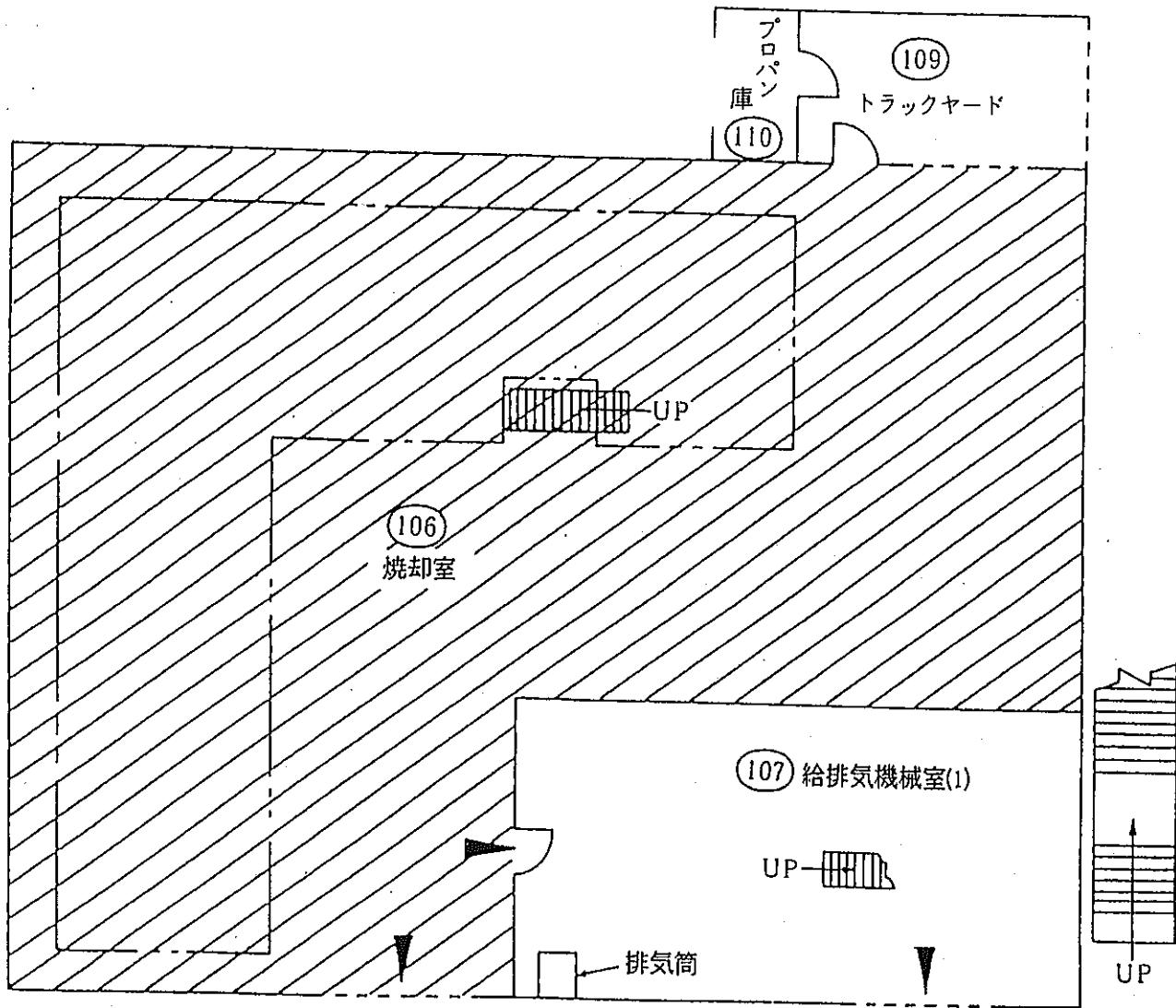
第Ⅱ-1-2図 製鍊転換施設管理区域（2階）

注：○内数字は室番を示す。



第Ⅱ-1-3図 製鍊転換施設管理区域（3階）

注：○内数字は室番を示す。

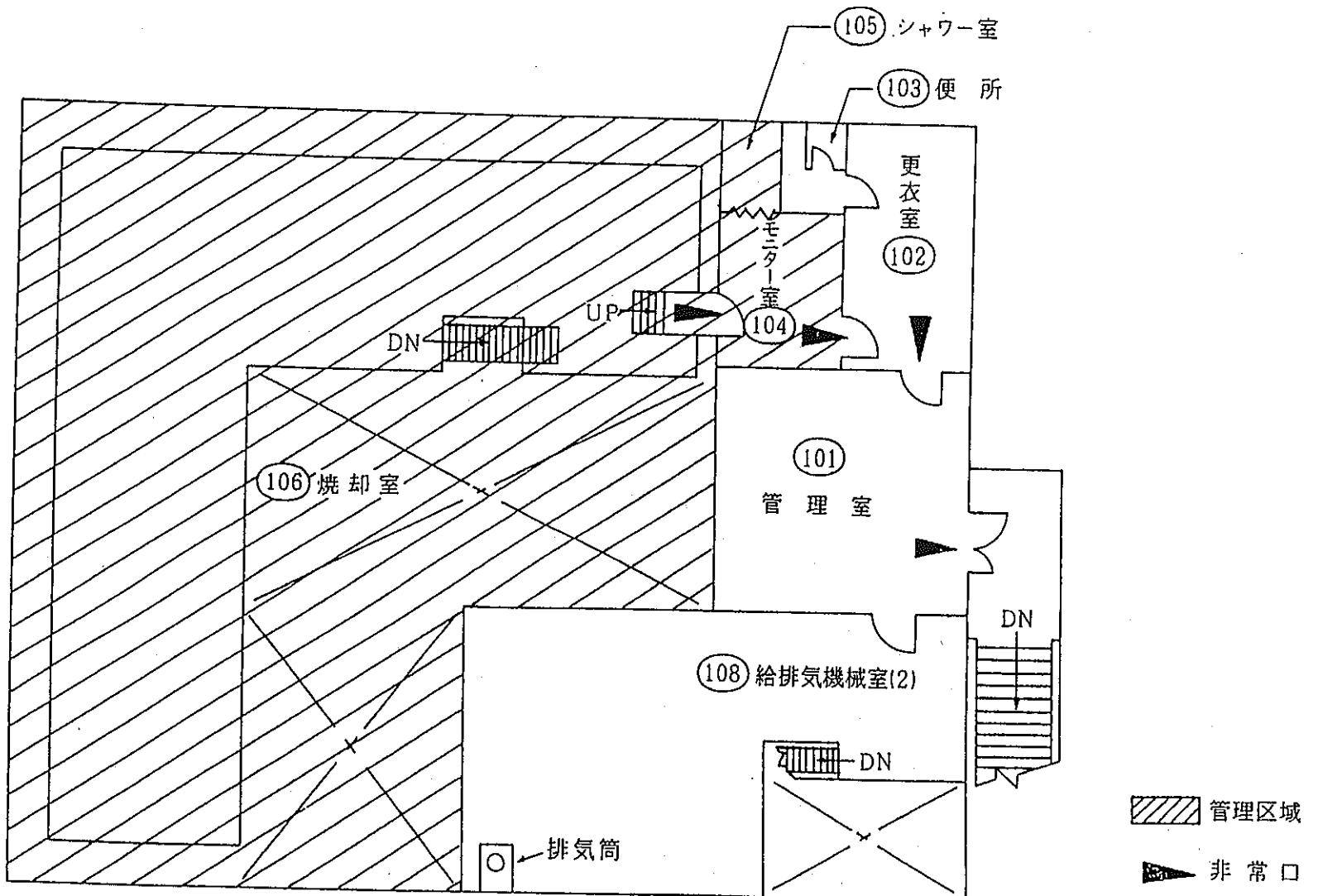


凡例

■ 管理区域
 ▲ 非常口

注: ○内数字は室番を示す。

第 II-1-12図 廃棄物処理施設管理区域 (廃棄物焼却施設 1階)



注: ○内数字は室番を示す。

第 II - 1 - 13 図 廃棄物処理施設管理区域 (廃棄物焼却施設 2 階)

付 錄 一 2

使用した図書リスト

使用した図書リスト

事業所	施設区分	施設番号	施設名	図書名	図書提供部署	備考
東海事業所 再処理施設	再処理施設	33	ウラン貯蔵所	平面図、立面図 断面図、屋根平面図・建具表、矩計図・その他の詳細図、基礎代図・断面表、梁伏図・軸組図・柱梁断面表、鉄骨架構詳細図 ウラン貯蔵所建設工事工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		34	第二ウラン貯蔵所	平面図、立面図及び断面図、矩計図-1、2、シャッター廻り及び階段、玄関・ロッカー・脱衣・シャワー・便所、コントロール室及び電源室、UO3貯蔵庫・非常口・給気室・フィルタチャンバー室、排気塔・設備機器搬入用ハッチ及びエキスパンション金物、タラップ・排水溝及び排水井、天井伏図、建具表、再)保全部環境管理課 伏図・軸組図、標準ラーメン配筋及び鉄骨詳細図、ラーメン配筋詳細図、部材リスト1、部材リスト2、基礎リスト(1~3)、ラック及びトラバーサ基礎図、給気室しゃべい壁配筋図、排水井リスト、雑鉄骨リスト	再)保全部環境管理課	
		35	スラッジ貯蔵場	第二ウラン貯蔵所建設工事工事請負契約書 スラッジ貯蔵場 竣工図	本社)業務部契約二課 再)保全部環境管理課	
		36	磨溶媒貯蔵場	施設別完成図書 建家図面集、換気設備 竣工図 磨溶媒貯蔵場建設工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		37	廃棄物処理場	再処理施設主工場廃棄物処理場 建築工事設計変更工事 工事請負契約書 10-1 再処理施設主工場廃棄物処理場 注文請書 (2~1)	再)技術部品質保証室	
		38	第二低放射性廃液蒸発処理施設	第2低放射性廃液蒸発処理施設(E施設) (施設別完成図書 建家図面Vol-2) 再処理施設低放射性廃液蒸発処理施設製作 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		39	第三低放射性廃液蒸発処理施設	第3低放射性廃液蒸発処理施設(施設別完成図書、建築一般図面集) 極低放射性廃液蒸発処理施設建家工事 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		41	分析所	再処理施設分析所運転試験室建設工事 工事請負契約書 4~4 別図-3 地下平面図、別図-4 1階平面図、別図-5 2階平面図、別図-6 3階平面図 別図-7 屋根伏及びペントハウス図 建屋断面図-1、建屋断面図-2 図-3 鳥瞰図	再)保全部環境管理課	
		42	除染場	再処理施設除染所建設工事 工事請負契約書 再処理施設除染所建設工事 工事請負変更契約書	再)技術部品質保証室	
		44	主排気筒	付属排気筒断面図	再)保全部環境管理課	
		45	放出廃液油分除去施設	施設別完成図書 建築工事設計変更工事 施設別完成図書 建築詳細図	再)保全部環境管理課	
		46	高放射性固体廃棄物貯蔵庫	高レベル固体廃棄物貯蔵所完成図書 高レベル固体廃棄物貯蔵庫上家竣工図	再)保全部環境管理課	
		47	第一低放射性固体廃棄物貯蔵場	詳細設計 DRAFT 第一低放射性固体廃棄物貯蔵場建設工事 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		48	第二低放射性固体廃棄物貯蔵場	詳細設計図(増築)DRAFT 第二低放射性固体廃棄物貯蔵場建設工事 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		49	第二スラッジ貯蔵場	第二スラッジ貯蔵場 竣工図 第二スラッジ貯蔵場建設工事 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	

使用した図書リスト

事業所	施設区分	施設番号	施設名	図書名	図書提供部署	備考
東海事業所	再処理施設	50	アスファルト固化処理施設	完成図(建築図)Vol.1 ST.16、Vol.2 ST.17～ST.19 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約一課	
		51	アスファルト固化体貯蔵施設	完成図(建築図)Vol.1 F.38、Vol.2 F.39～F.41 アスファルト固化処理装置工事 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約一課	
		52	第1付属排気筒	第一付属排気筒断面図	再)保全部環境管理課	
		53	プルトニウム転換技術開発施設	完成図書 分冊1/10～3/10(施工図書類 施工検査要領書) 完成図書 分冊4/10～5/10(施工図書類 施工図) 完成図書 分冊7/10～10/10 完成図書 TA-01 分冊1/5～5/5(建築設備工事図書類) 請負契約書	再)保全部環境管理課 再)処理部転換技術課 本社)業務部契約一課	
		81	ウラン脱硝施設	完成図 建築 Vol.1/4、Vol.2/4 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		86	廃溶媒処理技術開発施設	廃溶媒処理技術開発施設 その1～その3 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		89	高放射性廃液貯蔵場	建築工事完成図 Vol.1/7(竣工図)、Vol.2/7(竣工図) 高放射性廃液貯蔵施設設置工事 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		90	クリプトン回収技術開発施設	完成図書 土木建築設備 第2/14分冊、第3/14分冊 1/4～4/4、第4/14分冊～第8/14分冊 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約一課	
		94	第二アスファルト固化体貯蔵施設	完成図 (建築工事) Vol.1/5～Vol.3/5 第二アスファルト固化体貯蔵施設設置工事 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		95	第二高放射性固体廃棄物貯蔵場	建家図面 第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設設置工事 請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		96	第三ウラン貯蔵所	第3ウラン貯蔵所 詳細設計 建築工事(1／1) 図面 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		97	焼却施設	低レベル β γ 廃棄物焼却施設調整設計 完成図書 2/4分冊 VOL21～4/4分冊 VOL23 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		99	ガラス固化技術開発施設	ガラス固化技術開発施設 意匠図 VOL.1/2、VOL.2/2 ガラス固化技術開発施設 竣工図(躯体図) ガラス固化技術開発施設 構造図 工事請負契約書	再)保全部環境管理課 本社)業務部契約二課	
		100	第二付属排気筒	ガラス固化技術開発施設付属排気筒 竣工図	再)保全部環境管理課	
		59	プルトニウム廃棄物貯蔵施設	東海事業所プルトニウム汚染廃棄物貯蔵施設新築工事 工事請負契約書	建工部建設グループ	
		61	プルトニウム燃料第一開発室	原子燃料公社プルトニウム燃料研究室建築工事 工事請負契約書 プルトニウム燃料研究室建築工事 変更契約書 建家図	建工部建設グループ Pu)技術部施設保全課	
		62	プルトニウム燃料第二開発室	プルトニウム燃料開発室建家増設工事 工事請負契約書 プルトニウム燃料開発室建家増設工事 工事請負変更契約書 プルトニウム燃料開発室増築第二期建築工事 工事請負契約書 建家図	建工部建設グループ Pu)技術部施設保全課	
		66	屋外固体廃棄物貯蔵庫 (第1～17)	第13、14廃棄物貯蔵庫新設工事 配置図、平面図、立面図、基礎伏図、有刺鉄線張詳細図 第13、14廃棄物貯蔵庫新設工事 染伏図、軸組図、基礎断面図	建工部建設グループ	

使用した図書リスト

事業所	施設区分	施設番号	施設名	図書名	図書提供部署	備考	
東海事業所 使用施設	プル使用施設	82 プルトニウム燃料第三開発室	東海事業所プルトニウム燃料第3開発室新築工事 変更契約書 東海事業所プルトニウム燃料第3開発室(ATR棟)増設工事 工事請負契約書 第三プル 数量調査 1~3	建工部建設グループ			
			東海事業所プルトニウム燃料第三開発室新築工事 工事請負契約書 東海事業所プルトニウム燃料第三開発室新築工事 工事請負契約書別冊図面 その1、その2				
		83 プルトニウム廃棄物処理開発施設	東海事業所プルトニウム廃棄物処理開発施設建家新築工事 工事請負契約書分冊1/2, 2/2 PWTF 数量計算書 No.1, No.2	建工部建設グループ			
	第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設	101 第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設	第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設建家新築工事 工事請負契約書 (1/2分冊、2/2分冊) 第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設建家新築工事 変更契約書 第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設建家新築工事 工事数量計算書	建工部建設グループ			
	A棟	20 A棟	基礎試験室 A棟竣工図 A棟改造機械設備工事 竣工図(建築)	建工部建設グループ			
			工事請負契約書 東海事業所A棟機械室新築工事				
		25 中央廃水処理場	中央廃水処理場の設備更新及び建屋の増設工事 完成図書(2) (図面集)	(環)保全部環境保全課			
	焼却施設	28 焼却施設	東海事業所ウラン系可燃性固体廃棄物焼却施設新築工事 工事請負契約書 ウラン系可燃性固体廃棄物焼却施設建屋新築工事 竣工図	建工部建設グループ	ウラン系廃棄物		
			屋外貯蔵ピット内廃棄物取出工事の内作業用建家建設工事 竣工図				
	廃棄物貯蔵庫	29 廃棄物屋外貯蔵ピット	廃棄物屋外貯蔵ピット 図面なし	(環)保全部環境保全課			
	燃料製造機器試験室	30 第一廃棄物倉庫	廃棄物倉庫(第2~6) 第6廃棄物倉庫杭伏図・基礎伏図・基礎断面図、梁伏図・軸組図、断面図 燃料製造機器試験室新築その他工事 工事請負契約書	建工部建設グループ	ウラン系廃棄物		
	ウラン貯蔵庫	34 ウラン貯蔵庫	東海事業所プルトニウム燃料製造用ウラン貯蔵庫新築工事 設計原図 東海事業所プルトニウム燃料製造用ウラン貯蔵庫新築工事 工事請負契約書	(環)保全部環境保全課			
			東海事業所G棟付属試験室 G棟付属試験室増築工事 工事請負契約書				
	J棟	71 G棟付属試験室	東海事業所J棟新築工事 工事請負契約書 東海事業所J棟増築工事 工事請負契約書	建工部建設グループ			
	L棟	72 J棟	L棟増築工事 工事請負契約書 L棟新築工事図面 L棟増築工事図面(建築・土木・空調・給排水衛生・電気)	建工部建設グループ			
	東海事業所第二ウラン貯蔵庫	75 東海事業所第二ウラン貯蔵庫	動燃東海事業所J棟付属ウラン貯蔵庫新築工事図面[建築・土木・空調・給排水衛生・電気] 東海事業所第二ウラン貯蔵庫新築工事 図面なし	(環)保全部環境保全課			
	廃水処理室	76 廃水処理室	東海事業所廃液化学処理棟新築工事 工事請負契約書 含ウラン廃油保管庫新築工事[土木・建築・給排水衛生・電気]	建工部建設グループ			
	廃油保管庫	77 廃油保管庫	東海事業所M棟新築工事 工事請負契約書 東海事業所M棟新築工事 墓地	(環)保全部環境保全課			
	M棟 (第二ウラン廃棄物処理施設)	78 M棟 (第二ウラン廃棄物処理施設)	東海事業所M棟新築工事 工事請負契約書 東海事業所M棟新築工事 竣工図	建工部建設グループ			
	ウラン系廃棄物貯蔵施設	79 ウラン系廃棄物貯蔵施設	東海事業所ウラン系不燃性固体廃棄物貯蔵庫新築工事 工事請負契約書	建工部建設グループ			
	安全管理棟	80 洗濯場	東海事業所安全管理棟増築工事請負契約書 東海事業所F棟改修工事 工事請負契約書 ウラン濃縮技術開発室増築工事竣工図面	建工部建設グループ			
	応用試験棟	81 B棟	東海事業所B棟新築工事 墓地	建工部建設グループ			
	F棟	82 F棟	東海事業所F棟改修工事 工事請負契約書 ウラン濃縮技術開発室増築工事竣工図面	図書館			

使用した図書リスト

事業所	施設区分	施設番号	施設名	図書名	図書提供部署	備考
東海事業所	その他施設	23	高レベル放射性物質研究施設	東海事業所高レベル放射性物質研究施設新築工事 工事請負契約書 その1、その2 高レベル放射性物質研究施設新築工事 工事請負変更契約書 東海事業所高レベル放射性物質研究施設新築工事 工事請負変更契約書 東海事業所高レベル放射性物質研究施設新築追加工事 工事請負契約書 高レベル放射性物質研究施設新築追加工事 工事請負変更契約書 CPF建築本工事 数量ひろい No.1、No.2 CPF建築本工事 数量拾い書 CPF (数量表) CPF追加工事 数量表	建工部建設グループ	
				東海事業所計測機器校正室 東海事業所計測機器校正施設建家新築工事 工事請負契約書		建工部建設グループ
				地層処分放射化学研究施設(Ⅰ期) 建家新築工事 竣工図		(環)処分部放射化学Gr
				地層処分放射化学研究施設(Ⅰ期) 建家新築工事 工事請負契約書(1/2)		建工部建設グループ
				1N 廃棄物貯蔵庫(第1~14) 人形岬事業所第13、14廃棄物貯蔵庫新築工事		人)環境保全課
				2N UF6貯蔵庫(ドラム缶検査建屋) UF6ボンベ貯蔵庫(平面図、姿図、断面図、天井伏図、仕上げ表)		人)環境保全課
				4N 開発試験棟 人形岬鉱石試験室新築工事 人形岬6フッ化ウラン転換開発室新築工事		人)環境保全課
				9N 廃棄物保管庫		
				12N 廃油貯蔵庫 廃油貯蔵庫建設工事 竣工図		人)環境保全課
				22N 濃縮工学施設(OP-1) 竣工図 ウラン濃縮パイロットプラント 主棟新築工事 請負契約書		人)施設管理部管理課
人形岬環境技術センター	使用施設	23N	濃縮工学施設(OP-2) 竣工図 ウラン濃縮パイロットプラント OP2 主棟増築工事		本社)業務部契約二課	
				24N 濃縮工学試験第一ウラン貯蔵庫 竣工図 ウラン濃縮パイロットプラントウラン貯蔵庫その他建物新築工事ウラン貯蔵庫新築工事 請負契約書	人)施設管理部管理課	
				25N 濃縮工学試験第二ウラン貯蔵庫 竣工図 第2ウラン貯蔵庫 新築工事	人)施設管理部管理課	
				27N 製鍊転換施設 精鍊転換パイロットプラント建屋新築工事 竣工図 請負契約書	人)製鍊転換施設運転課	
				30N 廃棄物焼却施設 人形岬放射性廃棄物焼却施設(意匠図、構造図、電気設備・機械設備、積算書)	本社)業務部契約二課	
				15N 製鍊施設(解体物管理施設) 人形岬環境技術センター解体物管理施設建設工事 請負契約書	人)工務課	
				26N 濃縮工学施設廃水処理棟 ウラン濃縮パイロットプラント技術管理棟及び排水処理棟(II)廃水処理棟新築工事及び建築工事 廃水処理棟 1階平面図、2階平面図 請負契約書	人)施設管理部管理課	
				32N ウラン濃縮原型プラント主棟(DOP) 竣工図 ウラン濃縮原型プラント主棟・増築工事 請負契約書	本社)業務部契約二課	
				33N ウラン濃縮原型プラント付属棟 竣工図 ウラン濃縮原型プラント主棟・付属棟新築工事 2-1,2-2	人)施設管理部管理課	
				34N ウラン濃縮原型プラント第二貯蔵庫 竣工図 ウラン濃縮原型プラント貯蔵棟新築工事 請負契約書	人)施設管理部管理課	
				38N ウラン濃縮原型プラント廃棄物貯蔵	本社)業務部契約二課	